

# 北九州市土木構造物標準図集

## 公園編

平成 29 年 10 月

図面名称	細別・規格	頁
<b>1. 擁壁工</b>		
空洞ブロック積壁	W=120	1
雑割石積	1	2
	2	3
<b>2. 植栽工</b>		
二脚鳥居支柱	二脚鳥居	1
三脚鳥居支柱	三脚鳥居	2
四脚鳥居支柱	四脚鳥居	3
十字鳥居支柱	十字鳥居	4
丸太三本支柱	丸太三本	5
竹一本支柱・竹三本支柱	竹一本・竹三本	6
生垣支柱	生垣	7
<b>3. 給水設備工</b>		
メーターボックス	鋳鉄製	1
止水栓・止水栓ボックス	止水栓・止水栓ボックス	2
散水栓・散水栓ボックス	散水栓・散水栓ボックス	3
給水管・埋設標・埋設杭・埋設シート	給水管・埋設標・埋設杭・埋設シート	4
<b>4. 雨水排水設備工</b>		
グレーチング蓋	普通目	1
	細目	2
スポーツU型側溝	SU-20	3
	SU-25	4
集水柵	管渠用	5
	側溝用	6
浸透柵	(参考図)	7
U型側溝柵	U型側溝柵	8
硬質塩化ビニル管	硬質塩化ビニル管	9
有孔暗渠管	有孔暗渠管	10

図面名称	細別・規格	頁
<b>5. 電気設備工</b>		
引込柱	引込ポールA・B	1
	引込A（公衆外灯A契約用）	2
	引込B（公衆外灯B契約用）	3
	引込A明細	4
	引込B明細	5
分電盤	分電盤	6
公園灯LED	埋込式	7
	ベースプレート式	8
	公園灯LED明細	9
	公園灯灯具・ランプ・安定器組合せ表	10
組合せ表 公園灯	照明ポールA・B	11
	照明ポールC・D	12
	公園灯A（埋込式）	13
	公園灯B（ベースプレート式）	14
	公園灯A明細	15
	公園灯B明細	16
ポール内端子台	テストスイッチ有（参考図）	17
	テストスイッチ無（参考図）	18
公園灯灯具	1	19
	2	20
	黒蓋付（HH-A）	21
電線管・埋設標	地中管路埋設・埋設表示杭・埋設標	22
<b>6. 園路広場整備工</b>		
公園アスファルト舗装	密粒度	1
脱色(自然色)アスファルト舗装	脱色(自然色)アスファルト舗装	2
インターロッキング舗装	インターロッキング舗装	3
公園コンクリート舗装	公園コンクリート舗装	4
真砂土舗装	真砂土舗装	5
レンガ舗装	硬質レンガ	6
	普通レンガ	7
平石張舗装	平石張舗装	8
切板石張舗装	切板石張舗装 修景	9
	切板石張舗装	10
ゴムチップ舗装	ゴムチップ舗装	11
コンクリート縁石	コンクリート縁石	12
	コンクリート縁石 舗装止め	13
レンガ縁石	硬質レンガ	14
	普通レンガ	15
切石縁石	切石縁石	16
雑割石縁石	雑割石縁石	17
コンクリート階段	(参考図)	18
擬木丸太階段	擬木丸太階段	19

図面名称	細別・規格	頁
------	-------	---

### 7. 遊戯施設整備工

1面滑台	直線タイプ (参考図)	1
	直角タイプ (参考図)	2
2段式滑台	直線タイプ (参考図)	3
	直角タイプ (参考図)	4
2面滑台	(参考図)	5
滑台共通詳細図	(参考図)	6
2連低鉄棒	(参考図)	7
3連低鉄棒	(参考図)	8
クッションマット	(参考図)	9
人工芝	ブランコ下 (参考図)	10
砂場縁部	砂場縁部	11

### 8. サービス施設整備工

パイプ製ベンチ	FRP (参考図)	1
	合成木材 (参考図)	2
	木製 (参考図)	3
縁台	合成木材 (参考図)	4

### 9. 管理施設整備工

金網柵門扉	金網柵門扉	1
メッシュフェンス門扉	メッシュフェンス門扉	2
金網柵	ハガネ線	3
	鉄線	4
メッシュフェンス	メッシュフェンス (平面パネル)	5
	メッシュフェンス (波状パネル)	6
緑化用フェンス	緑化用フェンス	7
擬木柵	H=795 (参考図)	8
	H=800 (参考図)	9
	H=1100 (参考図)	10
手すり	階段中央部 (参考図)	11
	階段袖部 (参考図)	12
車止め	スチール・逆U型	13
	擬石 (参考図)	14
	擬石 (参考図)	15

図面名称	細別・規格	頁
------	-------	---

### 10. 建築施設組立設置工

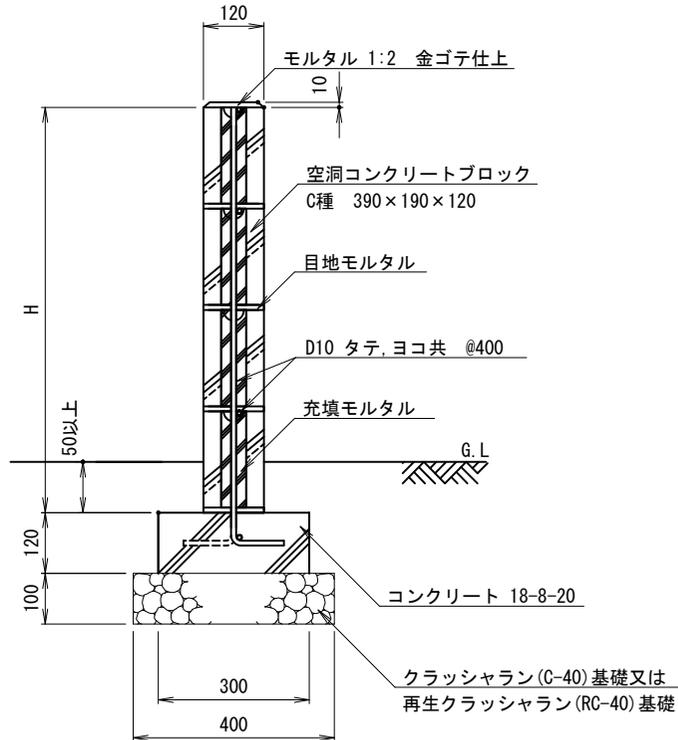
和風シェルター (あづまや)	小 (参考図) 1/3	1
	小 (参考図) 2/3	2
	小 (参考図) 3/3	3
	小 縁台付 (参考図) 1/3	4
	小 縁台付 (参考図) 2/3	5
	小 縁台付 (参考図) 3/3	6
	中 (参考図) 1/3	7
	中 (参考図) 2/3	8
	中 (参考図) 3/3	9
	中 縁台付 (参考図) 1/3	10
	中 縁台付 (参考図) 2/3	11
	中 縁台付 (参考図) 3/3	12
公園用具入れ	小 (参考図)	13
	中 (参考図)	14
	大 (参考図)	15

### 11. グランド・コート施設整備工

バックネット	H=5700 (参考図) 1/2	1
	H=5700 (参考図) 2/2	2
メッシュフェンス門扉	テニスコート用・両開 (参考図)	3
	テニスコート用・片開 (参考図)	4
メッシュフェンス	テニスコート用 (参考図)	5
防球フェンス	ソフトボール用 (参考図)	6

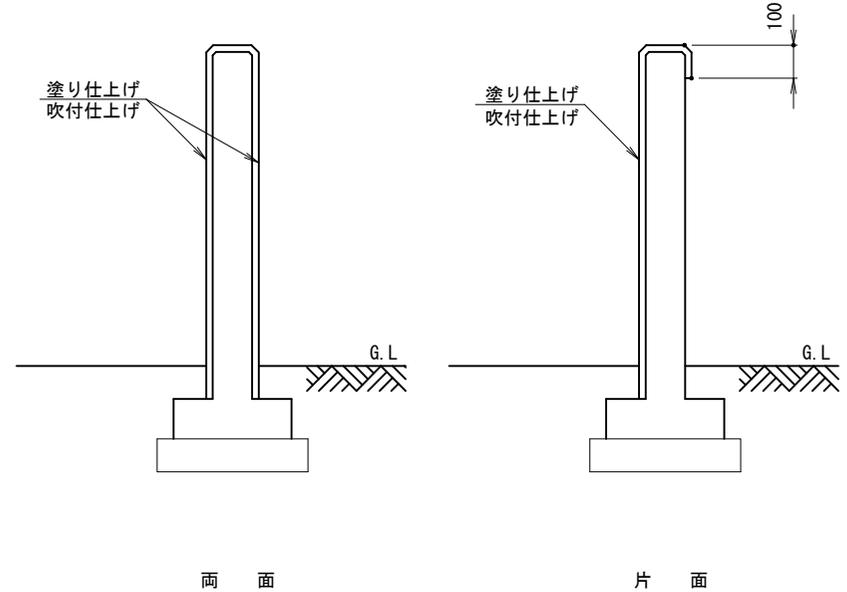
# 空洞ブロック積壁 (W=120)

BW12-2, 3, 4, 5 空洞ブロック積壁 S=1/15



	H	空洞ブロック	タテ筋長	ヨコ筋
BW12-2	400	2段	550	3本
BW12-3	600	3段	750	3本
BW12-4	800	4段	950	4本
BW12-5	1,000	5段	1,150	4本

表面仕上げ S=1/20



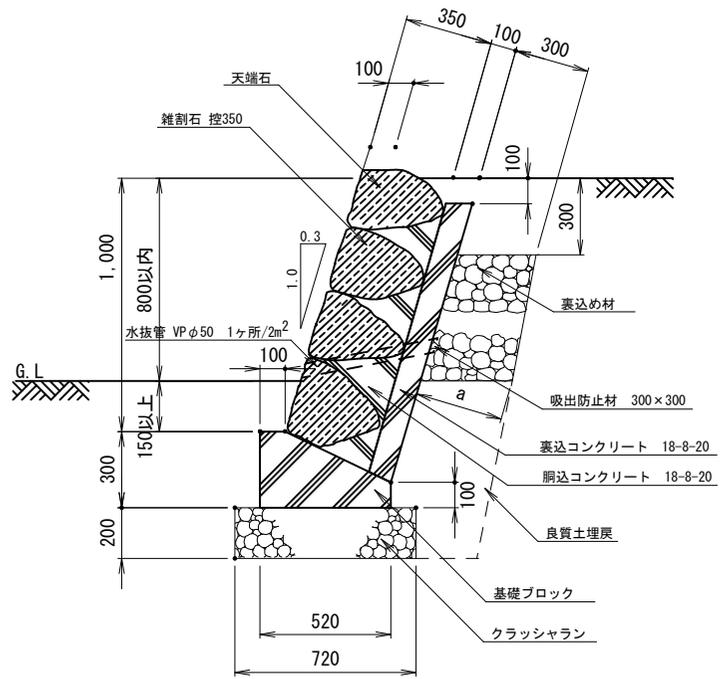
10m当り			
名称	算式	単位	数量
基礎	0.40×10.0	m <sup>2</sup>	4.0
コンクリート	0.30×0.12×10.0	m <sup>3</sup>	0.36
型枠(均し)	0.12×2×10.0	m <sup>2</sup>	2.40

## 仕様

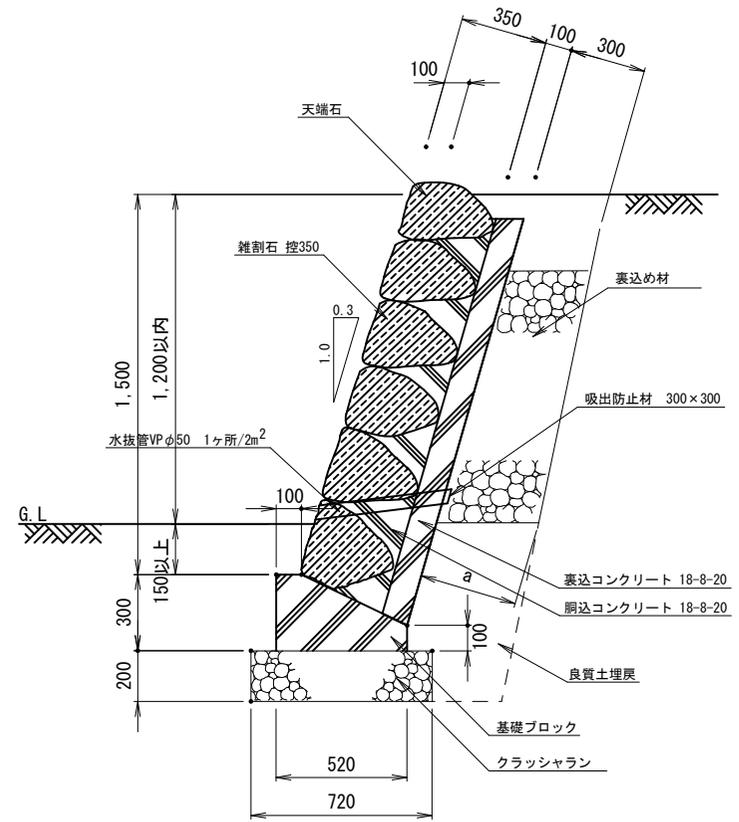
- ・鉄筋たて筋は、D10@400を標準とし、壁の端部、隅角部にも設けるものとする。
- ・鉄筋よこ筋は、D10@400を標準とし、壁頂、基礎にも設けるものとする。
- ・伸縮目地は、発泡樹脂系目地材(ア)10m/m @ 20mとする。
- ・目地・充填モルタルの配合比は、セメント：砂 = 1：2.5 とし、ブロック内の充填モルタルは全充填とする。
- ・壁の表面は、素地と、塗り仕上げ、吹付仕上げ、及び両面、片面仕上げとし図面特記による。  
塗り仕上げは、カラーモルタル(ア)20、人造石研出し(ア)20、人造石洗い出し(ア)20。  
吹付仕上げは、アクリル系リシン、吹付タイルE、(下地モルタル塗り)。
- ・空洞コンクリートブロックは、JIS A 5406 C種 とする。

雑割石積 1

ZI-10 断面図 S=1/30



ZI-15 断面図 S=1/30



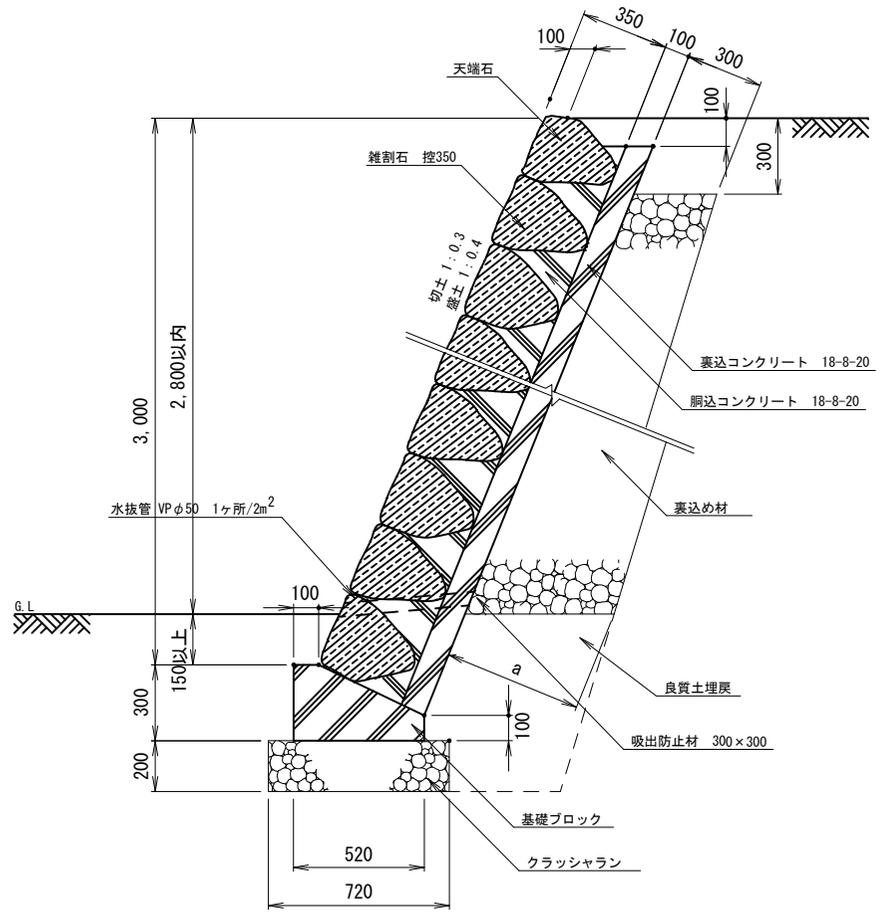
記号	石積前面勾配	裏込砕石幅		石積前面勾配	裏込砕石幅	
		天端	下端(a)		天端	下端(a)
ZI-10	1:0.3	300	300	1:0.3	300	350
ZI-15	1:0.3	300	300	1:0.3	300	390

仕様

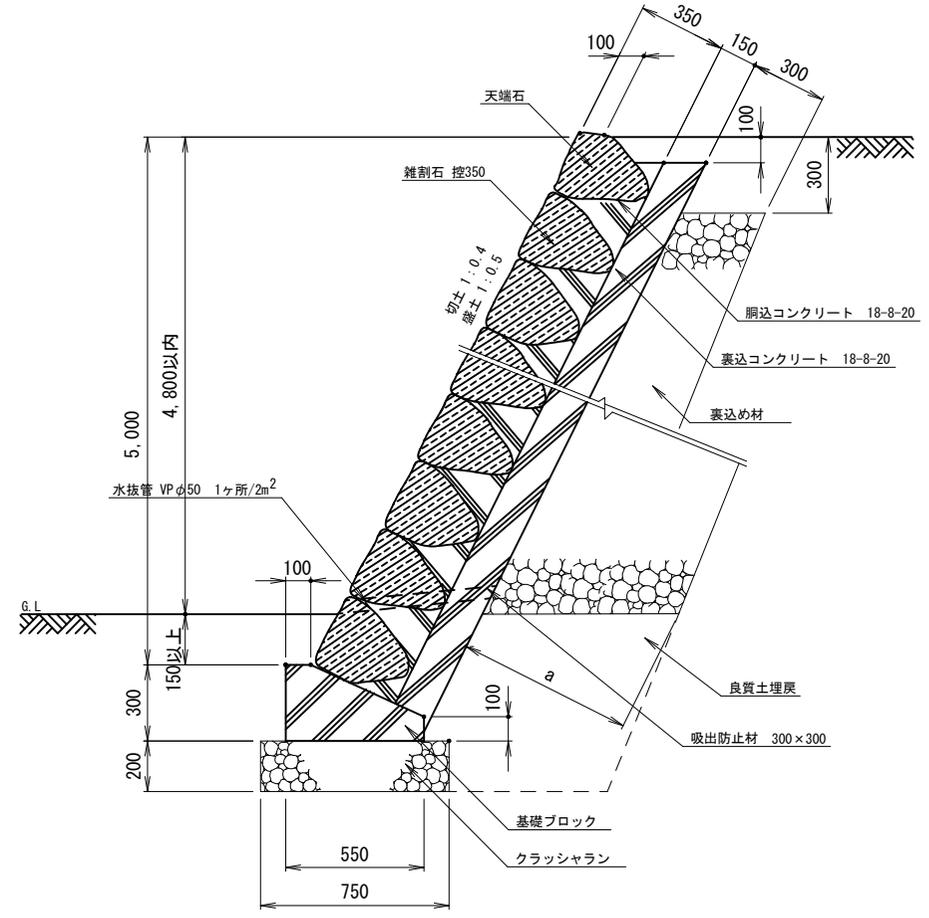
- ・雑割石（控350）とし、図面特記とする。
- ・石積のパターンは、間知積（布積、谷積）、又は乱積とし図面特記とする。
- ・伸縮目地は、発泡樹脂系目地材（ア）10mm @10mmとする。
- ・根入れの運用：前面が舗装 150mm  
小規模河川等 500～1,000mm  
それ以外の場合 300mm
- ・基礎に基礎ブロックを使用する場合は、基礎ブロック工（ブロック積工基礎）を使用すること。

雑割石積 2

Z1-30 断面図 S=1/30



Z1-50 断面図 S=1/30

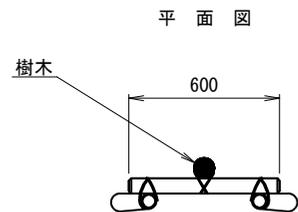
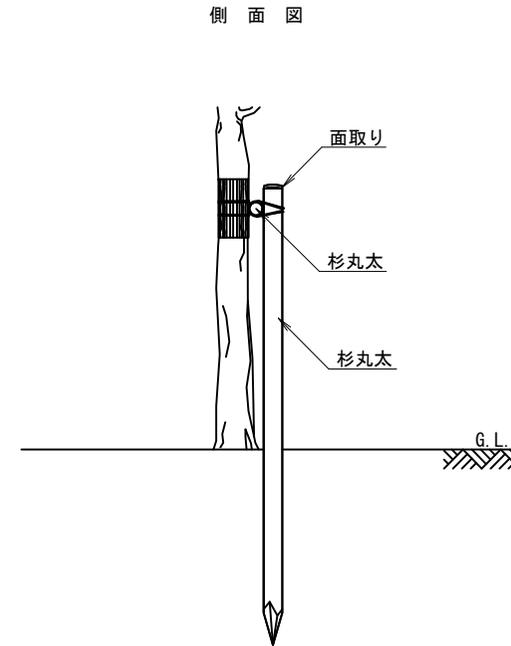
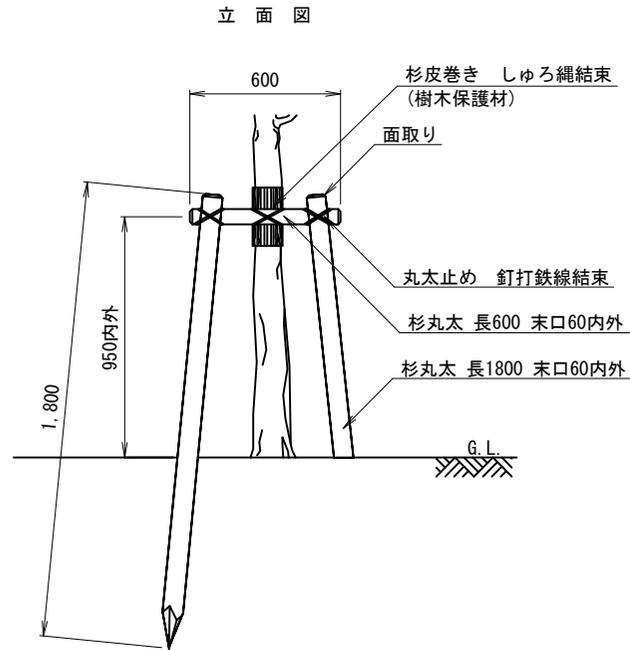


背面土	切 土		盛 土			
	石積前面勾配	裏込砕石幅		石積前面勾配	裏込砕石幅	
天 端		下 端 (a)	天 端		下 端 (a)	
Z1-30	1:0.3	300	300	1:0.4	300	550
Z1-50	1:0.4	300	300	1:0.5	300	750

仕 様

- ・雑割石(控350)とし、図面特記とする。
- ・石積のパターンは、間知積(布積、谷積)、又は乱積とし図面特記とする。
- ・伸縮目地は、発泡樹脂系目地材(ア)10mm@10mとする。
- ・根入れの運用 : 前面が舗装 150mm  
小規模河川等 500~1,000mm  
それ以外の場合 300mm
- ・基礎に基礎ブロックを使用する場合は、基礎ブロック工(ブロック積工基礎)を使用すること。

# 二脚鳥居支柱

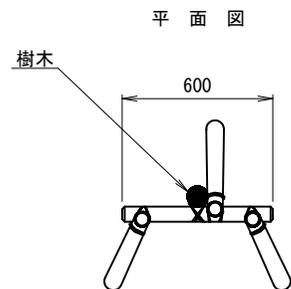
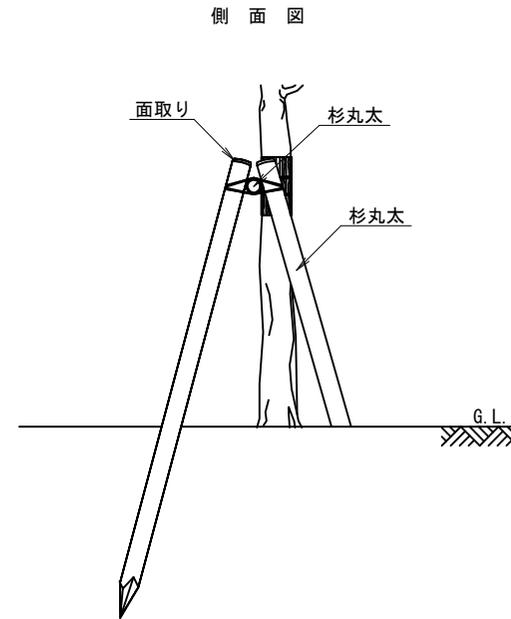
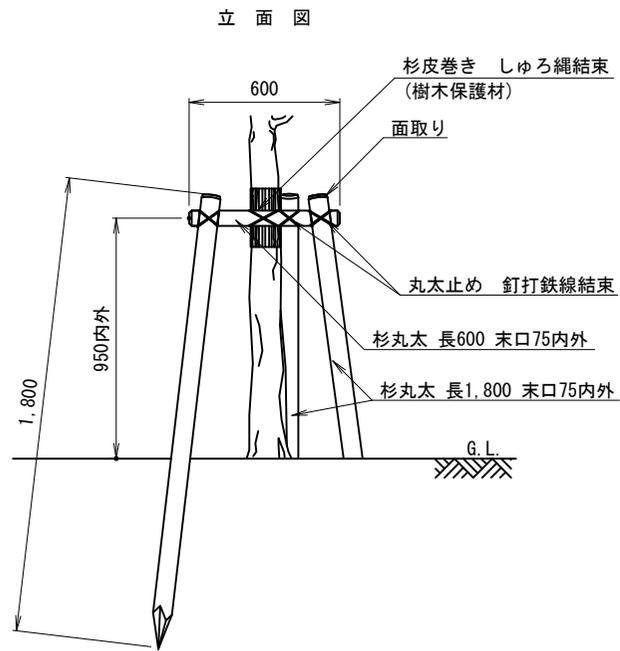


## 仕 様

- ・鉄線は、亜鉛めっき鉄線#18 又は、#18 より太いものを使用する。
- ・丸太相互の取付けは、釘止めを行い、鉄線割掛け結束とし、2本どり2回巻き以上とする。
- ・杉丸太は面取りを行うこと。
- ・樹木と支柱の結束は、しゅろ縄割掛け結束とし、2本どり3回巻き以上とする。

北九州市土木構造物標準図	図面名称	二脚鳥居支柱	縮尺	S=1/30	備考		改定年月	前回 平成17年 5 月 最新 平成19年 10 月	2 1
--------------	------	--------	----	--------	----	--	------	-------------------------------	--------

# 三脚鳥居支柱



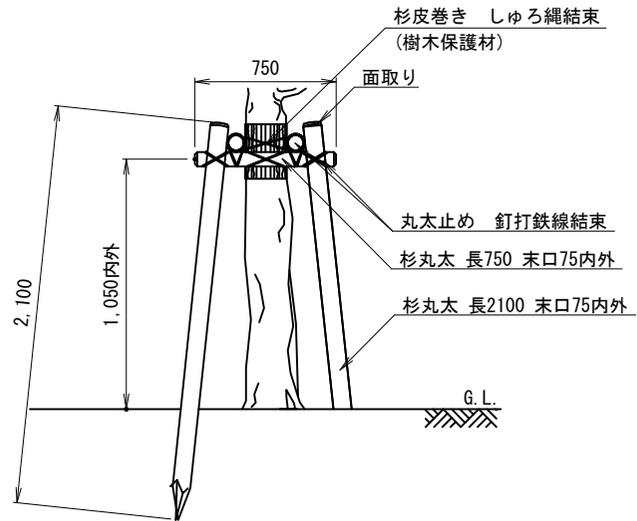
## 様式

- ・鉄線は、垂鉛めっき鉄線#18 又は、#18 より太いものを使用する。
- ・丸太相互の取付けは、釘止めを行い、鉄線縦割掛け結束とし、2本どり2回巻き以上とする。
- ・杉丸太は面取りを行うこと。
- ・樹木と支柱の結束は、しゆる縄縦割掛け結束とし、2本どり3回巻き以上とする。

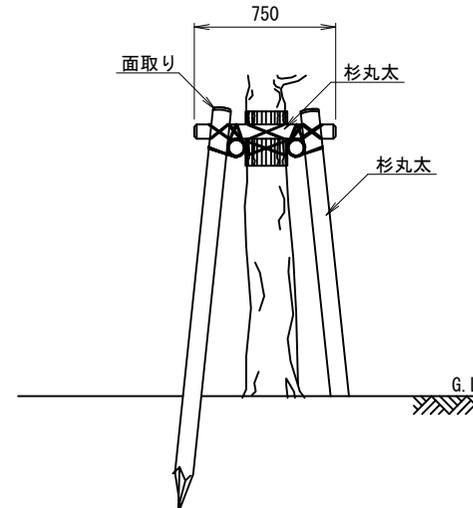
北九州市土木構造物標準図	図面名称	三脚鳥居支柱	縮尺	S=1/30	備考		改定年月	前回 平成17年 5月 最新 平成19年 10月	2 2
--------------	------	--------	----	--------	----	--	------	-----------------------------	--------

# 四脚鳥居支柱

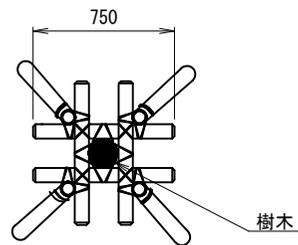
立面図



側面図



平面図



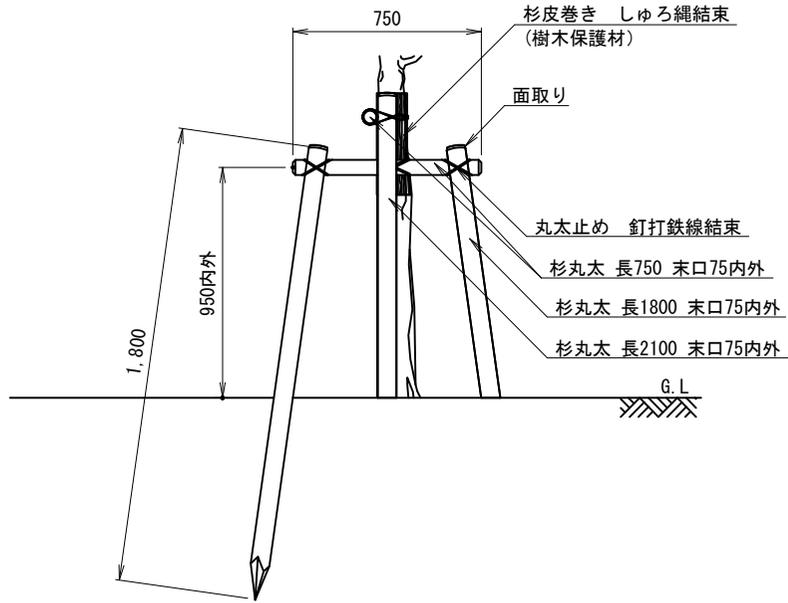
## 仕様

- ・鉄線は、亜鉛めっき鉄線 #18 又は、#18 より太いものを使用する。
- ・丸太相互の取付けは、釘止めを行い、鉄線縦割掛け結束とし、2本どり2回巻き以上とする。
- ・杉丸太は面取りを行うこと。
- ・樹木と支柱の結束は、しゆる縄縦割掛け結束とし、2本どり3回巻き以上とする。

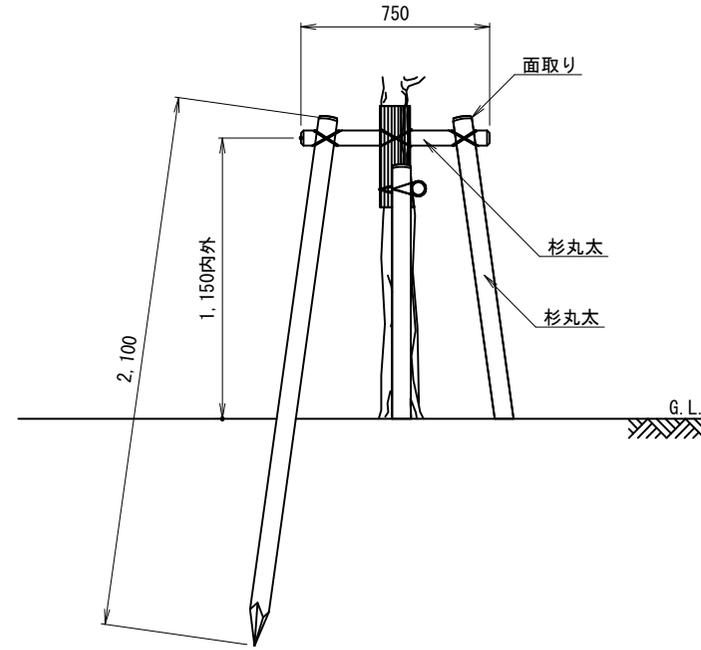
北九州市土木構造物標準図	図面名称	四脚鳥居支柱	縮尺	S=1/40	備考	改定年月	前回 平成17年 5月 最新 平成19年 10月	2 3
--------------	------	--------	----	--------	----	------	-----------------------------	--------

# 十字鳥居支柱

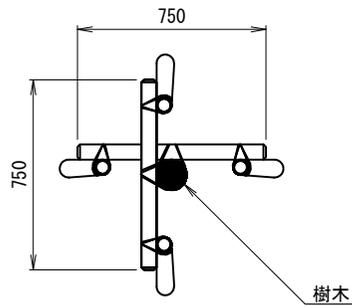
立面図



側面図



平面図



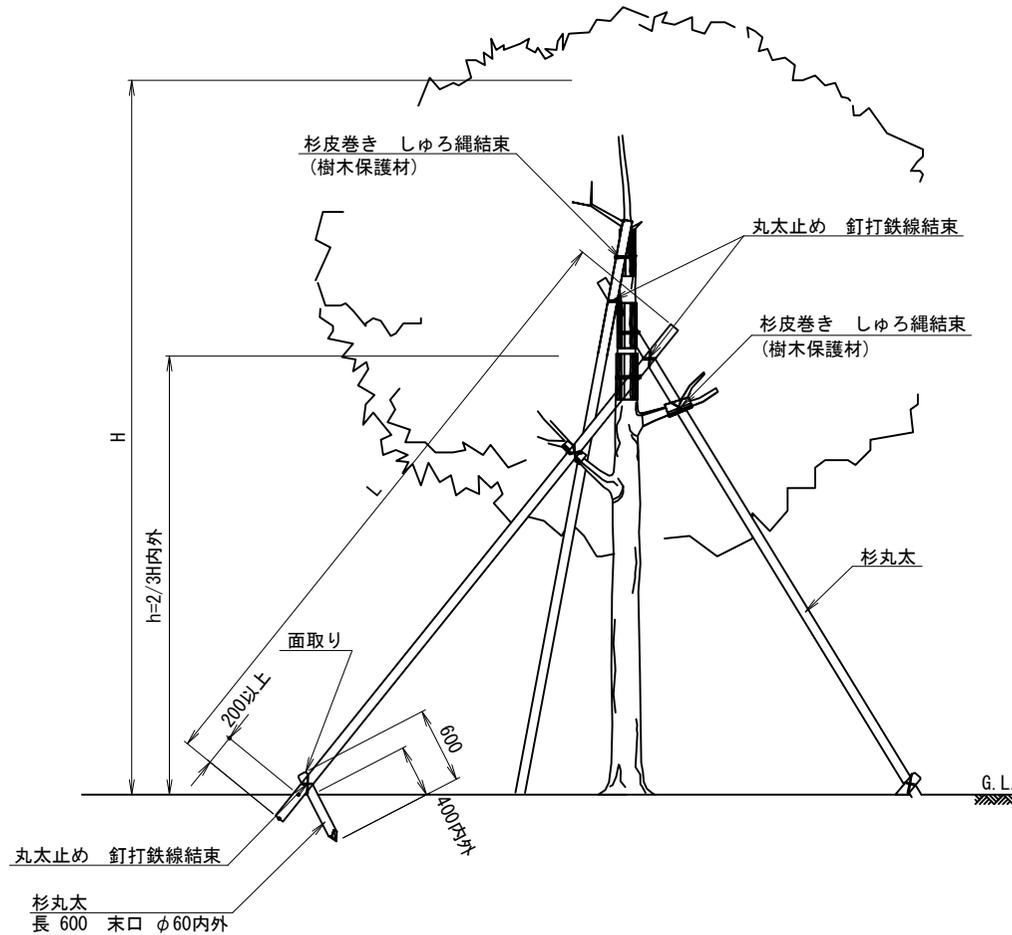
## 仕様

- ・鉄線は、亜鉛めっき鉄線 #18 又は、#18 より太いものを使用する。
- ・丸太相互の取付けは、釘止めを行い、鉄線割掛け結束とし、2本どり2回巻き以上とする。
- ・杉丸太は面取りを行うこと。
- ・樹木と支柱の結束は、しゆる縄割掛け結束とし、2本どり3回巻き以上とする。

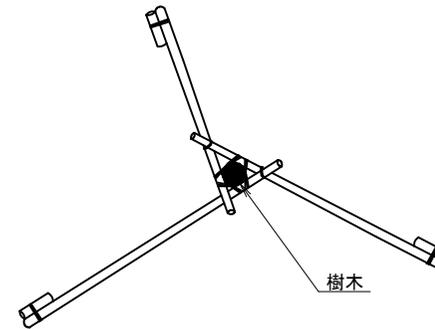
北九州市土木構造物標準図	図面名称	十字鳥居支柱	縮尺	S=1/30	備考	改定年月	前回 平成17年 5 月 最新 平成19年 10 月	2 4
--------------	------	--------	----	--------	----	------	-------------------------------	--------

# 丸太三本支柱

立面図



平面図



寸法表

丸 太	
4m	杉丸太 長4000 末口φ60
6~7m	杉丸太 長6300 中径φ60

## 仕 様

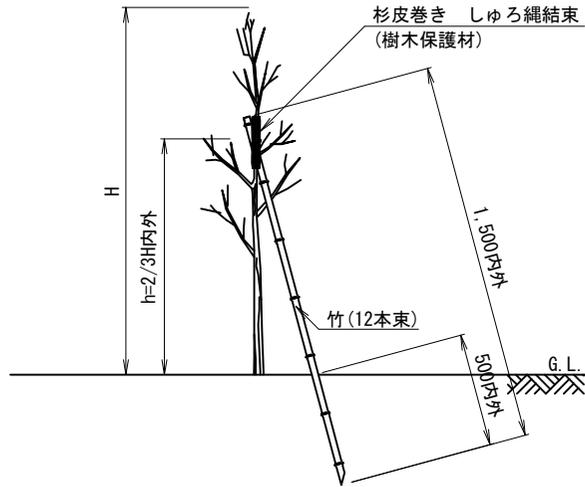
- ・支柱の丸太は、幹、又は主枝に、原則として2個以上結束すること。
- ・鉄線は、垂鉛めつき鉄線#18 又は、#18 より太いものを使用する。
- ・丸太相互の取付けは、各々他の2本と、釘止めを行い、鉄線割掛け結束とし、2本どり2回巻以上とする。
- ・支柱と幹の結束高さhは、樹高の2/3を標準とする。
- ・樹木と支柱の結束は、しゆる縄割掛け結束とし、2本どり3回巻以上とする。
- ・ヤラズ杭は、危険のないように処理する。

北九州市土木構造物標準図	図面名称	丸太三本支柱	縮尺	S=1/60	備考	改定年月	前回 平成 19 年 10 月	2
							最新 平成 20 年 4 月	5

# 竹一本支柱・竹三本支柱

竹一本支柱 TS-1

立面図



平面図

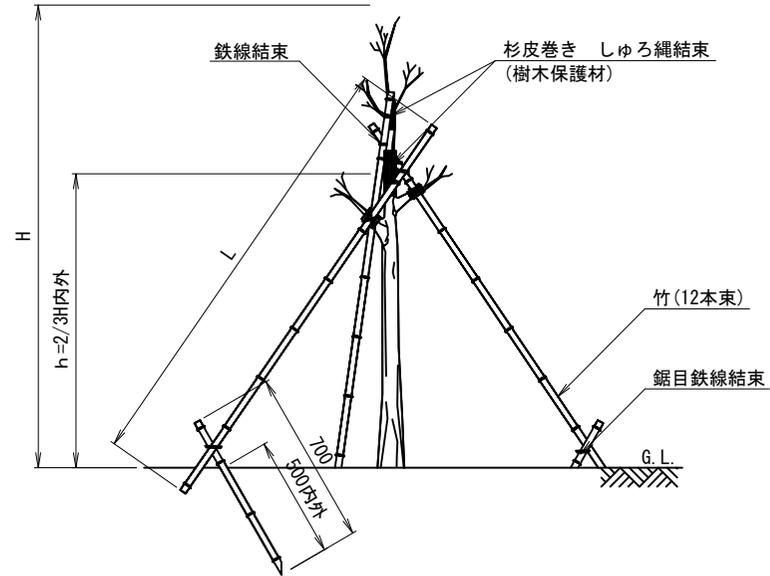


## 仕様

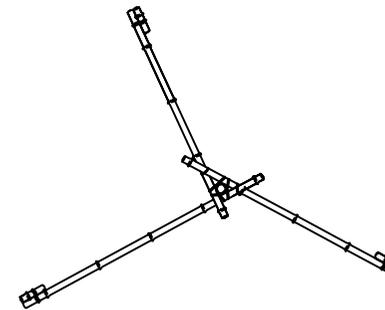
- ・竹は、天端節止めとする。
- ・鉄線は、垂鉛めつき鉄線#18 又は、#18 より太いものを使用する。
- ・竹三本支柱の竹は、幹(主枝) 又は他の支柱(竹) に原則として2箇所以上結束する。
- ・竹相互の結束は、結束部分に釘打ち又はのこぎり目を入れ、鉄線縦割掛けとし、2本どり2回巻以上とする。
- ・結束位置は樹木高の2/3を標準とする。
- ・樹木と支柱の結束は、しゅろ縄縦割掛けとし、2本どり3回巻き以上とする。
- ・ヤラズ杭は、危険のないように処理する。

竹三本支柱 TS-3A, 3B

立面図



平面図



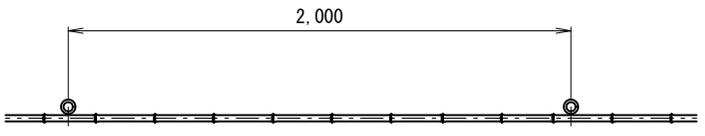
寸法表

記号	L
TS-3A	1,800内外
TS-3B	2,500内外

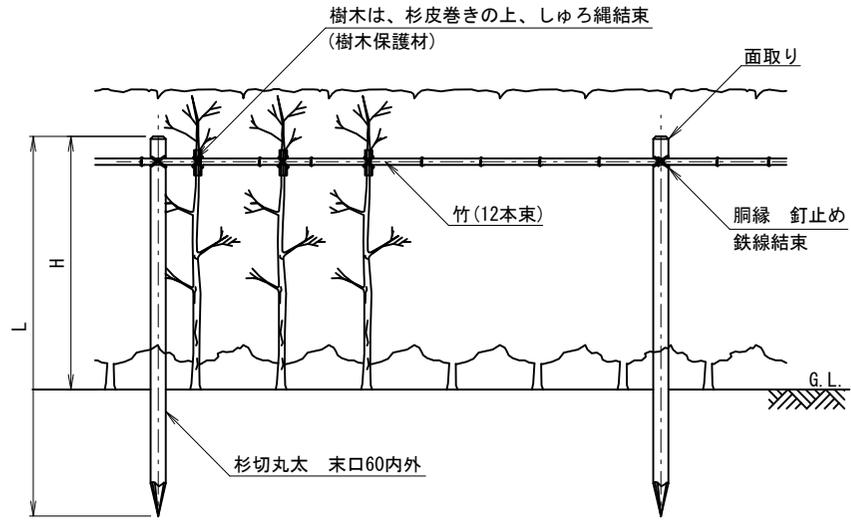
生垣支柱

IS-6, 10

平面図



立面図

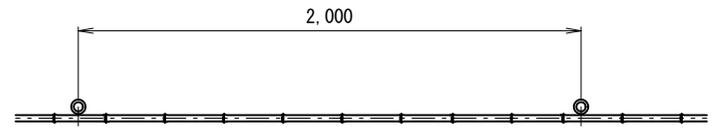


IS-6, 10 寸法表

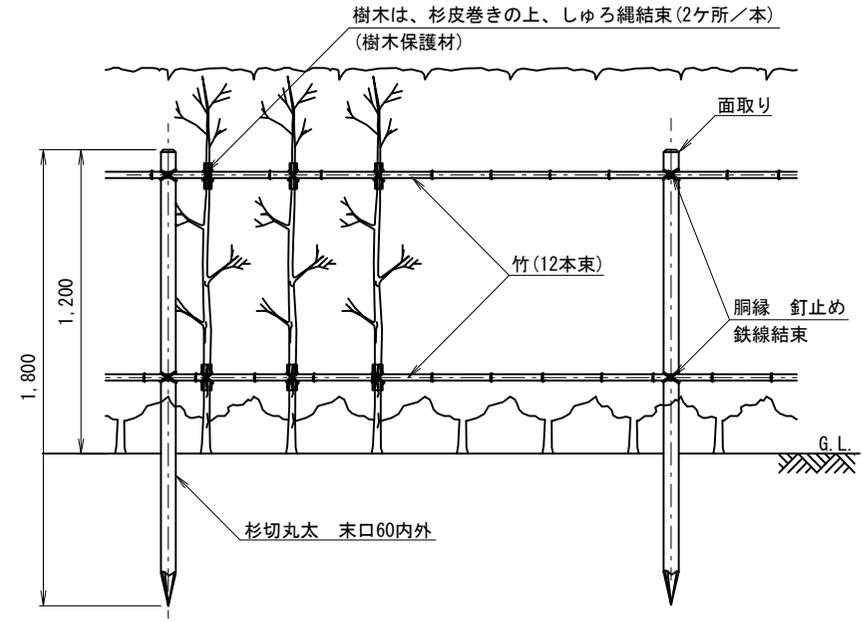
記号	H	L
IS-6	600	900
IS-10	1,000	1,500

IS-12

平面図



立面図

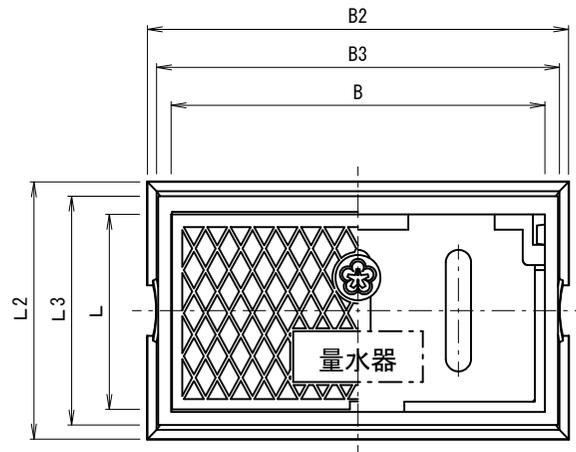


仕様

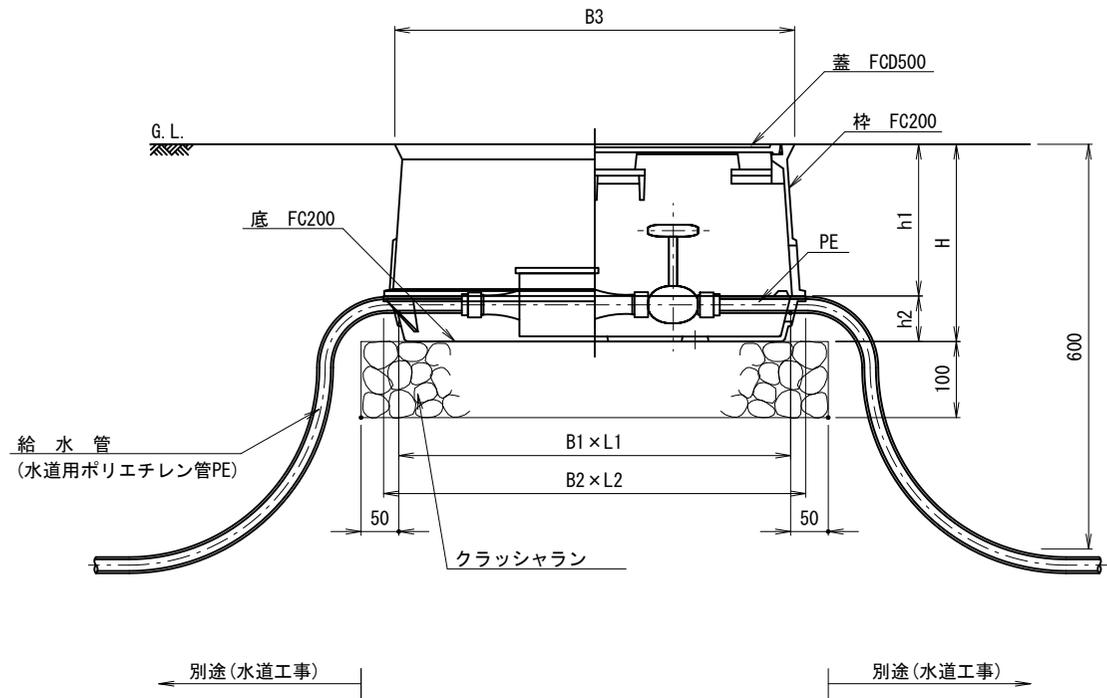
- ・竹は、先端節止めとする。
- ・樹木と支柱の結束は、しゅろ縄割掛けとし、2本どり3回巻き以上とする。
- ・杉丸太は面取りを行うこと。
- ・鉄線は、亜鉛めっき鉄線#18、又は#18より太いものを使用する。

メーターボックス（鋳鉄製）

平面図



断面図



寸法表

	B	B1	B2	B3	L	L1	L2	L3	h1	h2	H
13mm用	370	393	419	398	195	228	254	226	150	45	195
20mm用	432	457	483	459	227	252	278	256	180	45	225
25mm用	495	522	548	524	227	252	278	256	180	45	225

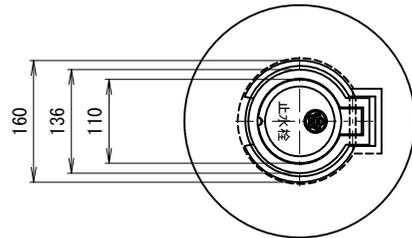
仕様

- ・メーターボックスは、北九州市型メーターボックス（鋳鉄製道路用・底付き）とする。
- ・メーターボックスのサイズ（13mm用、20mm用、25mm用）は、図面特記による。
- ・給水管は、水道用ポリエチレン管（1種・二層管）PE 13mm、20mm、25mmとする。
- ・量水器とPE管はベントで継ぐ。

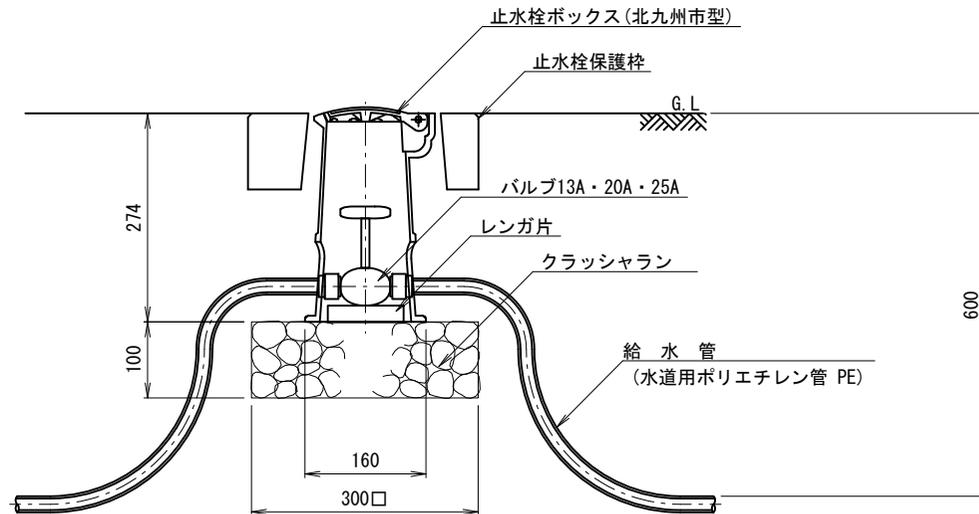
# 止水栓・止水栓ボックス

止水栓及び止水栓ボックス  
SB-13, 20, 25

平面図

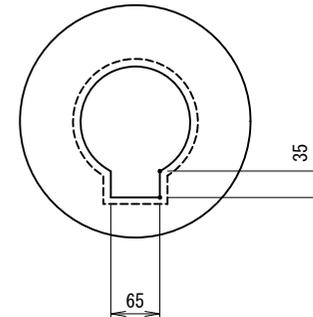


断面図

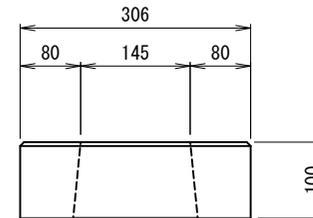


止水栓保護枠

平面図



断面図



名称	算式	単位	数量
基礎	0.30×0.30×10	m <sup>2</sup>	0.90

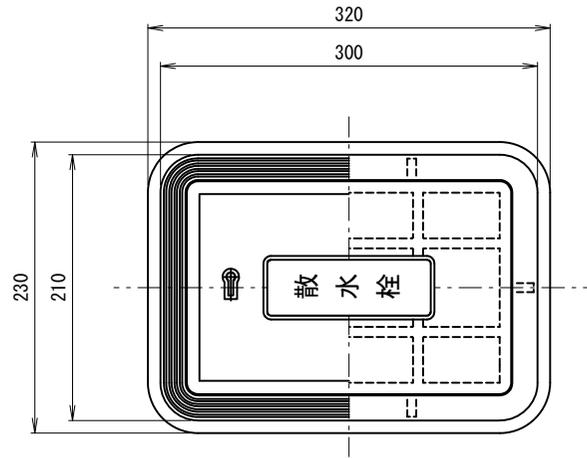
10基当り

## 仕様

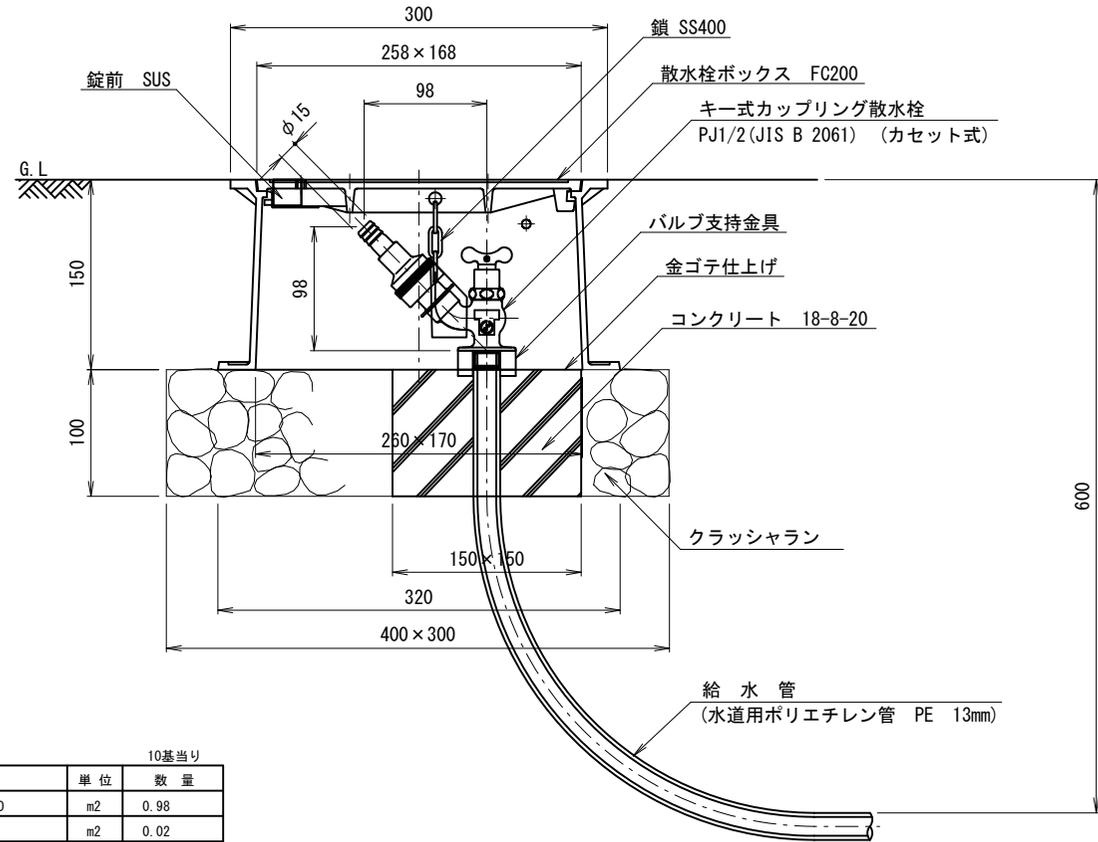
- ・給水管は、水道用ポリエチレン管(1種・二層管)PE 13mm, 20mm, 25mmとする。
- ・止水バルブとPE管はベントで継ぐ。
- ・重車面の場合は、別途検討すること。

# 散水栓・散水栓ボックス

平面図



断面図



10基当り

名称	算式	単位	数量
基礎	$(0.30 \times 0.40 - 0.15 \times 0.15) \times 10$	m <sup>2</sup>	0.98
コンクリート	$0.15 \times 0.15 \times 0.1 \times 10$	m <sup>2</sup>	0.02
型枠(均し)	$0.15 \times 4 \times 0.1 \times 10$	m <sup>2</sup>	0.60

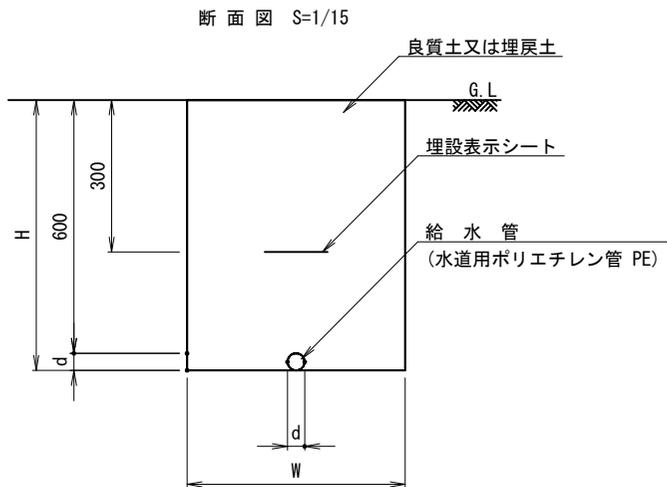
## 仕様

・給水管は、水道用ポリエチレン管(1種・二層管)PE 13mmとする。

給水管・埋設標・埋設杭・埋設シート

給水管埋設

WM-13, 20, 25



寸法表

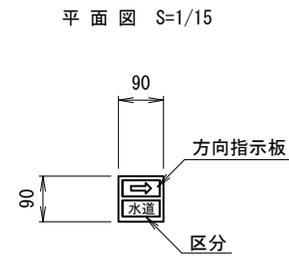
記号	呼び径	外径(d)	H	W
WM-13	13	21.5	620	420
WM-20	20	27.0	630	430
WM-25	25	34.0	640	440

仕様

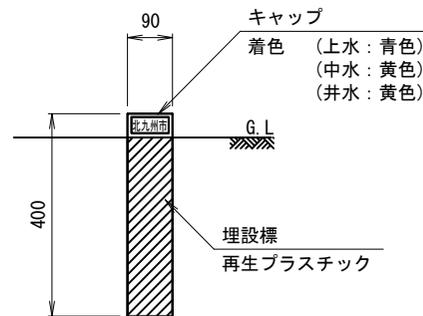
- 給水管は、水道用ポリエチレン管(1種・二層管) PE 13mm, 20mm, 25mmとする。
- 埋設表示シートは、ダブルの塩化ビニールシート(水色)とする。
- 埋設深さはH=600以上とする。車両、重量物など荷重を受ける場合は、別途考慮する。

埋設標

WMH



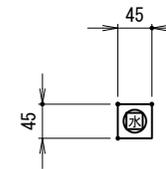
断面図 S=1/15



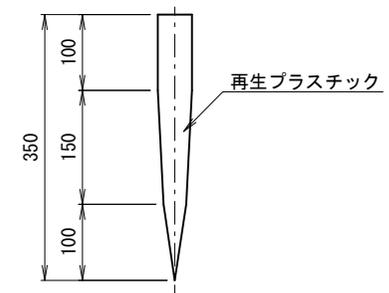
埋設杭

WMK

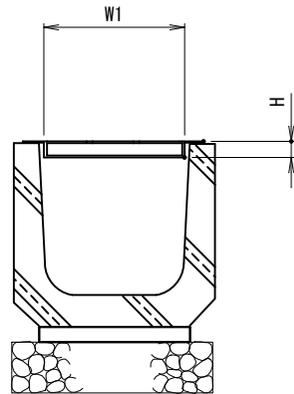
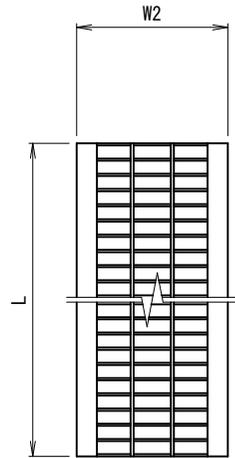
平面図 S=1/10



断面図 S=1/10



グレーチング蓋（普通目）



グレーチング蓋（普通目） 寸法表（参考）

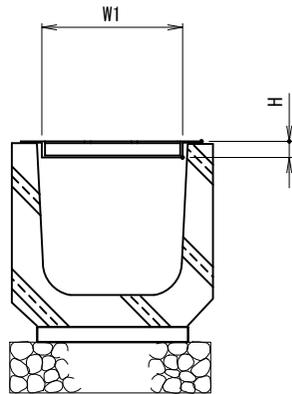
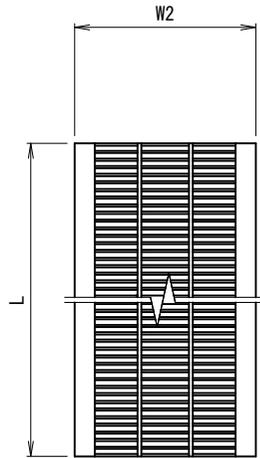
単位：mm

	L	W1	W2	H	耐荷重
180	995	165	225	19	歩行者用
	995	160	240	25	T-2, 6
240	995	225	285	19	歩行者用
	995	220	300	25	T-2
	995	220	300	32	T-6
300	995	285	345	19	歩行者用
	995	280	360	25	T-2
	995	280	360	38	T-6

仕 様

- ・グレーチング蓋は、U型側溝用とする。
- ・グレーチング蓋の材質は JIS G 3101（一般構造用圧延鋼材）SS400 とし、溶融亜鉛めっきをした製品とする。
- ・グレーチング蓋は、ねじ止め式連結により、3枚ごとに結束する。
- ・グレーチング蓋を曲線部に設置する場合、工場において端部処理を行う。

グレーチング蓋 (細目)



グレーチング蓋 (細目) 寸法表 (参考)

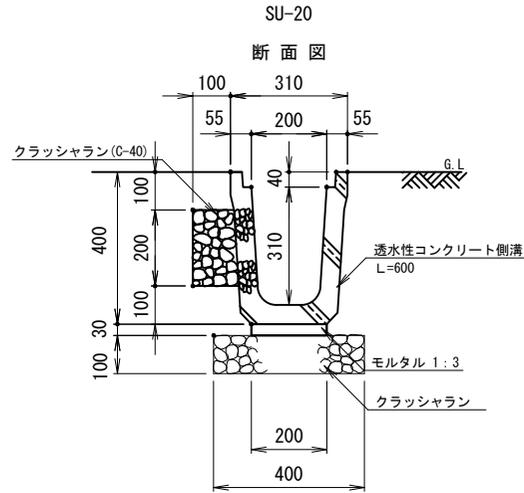
単位 : mm

	L	W1	W2	H	耐荷重
180	997	165	225	19	歩行者用, T-2, 6
240	997	225	285	19	歩行者用, T-2
	997	220	300	25	T-6
300	997	285	345	19	歩行者用
	997	280	360	25	T-2
	997	280	360	32	T-6

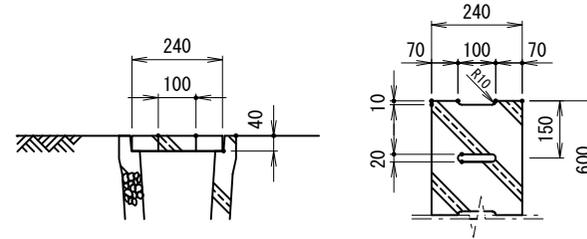
仕 様

- ・グレーチング蓋は、U型側溝用とする。
- ・グレーチング蓋の材質は JIS G 3101 (一般構造用圧延鋼材) SS400 とし、溶融亜鉛めっきをした製品とする。
- ・グレーチング蓋は、ねじ止め式連結により、3枚ごとに結束する。
- ・グレーチング蓋を曲線部に設置する場合、工場において端部処理を行う。

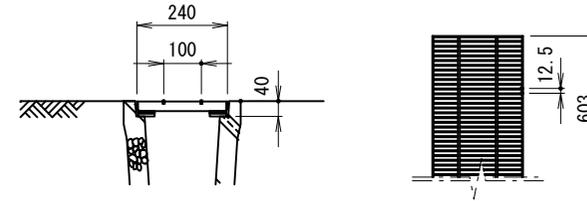
スポーツU型側溝 (SU-20)



SU-20 コンクリート蓋詳細



SU-20 グレーチング蓋詳細図

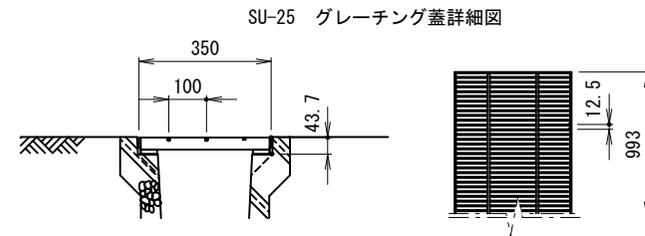
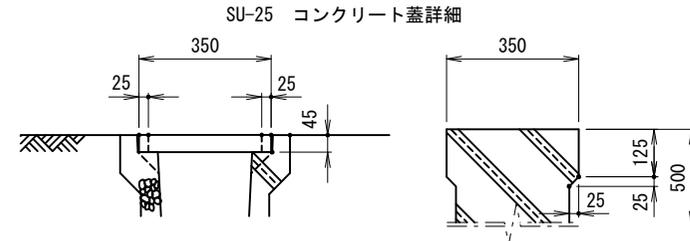
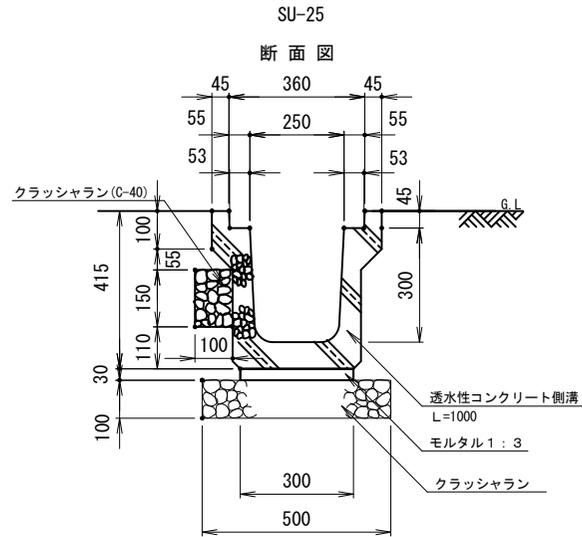


			10m当り
名称	算式	単位	数量
基礎	0.40×10.0	m <sup>2</sup>	4.0
モルタル(1:3)	0.20×0.03×10.0	m <sup>3</sup>	0.06
クラッシュラン	0.20×0.10×10.0	m <sup>3</sup>	0.20

仕 様

- ・SU-20は通常の場合に使用する。
- ・SU-20グレーチング蓋の強度は、歩行者程度とする。

スポーツU型側溝 (SU-25)



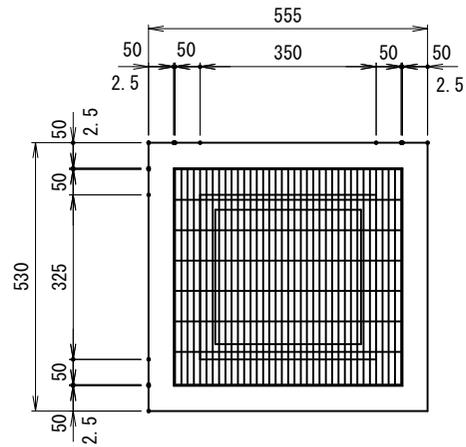
SU-25			10m当り
名称	算式	単位	数量
基礎	0.50×10.0	m2	5.0
モルタル(1:3)	0.30×0.03×10.0	m3	0.09
クラッシュラン	0.15×0.10×10.0	m3	0.15

仕 様

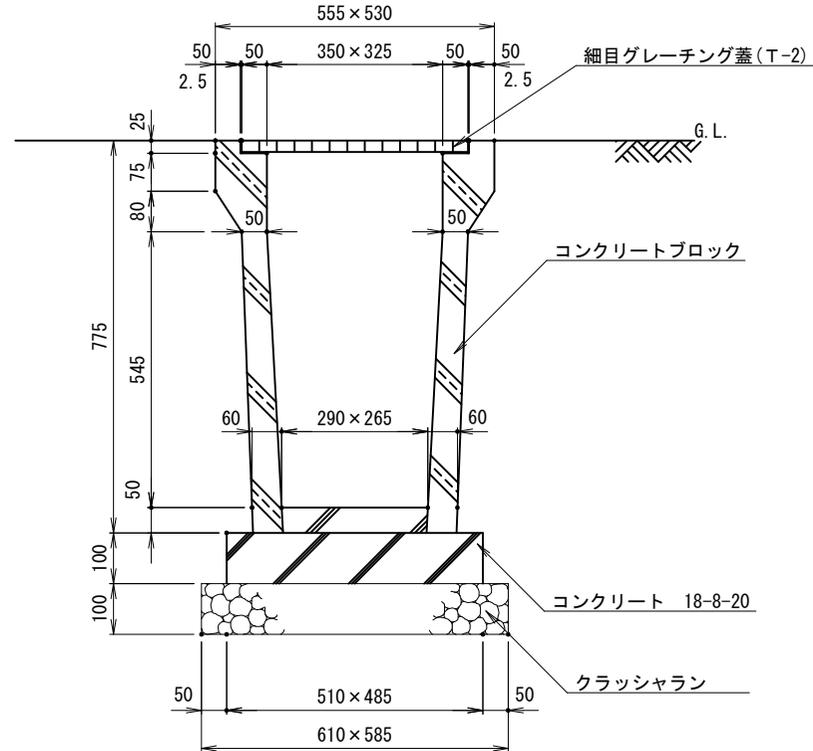
- ・SU-25は管理車両が通過する場合に使用する。
- ・SU-25グレーチング蓋の強度は、T-2とする。

集水枡 (管渠用)

平面図



断面図



10基当り

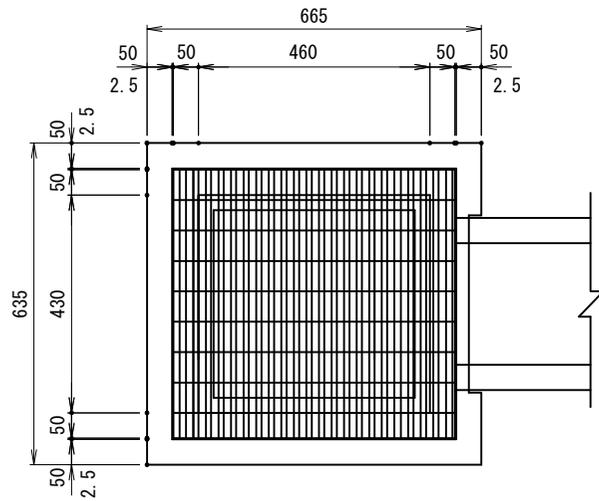
名称	算式	単位	数量
基礎	$0.610 \times 0.585 \times 10$	m <sup>2</sup>	3.6
コンクリート	$(0.510 \times 0.485 \times 0.100 + 0.290 \times 0.265 \times 0.050) \times 10$	m <sup>3</sup>	0.29
型枠(均し)	$(0.510 + 0.485) \times 2 \times 0.1 \times 10$	m <sup>2</sup>	1.99

仕様

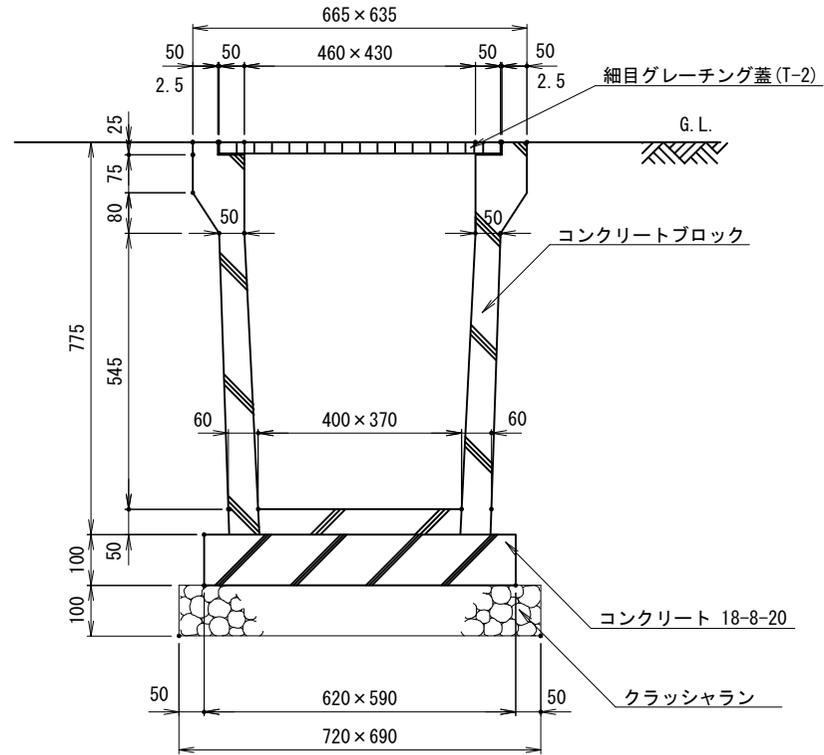
- ・コンクリートブロックは、JIS表示工場で製造された製品とする。
- ・グレーチング蓋の部材は、JIS G3101 2種 SS-41とし、溶融亜鉛めっきを行う。

集水樹 (側溝用)

平面図



断面図



10基当り

名称	算式	単位	数量
基礎	$0.72 \times 0.69 \times 10$	m <sup>2</sup>	5.0
コンクリート	$(0.62 \times 0.59 \times 0.10 + 0.40 \times 0.37 \times 0.05) \times 10$	m <sup>3</sup>	0.44
型枠(均し)	$(0.62 + 0.59) \times 2 \times 0.1 \times 10$	m <sup>2</sup>	2.42

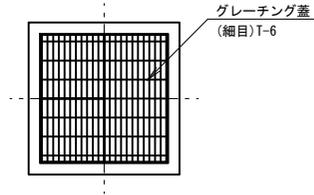
仕様

- ・コンクリートブロックは、JIS表示工場で製造された製品とする。
- ・グレーチング蓋の部材は、JIS G3101 2種 SS-41とし、溶融亜鉛めっきを行う。

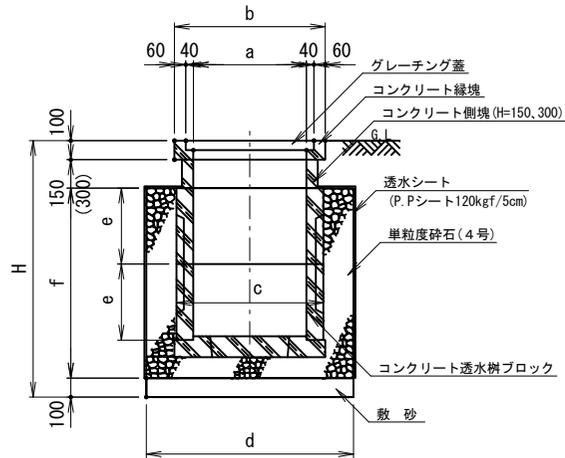
浸透樹 (参考図)

SM-A, B, C

平面図



断面図



浸透樹寸法表 (参考)

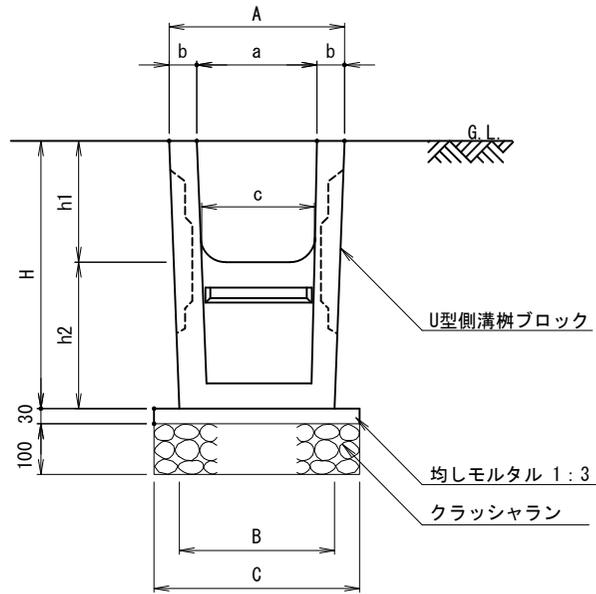
記号	a	b	c	d	e	f	コンクリート側塊	H	グレーチング蓋
SM-A	450	650	570	850	300	800	0(なし)	1,000	515 × 515 × 50
							150	1,150	
							300	1,300	
SM-B	500	700	620	900	300	800	0(なし)	1,000	565 × 565 × 50
							150	1,150	
							300	1,300	
SM-C	600	800	780	1,100	400	1,000	0(なし)	1,200	665 × 665 × 60
							150	1,350	
							300	1,500	

仕 様

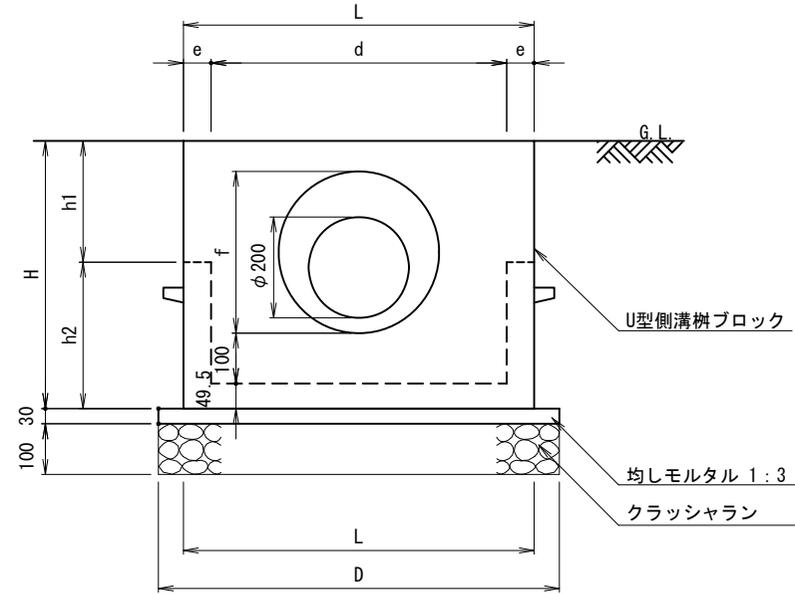
- ・設置する場合には、設置箇所の土質、地下水位を調べ、有効な浸透性があることを確認すること。
- ・土質が粘性土の場合は、本樹を使用しない。
- ・浸透樹の樹高は、コンクリート側塊で調整し、a, b, c の記号で、表記する。
- ・浸透樹の設置場所については、地形、土質等を考慮する。
- ・寸法、形状等はメーカーにより多少相違があるため、「参考図」として掲載している。
- ・製品の使用にあたっては、参考図以外のものでも同等品以上であれば使用できる。
- ・設計図書に参考図を使用する場合には、特別な理由のない限り「参考図」と明記すること。

# U型側溝枳

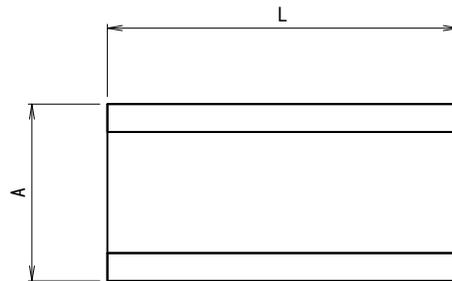
立面図



側面図



平面図



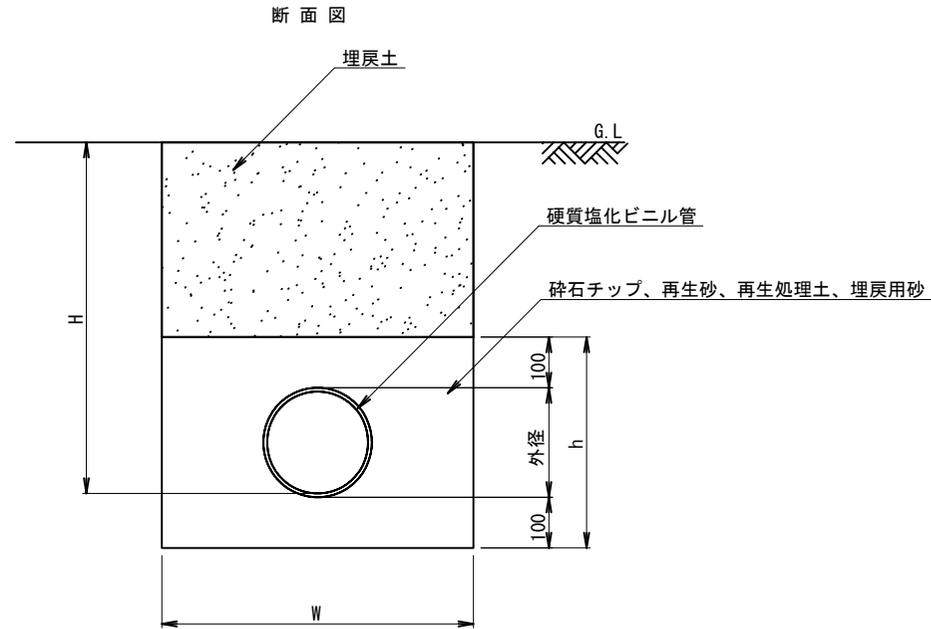
寸法表

	A	B	C	D	H	L	a	b	c	d	e	f
UM-18	270	250	350	700	400	600	180	45	170	520	40	φ210
UM-24	350	310	410	800	530	700	240	55	220	600	50	φ320
UM-30	420	340	440	1,000	660	900	300	60	260	780	60	φ380

仕様

・U型側溝枳ブロックは、JIS表示許可工場で製造された製品とする。

# 硬質塩化ビニル管



寸法表

記号	外径	W	h
VU-10	114	520	314
VU-15	165	570	365
VU-20	216	620	416
VU-25	267	670	467
VU-30	318	720	518
VU-35	370	770	570
VU-40	420	820	620

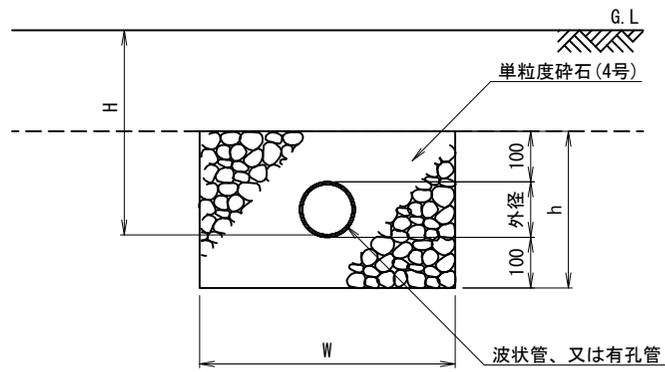
様式

- ・硬質塩化ビニール管は、JIS製品(JIS K 6741)とする。
- ・H寸法は図面特記による。

有孔暗渠管

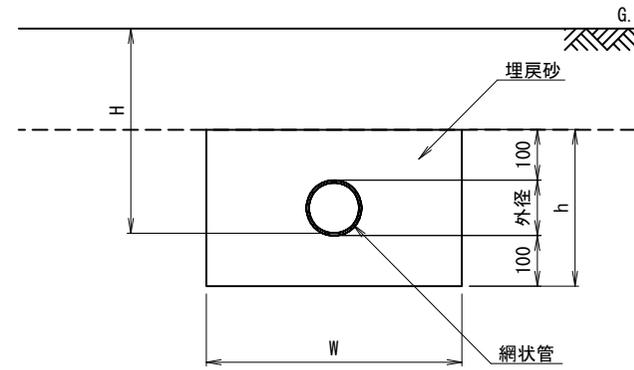
AP-8A~AP-20A

断面図



AP-8B~AP-20B

断面図



寸法表 (参考)

記号	呼径	外径	W	h
AP-8	75	80	340	280
AP-10	100	101	360	301
AP-15	150	152	420	352
AP-20	200	207	480	407

注意

- ・暗渠の断面形状は、地表面の状態、舗装の構造、暗渠の種類、荷重に対する深さ等を考慮して決定すること。

仕様

- ・波状管は高密度ポリエチレン製、JIS規格製品 (K6748) とする。
- ・波状管の形状及び継手部の詳細については、メーカー仕様による。
- ・H寸法は図面特記による。

【 引込ポール製作仕様 】

□構造一般

- ・ポール強度は、風速60m/sの風圧力（風荷重）に耐えるものとする。
- ・ポール強度計算は、JIL1003「照明用ポール強度計算基準」に準拠する。
- ・主要部材の厚みは次を満足すること。  
 上部部材：SS又はSTK400 φ 89.1mm×t3.2mm  
 下部部材：SS又はSTK400 φ 139.8mm×t3.5mm

□溶融亜鉛めっき

- ・溶融亜鉛めっきは、JIS H 8641:2007「溶融亜鉛めっき」に準拠する。
- ・めっきの種類は、2種45(HDZT63)とする。

□外面塗装

- ① 前処理：スィープブラスト処理  
 （あるいは、りん酸塩処理）
- ② 下塗：亜鉛めっき面用エポキシ樹脂塗料  
 （目標膜厚40μm）
- ③ 中塗：ポリウレタン樹脂塗料（目標膜厚30μm）
- ④ 上塗：ポリウレタン樹脂塗料（目標膜厚25μm）  
 ・製造者の塗装仕様が、上記の塗装仕様と同等以上と認められる場合は、製造者の塗装仕様に準じてよい。  
 ・上塗塗装色は、黒色とする。

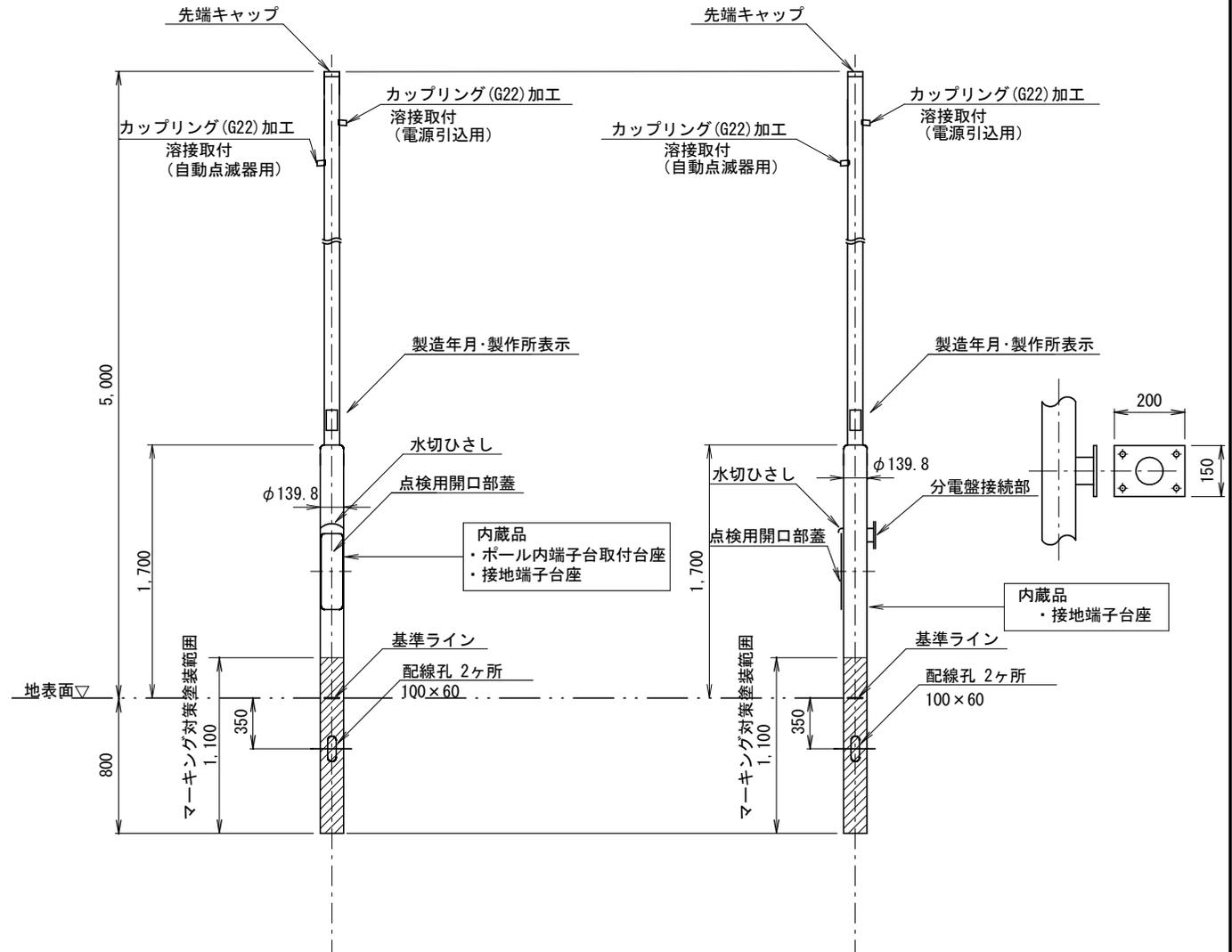
□マーキング対策塗装

外面塗装完了後に

- ① 下塗：ノンタールエポキシ樹脂塗料（目標膜厚60μm）
- ② 上塗：ノンタールエポキシ樹脂塗料（目標膜厚60μm）

□先端キャップ

ステンレス製、ステンビス留とする。



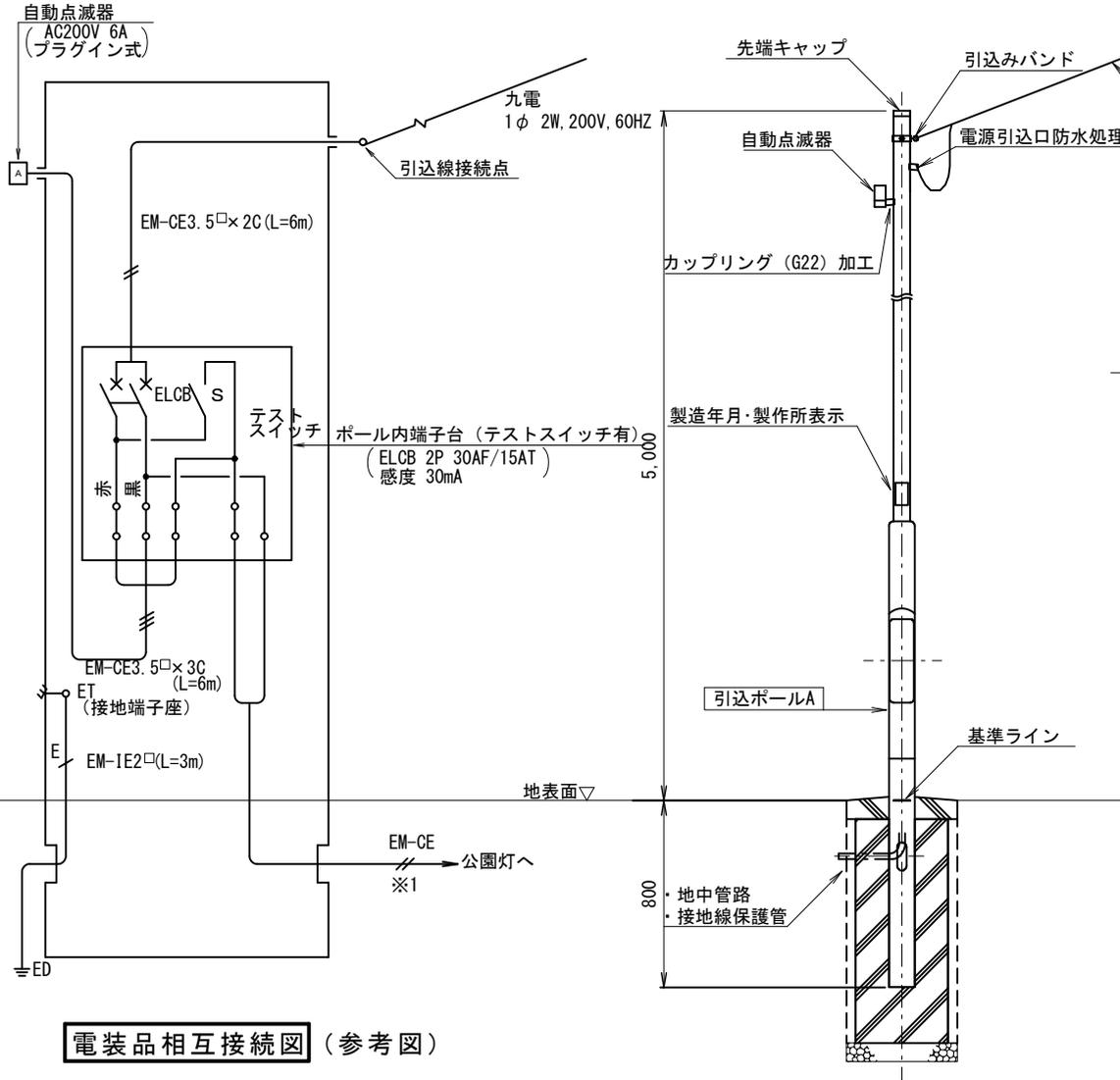
引込ポールA  
記号：ST-PA

（公衆外灯A契約用）

引込ポールB  
記号：ST-PB

（公衆外灯B契約用）

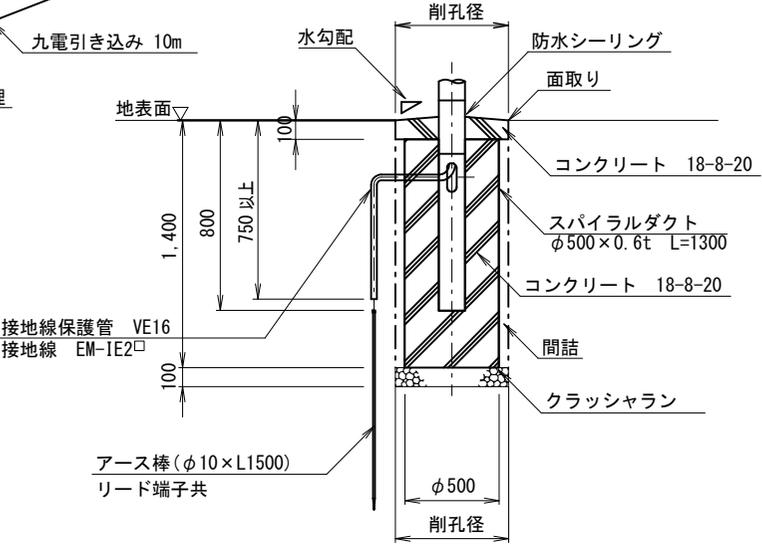
基準単価コード PD07591  
PD07586



電装品相互接続図 (参考図)

※1 電線サイズは電圧降下を考慮して決定する。

基礎詳細図



【 接地工事の注意点 】

- ・ 接地極埋設深さは、接地棒の上端が地表面下0.75mより深いものとする。
- ・ 接地線は地表面下0.75mより浅い部分はVEで保護する。

【 基礎施工の注意点 】

- ・ 基礎は、ポール・灯具が受ける風速60m/sの応力に耐える構造とする。
- ・ 基礎の天端是水勾配をつける。
- ・ 基礎の天端のポール接合部は、シリコン系シーリング材でシーリングする。
- ・ 間詰は、砂・埋戻土・改良土等とする。

【 電気施工の注意点 】

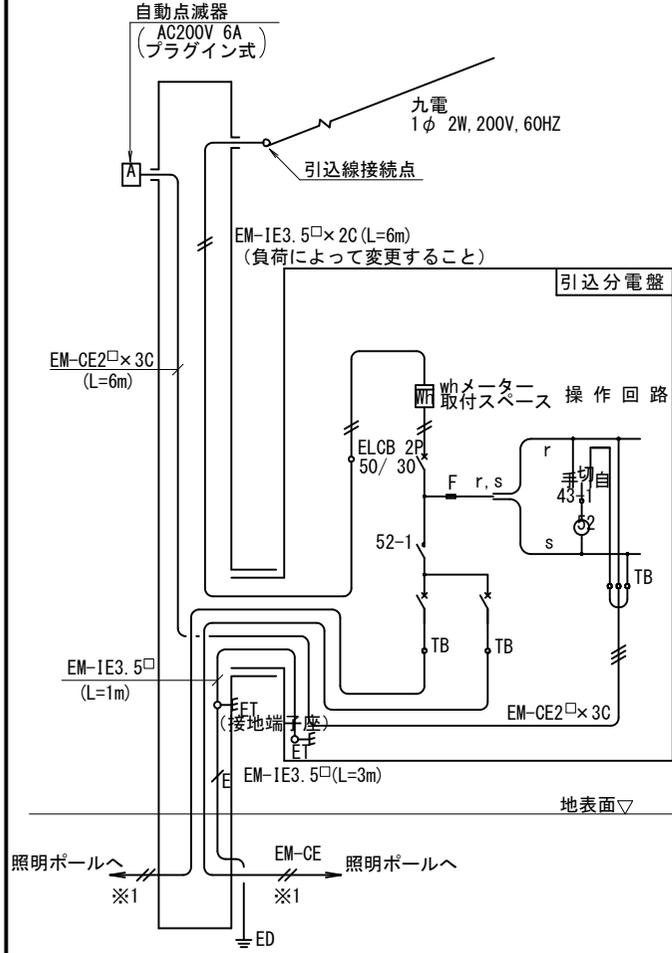
- ・ 電線配線には、ケーブル案内札を取付ける。
- ・ ポール内に引込んだ管路の管端は防湿対策のため、シーリング材を充填する。

北九州市土木構造物標準図	図面名称	引込A (公衆外灯A契約用)	縮尺	S=1/40	備考	改定年月	前回 平成 22 年 4 月 最新 平成 28 年 11 月	5 2
--------------	------	-------------------	----	--------	----	------	-----------------------------------	--------

基準単価コード

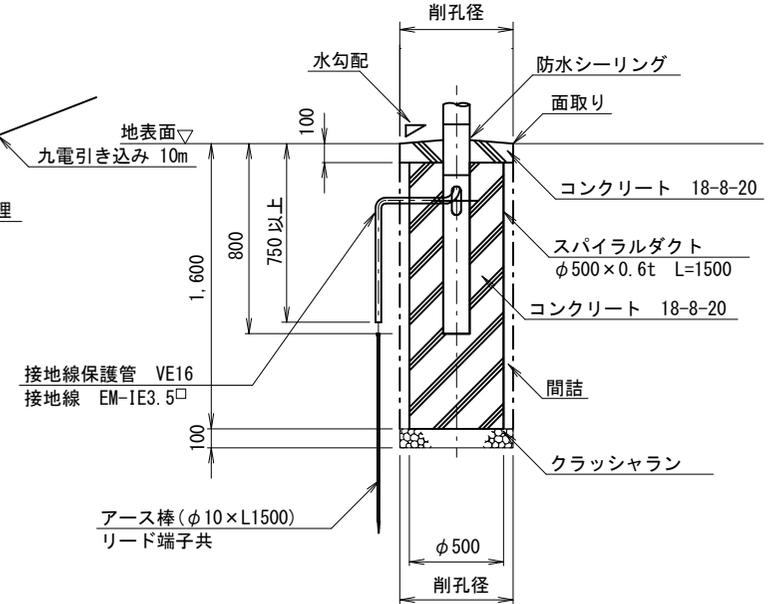
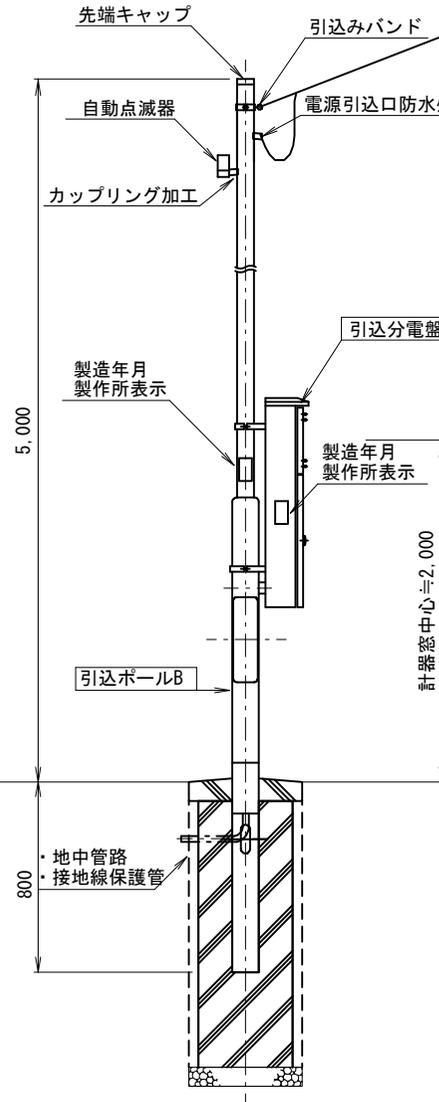
PD07591  
PD07586

基礎詳細図



電装品相互接続図 (参考図)

※1 電線サイズは電圧降下を考慮して決定する。



【 接地工事の注意点 】

- ・ 接地極埋設深さは、接地棒の上端が地表面下0.75mより深いものとする。
- ・ 接地線は地表面下0.75mより浅い部分はVEで保護する。

【 基礎施工の注意点 】

- ・ 基礎は、ポール・灯具が受ける風速60m/sの応力に耐える構造とする。
- ・ 基礎の天端是水勾配をつける。
- ・ 基礎の天端のポール接合部は、シリコン系シーリング材でシーリングする。
- ・ 間詰は、砂・埋戻土・改良土等とする。

【 電気施工の注意点 】

- ・ 電線配線には、ケーブル案内札を取付ける。
- ・ ポール内に引込んだ管路の管端は防湿対策のため、シーリング材を充填する。

### 引込Aタイプ

引込柱数量表

No	名称	型式・仕様	備考	数量	単位
1	引込ポールA	鋼管製埋込型 (溶融亜鉛めっき:HDZ45+ホリカシ樹脂塗装2回)		1	本
2	引込バンド	溶融亜鉛めっき		1	個
3	自動点滅器	AC200V 6A プラグイン方式		1	台
4	ポール内端子台		表-1	1	個
5	ケーブル	600V EM-CE 3.5sq×2c		6	m
6	ケーブル	600V EM-CE 3.5sq×3c		6	m

ポール基礎数量表(1基当り)

No	名称	型式・仕様	備考	数量	単位
1	コンクリート	$\phi 180\text{kg}/\text{cm}^2\text{-}8\text{-}20$ $(0.5/2)^2 \times 3.14 \times 1.3 + (0.6/2)^2 \times 3.14 \times 0.1$		0.28	m3
2	スパイラルダクト	内径500φ		1.3	m
3	円形紙管(ポイド)	内径600φ		0.1	m
4	クラッシュラン	$(0.6/2)^2 \times 3.14$		0.28	m2
5	間詰	砂・埋戻土・改良土等 $(0.6/2)^2 \times 3.14 \times 1.3 - (0.5/2)^2 \times 3.14 \times 1.3$		0.11	m3
6	接地線保護管	VE 16		1	m
7	電線	600V EM-1E 2sq		3	m
8	接地棒	連結式(10φ×L=1500) リード端子共		1	式

表-1 ポール内端子台

記号	呼称(種別)	型式・仕様	備考
PPT-A	ポール内端子台(防水ボックスタイプ)	ELCB 2P30AF/15AT TS付き	
PPT-B	ポール内端子台(防水カバータイプ)	ELCB 2P30AF/15AT TS付き	

※立上り電線(出)は電線サイズに応じて別途計上する。  
 ※電線サイズは電圧降下を考慮して決定する。

**引込Bタイプ**

引込柱数量表

No	名称	型式・仕様	備考	数量	単位
1	引込ポールB	鋼管製埋込型・分電盤接続部付き (溶融亜鉛めっき:HDZ45+ホ'リレタン樹脂塗装2回)		1	本
2	引込バンド	溶融亜鉛めっき		1	個
3	自動点滅器	AC200V 6A プラグイン方式		1	台
4	ケーブル	600V EM-CE 3.5sq×2c		6	m
5	ケーブル	600V EM-CE 2sq×3c		6	m
6	電線	600V EM-1E 3.5sq	接地	1	m
		(注) 分電盤は別途計上のこと			

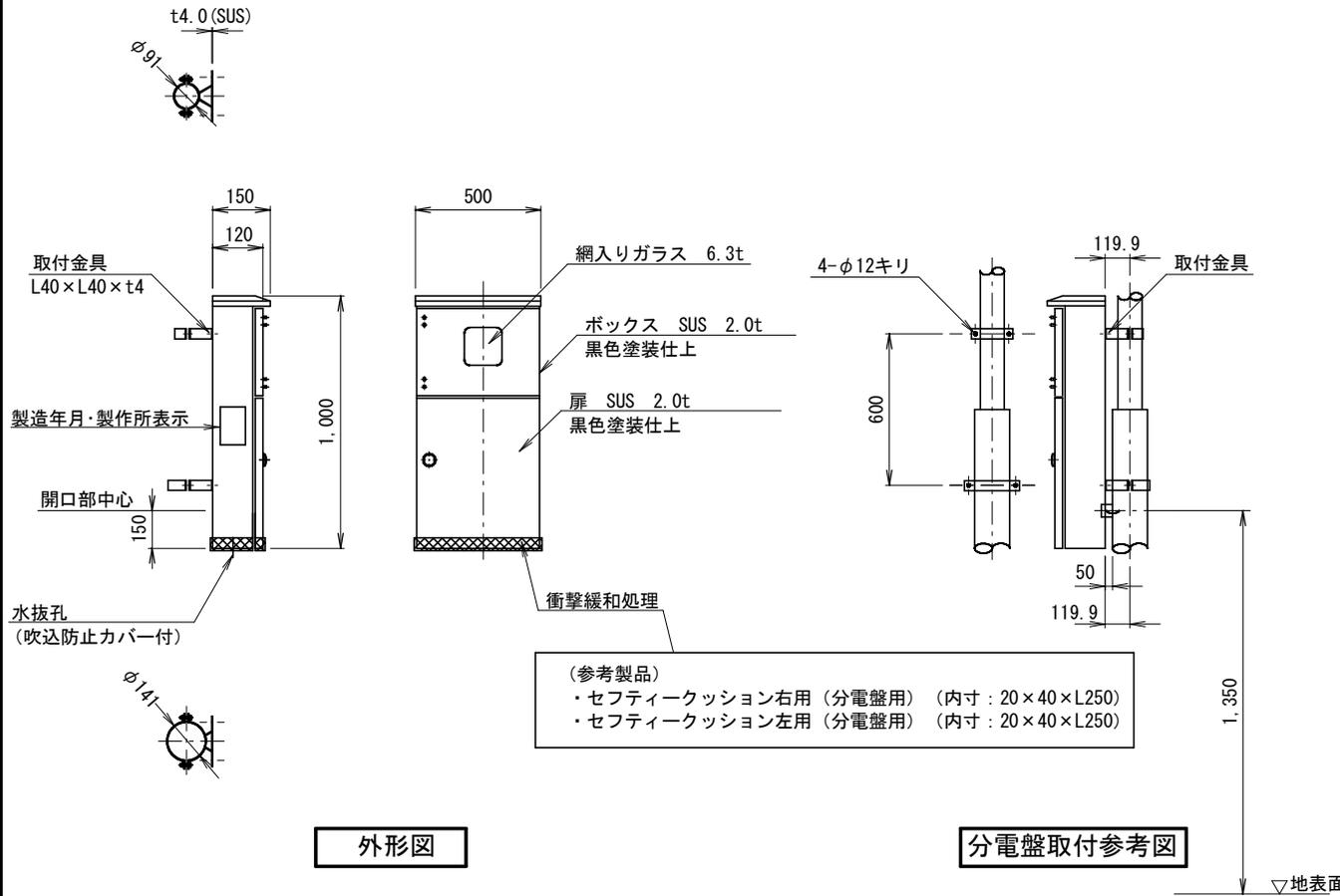
\*1負荷によってサイズ変更すること

ポール基礎数量表(1基当り)

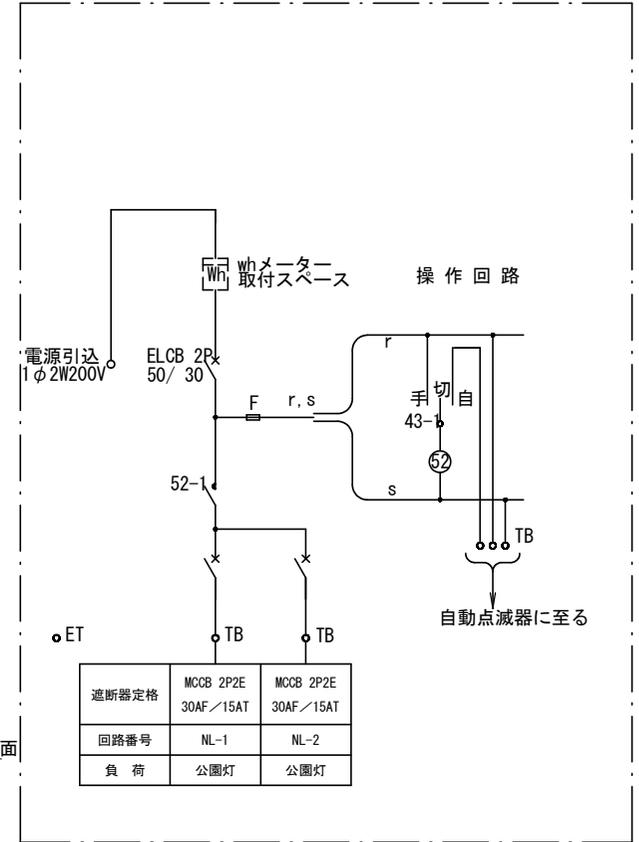
No	名称	型式・仕様	備考	数量	単位
1	コンクリート	$\delta$ 180kg/cm <sup>2</sup> -8-20 $(0.5/2)^2 \times 3.14 \times 1.5 + (0.6/2)^2 \times 3.14 \times 0.1$		0.32	m <sup>3</sup>
2	スパイラルダクト	内径500φ		1.5	m
3	円形紙管(ボイド)	内径600φ		0.1	m
4	クラッシュラン	$(0.6/2)^2 \times 3.14$		0.28	m <sup>2</sup>
5	間詰	砂・埋戻土・改良土等 $(0.6/2)^2 \times 3.14 \times 1.5 - (0.5/2)^2 \times 3.14 \times 1.5$		0.13	m <sup>3</sup>
6	接地線保護管	VE 16		1	m
7	電線	600V EM-1E 3.5sq		3	m
8	接地棒	連結式(10φ×L=1500)リード端子共		1	式

※立上り電線(出)は電線サイズに応じて別途計上する。

※電線サイズは電圧降下を考慮して決定する。



(参考製品)  
 ・セフティークッション右用(分電盤用) (内寸: 20×40×L250)  
 ・セフティークッション左用(分電盤用) (内寸: 20×40×L250)



遮断器定格	MCCB 2P2E 30AF/15AT	MCCB 2P2E 30AF/15AT
回路番号	NL-1	NL-2
負荷	公園灯	公園灯

【製作仕様】

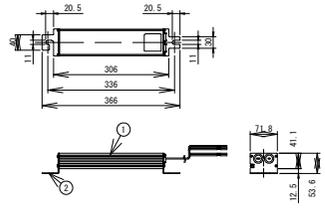
- ・函体(蝶番含む)はSUSにより製作する。
- ・取付金具はSUSにより製作する。
- ・函体及び取付金具は一体構造とする。
- ・内部に製造所、製造年月、施工者名、施工年月を記載したプレートを取付ける。
- ・扉部分に図面を収容できる構造物を取付ける。
- ・錠は容易に操作できない錠穴形状のものを使用する。
- ・水抜き穴は、吹込防止カバーを付ける。

照明器具図  
E50061/NSAJ9

部番	部品名称	材質・材厚	数	備考
1	支柱ホルダ	アルミダイカスト	1	黒色塗装 (マゼM1)
2	枠	アルミダイガスト	1	黒色塗装 (マゼM1)
3	セード	ステンレス	1	黒色塗装 (マゼM1)
4	グローブ	アクリル	1	乳白

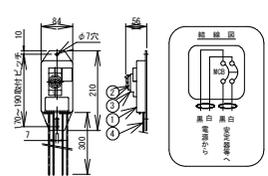
【注意事項】

- 公園灯のポール内部に設置する。
- 防水構造とする。
- 端子台は配線サイズに適用できること。
- 寸法、形状等はメーカーにより相違があるため、「参考図」として掲載している。
- 製品の使用にあたっては、参考図以外のものでも同等品以上であれば使用できる。

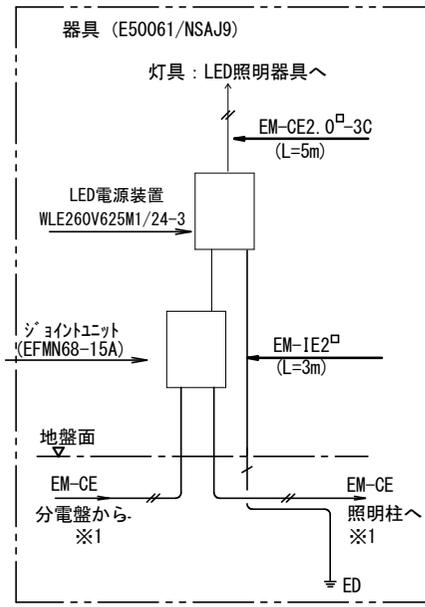


部番	部品名	材質・材厚	数	備考
1	ケース	アルミ押出材	1	アルマイト処理
2	取付金具	ステンレス板	1	脱脂処理

ジョイントユニット  
EFMN68-15A



部番	部品名	材質・材厚	数	備考
1	本体	ABS樹脂	1	黒色
2	ラレック (M08)	1	2P 30AF 1SA1 100/200	
3	ラレックカバー	ポリPM	1	黒色
4	リード線	導線径1.5mm 長さ1.5m	1	



※1 電線サイズは、電線降下を考慮して決定する。

電装品相互接続図

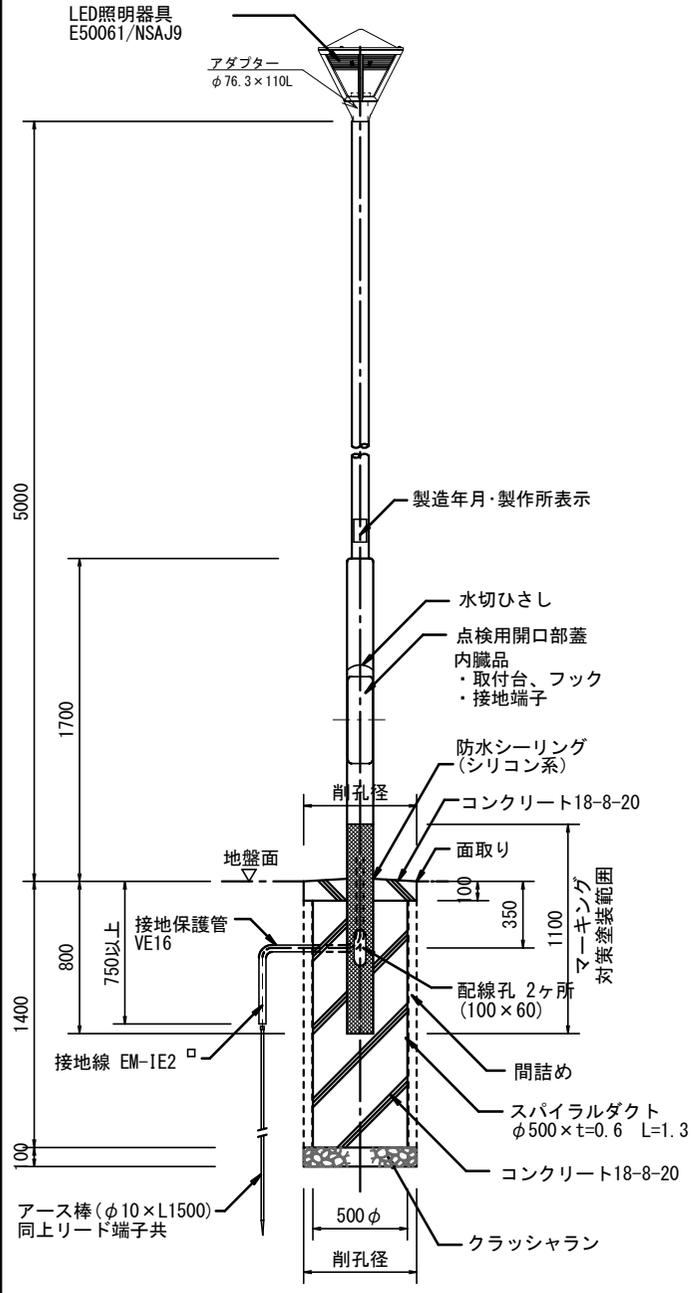
【照明ポール製作仕様】

- 構造一般
- ポール強度は、風速60m/sの風圧力 (風荷重) に耐えるものとする。
  - ポール強度計算は、JIL1003「照明用ポール強度計算基準」に準拠する。
  - 主要部材の厚みは次を満足すること。  
上部部材: SS又はSTK400 φ 89.1mm×t3.2mm  
下部部材: SS又はSTK400 φ 139.8mm×t3.5mm
- 溶融亜鉛めっき
- 溶融亜鉛めっきは、JIS H 8641:2007「溶融亜鉛めっき」に準拠する。
  - めっきの種類は、2種45 (HDZT63) とする。
- 外面塗装
- 前処理: スイープラスト処理 (あるいは、りん酸塩処理)
  - 下塗: 亜鉛めっき面用エポキシ樹脂塗料 (目標膜厚40μm)
  - 中塗: ポリウレタン樹脂塗料 (目標膜厚30μm)
  - 上塗: ポリウレタン樹脂塗料 (目標膜厚25μm)
- 製造者の塗装仕様が、上記の塗装仕様と同等以上と認められる場合は、製造者の塗装仕様に基づいてよい。
  - 上塗塗色は、黒色とする。
- マーキング対策塗装
- 外面塗装完了後に
- 下塗: ノンターールエポキシ樹脂塗料 (目標膜厚60μm)
  - 上塗: ノンターールエポキシ樹脂塗料 (目標膜厚60μm)

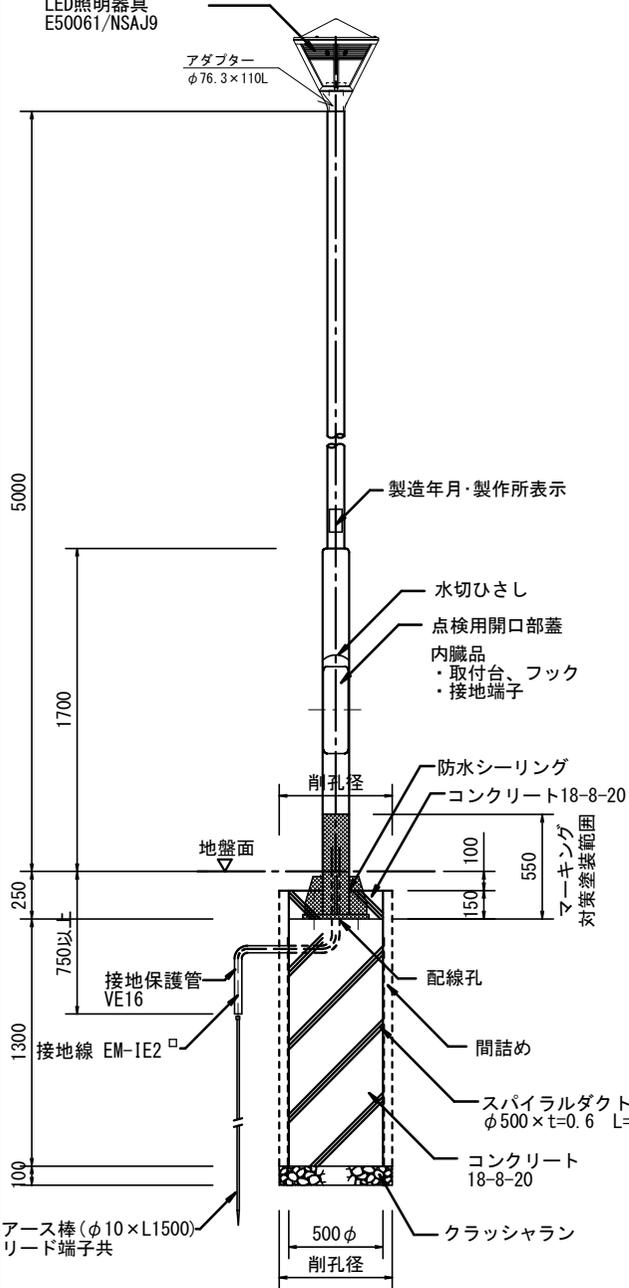
- 【接地工事の注意点】
- 接地極埋設深さは、接地棒の上端が地表面下0.75mより深いものとする。
  - 接地線は地表面下0.75mより浅い部分はVEで保護する。

- 【基礎施工の注意点】
- 基礎は、ポール・灯具が受ける風速60m/sの応力に耐える構造とする。
  - 基礎の天端は水勾配をつける。
  - 基礎の天端のポール接合部は、シリコン系シーリング材でシーリングする。
  - 間詰めは、砂・埋戻土・改良土等とする。

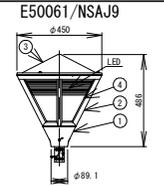
- 【電気施工の注意点】
- 電源配線にはケーブル案内札を付ける。
  - ポール内に引込んだ管路の管端は防湿対策のため、シーリング材を充填する。



LED照明器具  
E50061/NSAJ9



照明器具図



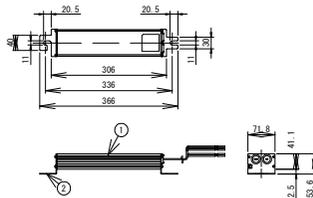
部番	部品名称	材質・材厚	数	備考
1	支柱ホルダ	アルミダイカスト	1	黒色塗装(マゼM1)
2	枠	アルミダイガスト	1	黒色塗装(マゼM1)
3	セード	ステンレス	1	黒色塗装(マゼM1)
4	グローブ	アクリル	1	乳白

【注意事項】

- 公園灯のポール内部に設置する。
- 防水構造とする。
- 端子台は配線サイズに適用できること。
- 寸法、形状等はメーカーにより相違があるため、「参考図」として掲載している。
- 製品の使用にあたっては、参考図以外のものでも同等品以上であれば使用できる。

LED電源装置

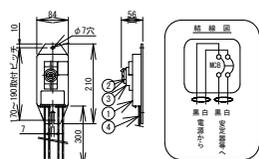
WLE260V625M1/24-3



部番	部品名	材質・材厚	数	備考
1	ケース	アルミ押出材	1	アルマイト処理
2	取付金具	ステンレス板	1	脱脂処理

ジョイントユニット

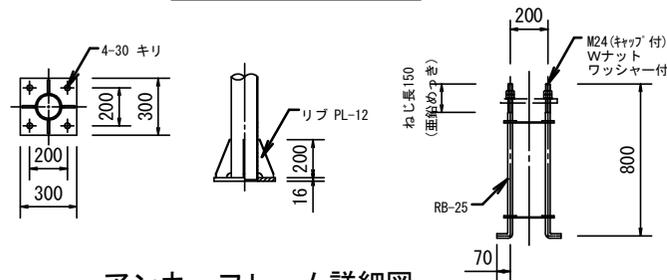
EFMN68-15A



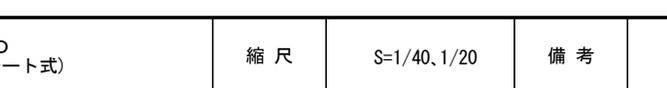
部番	部品名	材質・材厚	数	備考
1	ケース	ABS樹脂	1	黒色
2	フレーム	鋼板	1	2.30AF ISAI 100/200V
3	フレームカバー	EPDM	1	黒色
4	リード線	EM-IE2種 1.5×0.75mm	1	黒色

※1 電線サイズは、電線降下を考慮して決定する。

電装品相互接続図



アンカーフレーム詳細図



【照明ポール製作仕様】

- 構造一般
- ポール強度は、風速60m/sの風圧力(風荷重)に耐えるものとする。
  - ポール強度計算は、JIL1003「照明用ポール強度計算基準」に準拠する。
  - 主要部材の厚みは次を満足すること。  
上部部材: SS又はSTK400 φ89.1mm×t3.2mm  
下部部材: SS又はSTK400 φ139.8mm×t3.5mm
- 溶融亜鉛めっき
- 溶融亜鉛めっきは、JIS H 8641:2007「溶融亜鉛めっき」に準拠する。
  - めっきの種類は、2種45(HDZT63)とする。
- 外面塗装
- 前処理: スイブプラスト処理(あるいは、りん酸塩処理)
  - 下塗: 亜鉛めっき面用エポキシ樹脂塗料(目標膜厚40μm)
  - 中塗: ポリウレタン樹脂塗料(目標膜厚30μm)
  - 上塗: ポリウレタン樹脂塗料(目標膜厚25μm)
- ・製造者の塗装仕様が、上記の塗装仕様と同等以上と認められる場合は、製造者の塗装仕様に準じてよい。
- ・上塗塗色は、黒色とする。
- マーキング対策塗装
- 外面塗装完了後に
- 下塗: ノンタルエポキシ樹脂塗料(目標膜厚60μm)
  - 上塗: ノンタルエポキシ樹脂塗料(目標膜厚60μm)

【接地工事の注意点】

- 接地極埋設深さは、接地棒の上端が地表面下0.75mより深いものとする。
- 接地線は地表面下0.75mより浅い部分はVEで保護する。

【基礎施工の注意点】

- 基礎は、ポール・灯具が受ける風速60m/sの応力に耐える構造とする。
- 基礎の天端は水勾配をつける。
- 基礎の天端のポール接合部は、シリコン系シーリング材でシーリングする。
- 間詰は、砂・埋戻土・改良土等とする。

【電気施工の注意点】

- 電源配線にはケーブル案内札をつける。
- ポール内に引込んだ管路の管端は防湿対策のため、シーリング材を充填する。

公園灯LED(埋込式)タイプ

公園灯柱数量表

No	名称	型式・仕様	備考	数量	単位
1	灯具	E50061/NSAJ9 (専用電源装置 WLE260V625M1/24-3)		1	台
2	ランプ			1	個
3	ポール内配線器具	ポール内ジョイントユニット(EFMN68-15A)		1	台
4	照明ポール	埋込型(鋼管製) 溶融亜鉛めっき:HDZT63+ホリウレン樹脂塗装2回		1	本
5	ケーブル	600V EM-CE 2sq×3c		5	m

ポール基礎数量表(1基当り)

No	名称	型式・仕様	備考	数量	単位
1	コンクリート	$\delta 180\text{kg}/\text{cm}^2\text{-}8\text{-}20$ $(0.5/2)^2 \times 3.14 \times 1.3 + (0.6/2)^2 \times 3.14 \times 0.1$		0.28	m3
2	スパイラルダクト	内径500Φ		1.3	m
3	円形紙管(ポイド)	内径600Φ		0.1	m
4	クラッシュラン	$(0.6/2)^2 \times 3.14$		0.28	m2
5	間詰	砂・埋戻土・改良土等 $(0.6/2)^2 \times 3.14 \times 1.3 - (0.5/2)^2 \times 3.14 \times 1.3$		0.11	m3
6	接地線保護管	VE 16		1	m
7	電線	600V EM-1E 2sq		3	m
8	接地棒	連結式(10φ×L=1500mm)リード端子共		1	式

公園灯LED(ベースプレート式)タイプ

公園灯柱数量表

No	名称	型式・仕様	備考	数量	単位
1	灯具	E50061/NSAJ9 (専用電源装置 WLE260V625M1/24-3)		1	台
2	ランプ			1	個
3	ポール内配線器具	ポール内ジョイントユニット(EFMN68-15A)		1	台
4	照明ポール	埋込型(鋼管製) 溶融亜鉛めっき:HDZT63+ホリウレン樹脂塗装2回		1	本
5	ケーブル	600V EM-CE 2sq×3c		5	m

ポール基礎数量表(1基当り)

No	名称	型式・仕様	備考	数量	単位
1	コンクリート	$\delta 180\text{kg}/\text{cm}^2\text{-}8\text{-}20$ $(0.5/2)^2 \times 3.14 \times 1.3 + (0.5/2)^2 \times 3.14 \times 0.15$		0.28	m3
2	スパイラルダクト	内径500Φ		1.3	m
3	クラッシュラン	$(0.6/2)^2 \times 3.14$		0.28	m2
4	間詰	砂・埋戻土・改良土等 $(0.6/2)^2 \times 3.14 \times 1.45 - (0.5/2)^2 \times 3.14 \times 1.45$		0.13	m3
5	接地線保護管	VE 16		1	m
6	電線	600V EM-1E 2sq		3	m
7	接地棒	連結式(10φ×L=1500mm)リード端子共		1	式
8	組アンカー	固定枠付、4-M24×L800、200 <sup>t</sup> ワッ フック付、Wナット、FB-50×3 RBφ24-SS400、ネジ部溶融亜鉛めっき 先端保護キャップ付		1	組

※立上り電線(入)(出)は電線サイズに応じて別途計上する。

※電線サイズは電圧降下を考慮して決定する。

### 公園灯灯具・ランプ・安定器組合せ表

注) この表で示す「HID安定器」と表記した安定器は高圧ナトリウムランプツイン管180W、セラミックメタルハライドランプ190Wを点灯可能な兼用型の安定器である。

標準図灯具番号他			標準ランプ		安定器			照度分布シート
KS-1	岩崎電気㈱	H5793	高圧ナトリウムランプ ツイン管タイプ (NH-TW)	NH180FTW・L	100V	HID安定器 (一般形)	H2TC1B41 (100V用高力率)	KS-2NH-TW
					200V	HID安定器 (一般形)	H2CC2B352 (200V用高力率)	
			セラミックメタルハライド ランプ (CM)	M190FCLSP-W/BUD	100V	HID安定器 (一般形)	H2TC1B41 (100V用高力率)	KS-2CM
					200V	HID安定器 (一般形)	H2CC2B352 (200V用高力率)	
KS-2	パナニック電気㈱	YA44079	高圧ナトリウムランプ ツイン管タイプ (NH-TW)	NH180FTW・L	100V	HID安定器 (一般形)	2001HA-15G (100V用高力率)	KS-3NH-TW
					200V	HID安定器 (一般形)	2002HA-14G・L10 (200V用高力率)	
			セラミックメタルハライド ランプ (CM)	CM190F・L-LW/BU	100V	HID安定器 (一般形)	2001HA-15G (100V用高力率)	KS-3CM
					200V	HID安定器 (一般形)	2002HA-14G・L10 (200V用高力率)	
KS-3	パナニック電気㈱	YA44290	高圧ナトリウムランプ ツイン管タイプ (NH-TW)	NH180FTW・L	100V	HID安定器 (一般形)	2001HA-15G (100V用高力率)	KS-4NH-TW
					200V	HID安定器 (一般形)	2002HA-14G・L10 (200V用高力率)	
			セラミックメタルハライド ランプ (CM)	CM190F・L-LW/BU	100V	HID安定器 (一般形)	2001HA-15G (100V用高力率)	KS-4CM
					200V	HID安定器 (一般形)	2002HA-14G・L10 (200V用高力率)	
KS-4	東芝ライテック㈱	HG-33700(K) C-11	高圧ナトリウムランプ ツイン管タイプ (NH-TW)	NH180FTW・L-N	100V	HID安定器 (一般形)	2HT-1017HW-B (100V用高力率)	KS-5NH-TW
					200V	HID安定器 (一般形)	2HC-2025HW-B (200V用高力率)	

【 照明ポール製作仕様 】

□構造一般

- ・ポール強度は、風速60m/sの風圧力（風荷重）に耐えるものとする。
- ・ポール強度計算は、JIL1003「照明用ポール強度計算基準」に準拠する。
- ・主要部材の厚みは次を満足すること。  
上部部材：SS又はSTK400 φ 89.1mm×t3.2mm  
下部部材：SS又はSTK400 φ 139.8mm×t3.5mm

□溶融亜鉛めっき

- ・溶融亜鉛めっきは、JIS H 8641:2007「溶融亜鉛めっき」に準拠する。
- ・めっきの種類は、2種45(HDZ45)とする。

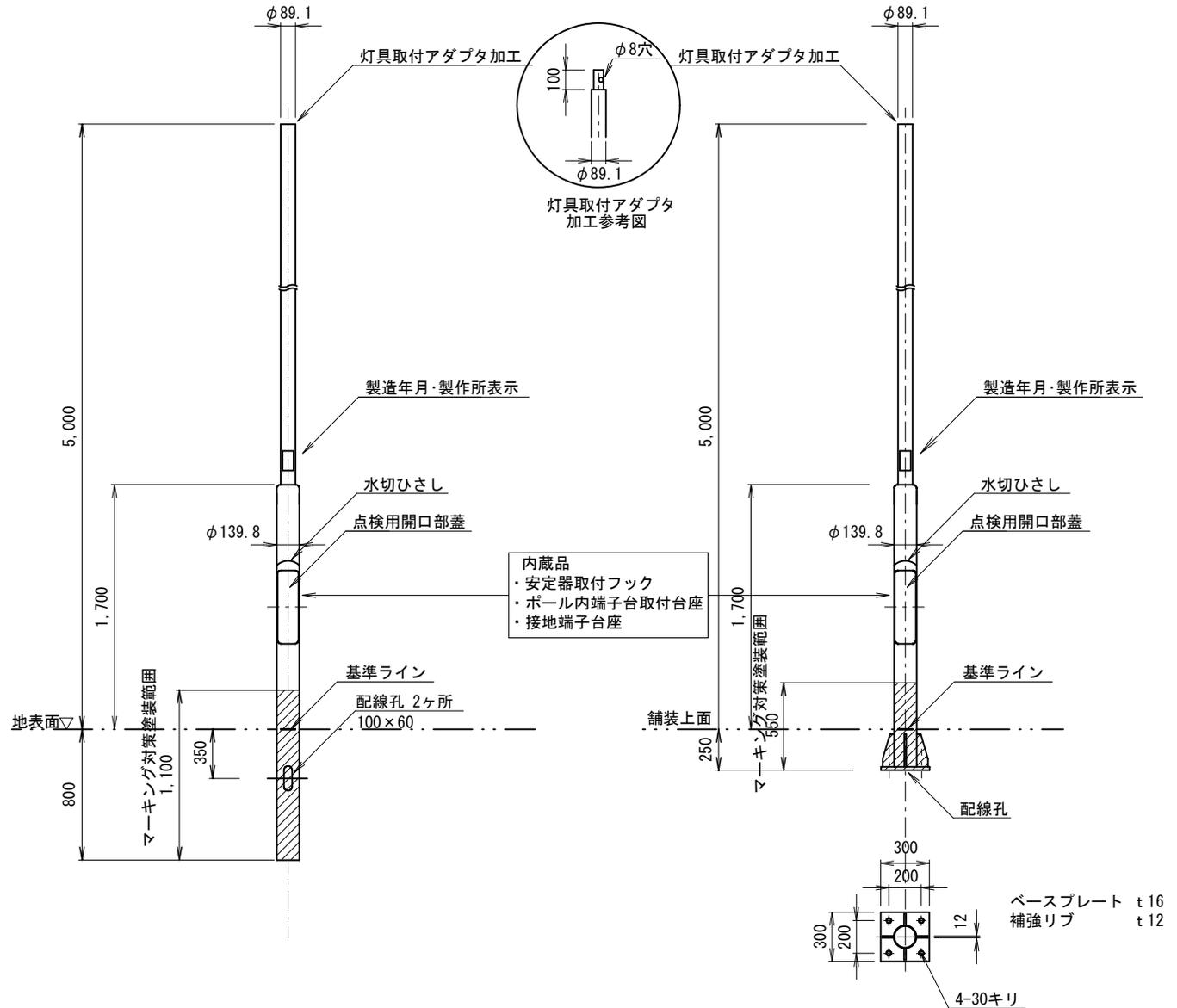
□外面塗装

- 前処理：スィープブラスト処理  
(あるいは、りん酸塩処理)
- 下塗：亜鉛めっき面用エポキシ樹脂塗料  
(目標膜厚40μm)
- 中塗：ポリウレタン樹脂塗料 (目標膜厚30μm)
- 上塗：ポリウレタン樹脂塗料 (目標膜厚25μm)
  - ・製造者の塗装仕様が、上記の塗装仕様と同等以上と認められる場合は、製造者の塗装仕様準じてよい。
  - ・上塗塗装色は、ダークブラウンとする。

□マーキング対策塗装

外面塗装完了後に

- 下塗：ノンタールエポキシ樹脂塗料 (目標膜厚60μm)
- 上塗：ノンタールエポキシ樹脂塗料 (目標膜厚60μm)



照明ポールA

記号：ST5

照明ポールB

記号：STB5

基準単価コード	PD07590
---------	---------

【 照明ポール製作仕様 】

□構造一般

- ・ポール強度は、風速60m/sの風圧力（風荷重）に耐えるものとする。
- ・ポール強度計算は、JIL1003「照明用ポール強度計算基準」に準拠する。
- ・主要部材の厚みは次を満足すること。  
上部部材：φ89.1mm×t2.5mm  
下部部材：A6061TE φ150mm×t3.0mm

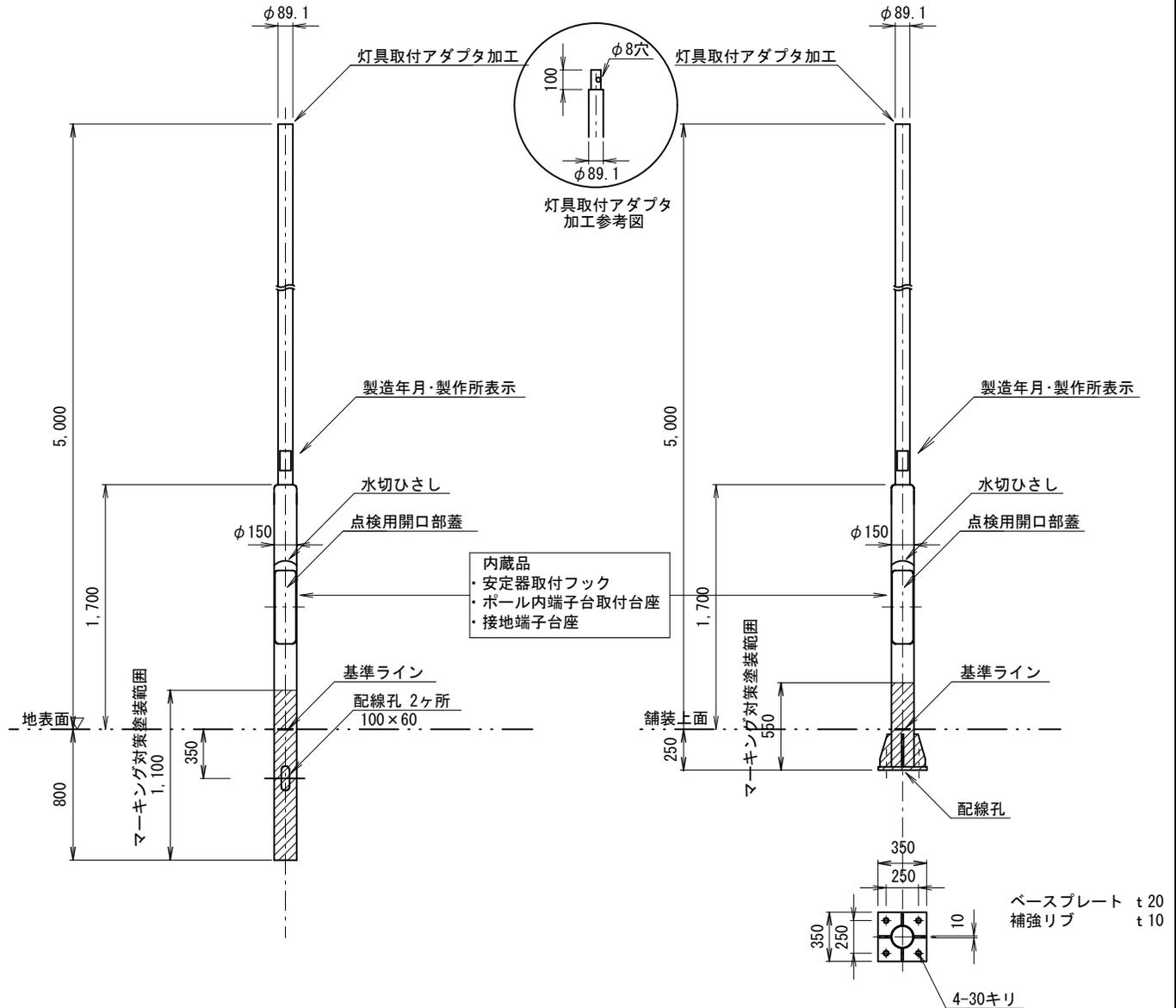
□外面塗装

- ①前処理：洗浄処理
  - ②下塗：エポキシ樹脂塗料（目標膜厚30μm）
  - ③上塗：ポリウレタン樹脂塗料（目標膜厚30μm）
- ・製造者の塗装仕様が、上記の塗装仕様と同等以上と認められる場合は、製造者の塗装仕様に準じてよい。
  - ・上塗塗装色は、ダークブラウンとする。

□マーキング対策塗装

外面塗装完了後に

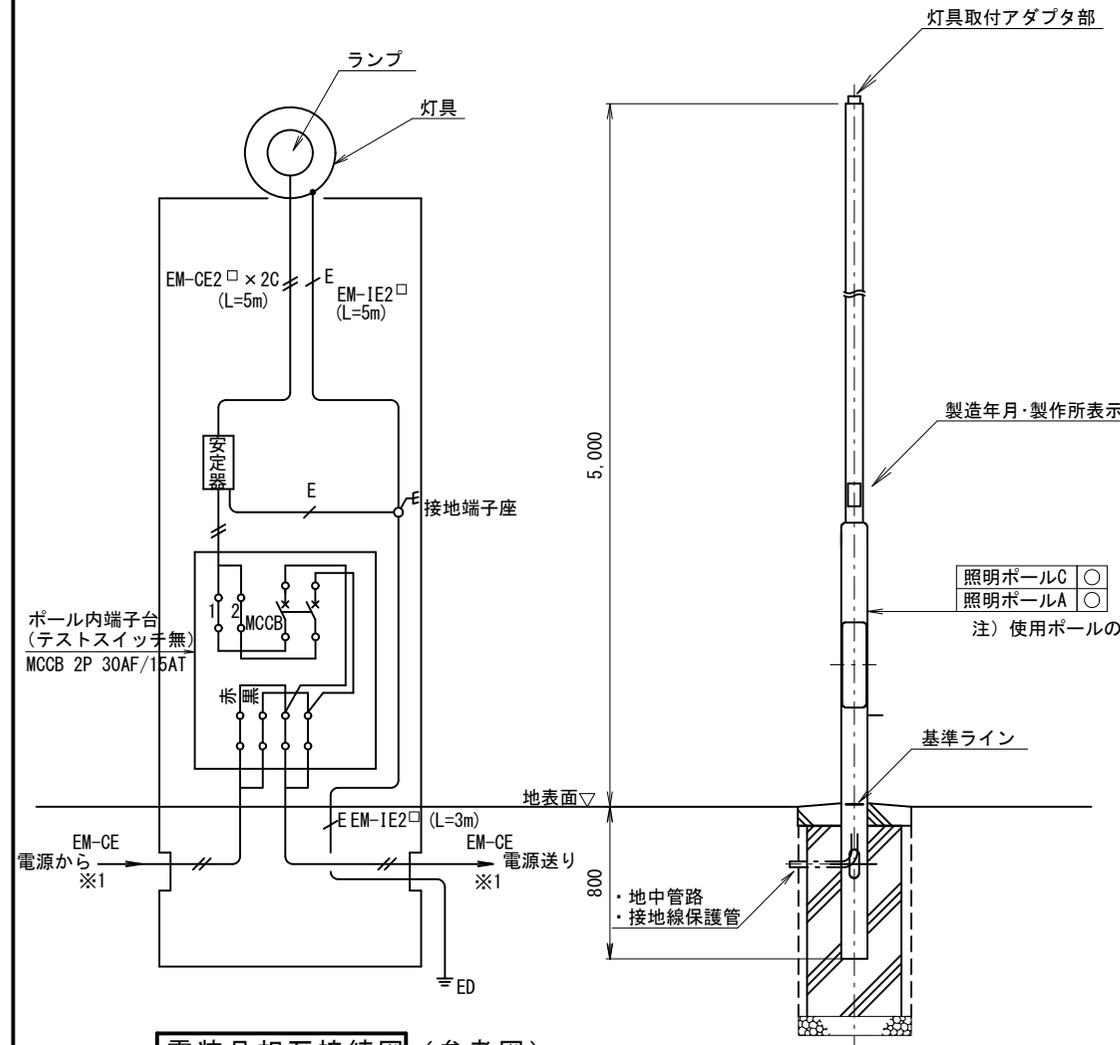
- ①下塗：ノンタールエポキシ樹脂塗料（目標膜厚60μm）
- ②上塗：ノンタールエポキシ樹脂塗料（目標膜厚60μm）



照明ポールC  
記号：AT5

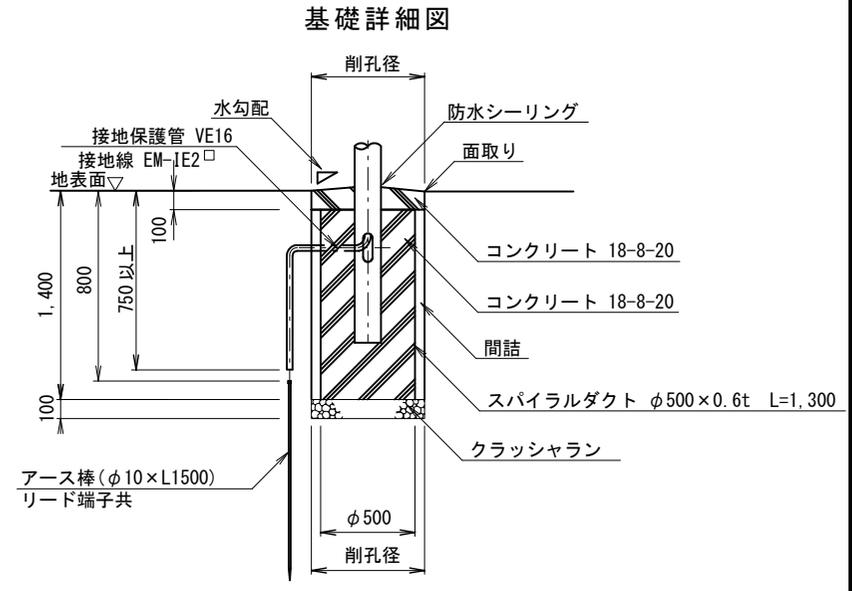
照明ポールD  
記号：ATB5

北九州市土木構造物標準図	図面名称	照明ポールC・D	縮尺	S=1/40	備考	改定年月	前回 平成19年 10月 最新 平成22年 4月	5 12
--------------	------	----------	----	--------	----	------	-----------------------------	---------



**電装品相互接続図 (参考図)**

※1 電線サイズは電圧降下を考慮して決定する。



**【 接地工事の注意点 】**

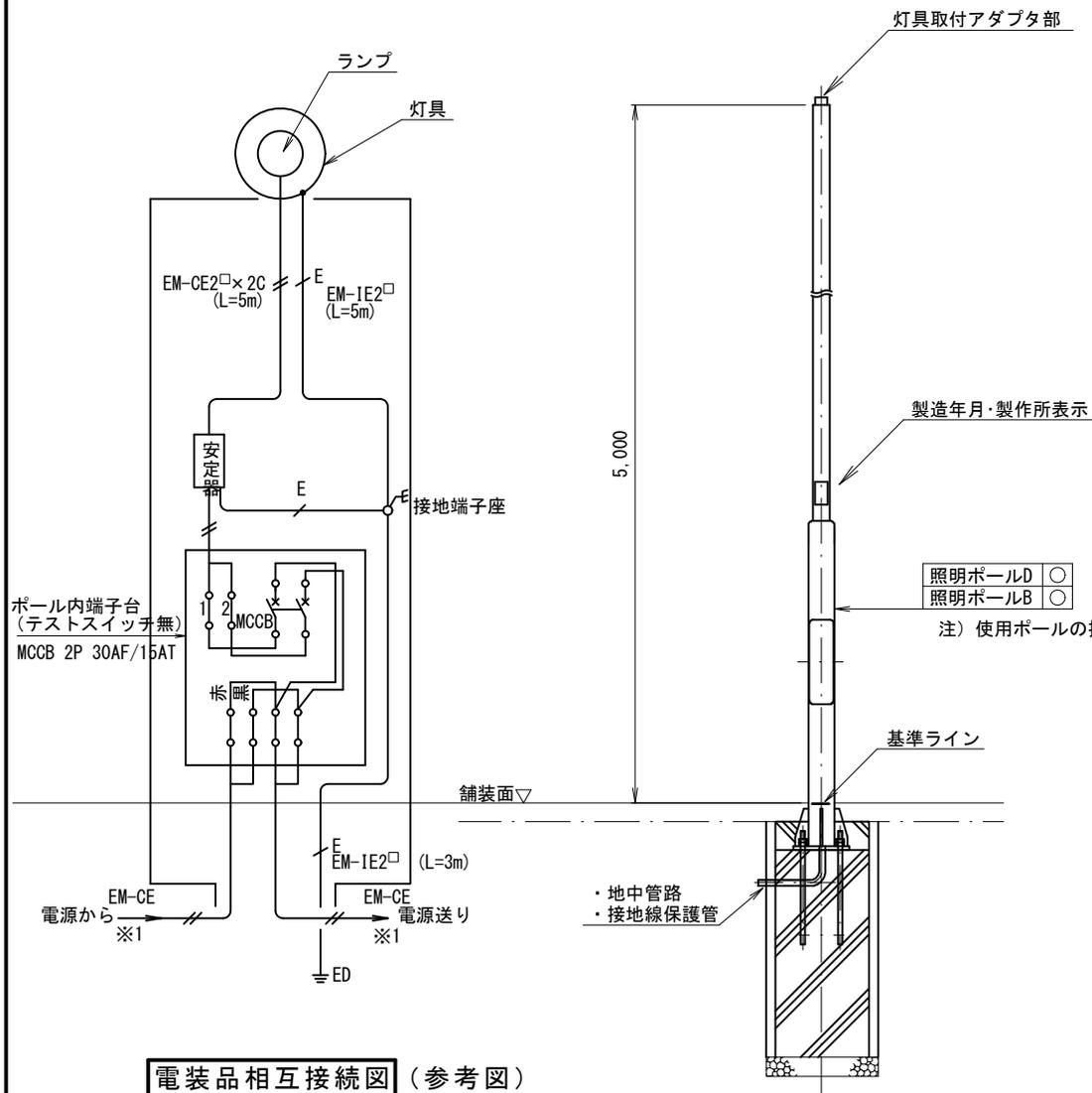
- ・ 接地極埋設深さは、接地棒の上端が地表下0.75mより深いものとする。
- ・ 接地線は地表下0.75mより浅い部分はVEで保護する。

**【 基礎施工の注意点 】**

- ・ 基礎は、ポール・灯具が受ける風速60m/sの応力に耐える構造とする。
- ・ 基礎の天端是水勾配をつける。
- ・ 基礎の天端のポール接合部は、シリコン系シーリング材でシーリングする。
- ・ 間詰は、砂・埋戻土・改良土等とする。

**【 電気施工の注意点 】**

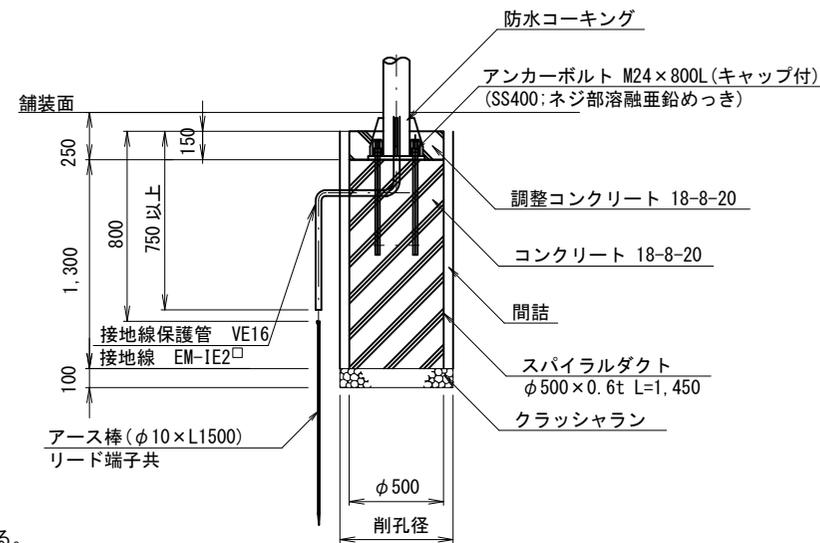
- ・ 電源配線にはケーブル案内札を付ける。
- ・ ポール内に引込んだ管路の管端は防湿対策のため、シーリング材を充填する。



電装品相互接続図 (参考図)

※1 電線サイズは電圧降下を考慮して決定する。

基礎詳細図



【 接地工事の注意点 】

- ・接地極埋設深さは、接地棒の上端が舗装下面下0.75mより深いものとする。
- ・接地線は舗装下面下0.75mより浅い部分はVEで保護する。

【 基礎施工の注意点 】

- ・基礎は、ポール・灯具が受ける風速60m/sの応力に耐える構造とする。
- ・基礎の天端是水勾配をつける。
- ・基礎の天端のポール接合部は、シリコン系シーリング材でシーリングする。
- ・間詰は、砂・埋戻土・改良土等とする。
- ・組アンカーボルトの形状については別途明細で確認のこと。

【 電気施工の注意点 】

- ・電源配線にはケーブル案内札を付ける。
- ・ポール内に引込んだ管路の管端は防湿対策のため、シーリング材を充填する。

### 公園灯Aタイプ

照明柱数量表

No	名称	型式・仕様	備考	数量	単位
1	灯具		表-1	1	台
2	ランプ		表-2	1	個
3	安定器		表-3	1	台
4	ポール内端子台	MCCB 2P 30AF/15A	表-4	1	個
5	照明ポール		表-5	1	本
6	ケーブル	600V EM-GE 2sq×2c		5	m
7	電線	600V EM-IE 2sq	接地	5	m

ポール基礎数量表(1基当り)

No	名称	型式・仕様	備考	数量	単位
1	コンクリート	δ 180kg/cm <sup>2</sup> -8-20 (0.5/2) <sup>2</sup> ×3.14×1.3+(0.6/2) <sup>2</sup> ×3.14×0.1		0.28	m <sup>3</sup>
2	スパイラルダクト	内径500φ		1.3	m
3	円形紙管(ポイド)	内径600φ		0.1	m
4	クラッシュラン	(0.6/2) <sup>2</sup> ×3.14		0.28	m <sup>2</sup>
5	間詰	砂・埋戻土・改良土等 (0.6/2) <sup>2</sup> ×3.14×1.3-(0.5/2) <sup>2</sup> ×3.14×1.3		0.11	m <sup>3</sup>
6	接地線保護管	VE 16		1	m
7	電線	600V EM-IE 2sq		3	m
8	接地棒	連結式(10φ×L=1500mm)リード端子共		1	式

※立上り電線(入)(出)は電線サイズに応じて別途計上する。

※電線サイズは電圧降下を考慮して決定する。

表-1 公園灯推奨灯具

推奨灯具 管理番号	参考型番	標準ランプ			備考
		NH-TW	CM		
KS-1	H5793	○	○		
KS-2	YA44079	○	○		
KS-3	YA44290	○	○		
KS-4	HG-33700(K)C-T1	○			

表-2 ランプ

記号	ランプ種別	180W	190W	備考
NH-TW	高圧ナトリウムランプツイン管タイプ	○		
CM	セラミックメタルハライドランプ		○	

表-3 安定器

記号	安定器種別	型式・仕様	備考
NHT-1	HID安定器	100V200W・高力型	
NHT-2	HID定器	200V200W・高力型	

注) HID安定器と表記した安定器は、NH-TW、CM点灯可能な兼用型の安定器を示す。

表-4 ポール内端子台

記号	呼称(種別)	型式・仕様	備考
LPT-A	ポール内端子台(防水ボックスタイプ)	MCCB 2P2E 30AF/15A	
LPT-B	ポール内端子台(防水カバータイプ)	MCCB 2P2E 30AF/15A	

表-5 照明ポール

記号	呼称	型式・仕様	備考
ST5	照明ポールA	埋込型(鋼管製)	溶融亜鉛めっき:HDZ45+ボリウレタン樹脂塗装2回
AT5	照明ポールC	埋込型(アルミ合金製)	ボリウレタン樹脂塗装1回

### 公園灯Bタイプ

照明柱数量表

No	名称	型式・仕様	備考	数量	単位
1	灯具		表-1	1	台
2	ランプ		表-2	1	個
3	安定器		表-3	1	台
4	ポール内端子台	MCCB 2P 30AF/15AT	表-4	1	個
5	照明ポール		表-5	1	本
6	ケーブル	600V EM-CE 2sq×2c		5	m
7	電線	600V EM-IE 2sq	接地	5	m

ポール基礎数量表(1基当り)

No	名称	型式・仕様	備考	数量	単位
1	コンクリート	$\delta 180\text{kg}/\text{cm}^2\text{-}8\text{-}20$ $(0.5/2)^2 \times 3.14 \times 1.3 + (0.5/2)^2 \times 3.14 \times 0.15$		0.28	m3
2	スパイラルダクト	内径500φ		1.45	m
3	クラッシュラン	$(0.6/2)^2 \times 3.14$		0.28	m2
4	間詰	砂・埋戻土・改良土等 $(0.6/2)^2 \times 3.14 \times 1.45 - (0.5/2)^2 \times 3.14 \times 1.45$		0.13	m3
5	接地線保護管	VE 16		1	m
6	電線	600V EM-IE 2sq		3	m
7	接地棒	連結式(10φ×L=1500mm)リード端子共		1	式
8	組アンカー		表-6	1	組

※立上り電線(入)(出)は電線サイズに応じて別途計上する。  
 ※電線サイズは電圧降下を考慮して決定する。

アンカーボルト詳細図

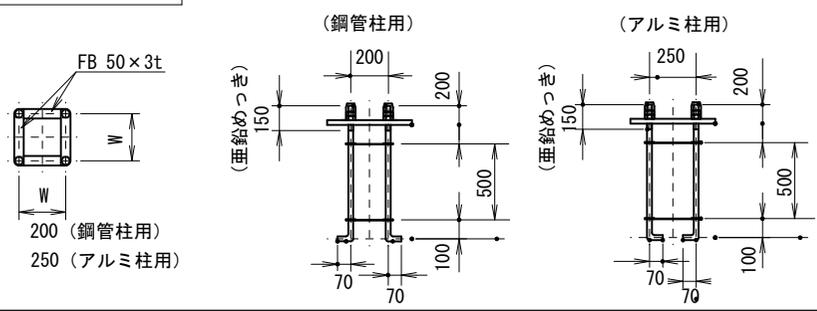


表-1 公園灯推奨灯具

推奨灯具 管理番号	参考型番	標準ランプ			備考
		NH-TW	CM		
KS-1	H5793	○	○		
KS-2	YA44079	○	○		
KS-3	YA44290	○	○		
KS-4	HG-33700(K)C-T1	○			

表-2 ランプ

記号	ランプ種別	180W	190W	備考
NH-TW	高圧ナトリウムランプツイン管タイプ	○		
CM	セラミックメタルハライドランプ		○	

表-3 安定器

記号	安定器種別	型式・仕様	備考
NHT-1	HID安定器	100V200W・高力型	
NHT-2	HID安定器	200V200W・高力型	

注) H I D安定器と表記した安定器は、NH-TW、CM点灯可能な兼用型の安定器を示す。

表-4 ポール内端子台

記号	呼称(種別)	型式・仕様	備考
LPT-A	ポール内端子台(防水ホックタイプ)	MCCB 2P2E 30AF/15A	
LPT-B	ポール内端子台(防水カバータイプ)	MCCB 2P2E 30AF/15A	

表-5 照明ポール

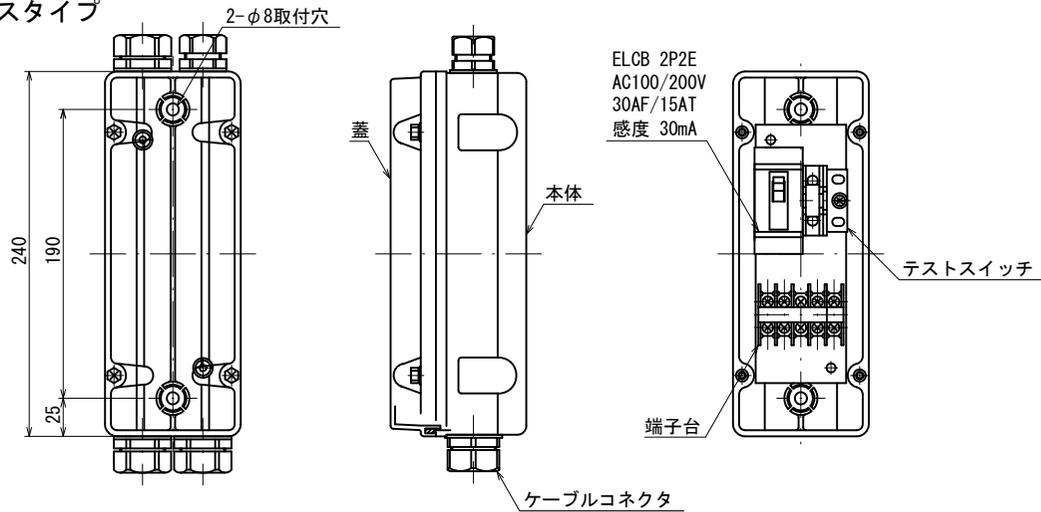
記号	呼称	型式・仕様	備考
STB5	照明ポールB	埋込型(鋼管製)	溶融亜鉛めっき: HDZ45 +ボリカル樹脂塗装2回
ATB5	照明ポールD	埋込型(アルミ合金製)	ボリカル樹脂塗装1回

表-6 組アンカーボルト

記号	呼称	型式・仕様	備考
KAB-K	組アンカーボルト(鋼管柱用)	固定枠付、4-M24×L800、200t <sup>+</sup> ナット	フック付、Wナット、FB-50×3 RBφ24-SS400、ネジ部溶融亜鉛めっき
KAB-A	組アンカーボルト(アルミ柱用)	固定枠付、4-M24×L800、250t <sup>+</sup> ナット	先端保護キャップ付

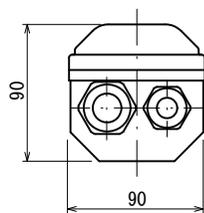
ポール内端子台（テストスイッチ有）（参考図）

防水ボックスタイプ

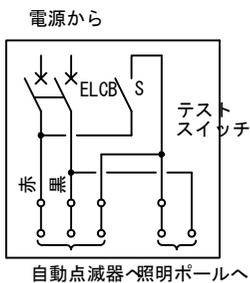


外形図

内部機器配置図

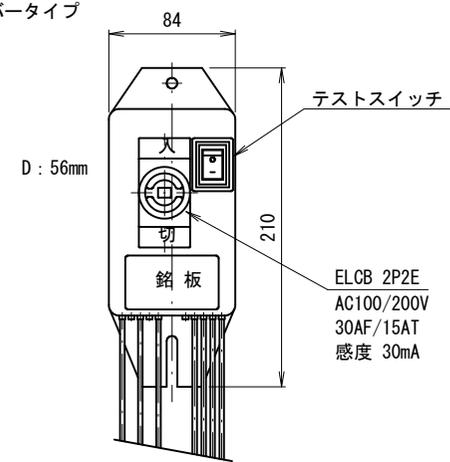


記号：PPT-A

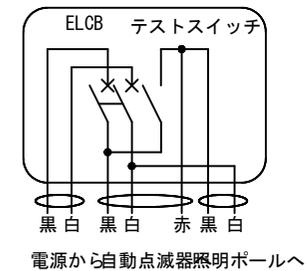


結線図

防水カバータイプ



外形図



結線図

記号：PPT-B

【 注意事項 】

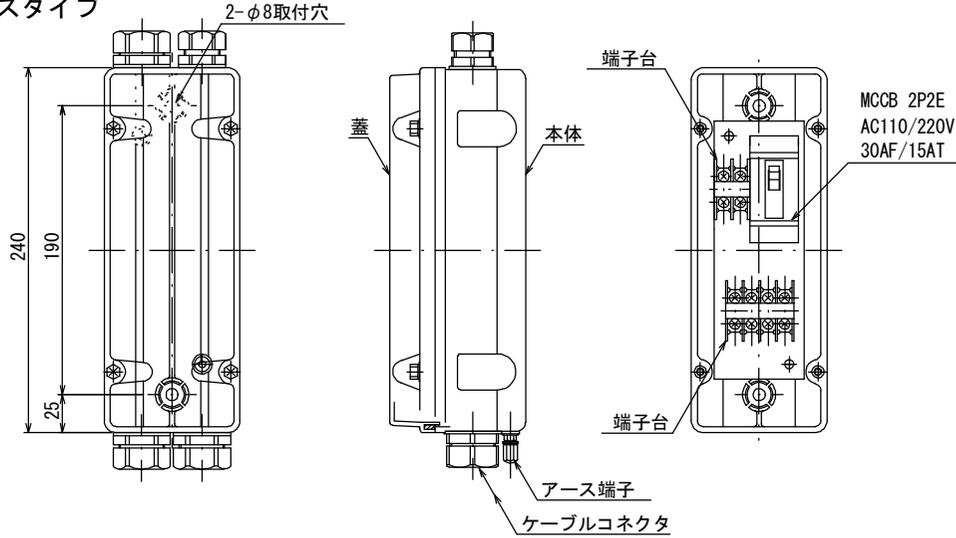
- ・ 引込Aのポール内部に設置する。
- ・ 防水構造とする。
- ・ 端子台は配線サイズに適用できること。
- ・ 寸法、形状等はメーカーにより相違があるため、「参考図」として掲載している。
- ・ 製品の使用にあたっては、参考図以外のものでも同等品以上であれば使用できる。
- ・ 設計図書に参考図を使用する場合には、特別な理由のない限り「参考図」と明記している。

基準単価コード -

北九州市土木構造物標準図	図面名称	ポール内端子台（テストスイッチ有）（参考図）	縮尺	S=1/5	備考	改定年月	前回 平成19年 10月 最新 平成22年 4月	5 17
--------------	------	------------------------	----	-------	----	------	-----------------------------	---------

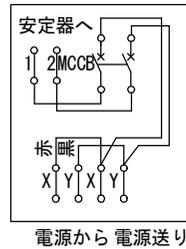
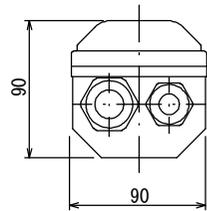
ポール内端子台（テストスイッチ無）（参考図）

防水ボックスタイプ



外形図

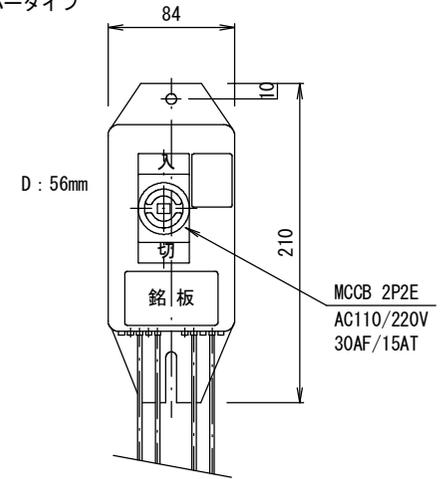
内部機器配置図



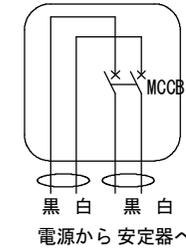
結線図

記号：LPT-A

防水カバータイプ



外形図



結線図

記号：LPT-B

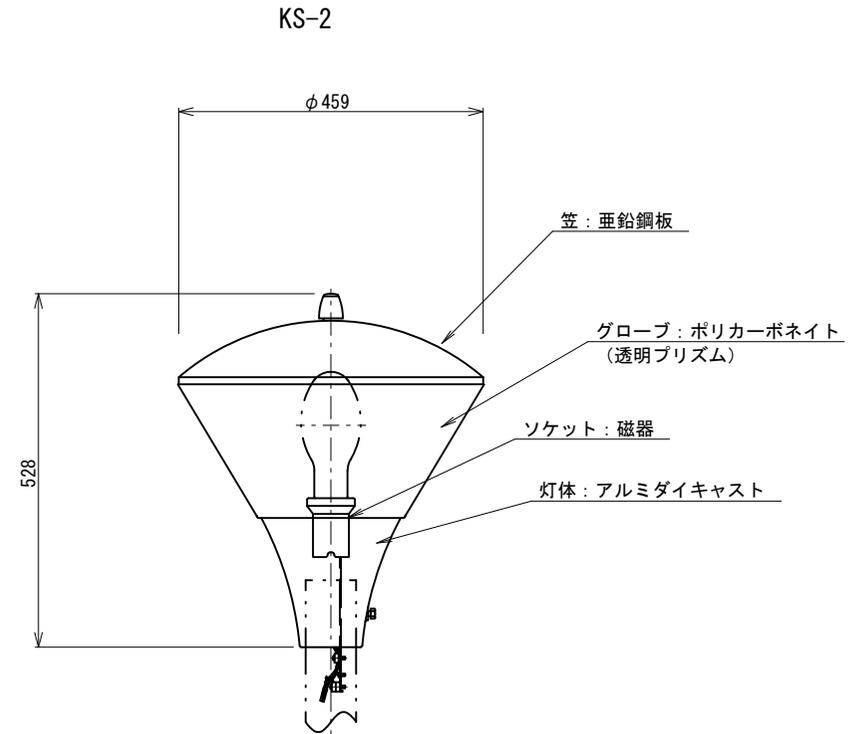
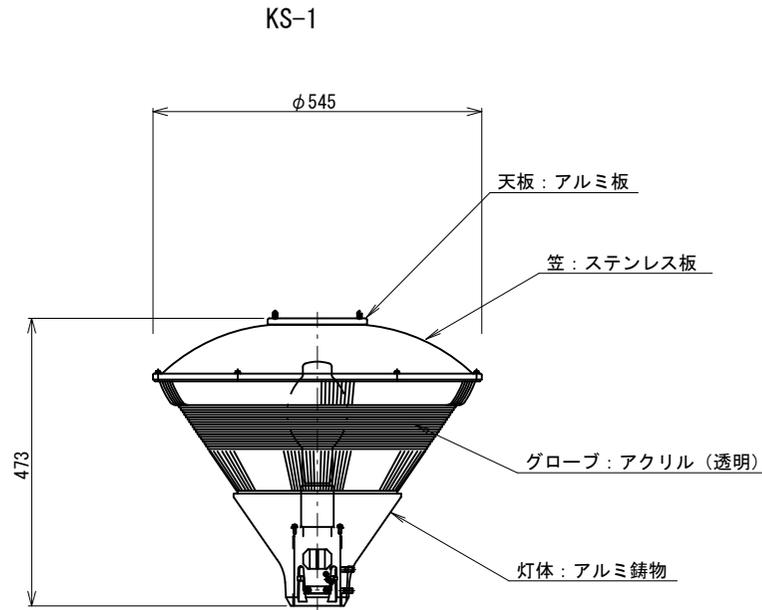
【注意事項】

- ・公園灯、LED灯のポール内部に設置する。
- ・防水構造とする。
- ・端子台は配線サイズに適用できること。
- ・寸法、形状等はメーカーにより相違があるため、「参考図」として掲載している。
- ・製品の使用にあたっては、参考図以外のものでも同等品以上であれば使用できる。
- ・設計図書に参考図を使用する場合には、特別な理由のない限り「参考図」と明記している。

基準単価コード -

北九州市土木構造物標準図	図面名称	ポール内端子台（テストスイッチ無）（参考図）	縮尺	S=1/5	備考	改定年月	前回 平成22年 4月 最新 平成29年 10月	5 18
--------------	------	------------------------	----	-------	----	------	-----------------------------	---------

公園灯灯具 1

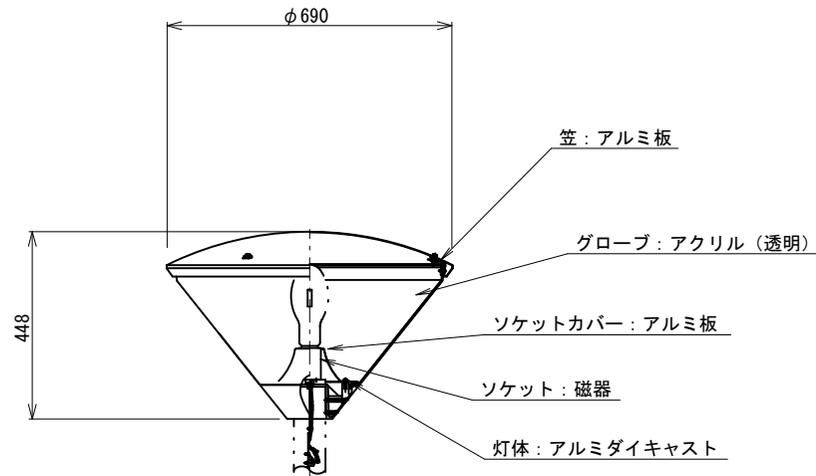


上方光束比 (%)		15%以下
適合ランプ	標	E39 NH-TW 180W
	準	E39 CM 190W
		HF MF NH
ポール 接合部	ポール挿入径 (mm)	$\phi 76.3$
	ポール挿入深さ (mm)	110
	ポール (外形89.1mm) 側の アダプター加工の必要性	加工が必要
参考型番	H5793	

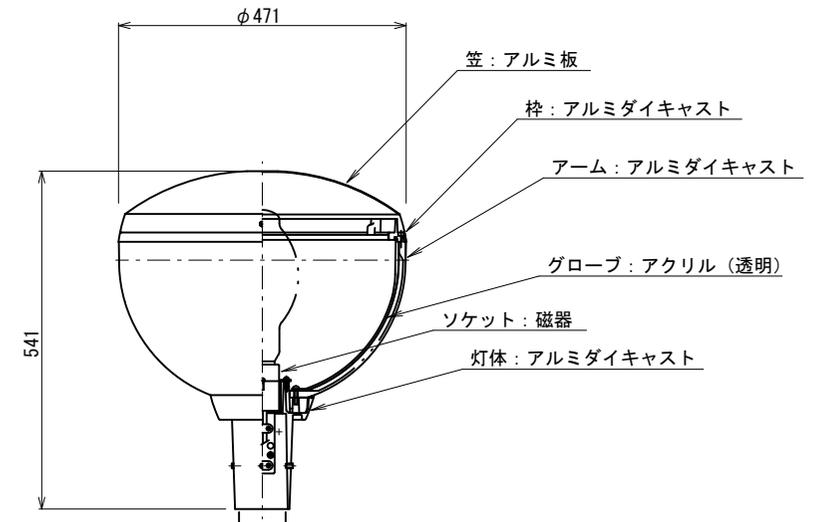
上方光束比 (%)		19.2%以下
適合ランプ	標	E39 NH-TW 180W
	準	E39 CM 190W
		HF MF NH
ポール 接合部	ポール挿入径 (mm)	$\phi 76.3$
	ポール挿入深さ (mm)	100
	ポール (外形89.1mm) 側の アダプター加工の必要性	加工が必要
参考型番	YA44079	

公園灯灯具2

KS-3



KS-4



上方光束比 (%)		8.0%以下
適合ランプ	標準	E39 NH-TW 180W
		E39 CM 190W
		HF MF NH
ボール接合部	ボール挿入径 (mm)	$\phi 76.3$
	ボール挿入深さ (mm)	77
	ボール (外形89.1mm) 側のアダプター加工の必要性	加工が必要
参考型番	YA44290	

上方光束比 (%)		15%以下
適合ランプ	標準	E39 NH-TW 180W
		—
		HF MF NH
ボール接合部	ボール挿入径 (mm)	$\phi 76.3$
	ボール挿入深さ (mm)	155
	ボール (外形89.1mm) 側のアダプター加工の必要性	加工が必要
参考型番	HG-33700 (K) C-T1	

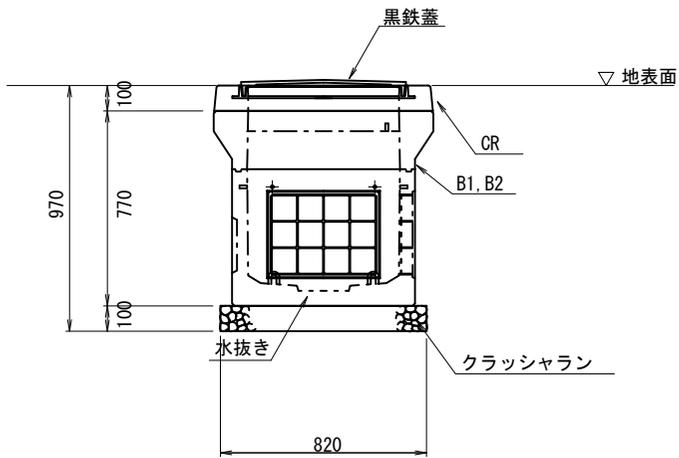
基準単価コード

PD07547

(参考図)

【 施工仕様 】

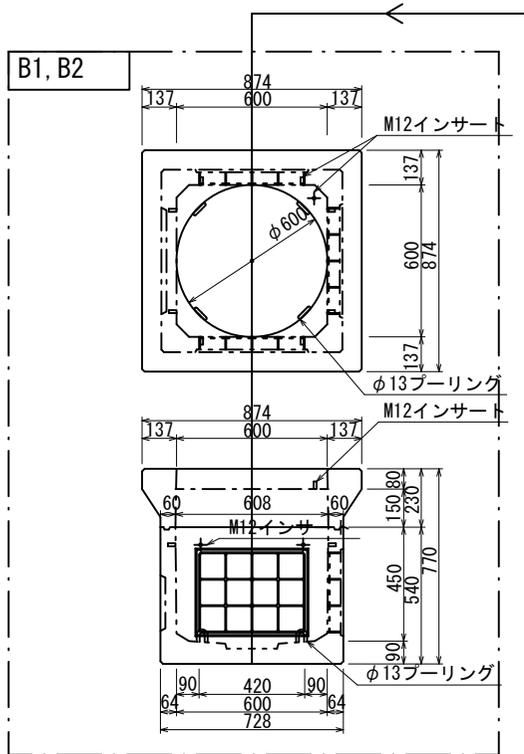
- ・多分割ハンドホールはボルト、パッキン、止水材を用いて堅固に一体化する。
- ・水がハンドホールに浸入するような土壌環境の場合は、水抜き穴はゴム栓で止水する。



※金属製ケーブルサポートを設置した場合は、接地を施す事。

据付断面図

10基当り			
名称	算式	単位	数量
基礎	0.82×0.82×10	m <sup>2</sup>	6.7



【 注意事項 】

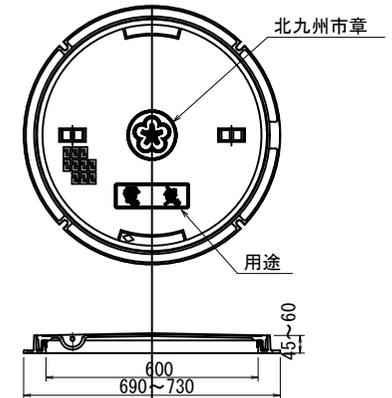
- ・寸法、形状等はメーカーにより相違があるため「参考図」として掲載している。
- ・製品の使用にあたっては、参考図以外のものでも同等品以上であれば使用できる。
- ・設計図書に参考図を使用する場合には、特別な理由のない限り「参考図」と明記している。

ブロックハンドホール

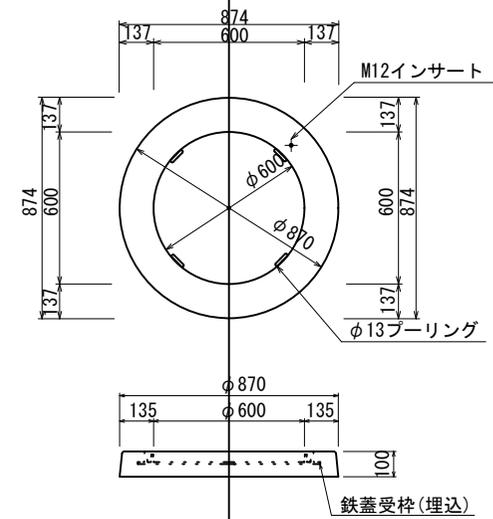
- ・製作仕様 HI-6 準拠

黒鉄蓋

- ・製作仕様 R2K-60 準拠
- ・表示 “北九州市章”、“電気”



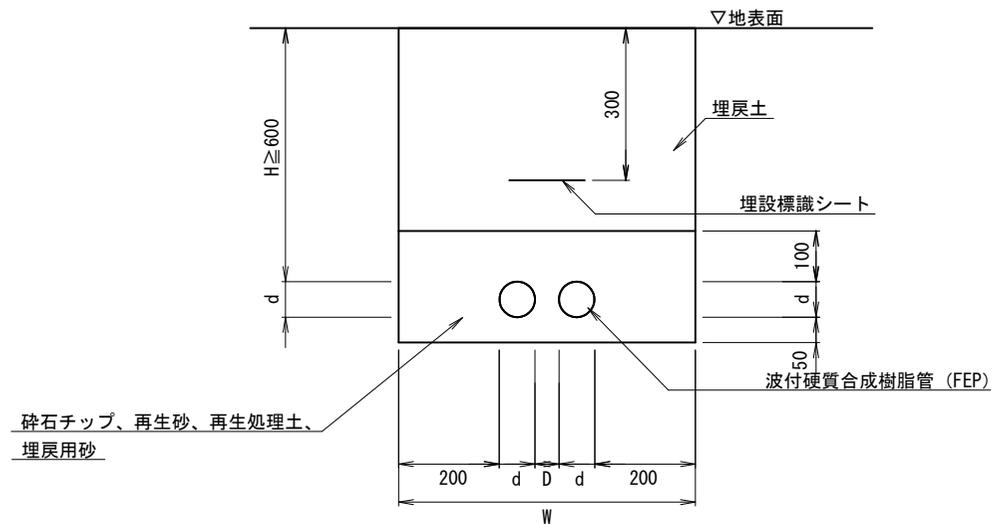
CR



地中管路埋設・埋設表示杭・埋設標

地中管路埋設  
FEP-30~80

断面図 S=1/15



寸法表

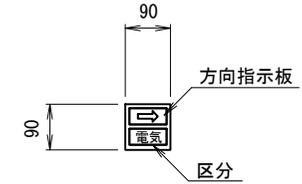
記号	呼び径	外径(d)	間隔(D)
FEP-30	30	40	50
FEP-50	50	65	50
FEP-80	80	105	70

仕様

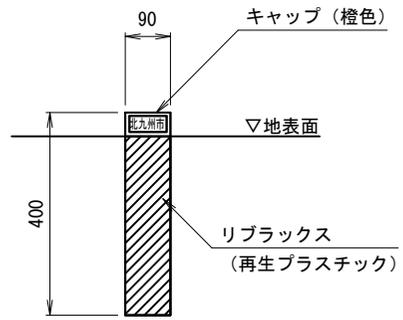
- 埋設標識シートは、ポリエチレン製、巾150mm、折込率：ダブル、色：橙色とする。
- 埋設深さはH=0.6以上とする。車両、重量物など荷重を受ける場合は、別途考慮する。

埋設表示杭

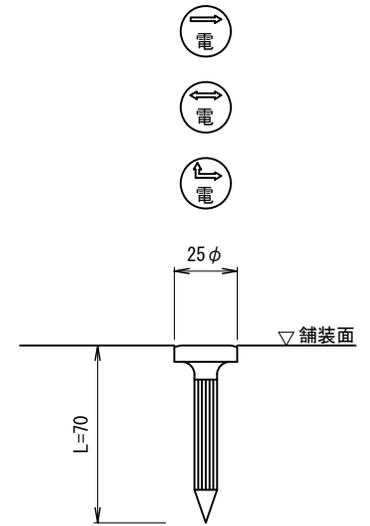
平面図 S=1/15



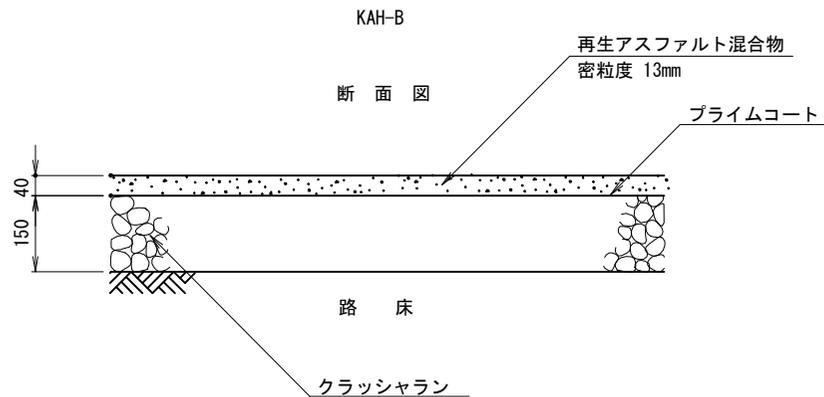
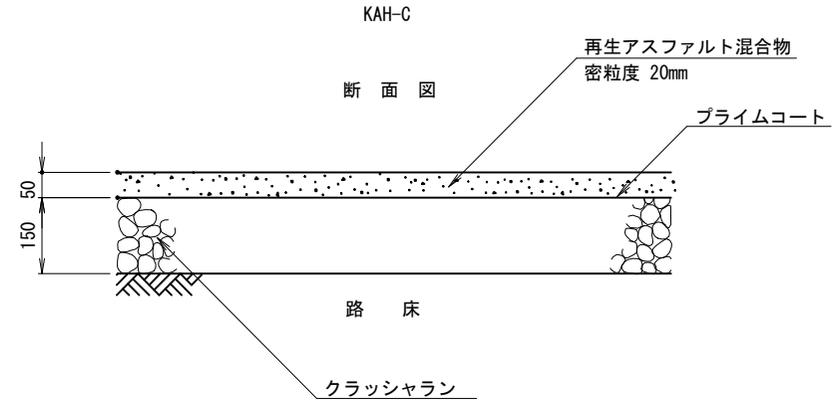
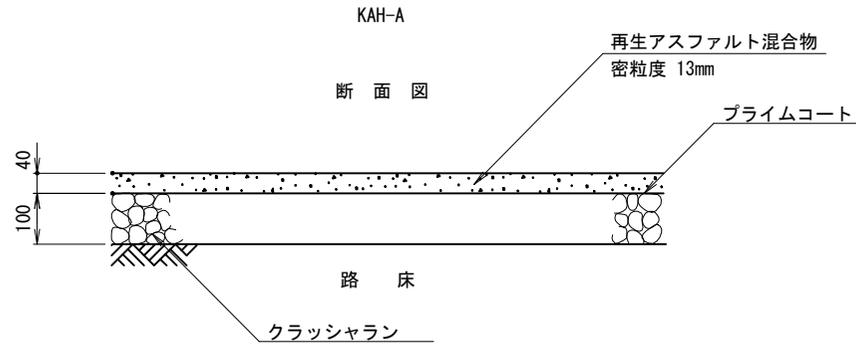
断面図 S=1/15



埋設標 (レベルマーク)



公園アスファルト舗装（密粒度）



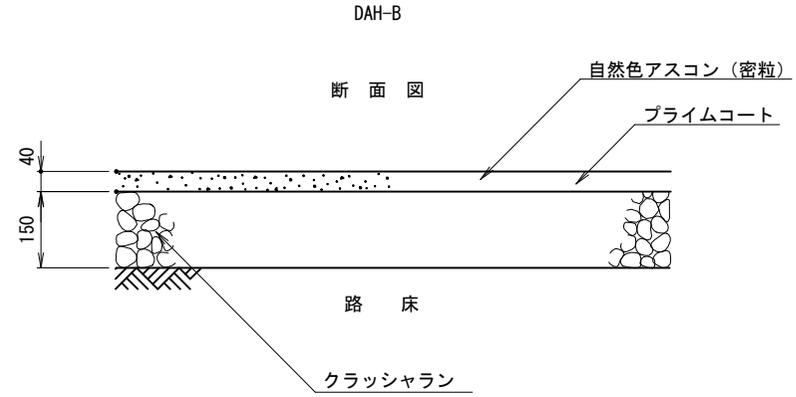
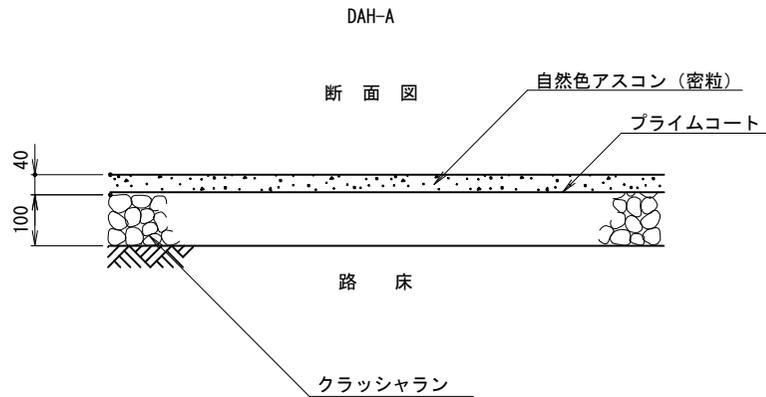
名称	10m2当り	
	単位	数量
路盤工	m2	10.0
As舗装工 T=40またはT=50	m2	10.0

仕様

- ・KAH-Aは、広場、歩行者路、自転車路程度。
- ・KAH-Bは、最大積載量4t以下の管理車両が通行する広場、歩行者路。
- ・KAH-Cは、近隣・地区公園程度の駐車場。（運動公園・総合公園等の大型車両を含め使用頻度の高い場合は除く）
- ・表示寸法は転圧後の寸法とする。

北九州市土木構造物標準図	図面名称	公園アスファルト舗装（密粒度）	縮尺	S=1/15	備考	改定年月	前回 平成 23 年 4 月	6
							最新 平成 28 年 11 月	1

脱色(自然色)アスファルト舗装

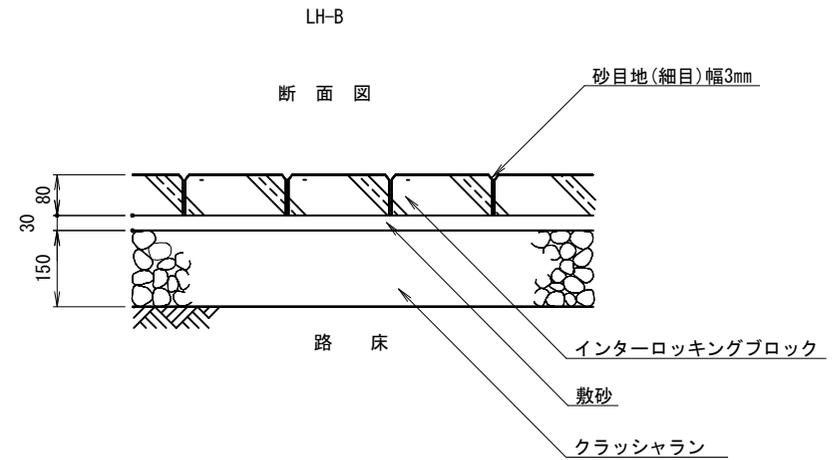
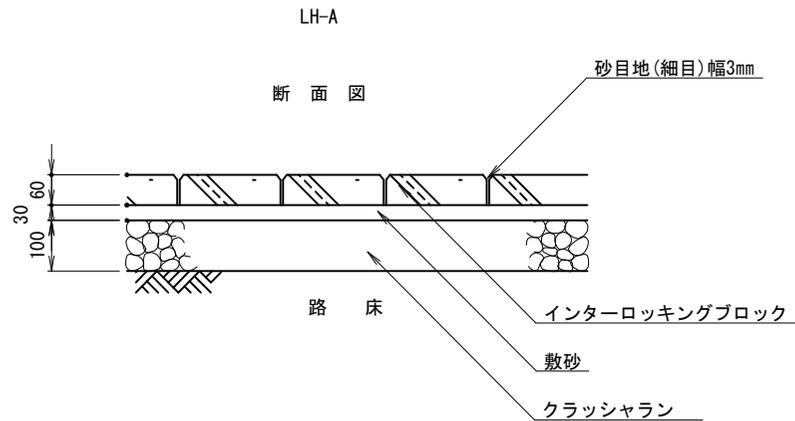


名称	10m2当り	
	単位	数量
路盤工 T=100またはT=150	m2	10.0
As舗装工	m2	10.0

仕 様

- ・DAH-Aは、広場、歩行者路、自転車路程度。
- ・DAH-Bは、最大積載量4t以下の管理車両が通行する広場、歩行者路。
- ・自然色アスファルトの色については平面特記とする。

# インターロッキング舗装



10m2当り			
名称	算式	単位	数量
路盤工		m2	10.0
砂	10.0×0.03	m3	0.30
インターロッキング ブロック		m2	10.0

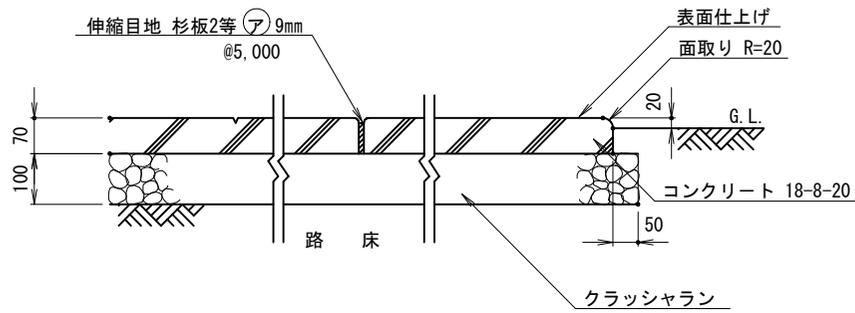
## 仕様

- ・LH-Aは、広場、歩行者路、自転車路程度。
- ・LH-Bは、最大積載量4t以下の管理車両が通行する広場、歩行者路程度。
- ・ブロックの配置は直線的配置を標準とする。
- ・車輛乗入れ部の舗装構成については、別途主管課協議とする。

公園コンクリート舗装

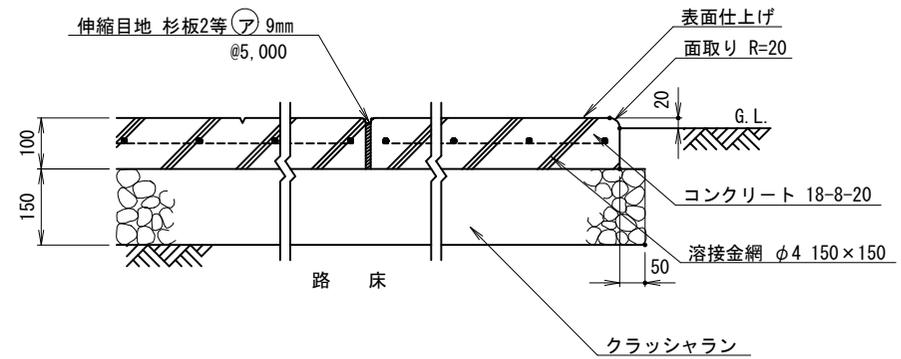
CH-A

断面図 S=1/15

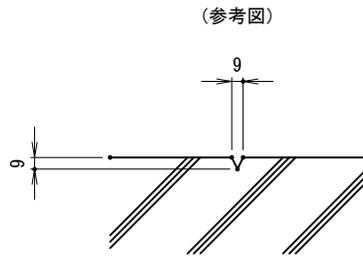


CH-B

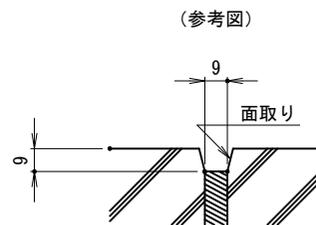
断面図 S=1/15



化粧目地詳細図 S=1/6



伸縮目地詳細図 S=1/3

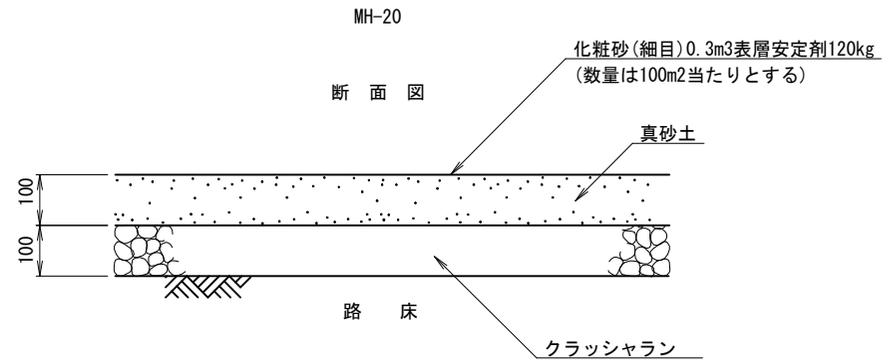
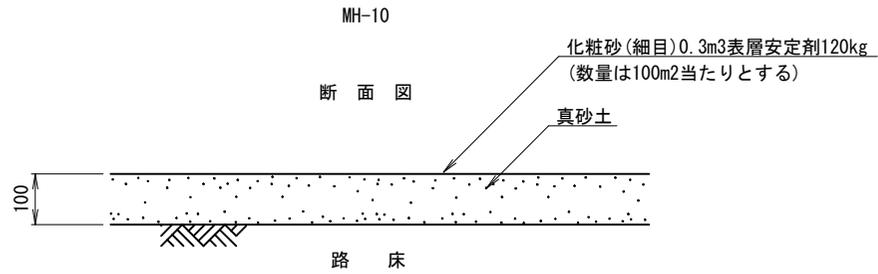


仕様

- ・表面仕上げは、はけ引き仕上げ、又は、金ごて仕上げとし平面図特記とする。
- ・CH-Aは、広場、歩行者路、自転車路程度。
- ・CH-Bは、最大積載量4t以下の管理車両が通行する広場、歩行者路程度。

北九州市土木構造物標準図	図面名称	公園コンクリート舗装	縮尺	図示	備考	改定年月	前回 平成 23 年 4 月 最新 平成 28 年 11 月	6 4
--------------	------	------------	----	----	----	------	-----------------------------------	--------

# 真砂土舗装



## 仕 様

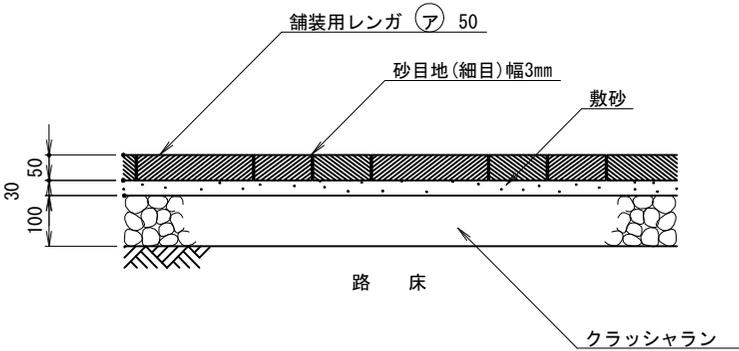
- ・ 広場、歩行者路、自転車路程度。
  - ・ 真砂土は石、木根、ゴミ等の混じらない良質の物を使用すること。
  - ・ 表面処理工は、化粧砂を規定量均一に散布し、一度転圧を行う。
- その後表層安定剤(塩化カルシウムまたは塩化マグネシウム)をまきむらのない様に均一に散布して完了とする。

北九州市土木構造物標準図	図面名称	真砂土舗装	縮尺	S=1/15	備考	改定年月	前回 平成 19 年 10 月	6
							最新 平成 28 年 11 月	5

# レンガ舗装 (硬質レンガ)

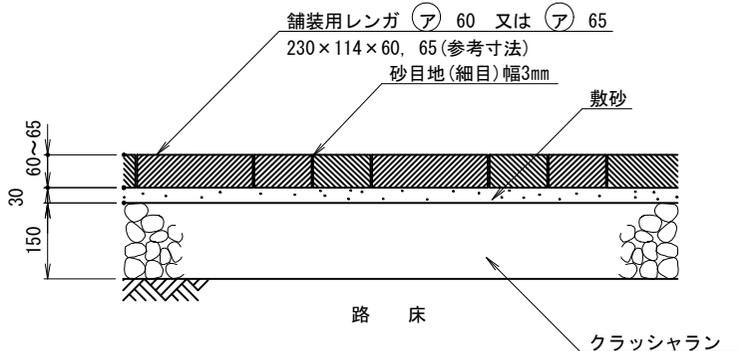
RH-A

断面図



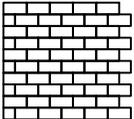
RH-B

断面図

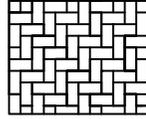


舗装パターン

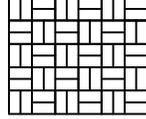
レンガ馬踏み



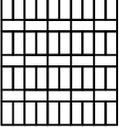
ガーデンアジロ



バスケット



セイラー



100m2当り

名称	算式	単位	数量
路盤工	T=100またはT=150	m <sup>2</sup>	100
砂	0.03×100	m <sup>3</sup>	3.0
舗装用レンガ		m <sup>2</sup>	100

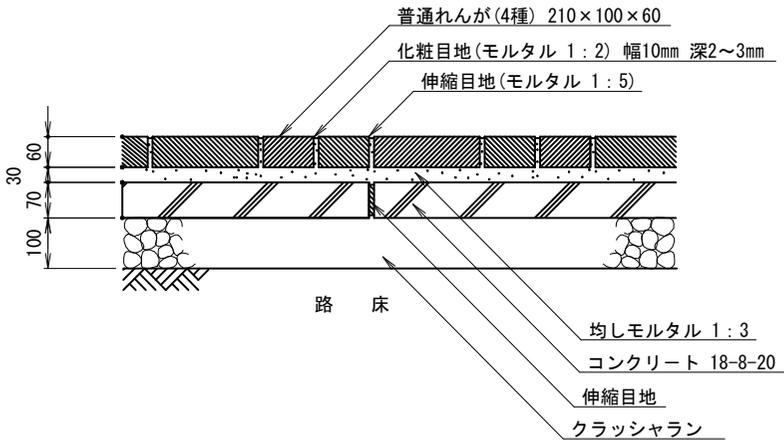
仕様

- ・RH-Aは、広場、歩行者路、自転車路程度。
- ・RH-Bは、最大積載量4t以下の管理車両が通行する広場、歩行者路程度。
- ・勾配の急な場所については、敷砂をドライモルタルとする。
- ・レンガは 圧縮強度(JIS R-1250)70~100N/mm<sup>2</sup>以上の強度を有するものを使用する。
- ・レンガの配置は直線的配置を標準とする。

レンガ舗装 (普通レンガ)

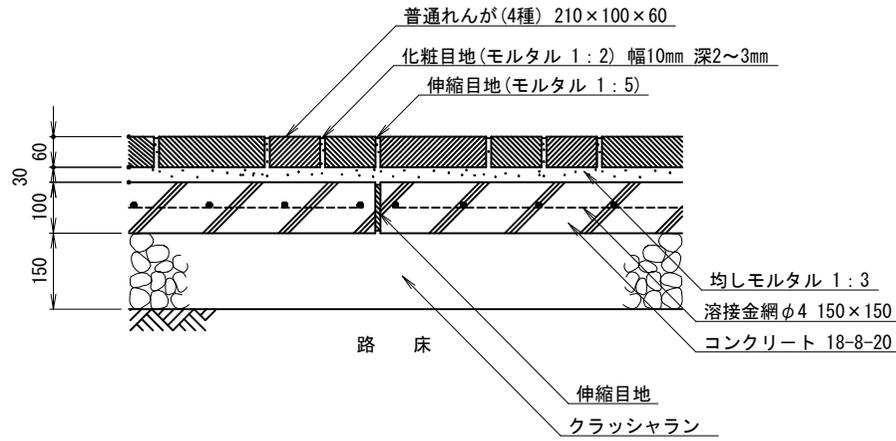
RH-C

断面図



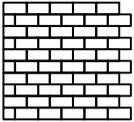
RH-D

断面図

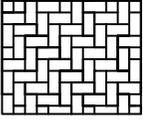


舗装パターン

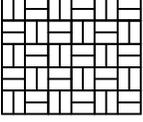
レンガ馬踏み



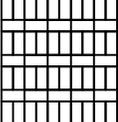
ガーデンアジロ



バスケット



セイラー



仕様

- ・RH-Cは、広場、歩行者路、自転車路程度。
- ・RH-Dは、最大積載量4t以下の管理車両が通行する広場、歩行者路程度。
- ・普通レンガは JIS R 1250 4種とする。

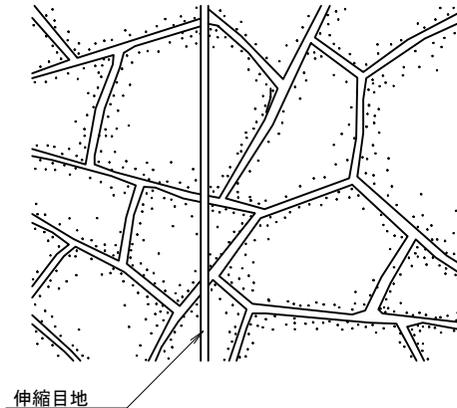
北九州市土木構造物標準図	図面名称	レンガ舗装 (普通レンガ)	縮尺	S=1/15	備考	改定年月	前回 平成 23 年 4 月	6
							最新 平成 28 年 11 月	7

# 平石張舗装

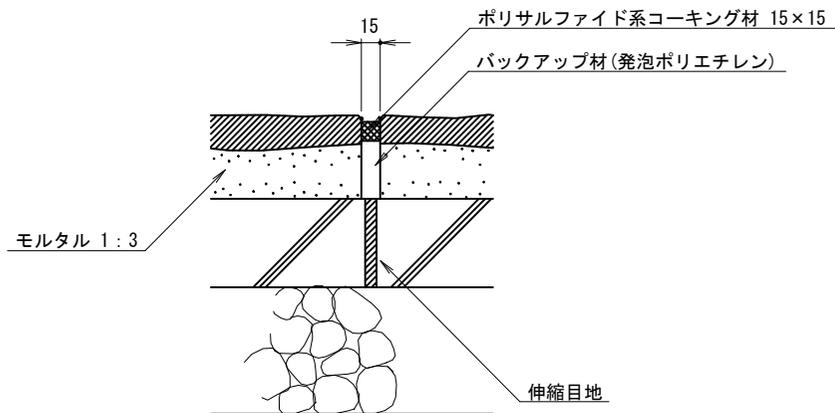
乱形石

平石張り舗装 IH-PA, PB

平面図(参考図)

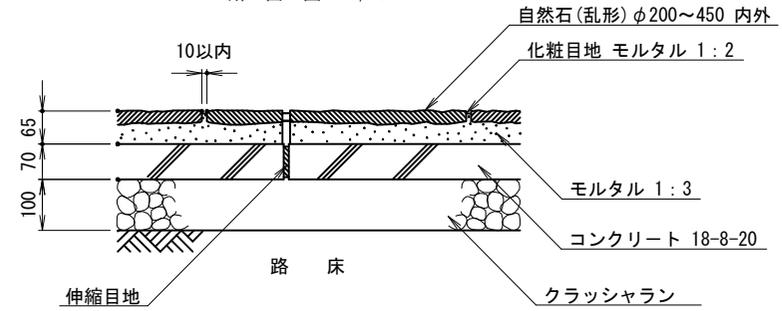


伸縮目地詳細 S=1/6



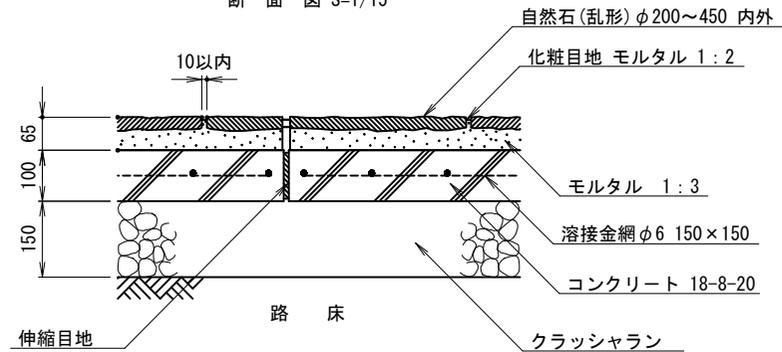
IH-PA

断面図 S=1/15



IH-PB

断面図 S=1/15



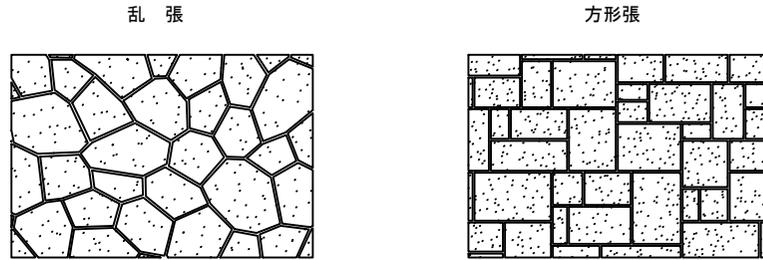
## 仕様

- 伸縮目地は、@5mを標準とするが、表層部分の伸縮目地設置位置は、監督員の指示によるものとする。
- 自然石の種類及び厚さは、鉄平石(ア15~35内外)とする。
- IH-PAは、広場、歩行者路、自転車路程度。
- IH-PBは、最大積載量4t以下の管理車両が通行する広場、歩行者路程度。

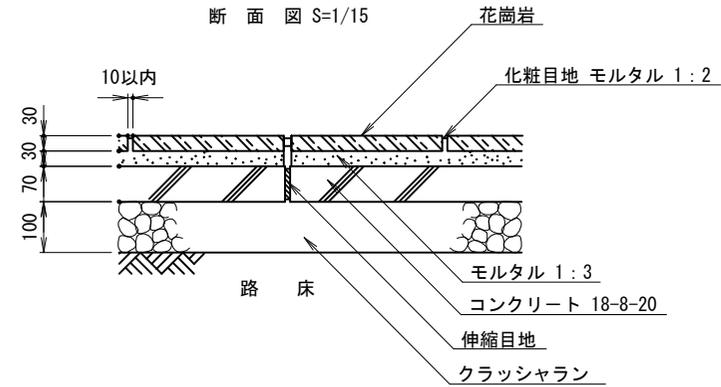
北九州市土木構造物標準図	図面名称	平石張舗装	縮尺	S=1/15, 1/6	備考	改定年月	前回 平成 23 年 4 月 最新 平成 28 年 11 月	6 8
--------------	------	-------	----	-------------	----	------	-----------------------------------	--------

# 切板石張舗装（修景）

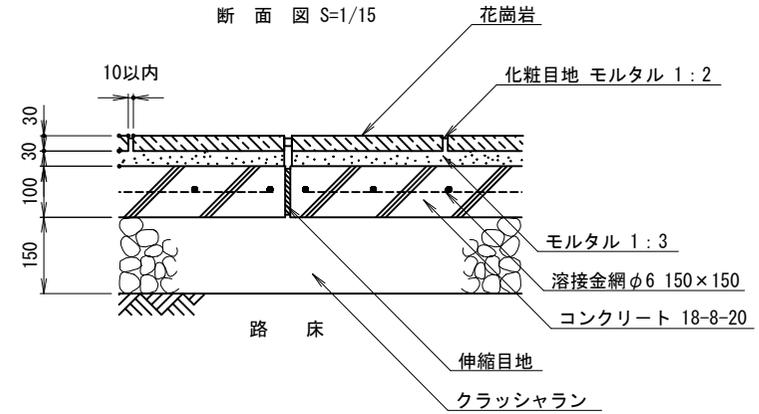
平面図(参考図)



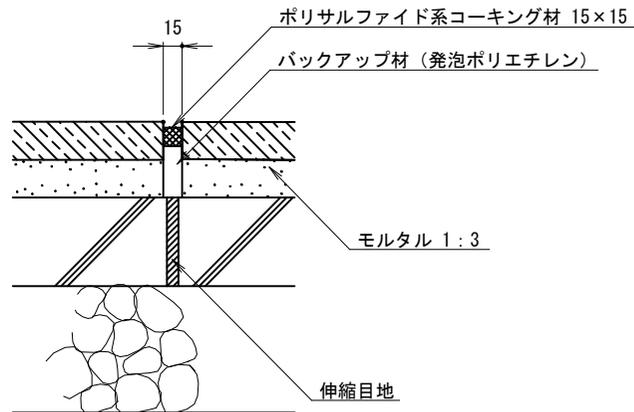
IH-KA



IH-KB



伸縮目地詳細 1:6



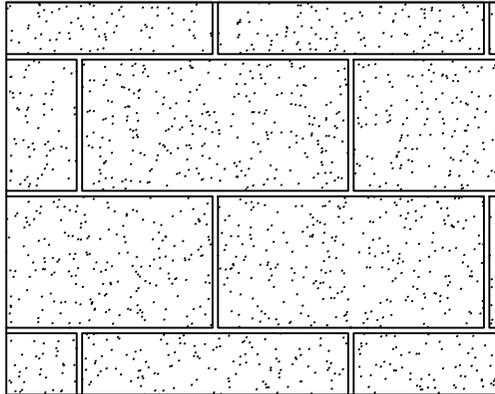
## 仕様

- 伸縮目地は、@5mを標準とするが、表層部分の伸縮目地設置位置は、監督員の指示によるものとする。
- 花崗岩の色は平面特記とする。
- 花崗岩の表面仕上げは平面特記とする。
- 化粧目地は、モルタル1:2、幅10m/m、深5~10m/mとする。
- IH-KAは、広場、歩行者路、自転車路程度。
- IH-KBは、最大積載量4t以下の管理車両が通行する広場、歩行者路程度。

北九州市土木構造物標準図	図面名称	切板石張舗装（修景）	縮尺	S=1/15, 1/6	備考	改定年月	前回 平成 23 年 4 月 最新 平成 28 年 11 月	6 9
--------------	------	------------	----	-------------	----	------	-----------------------------------	--------

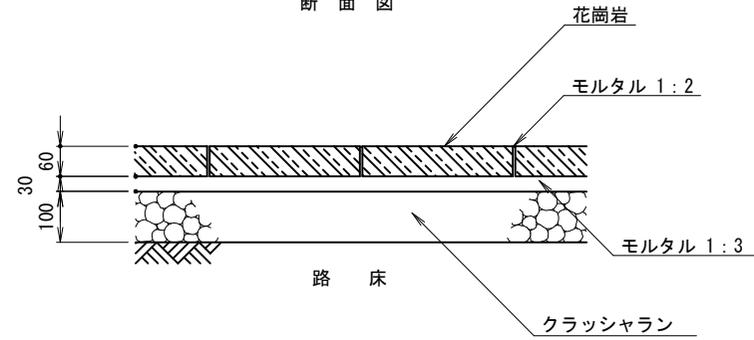
# 切板石張舗装

平面図(参考図)



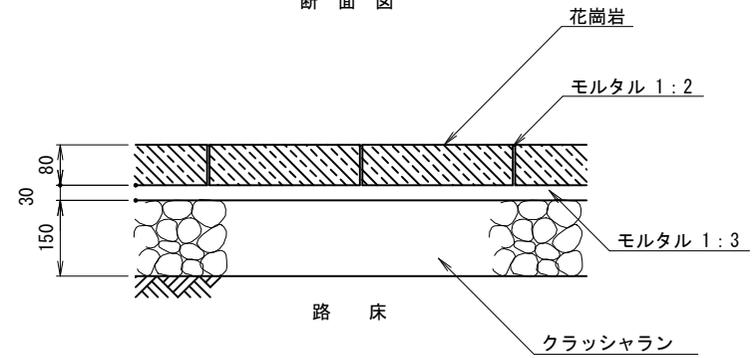
IH-KC

断面図



IH-KD

断面図



**仕 様**

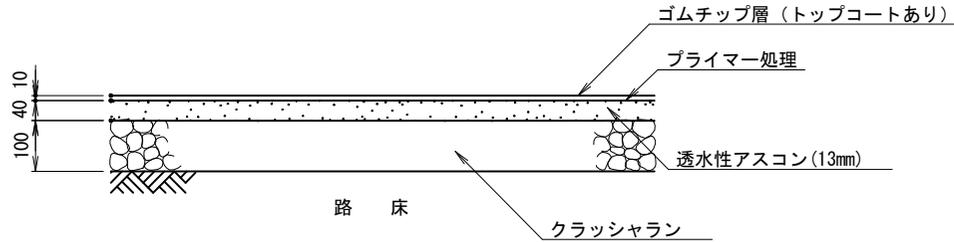
- ・花崗岩の色は平面特記とする。
- ・花崗岩の表面仕上げは平面特記とする。
- ・IH-KCは、広場、歩行者路、自転車路程度。
- ・IH-KDは、最大積載量4t以下の管理車両が通行する広場、歩行者路程度とする。

北九州市土木構造物標準図	図面名称	切板石張舗装	縮 尺	S=1/15	備 考	改定年月	前回 平成 23 年 4 月 最新 平成 28 年 11 月	6 10
--------------	------	--------	-----	--------	-----	------	-----------------------------------	---------

# ゴムチップ舗装

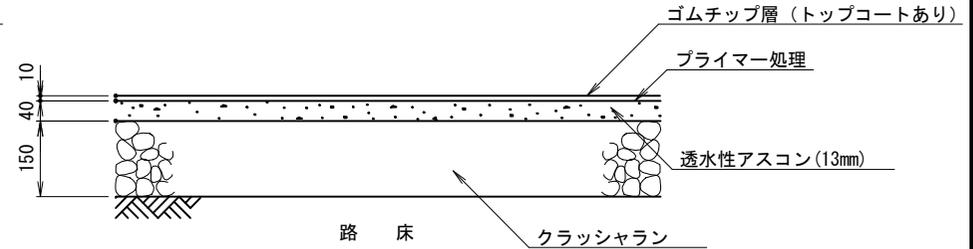
GTH-A

断面図 S=1/15



GTH-B

断面図 S=1/15

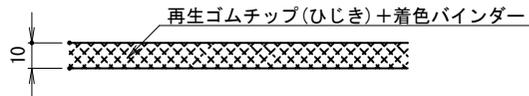


表層ゴムチップ断面図 S=1/3

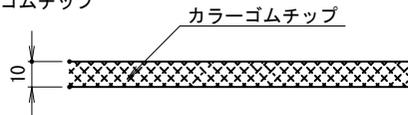
①タイプ：再生ゴムチップ(通常型)



②タイプ：再生ゴムチップ(ひじき)



③タイプ：カラーゴムチップ



表層タイプ別仕様・施工法

①タイプ

リサイクル黒ゴム(通常型)チップ使用  
 リサイクル黒ゴムチップ、一液湿気硬化型ウレタン、顔料をモルタルミキサーで混合する。  
 敷き均しは、メカまたは専用機(スムーサー)で行う。

②タイプ

リサイクル黒ゴム(ひじき)チップ使用  
 リサイクル黒ゴムチップ、一液湿気硬化型ウレタン、顔料をモルタルミキサーで混合する。  
 敷き均しは、メカまたは専用機(スムーサー)で行う。

③タイプ

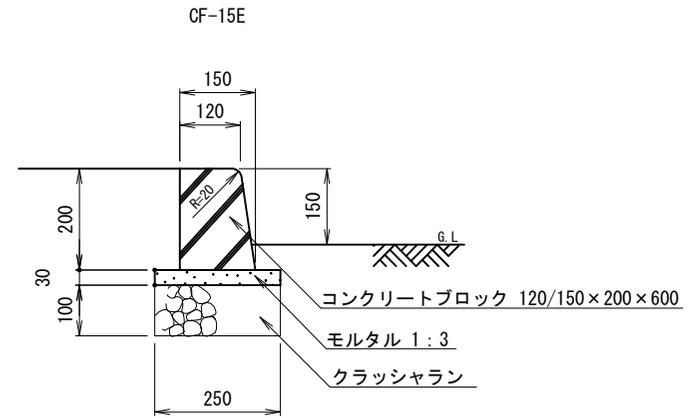
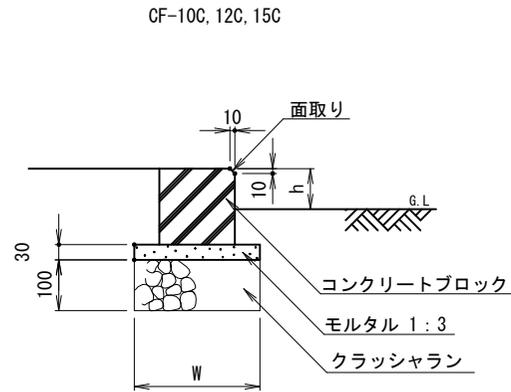
カラーゴムチップ使用  
 カラーゴムチップ、一液湿気硬化型ウレタンを、モルタルミキサーで混合する。  
 敷き均しは、メカまたは専用機(スムーサー)で行う。

仕様

- ・全て透水型とする。
- ・表層は、再生ゴムチップ(通常型)、再生ゴムチップ(ひじき)、カラーゴムチップとし、平面特記とする。
- ・GTH-Aは、広場、歩行者路、自転車路程度。
- ・GTH-Bは、最大積載量4t以下の管理車両が横断する歩行者路程度。

北九州市土木構造物標準図	図面名称	ゴムチップ舗装	縮尺	S=1/15, 1/3	備考	改定年月	前回 平成 23 年 4 月 最新 平成 28 年 11 月	6 11
--------------	------	---------	----	-------------	----	------	-----------------------------------	---------

# コンクリート縁石



寸法表

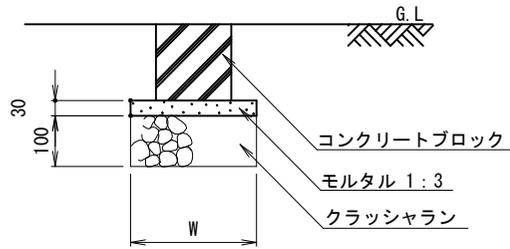
記号	クラッシュラン 基礎幅 (W)	コンクリートブロック寸法
CF-10C	200	100×100×600
CF-12C	220	120×120×600
CF-15C	250	150×150×600

## 仕 様

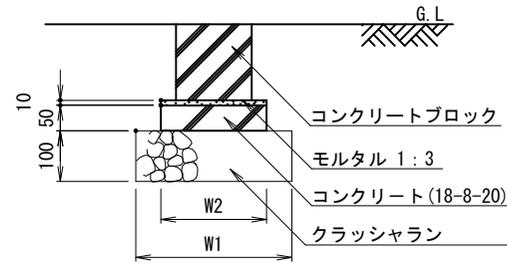
- ・ 目地モルタルは、配合1:2とする。
- ・ コンクリートブロックは、JIS製品またはJIS標示許可工場で製造された製品とする。
- ・ 擬石縁石を使用する場合は、表面仕上げ(2面)及び表面層の種石は特記による。
- ・ hは、特記による。

### コンクリート縁石（舗装止め）

CF-10A, 12A, 15A



CF-10B, 12B, 15B



寸法表

記号	クラッシュラン 基礎幅 (W)	コンクリートブロック寸法
CF-10A	200	100×100×600
CF-12A	220	120×120×600
CF-15A	250	150×150×600

寸法表

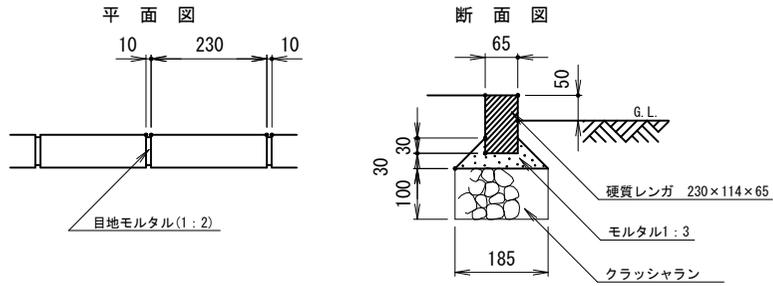
記号	クラッシュラン 基礎幅 (W1)	コンクリート 基礎幅 (W2)	コンクリートブロック寸法
CF-10B	260	160	100×100×600
CF-12B	280	180	120×120×600
CF-15B	310	210	150×150×600

#### 仕 様

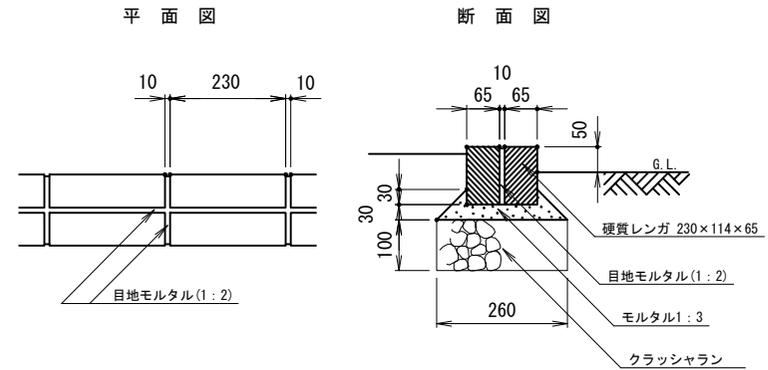
- ・ 目地モルタルは、配合1：2とする。
- ・ CF-10B, 12B, 15Bのコンクリート基礎部分には、瀝青系目地材ア10mm@10mを標準とする伸縮目地を設ける。
- ・ コンクリートブロックは、JIS製品またはJIS標示許可工場で製造された製品とする。
- ・ CF-10B, 12B, 15Bは、最大積載量4t以下の管理車両が横断する箇所に使用する。
- ・ 擬石縁石を使用する場合は、表面仕上げ(1面)及び表面層の種石は特記による。

# レンガ縁石 (硬質レンガ)

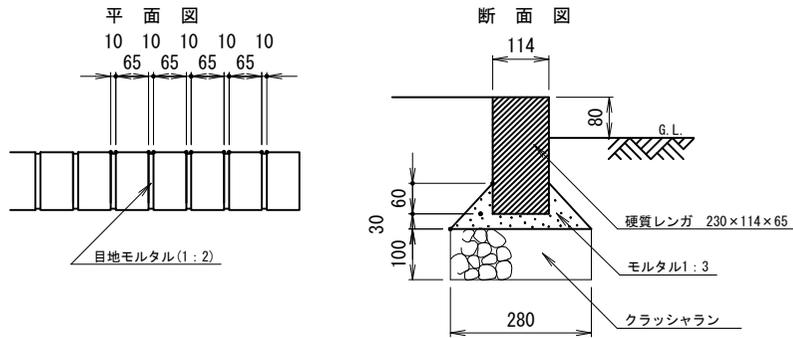
RF-A



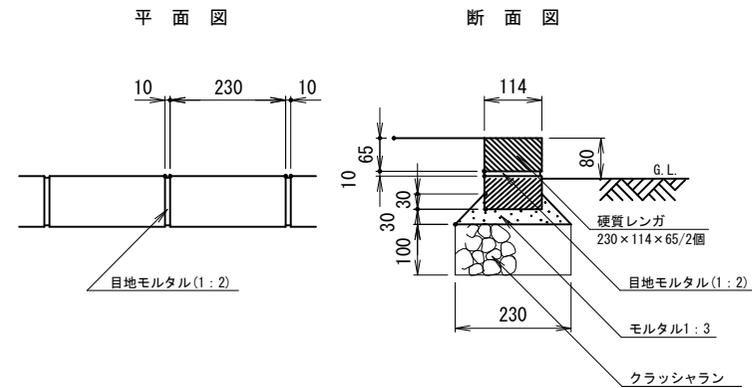
RF-D



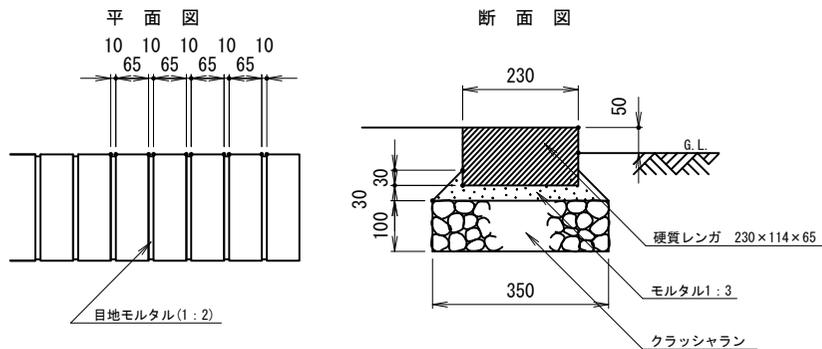
RF-B



RF-E



RF-C



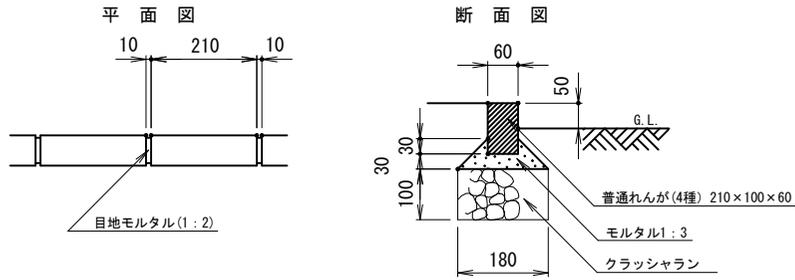
## 仕様

- ・目地は、化粧目地とし、幅10mm、深さ3~5mmとする。
- ・硬質レンガは舗装用とし、寸法は参考寸法とする。

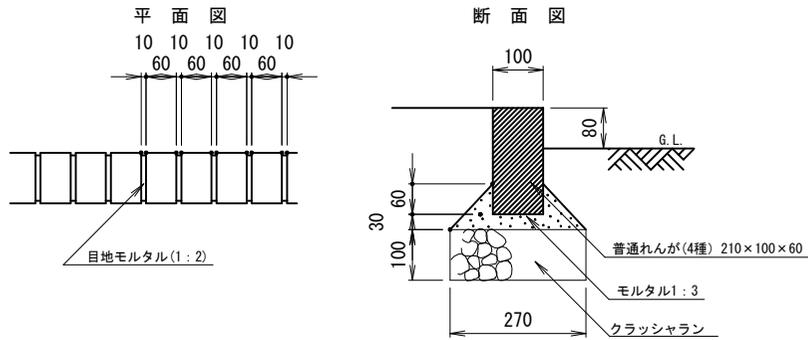
北九州市土木構造物標準図	図面名称	レンガ縁石 (硬質レンガ)	縮尺	S=1/15	備考	改定年月	前回 平成 19 年 10 月 最新 平成 28 年 11 月	6 14
--------------	------	---------------	----	--------	----	------	------------------------------------	---------

# レンガ縁石 (普通レンガ)

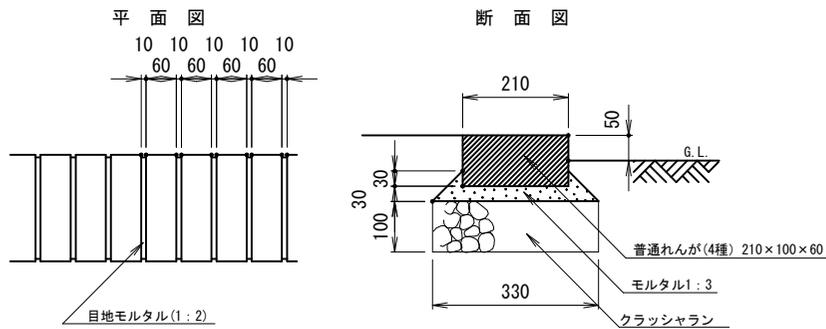
AF-A



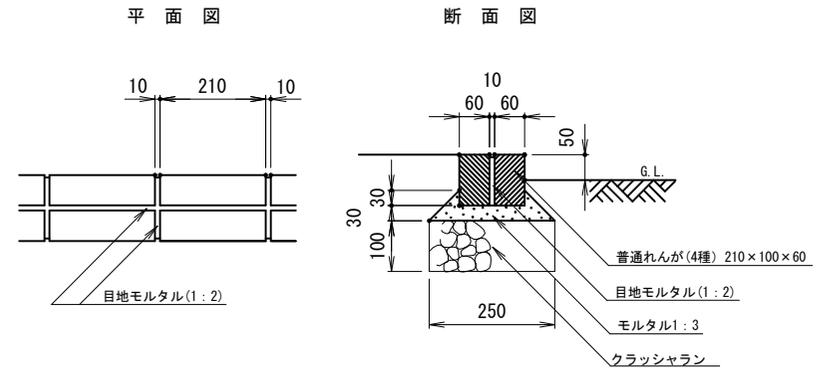
AF-B



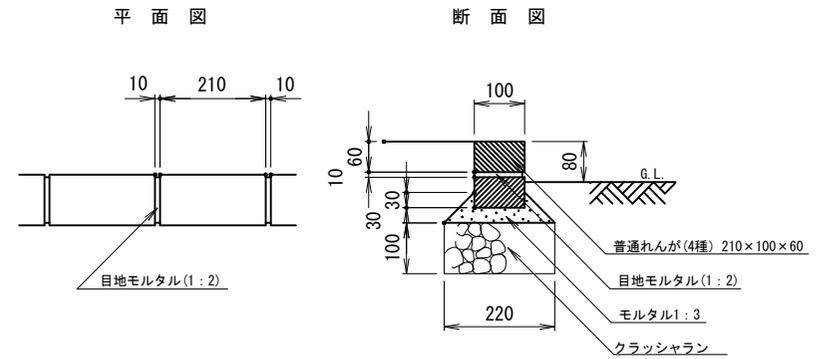
AF-C



AF-D



AF-E

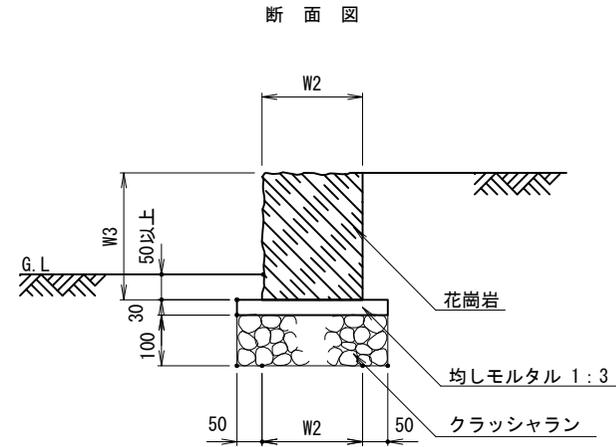
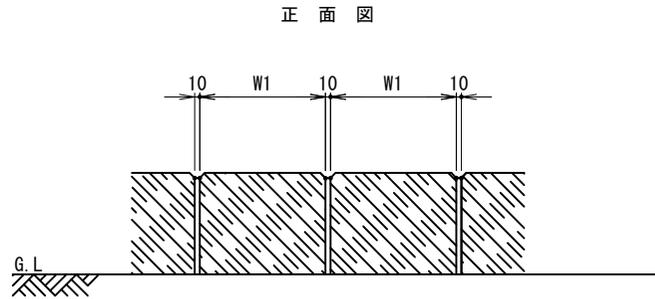


**仕 様**

- ・目地は、化粧目地とし、幅 10mm、深さ 3~5mmとする。
- ・普通レンガは、JIS R 1250 4種とする。

北九州市土木構造物標準図	図面名称	レンガ縁石 (普通レンガ)	縮尺	S=1/15	備考	改定年月	前回 平成 21 年 4 月 最新 平成 28 年 11 月	6 15
--------------	------	---------------	----	--------	----	------	-----------------------------------	---------

切石縁石



寸法表

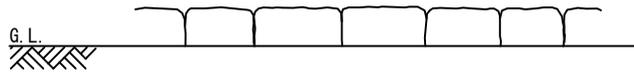
	W1	W2	W3
WF-A	250	200	250
WF-B	300	250	300
WF-C	350	250	350

仕 様

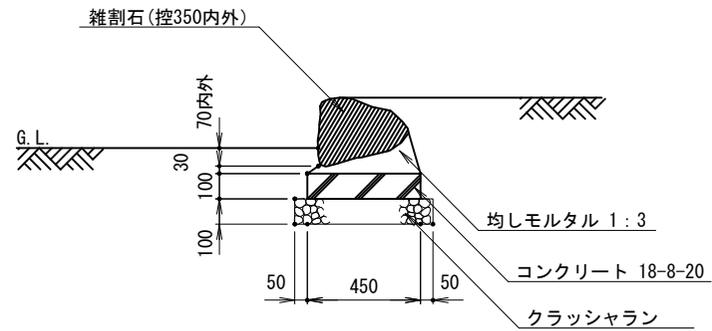
- ・切石の規格は平面特記とする。
- ・切石の色、表面仕上げは平面特記とする。

雑割石縁石

正面図 (参考図)



断面図



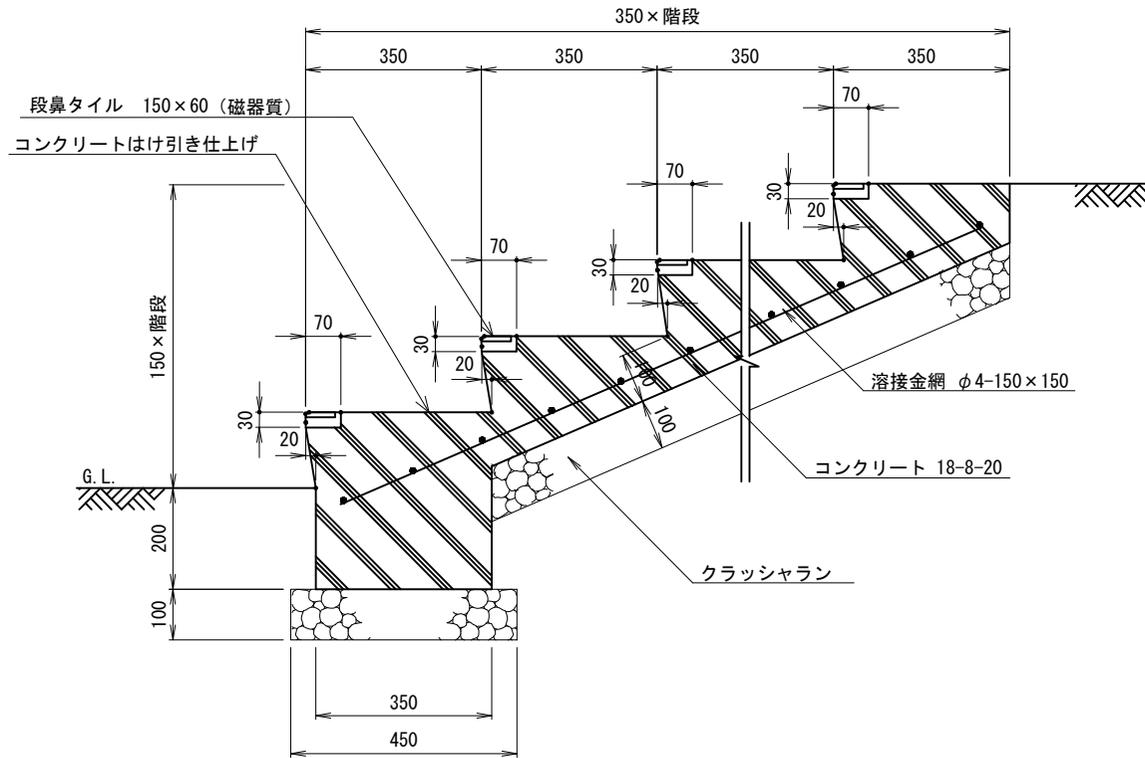
10m当り			
名称	算式	単位	数量
基礎工	$0.55 \times 10.0$	m <sup>2</sup>	5.5
コンクリート	$0.45 \times 0.10 \times 10.0$	m <sup>3</sup>	0.45
均し型枠	$0.10 \times 2 \times 10.0$	m <sup>2</sup>	2.00
均しモルタル	$0.45 \times 0.10 \times 1/2 \times 10.0$	m <sup>3</sup>	0.225

仕様

- ・伸縮目地は、スギ2等 (ア) 9mmを標準とする。
- ・雑割石の種類、色は平面特記による。

コンクリート階段（参考図）

コンクリート階段 断面図



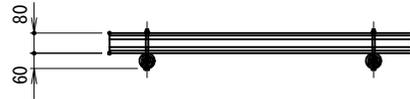
仕 様

- ・ 階段の段数及び幅員は、図面特記による。
- ・ 階段の高さが2.5mを超える場合は、高さ2.5m以内毎に、1.2m以上の水平部を設けること。
- ・ 階段の両端には1.2m以上の水平部を設けること。
- ・ 踏面には、水勾配を設けること。
- ・ 「移動等円滑化のために必要な特定公園施設の設置に関する基準を定める省令」で定める基準に十分配慮すること。

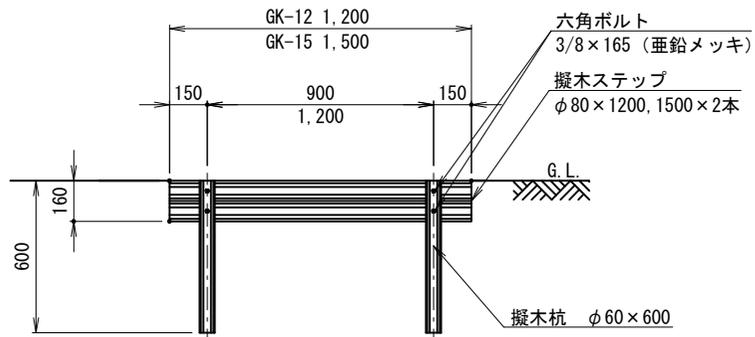
北九州市土木構造物標準図	図面名称	コンクリート階段（参考図）	縮 尺	S=1/15	備 考	改定年月	前回 平成 21 年 4 月	6
							最新 平成 28 年 11 月	18

擬木丸太階段

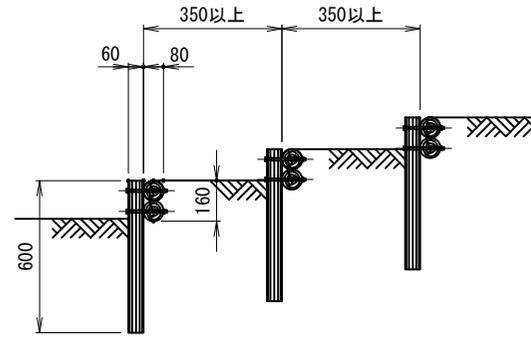
平面図



正面図



側面図



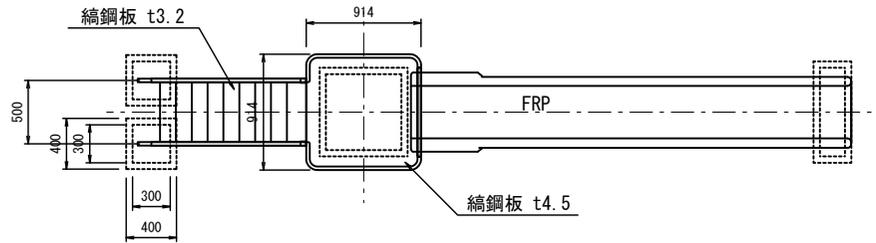
仕様

- ・擬木の材料、仕上げについては図面特記とする。
- ・踏み面は、通常は350mm以上とするか、急傾斜地については監督員の指示による。

北九州市土木構造物標準図	図面名称	擬木丸太階段	縮尺	S=1/30	備考		改定年月	前回 平成15年 10 月 最新 平成17年 5 月	6 19
--------------	------	--------	----	--------	----	--	------	-------------------------------	---------

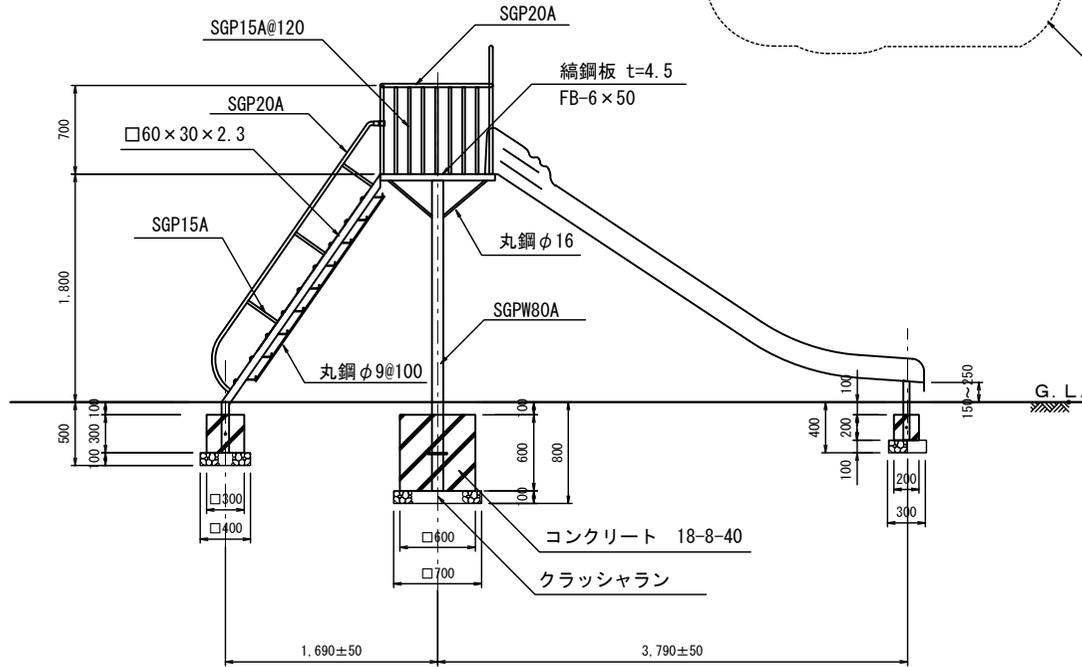
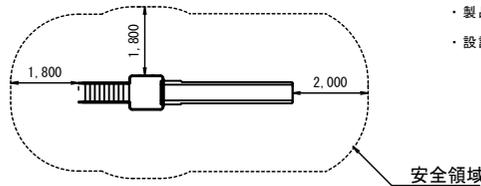
# 1面滑台(直線タイプ)(参考図)

基準単価コード	-
---------	---

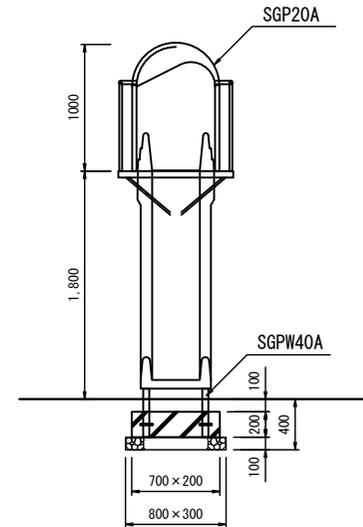


平面図 S=1/60

安全領域図 S=1/200



側面図 S=1/60



正面図 S=1/60

名称	算式	単位	数量
基礎	$(0.70 \times 0.70 + 0.40 \times 0.40 \times 2 + 0.80 \times 0.30) \times 10$	m <sup>2</sup>	10.5
コンクリート	$(0.60 \times 0.60 \times 0.60 + 0.30 \times 0.30 \times 2 + 0.70 \times 0.20 \times 0.20) \times 10$	m <sup>3</sup>	2.98
型枠	$(0.60 \times 0.60 \times 4 + 0.30 \times 0.30 \times 4 \times 2 + (0.70 \times 0.20 + 0.20 \times 0.20) \times 2) \times 10$	m <sup>2</sup>	25.2

仕様

- ・ 踊場柱と滑り面脚は溶融亜鉛メッキ鋼管を使用する。
- ・ 鉄部は、合成樹脂塗装仕上げとする。(錆止め・中塗り・上塗り)
- ・ 指定場所に設置年月、製作所の商標をシールで表示すること。
- ・ 根がうみは踊場柱M12X150、その他はM12X100とする。
- ・ 設置年月及び製造メーカーを記したシールを貼付すること。
- ・ (一社)日本公園施設業協会「遊具の安全に関する規程」に適合し、生産物賠償賠償責任保険加入製品とする。
- ・ 寸法、形状等はメーカーにより多少相違があるため、「参考図」として掲載している。
- ・ 製品の使用にあたっては、参考図以外のものでも同等品以上であれば使用できる。
- ・ 設計図書に参考図を使用する場合には、特別な理由がない限り「参考図」と明記すること。

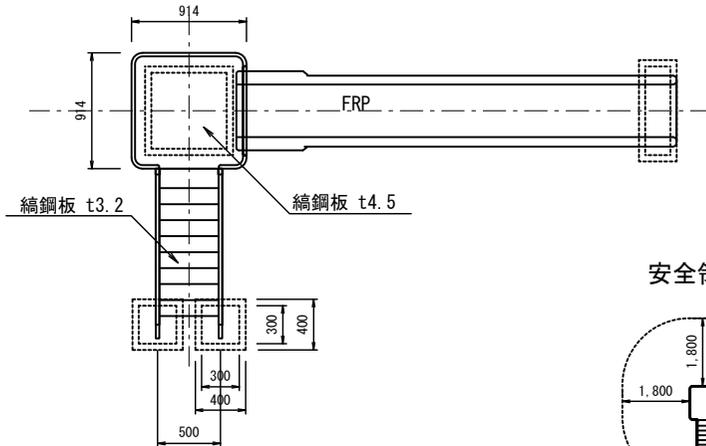
h'イ'規格寸法	
SGP15A:	21.7 φ X 2.8
SGP20A:	27.2 φ X 2.8
SGP25A:	34.0 φ X 3.2
SGP32A:	42.7 φ X 3.5
SGP40A:	48.6 φ X 3.5
SGP80A:	89.1 φ X 4.2

北九州市土木構造物標準図	図面名称	1面滑台(直線タイプ)(参考図)	縮尺	S=1/60、1/200	備考		改定年月	前回 平成 23 年 4 月 最新 平成 28 年 11 月	7 1
--------------	------	------------------	----	--------------	----	--	------	-----------------------------------	--------

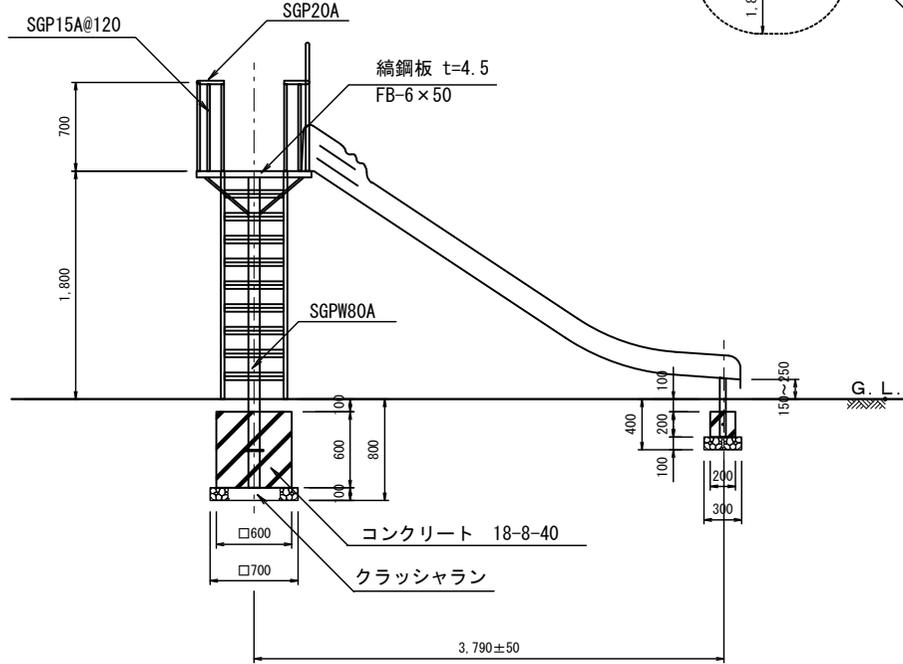
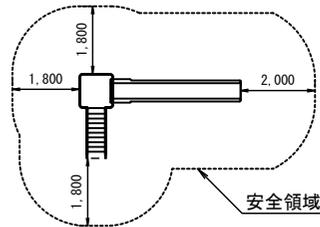
# 1面滑台(直角タイプ)(参考図)

基準単価コード	-
---------	---

平面図 S=1/60



安全領域図 S=1/200

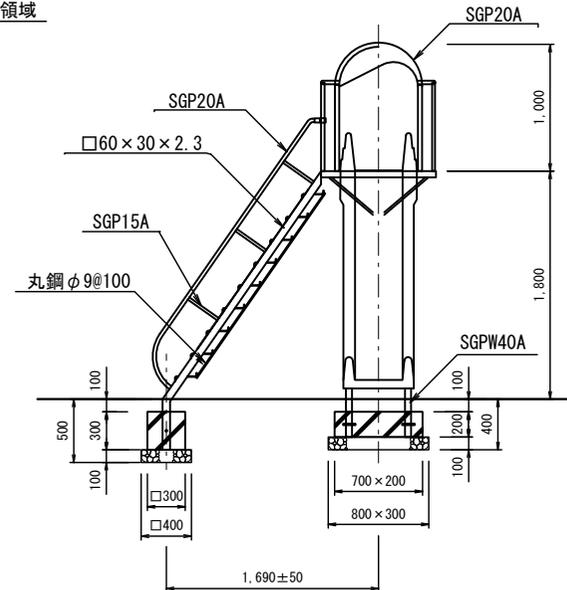


側面図 S=1/60

名称	算式	単位	数量
基礎	$(0.70 \times 0.70 + 0.40 \times 0.40 \times 2 + 0.80 \times 0.30) \times 10$	m <sup>2</sup>	10.5
コンクリート	$(0.60 \times 0.60 \times 0.60 + 0.30 \times 0.30 \times 2 + 0.70 \times 0.20 \times 0.20) \times 10$	m <sup>3</sup>	2.98
型枠	$(0.60 \times 0.60 \times 4 + 0.30 \times 0.30 \times 4 \times 2 + (0.70 \times 0.20 + 0.20 \times 0.20) \times 2) \times 10$	m <sup>2</sup>	25.2

## 仕様

- ・滑り面の取り付け位置は、階段の左側又は右側のどちらかとし、施設平面図に向きを指定する。
- ・踊場柱と滑り面脚は溶融亜鉛メッキ鋼管を使用する。
- ・鉄部は、合成樹脂塗装仕上げとする。(錆止め・中塗り・上塗り)
- ・指定場所に設置年月、製作所の商標をシールで表示すること。
- ・根がうみは踊場柱M12X150、その他はM12X100とする。
- ・設置年月及び製造メーカーを記したシールを貼付すること。
- ・(一社)日本公園施設業協会「遊具の安全に関する規程」に適合し、生産物賠償責任保険加入製品とする。
- ・寸法、形状等はメーカーにより多少相違があるため、「参考図」として掲載している。
- ・製品の使用にあたっては、参考図以外のものでも同等品以上であれば使用できる。
- ・設計図書に参考図を使用する場合には、特別な理由がない限り「参考図」と明記すること。



正面図 S=1/60

n'47規格寸法	
SGP15A	21.7 φ X 2.8
SGP20A	27.2 φ X 2.8
SGP25A	34.0 φ X 3.2
SGP32A	42.7 φ X 3.5
SGP40A	48.6 φ X 3.5
SGP80A	89.1 φ X 4.2

## 2段式滑台（直線タイプ）（参考図）

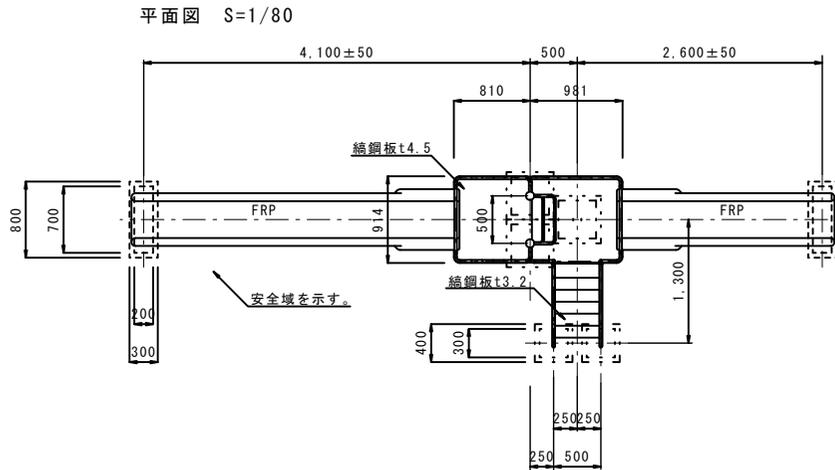
基準単価コード	-
---------	---

### 仕様

- ・滑り面の取り付け位置は、階段の左側又は右側のどちらかとし、施設平面図に向きを指定する。
- ・踊場柱と滑り面脚は溶融亜鉛メッキ鋼管を使用する。
- ・鉄部は、合成樹脂塗装仕上げとする。（錆止め・中塗り・上塗り）
- ・指定場所に設置年月、製作所の商標をシールで表示すること。
- ・根がりは踊場柱M12X150、その他はM12X100とする。
- ・設置年月及び製造メーカーを記したシールを貼付すること。
- ・（一社）日本公園施設業協会「遊具の安全に関する規準」に適合し、生産物賠償責任保険加入製品とする。
- ・寸法、形状等はメーカーにより多少相違があるため、「参考図」として掲載している。
- ・製品の使用にあたっては、参考図以外のものでも同等品以上であれば使用できる。
- ・設計図書に参考図を使用する場合には、特別な理由がない限り「参考図」と明記すること。

10基当り

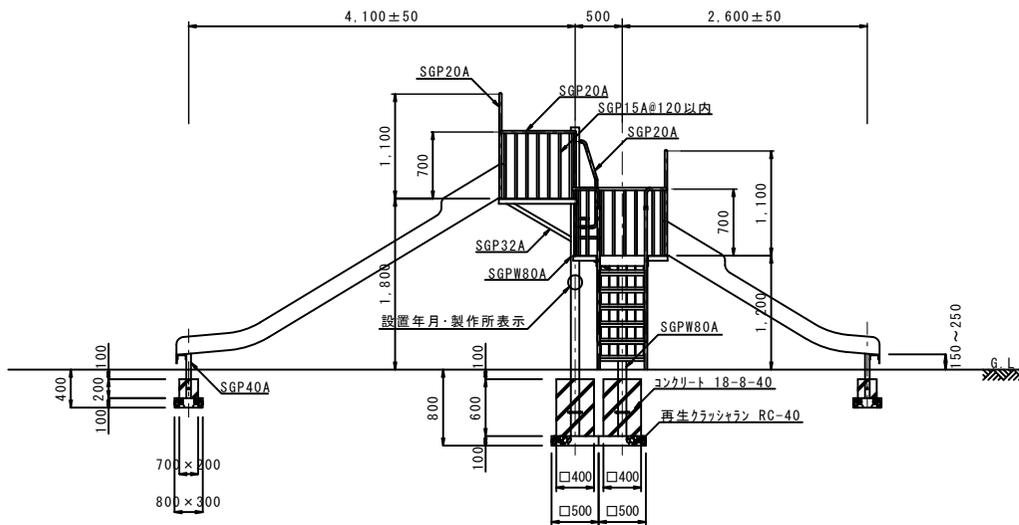
名称	算式	単位	数量
クラッシュラン	$(0.5 \times 0.5 \times 3 + 0.4 \times 0.4 \times 2 + 0.8 \times 0.3 \times 2) \times 10$	m <sup>2</sup>	15.50
コンクリート	$(0.4 \times 0.4 \times 6 \times 3 + 0.3 \times 0.3 \times 3 \times 2 + 0.7 \times 0.2 \times 2) \times 10$	m <sup>3</sup>	3.98
型枠	$\{0.4 \times 0.6 \times 4 \times 3 + 0.3 \times 0.3 \times 4 \times 2 + (0.7 + 0.2) \times 2 \times 0.2 \times 2\} \times 10$	m <sup>2</sup>	43.20



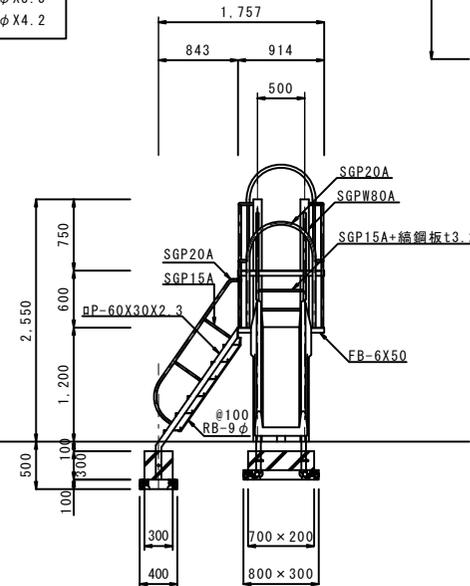
A' 47 規格寸法

SGP15A: 21.7 φ X 2.8
SGP20A: 27.2 φ X 2.8
SGP25A: 34.0 φ X 3.2
SGP32A: 42.7 φ X 3.5
SGP40A: 48.6 φ X 3.5
SGP80A: 89.1 φ X 4.2

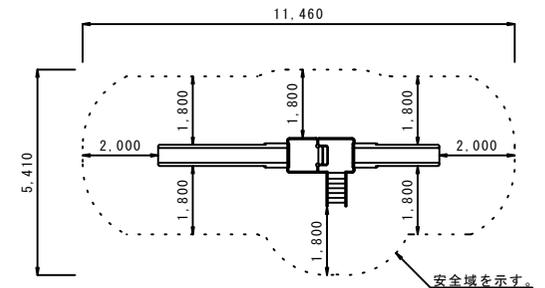
正面図 S=1/80



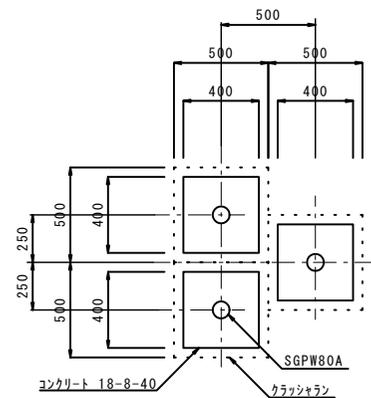
側面図 S=1/80



安全領域図 S=1:200

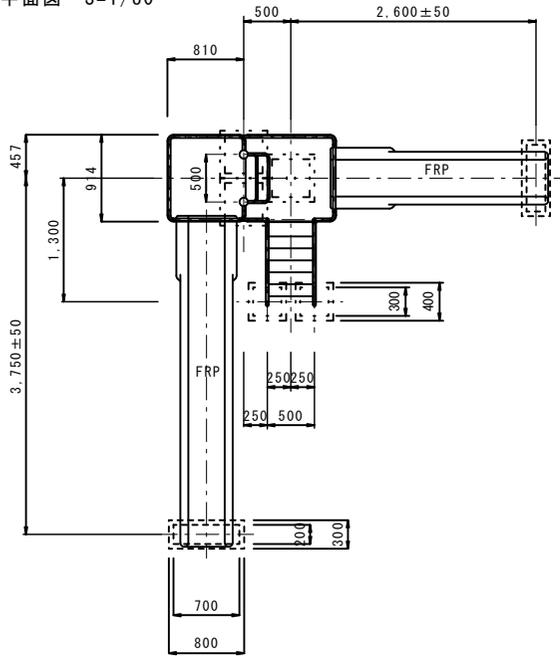


踊場基礎平面図 S=1/40



2段式滑台 (直角タイプ) (参考図)

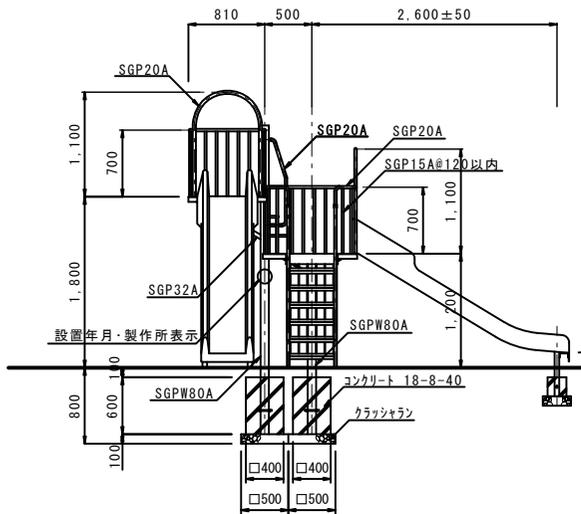
平面図 S=1/80



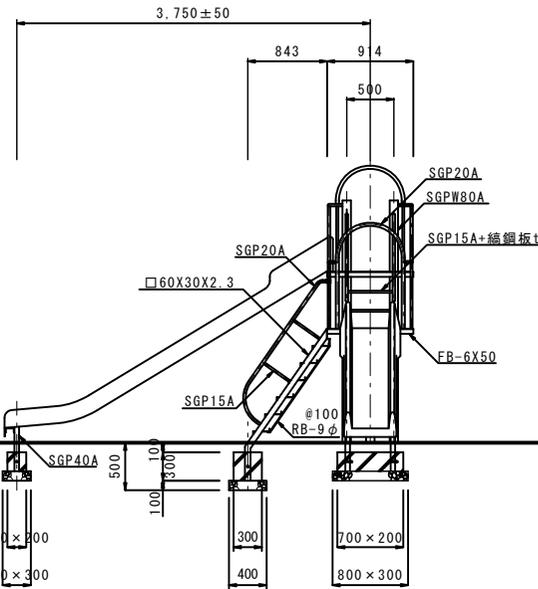
φ17 規格寸法

SGP15A: 21.7φ X 2.8
SGP20A: 27.2φ X 2.8
SGP25A: 34.0φ X 3.2
SGP32A: 42.7φ X 3.5
SGP40A: 48.6φ X 3.5
SGP80A: 89.1φ X 4.2

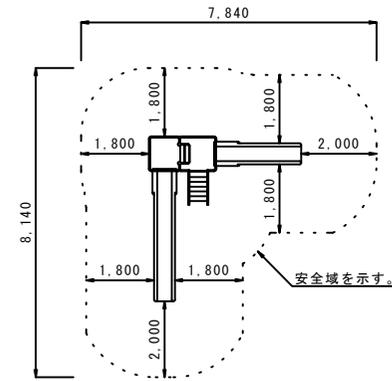
正面図 S=1/80



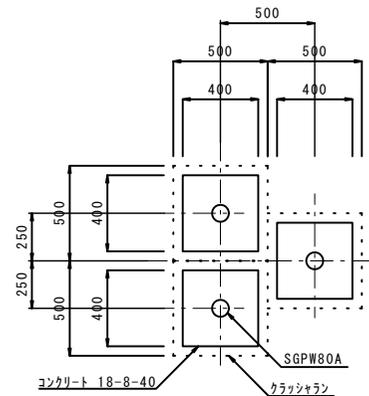
側面図 S=1/80



安全領域図 S=1:200



踊場基礎平面図 S=1/40



仕様

- ・踊場柱と滑り面脚は溶融亜鉛メッキ鋼管を使用する。
- ・鉄部は、合成樹脂塗装仕上げとする。(錆止め・中塗り・上塗り)
- ・指定場所に設置年月、製作所の商標をシールで表示すること。
- ・根がラミは踊場柱M12X150、その他はM12X100とする。
- ・設置年月及び製造メーカーを記したシールを貼付すること。
- ・(一社)日本公園施設業協会「遊具の安全に関する規程」に適合し、生産物賠償賠償責任保険加入製品とする。
- ・寸法、形状等はメーカーにより多少相違があるため、「参考図」として掲載している。
- ・製品の使用にあたっては、参考図以外のものでも同等品以上であれば使用できる。
- ・設計図書に参考図を使用する場合には、特別な理由がない限り「参考図」と明記すること。

基準単価コード	-
---------	---

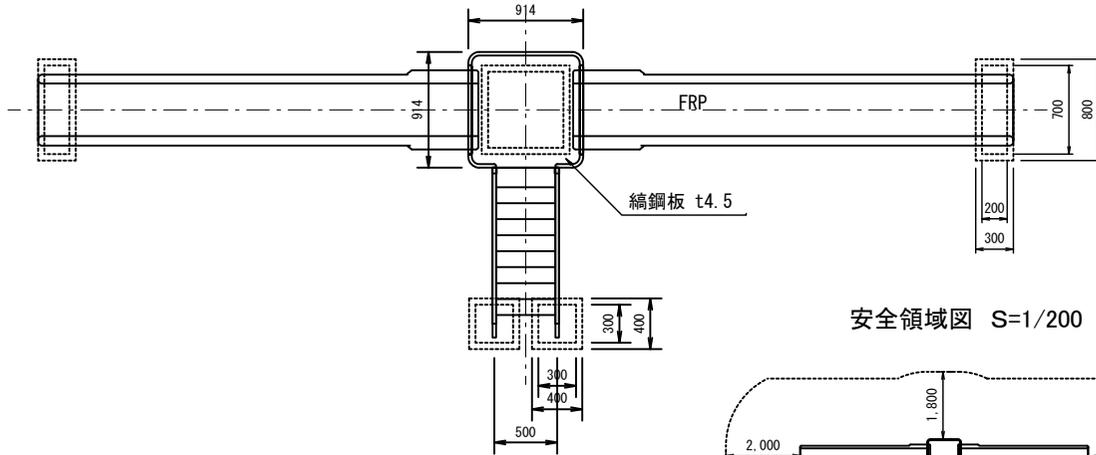
名称	算式	単位	数量
クラッシュラン	(0.5X0.5X3+0.4X0.4X2+0.8X0.3X2)X10	m <sup>2</sup>	15.50
コンクリート	(0.4X0.4X0.6X3+0.3X0.3X0.3X2+0.7X0.2X0.2X2)X10	m <sup>3</sup>	3.98
型 枠	[0.4X0.6X4X3+0.3X0.3X4X2+(0.7+0.2)X2X0.2X2]X10	m <sup>2</sup>	43.20

10基当り

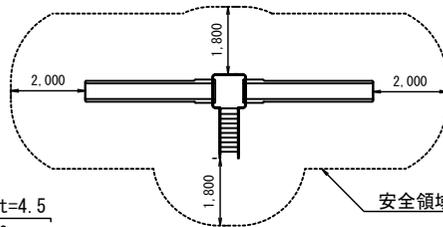
平面図 S=1/60

2面滑台(参考図)

基準単価コード -



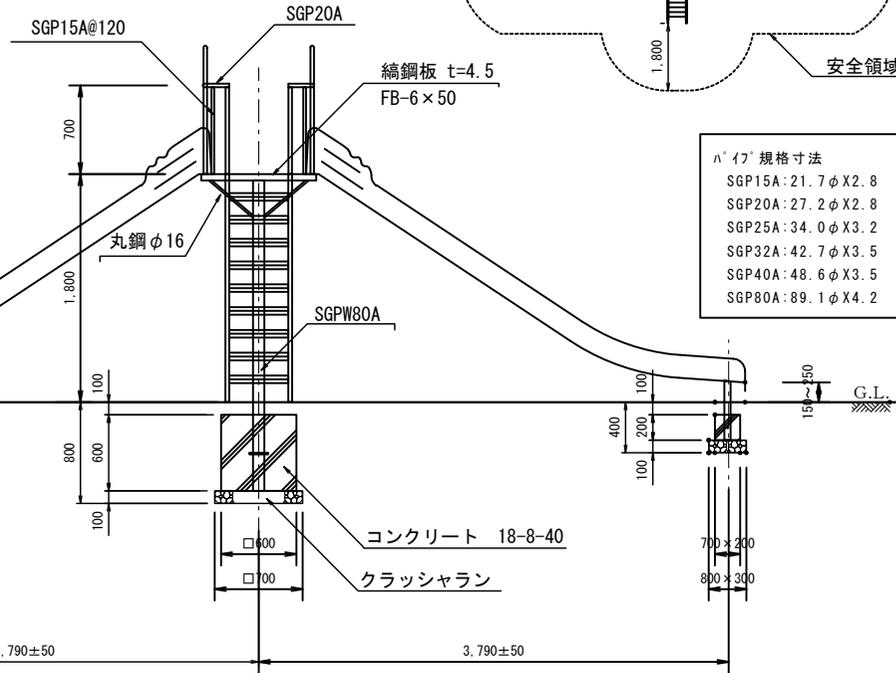
安全領域図 S=1/200



名称	算式	10基当り	
		単位	数量
基礎	$(0.70 \times 0.70 + 0.40 \times 0.40 \times 2 + 0.80 \times 0.30 \times 2) \times 10$	m <sup>2</sup>	12.9
コンクリート	$(0.60 \times 0.60 \times 0.60 + 0.30 \times 0.30 \times 0.30 \times 2 + 0.70 \times 0.20 \times 0.20 \times 2) \times 10$	m <sup>3</sup>	3.26
型枠	$[0.60 \times 0.60 \times 4 + 0.30 \times 0.30 \times 4 \times 2 + (0.70 \times 0.20 + 0.20 \times 0.20) \times 2 \times 2] \times 10$	m <sup>2</sup>	28.8

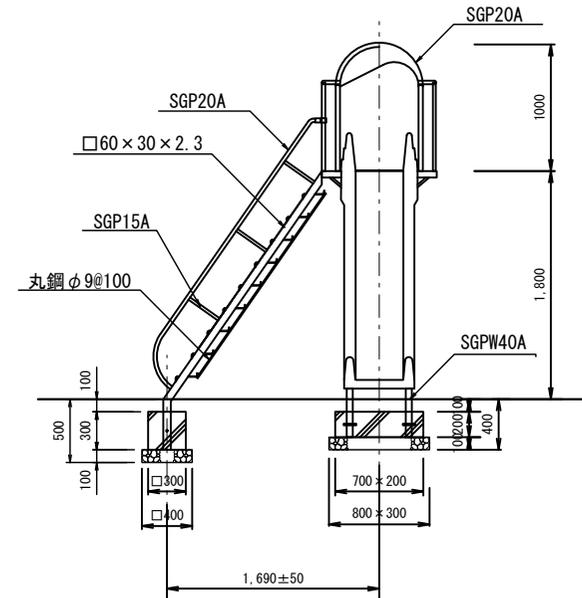
仕様

- ・ 踊場柱と滑り面脚は溶融亜鉛メッキ鋼管を使用する。
- ・ 鉄部は、合成樹脂塗装仕上げとする。(錆止め・中塗り・上塗り)
- ・ 指定場所に設置年月、製作所の商標をシールで表示すること。
- ・ 根がらは踊場柱M12X150、その他はM12X100とする。
- ・ 設置年月及び製造メーカーを記したシールを貼付すること。
- ・ (一社)日本公園施設業協会「遊具の安全に関する規準」に適合し、生産物賠償賠償責任保険加入製品とする。
- ・ 寸法、形状等はメーカーにより多少相違があるため、「参考図」として掲載している。
- ・ 製品の使用にあたっては、参考図以外のものでも同等品以上であれば使用できる。
- ・ 設計図書に参考図を使用する場合には、特別な理由がない限り「参考図」と明記すること。



φ17 規格寸法

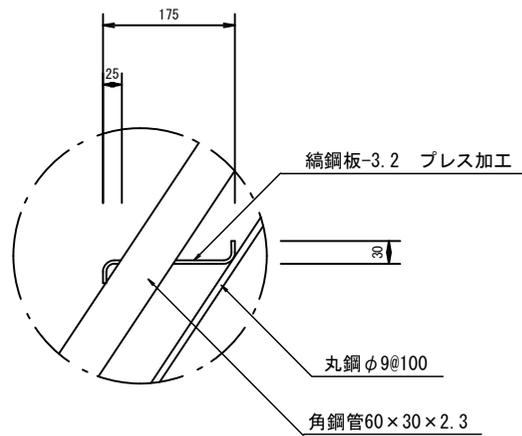
SGP15A	: 21.7 φ X 2.8
SGP20A	: 27.2 φ X 2.8
SGP25A	: 34.0 φ X 3.2
SGP32A	: 42.7 φ X 3.5
SGP40A	: 48.6 φ X 3.5
SGP80A	: 89.1 φ X 4.2



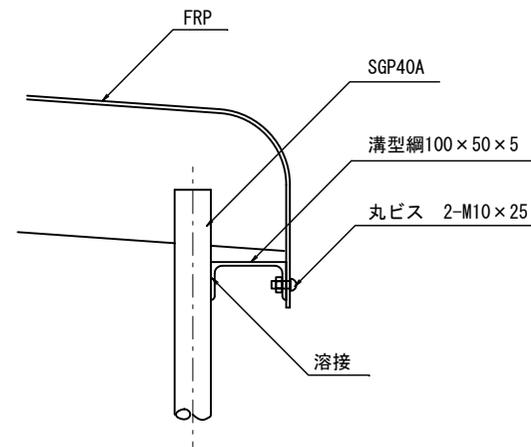
側面図 S=1/60

正面図 S=1/60

北九州市土木構造物標準図	図面名称	2面滑台(参考図)	縮尺	S=1/60, 1/200	備考	改定年月	前回 平成 23 年 4 月 最新 平成 28 年 11 月	7 5
--------------	------	-----------	----	---------------	----	------	-----------------------------------	--------



階段部詳細図 S=1/10

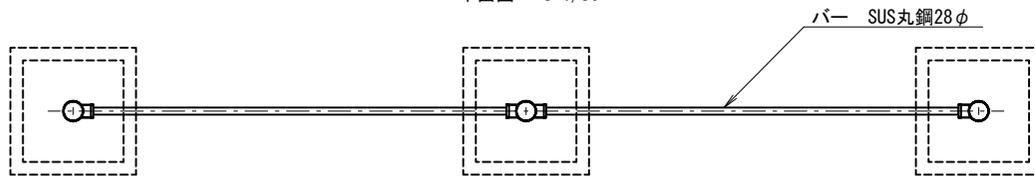


滑り面脚部詳細図 S=1/10

北九州市土木構造物標準図	図面名称	すべり台共通詳細図	縮尺	S=1/10	備考	改定年月	前回 平成 21 年 4 月	7
							最新 平成 28 年 11 月	6

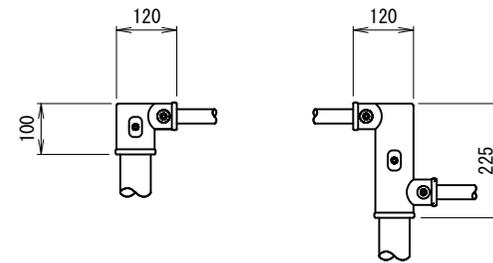
2連低鉄棒 (参考図)

平面図 S=1/30

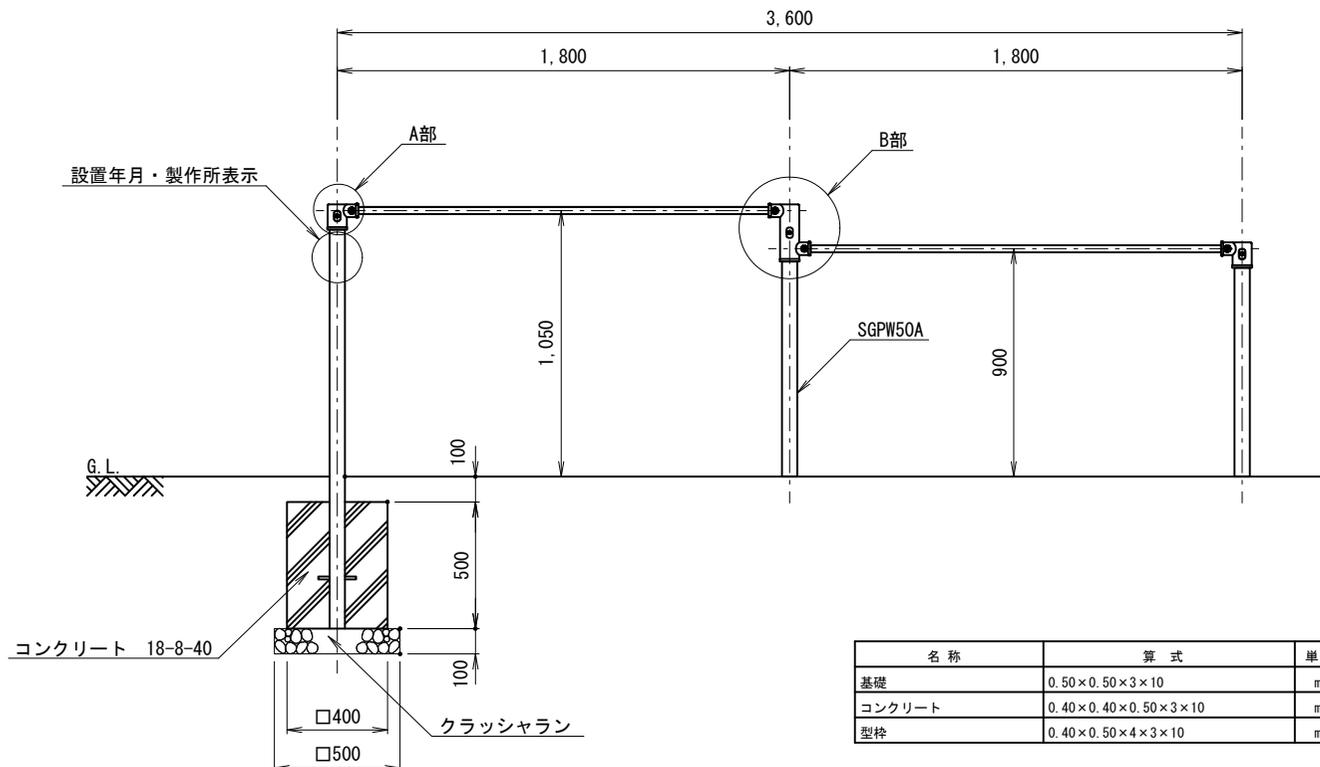


基準単価コード	-
---------	---

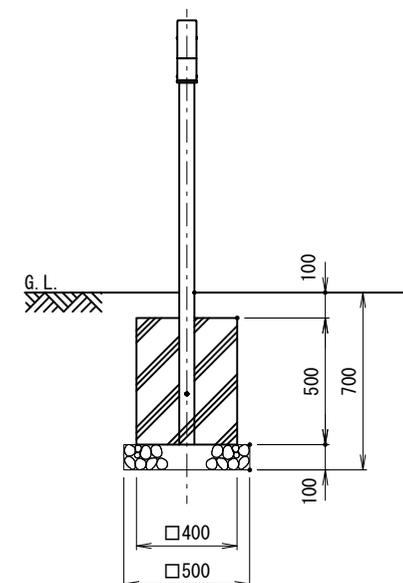
铸件詳細図 (A・B部) S=1/15



正面図 S=1/30

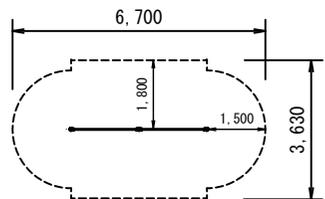


側面図 S=1/30



10基当り

名称	算式	単位	数量
基礎	0.50×0.50×3×10	m <sup>2</sup>	7.5
コンクリート	0.40×0.40×0.50×3×10	m <sup>3</sup>	2.4
型枠	0.40×0.50×4×3×10	m <sup>2</sup>	24.0



安全領域 S=1/200

仕様

- ・柱は溶融亜鉛メッキ管を使用する。
- ・鉄部は、合成樹脂塗装(錆止・中塗・上塗)とする。
- ・指定場所に設置年月、製作所の商標を、シール等により表示すること。
- ・根ガラミはM12×150とする。
- ・(一社)日本公園施設業協会「遊具の安全に関する規程」に適合し、生産物賠償責任保険加入製品とする。
- ・寸法、形状等はメーカーにより多少相違があるため、「参考図」として掲載している。
- ・製品の使用にあたっては、参考図以外のものでも同等品以上であれば使用できる。
- ・設計図書に参考図を使用する場合には、特別な理由のない限り「参考図」と明記すること。

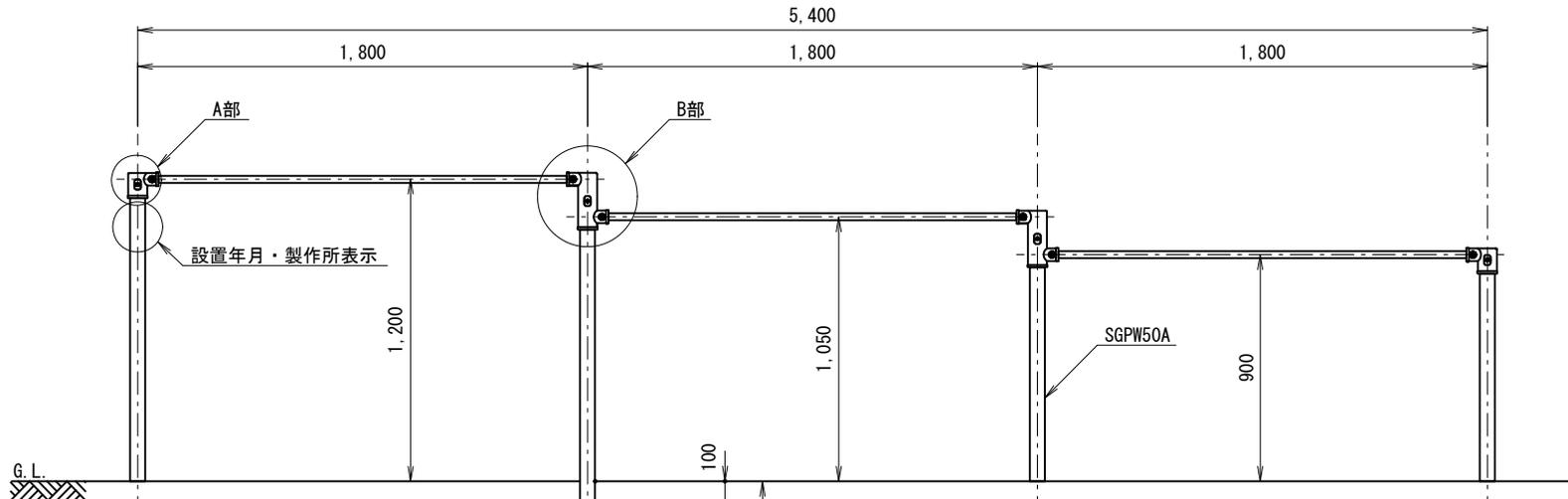
北九州市土木構造物標準図	図面名称	2連低鉄棒 (参考図)	縮尺	S=1/30, 1/15, 1/200	備考		改定年月	前回 平成 23 年 4 月	7
								最新 平成 28 年 11 月	7

3連低鉄棒 (参考図)

平面図 S=1/30

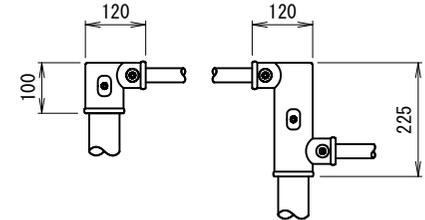


正面図 S=1/30

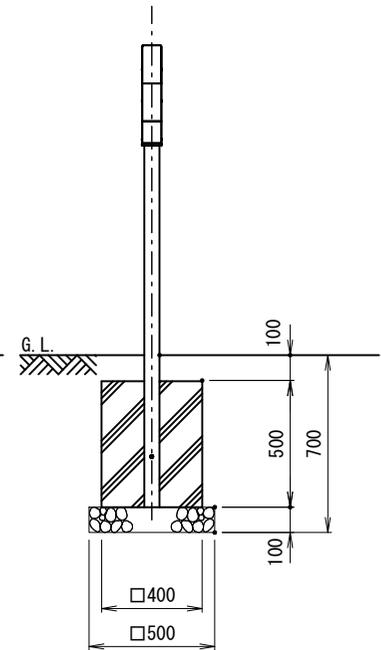


基準単価コード	-
---------	---

鋳物詳細図(A・B部) S=1/15

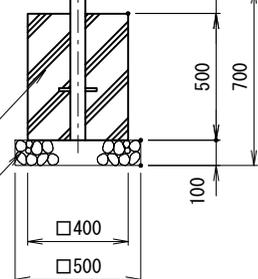


側面図 S=1/30



コンクリート 18-8-40

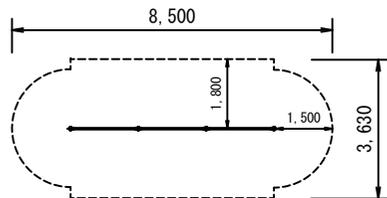
クラッシュラン



10基当たり			
名称	算式	単位	数量
基礎	0.50×0.50×4×10	m <sup>2</sup>	10.0
コンクリート	0.40×0.40×0.50×4×10	m <sup>3</sup>	3.2
型枠	0.40×0.50×4×4×10	m <sup>2</sup>	32.0

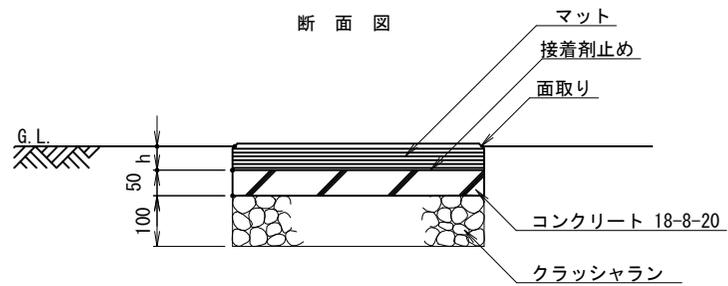
仕様

- ・柱は溶融亜鉛メッキ管を使用する。
- ・鉄部は、合成樹脂塗装(錆止・中塗・上塗)とする。
- ・指定場所に設置年月・製作所の商標を、シール等により表示すること。
- ・根ガラミはM12×150とする。
- ・(一社)日本公園施設業協会「遊具の安全に関する規程」に適合し、生産物賠償責任保険加入製品とする。
- ・寸法、形状等はメーカーにより多少相違があるため、「参考図」として掲載している。
- ・製品の使用にあたっては、参考図以外のものでも同等品以上であれば使用できる。
- ・設計図書に参考図を使用する場合には、特別な理由のない限り「参考図」と明記すること。



安全領域 S=1/200

クッションマット (参考図)



仕 様

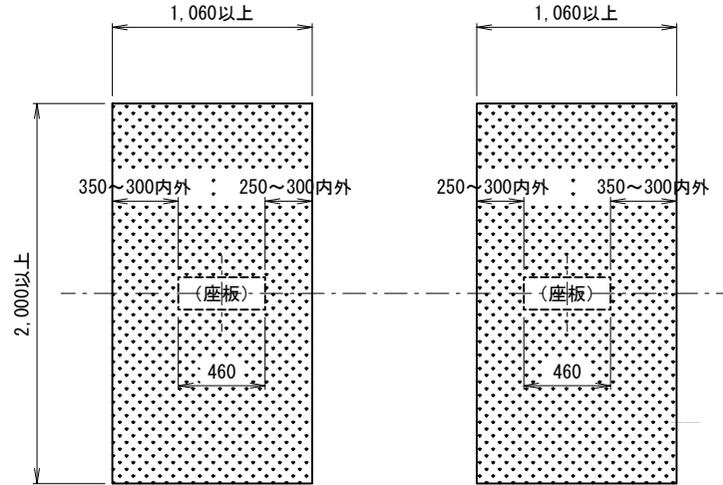
- ・マットの仕様及びhについては、主管課と協議すること。
- ・寸法、形状等はメーカーにより多少相違があるため、「参考図」として掲載している。
- ・製品の使用にあたっては、参考図以外のものでも同等品以上であれば使用できる。
- ・設計図書に参考図を使用する場合には、特別な理由のない限り「参考図」と明記すること。

北九州市土木構造物標準図	図面名称	クッションマット (参考図)	縮尺	S=1/15	備考		改定年月	前回 平成 19 年 10 月 最新 平成 28 年 11 月	7 9
--------------	------	----------------	----	--------	----	--	------	------------------------------------	--------

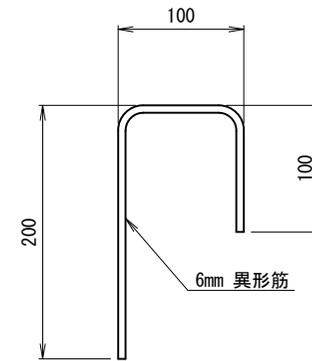
人工芝（ブランコ下）（参考図）

平面図 S=1/40

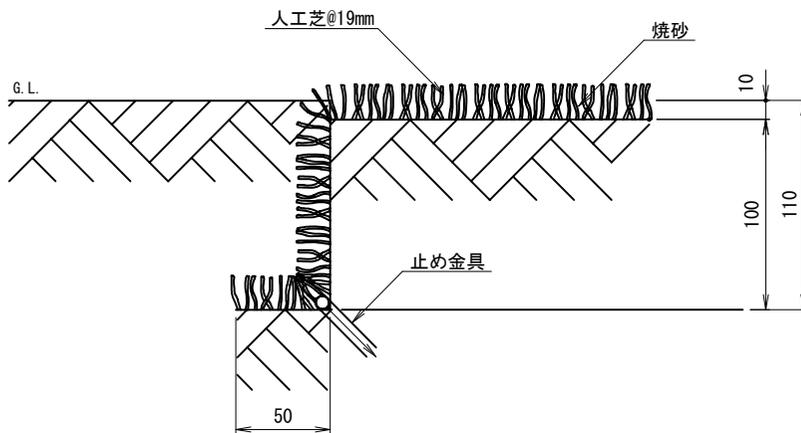
（個別に敷設する場合）



止め金具詳細図 S=1/6



端部断面詳細図 S=1/4



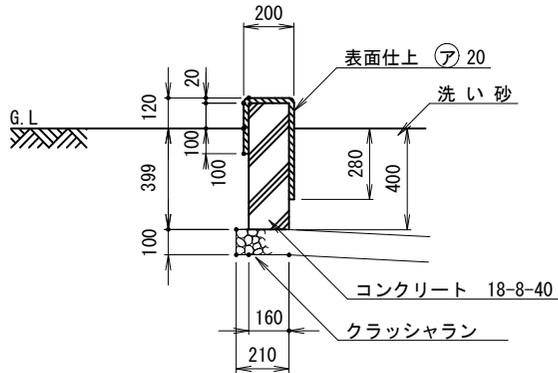
仕様

- ・止め金具は@400mmを標準として全周に打ち込む。
- ・寸法、形状等はメーカーにより多少相違があるため、「参考図」として掲載している。
- ・製品の使用にあたっては、参考図以外のものでも同等品以上であれば使用できる。
- ・設計図書に参考図を使用する場合には、特別な理由のない限り「参考図」と明記すること。

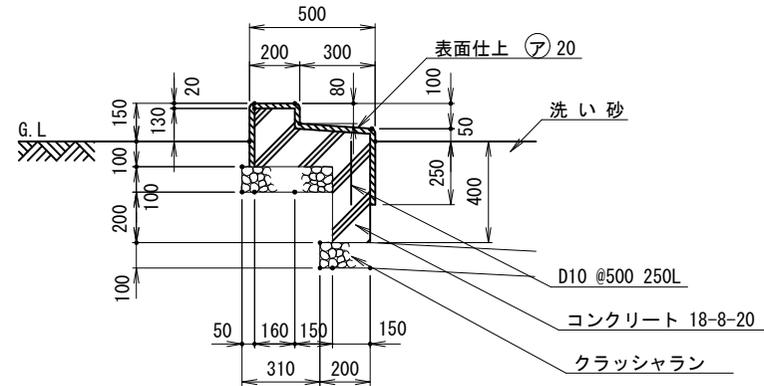
北九州市土木構造物標準図	図面名称	人工芝（ブランコ下）（参考図）	縮尺	図示	備考	改定年月	前回 平成 19 年 10 月 最新 平成 28 年 11 月	7 10
--------------	------	-----------------	----	----	----	------	------------------------------------	---------

砂場縁部

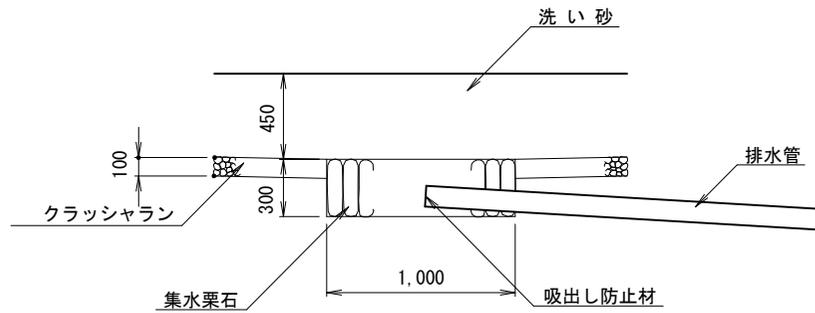
砂場縁部(SNF-A)断面図 S=1/30



砂場縁部(SNF-B)断面図 S=1/30



砂場中央部 断面図(参考図) S=1/40



仕様

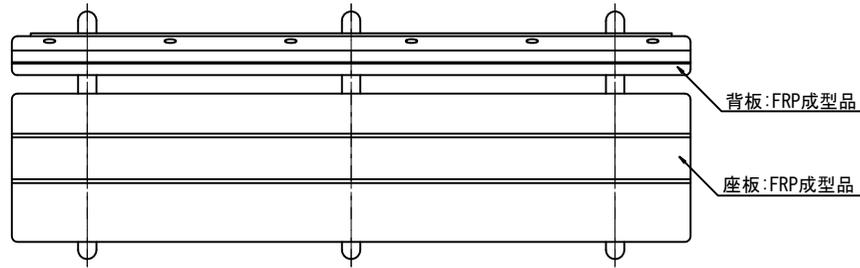
- ・表面仕上げは、寒水石粒研出仕上、美濃黒石粒研出仕上、又は、カラーモルタル研出仕上とし、図面特記とする。
- ・必要に応じて砂場縁石壁面にクッションマットを使用すること。

北九州市土木構造物標準図	図面名称	砂場縁部	縮尺	S=1/30, 1/40	備考	改定年月	前回 平成 19 年 10 月 最新 平成 28 年 11 月	7 11
--------------	------	------	----	--------------	----	------	------------------------------------	---------

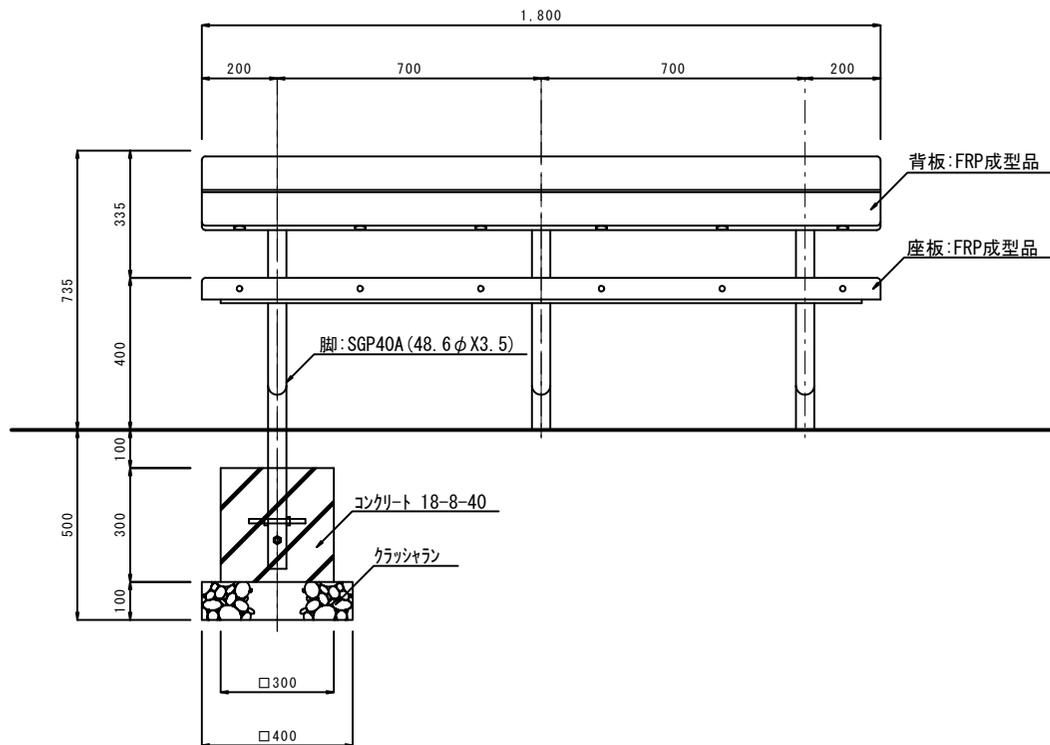
パイプ製ベンチ (FRP) (参考図)

基準単価コード	-
---------	---

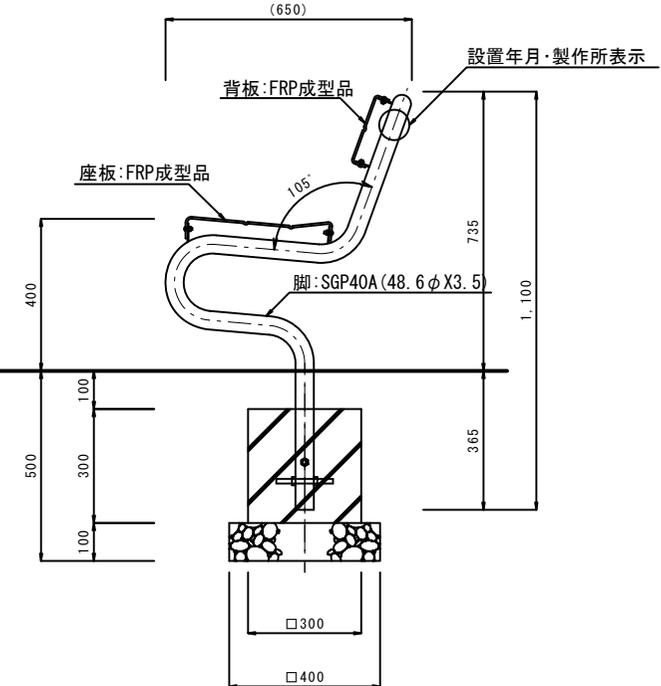
平面図 S=1/20



正面図 S=1/20



側面図 S=1/20



仕様

- ・鉄部は溶融亜鉛メッキ処理とする。
- ・鉄部は焼付塗装仕上げとする。(濃茶色)
- ・座板、背板はFRP一体成型品とする。(若草色)
- ・指定場所に設置年月、製作所の商標をシールで表示すること。
- ・根がうみはM12X150とする。
- ・設置年月及び製造メーカーを記したシールを貼付すること。
- ・(一社)日本公園施設業協会「遊具の安全に関する規程」に適合し、生産物賠償責任保険加入製品とする。
- ・寸法、形状等はメーカーにより多少相違があるため、「参考図」として掲載している。
- ・製品の使用にあたっては、参考図以外のものでも同等品以上であれば使用できる。
- ・設計図書に参考図を使用する場合には、特別な理由がない限り「参考図」と明記すること。

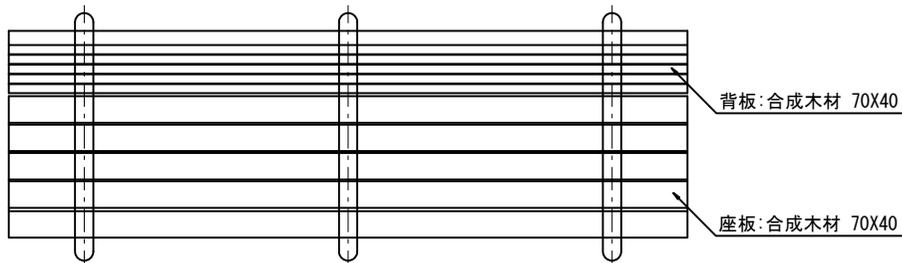
10基当り

名称	算式	単位	数量
クラッシュラン	0.4X0.4X3X10	m <sup>2</sup>	4.80
コンクリート	0.3X0.3X0.3X3X10	m <sup>3</sup>	0.81
型枠	0.3X0.3X4X3X10	m <sup>2</sup>	10.80

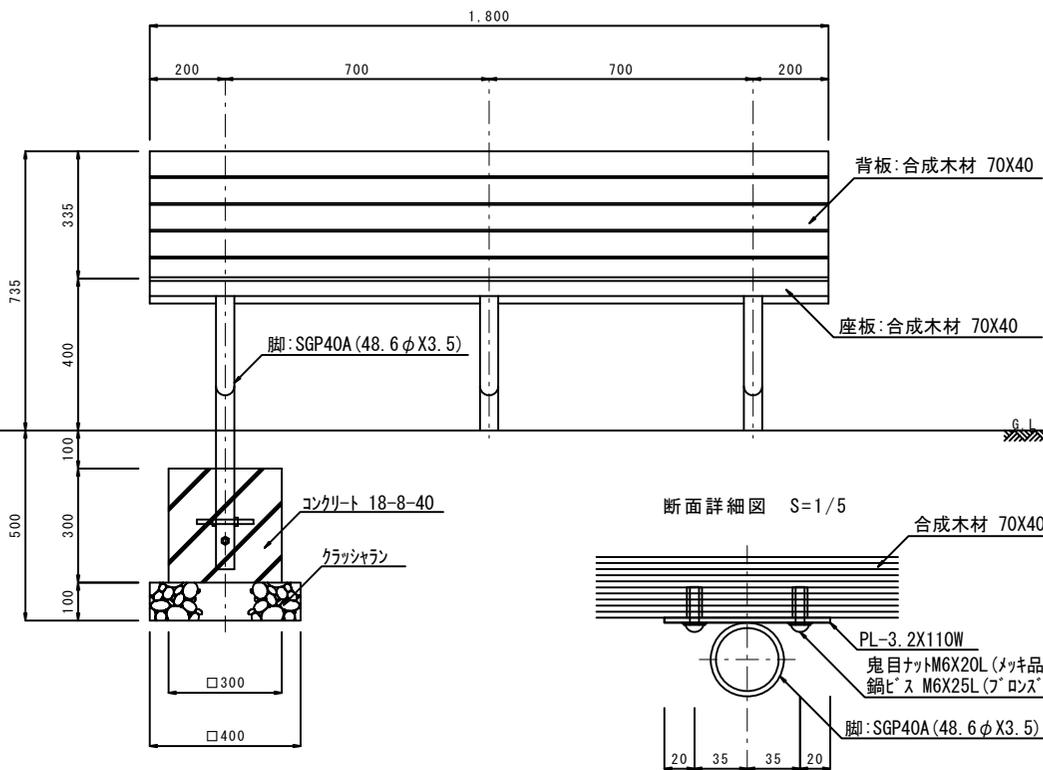
パイプ製ベンチ (合成木材) (参考図)

基準単価コード	-
---------	---

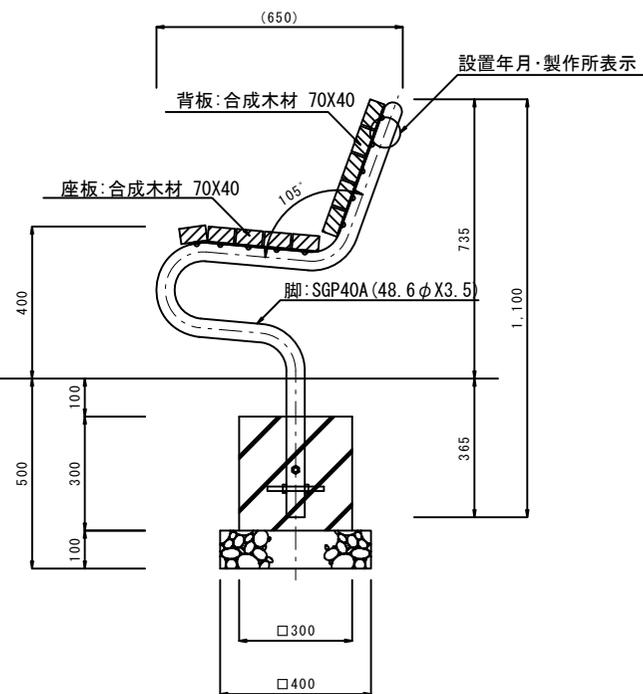
平面図 S=1/20



正面図 S=1/20



側面図 S=1/20



仕様

- ・鉄部は溶融亜鉛メッキ処理とする。
- ・鉄部は焼付塗装仕上げとする。(濃茶色)
- ・指定場所に設置年月、製作所の商標をシールで表示すること。
- ・根がうみはM12X150とする。
- ・設置年月及び製造メーカーを記したシールを貼付すること。
- ・(一社)日本公園施設業協会「遊具の安全に関する規準」に適合し、生産物賠償責任保険加入製品とする。
- ・寸法、形状等はメーカーにより多少相違があるため、「参考図」として掲載している。
- ・製品の使用にあたっては、参考図以外のものでも同等品以上であれば使用できる。
- ・設計図書に参考図を使用する場合には、特別な理由がない限り「参考図」と明記すること。

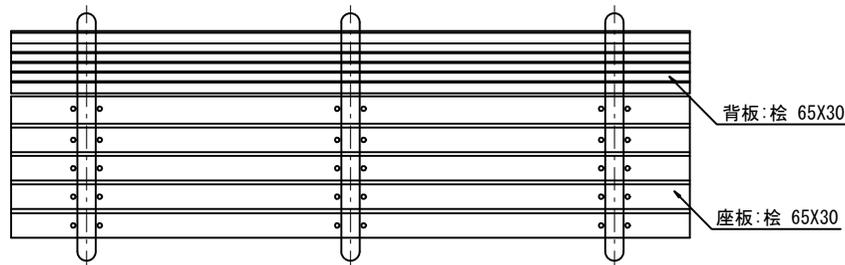
10基当り

名称	算式	単位	数量
クラッシュラン	0.4X0.4X3X10	m <sup>2</sup>	4.80
コンクリート	0.3X0.3X0.3X3X10	m <sup>3</sup>	0.81
型枠	0.3X0.3X4X3X10	m <sup>2</sup>	10.80

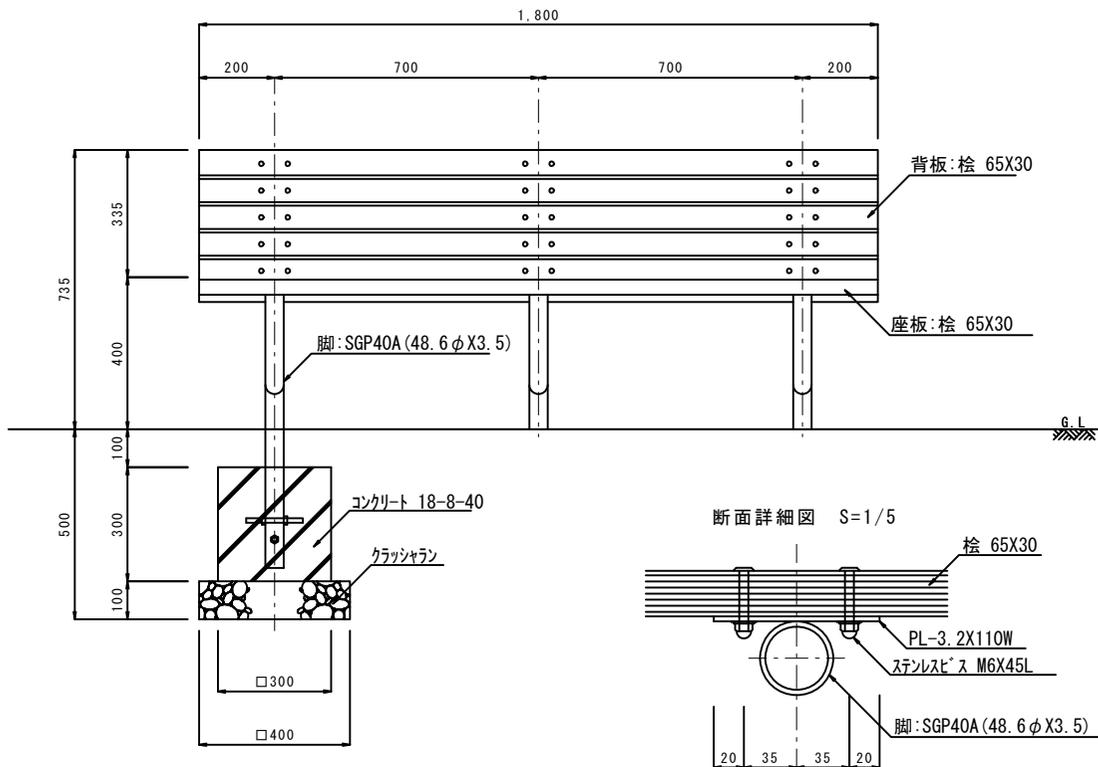
パイプ製ベンチ (木製) (参考図)

基準単価コード	-
---------	---

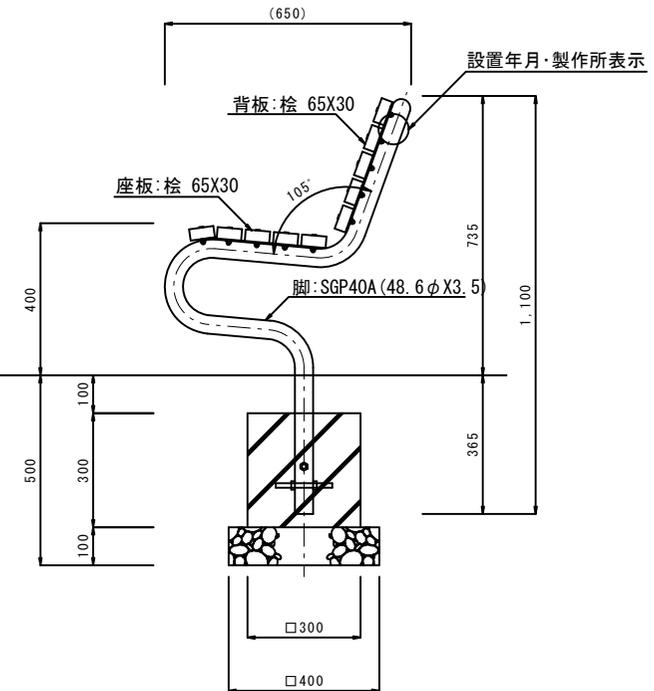
平面図 S=1/20



正面図 S=1/20



側面図 S=1/20



仕様

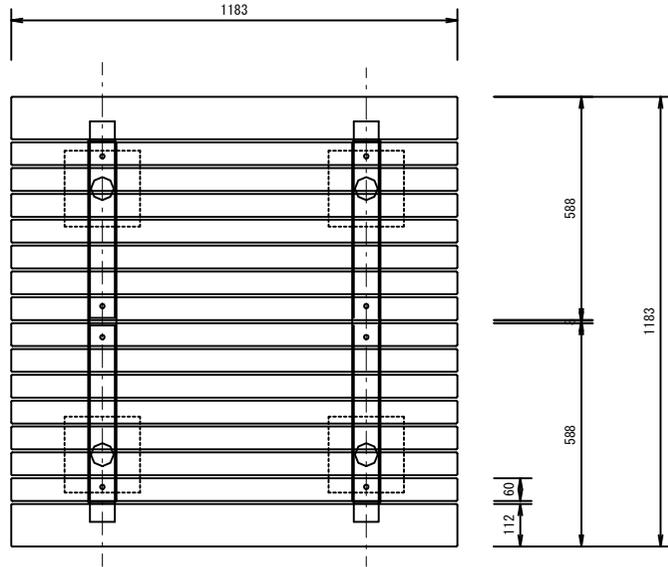
- ・鉄部は溶融亜鉛メッキ処理とする。
- ・鉄部は焼付塗装仕上げとする。(濃茶色)
- ・木部はACQ加圧注入処理後、表面保護塗装仕上げとする。(ナチュラル色)
- ・指定場所に設置年月、製作所の商標をシールで表示すること。
- ・根がうみはM12X150とする。
- ・設置年月及び製造メーカーを記したシールを貼付すること。
- ・(一社)日本公園施設業協会「遊具の安全に関する規程」に適合し、生産物賠償賠償責任保険加入製品とする。
- ・寸法、形状等はメーカーにより多少相違があるため、「参考図」として掲載している。
- ・製品の使用にあたっては、参考図以外のものでも同等品以上であれば使用できる。
- ・設計図書に参考図を使用する場合には、特別な理由がない限り「参考図」と明記すること。

10基当り

名称	算式	単位	数量
クラッシュラン	0.4X0.4X3X10	m <sup>2</sup>	4.80
コンクリート	0.3X0.3X0.3X3X10	m <sup>3</sup>	0.81
型枠	0.3X0.3X4X3X10	m <sup>2</sup>	10.80

# 縁 台 : 合成木材 (参考図)

基準単価コード	-
---------	---

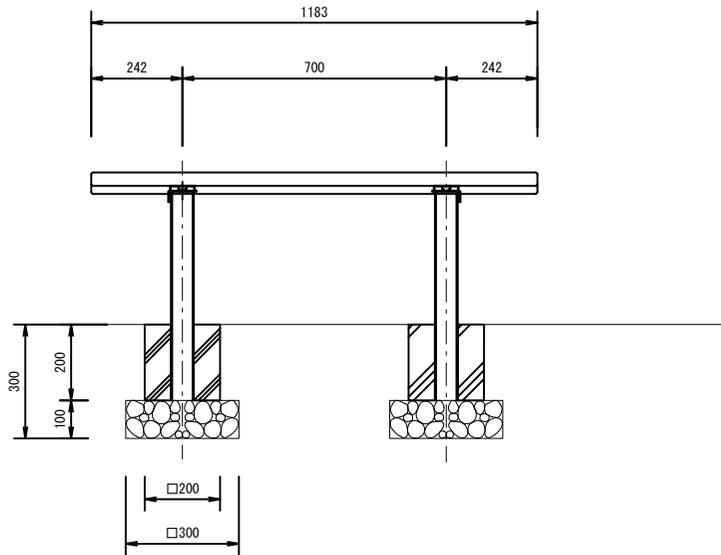


平面図 S=1/20

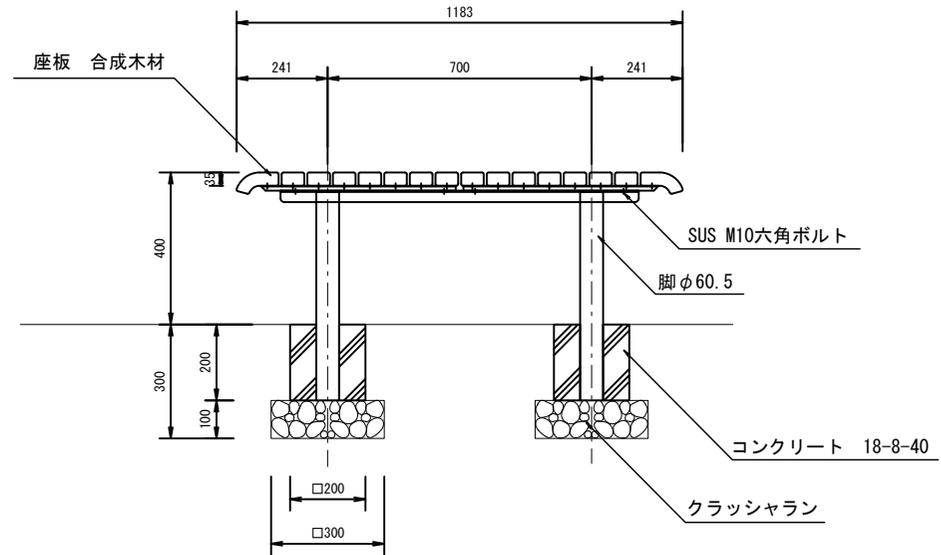
名称	算式	単位	数量
基礎	0.30×0.30×4×10	m2	3.6
コンクリート	0.20×0.20×0.20×4×10	m3	0.32
型枠	0.20×0.20×4×4×10	m2	6.4

仕様  
 座板 : 合成木材 (レッド)  
           アルミ押出形材 合成樹脂焼付塗装 (アースグレー)  
 脚 : φ60.5×t3.2鋼管  
           ジンクパウダー下地 合成樹脂塗装 (アースグレー)

- ・生産物賠償責任保険加入製品とする
- ・寸法、形状等はメーカーにより多少相違があるため、「参考図」として掲載している
- ・製品の使用にあたっては、参考図以外のものでも同等品以上であれば使用できる
- ・設計図書に参考図を使用する場合には、特別な理由がない限り「参考図」と明記すること



正面図 S=1/20

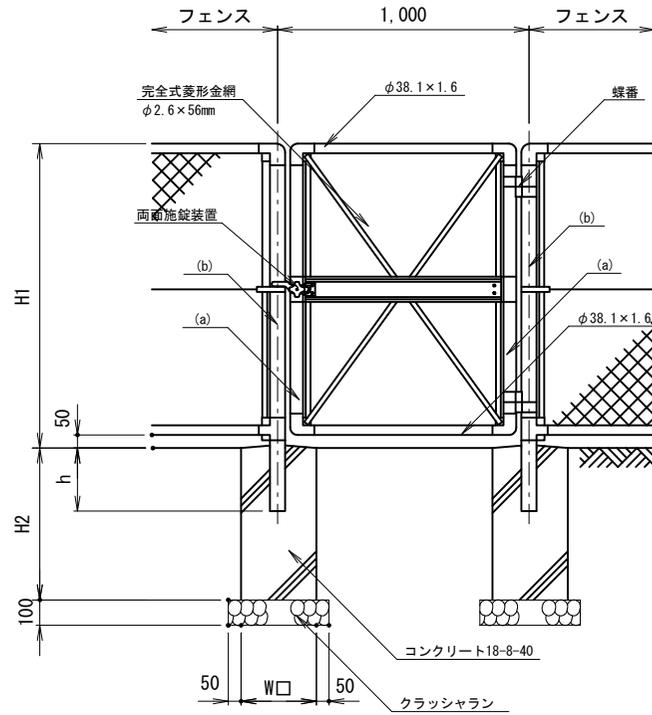


側面図 S=1/20

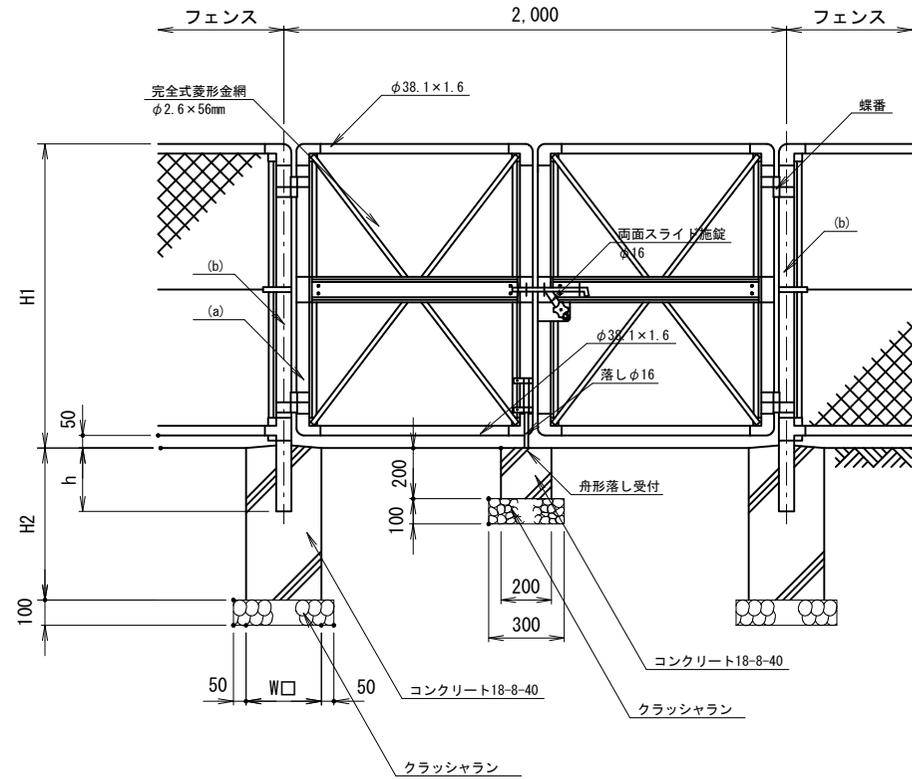
北九州市土木構造物標準図	図面名称	縁 台 : 合成木材 (参考図)	縮尺	S=1/20	備考	改定年月	前回 平成 23 年 4 月 最新 平成 28 年 11 月	8 4
--------------	------	------------------	----	--------	----	------	-----------------------------------	--------

# 金網柵門扉

NFM-12K, 15K, 18K



NFM-12R, 15R, 18R



寸法表

記号	地上高	埋込深	扉縦枠規格 (a)	門柱規格 (b)	基礎 コンクリート寸法		備考
	H1	h			H2	W	
NFM-12K, 12R	1,200	250	φ50.8 x 1.6	φ60.5 x 2.3	600	300	
NFM-15K, 15R	1,500	300	φ50.8 x 1.6	φ60.5 x 3.2	600	350	
NFM-18K, 18R	1,800	350	φ50.8 x 1.6	φ60.5 x 3.2	600	350	

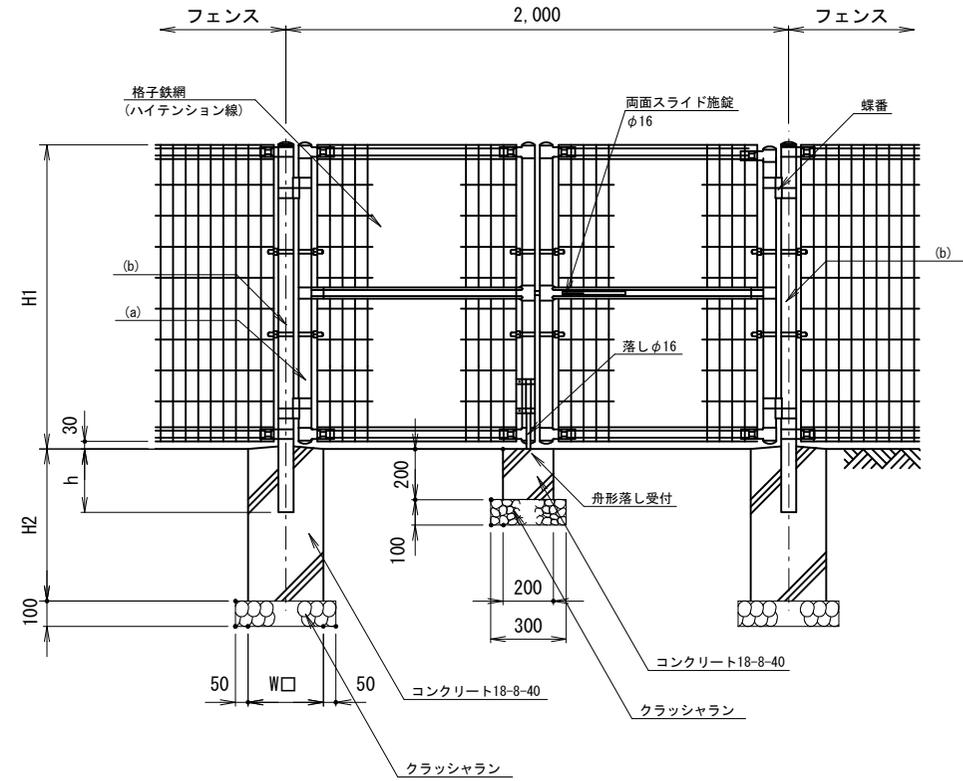
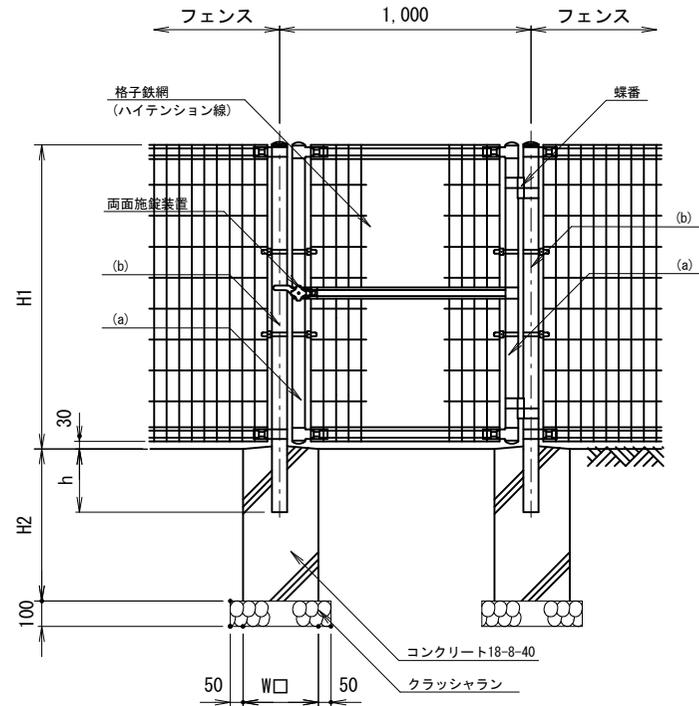
## 仕様

- ・門扉は、片側180°開きとする。
- ・鋼材類は、溶融亜鉛めっきとする。
- ・金網は、亜鉛めっきハガネ鉄線(亜鉛付着量400g/m<sup>2</sup>以上)とする。
- ・基礎コンクリート天端には、GLより上で水切り勾配をつけること。

# メッシュフェンス門扉

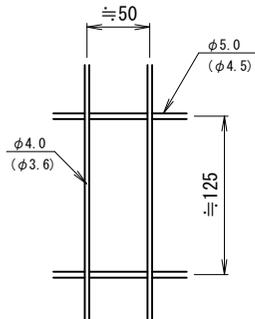
MFM-12K, 15K, 18K S=1/30

MFM-12R, 15R, 18R S=1/30



格子金網詳細図 S=1/6

( )内は芯径を示す。

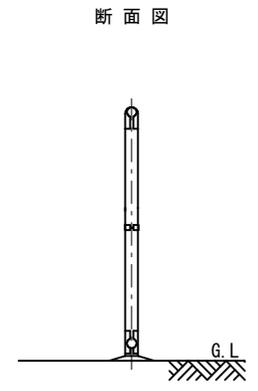
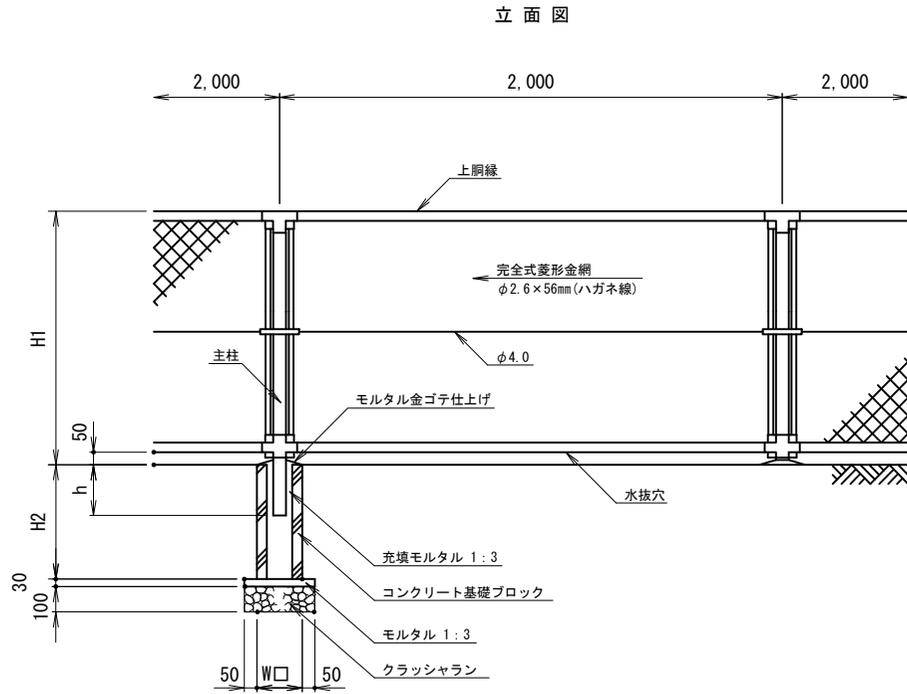


記号	地上高 H1	埋込深 h	扉縦枠規格 (a)	門柱規格 (b)	基礎コンクリート寸法				備考
					K(片開き)		R(両開き)		
					H2	W	H2	W	
MFM-12K, 12R	1200	250	φ50.8×1.6	φ60.5×2.3	500	300	500	300	
MFM-15K, 15R	1500	300	φ50.8×1.6	φ60.5×3.2	500	300	600	300	
MFM-18K, 18R	1800	350	φ50.8×1.6	φ60.5×3.2	600	300	600	350	

## 仕様

- ・門柱・枠体・取付金具類は、亜鉛・アルミ・マグネシウム合金めっきの上アクリル系樹脂静電粉体塗装とする。
- ・格子金網は、ハイテンション線(SWIGH-3)とし、芯径は縦線φ3.6mm、横線φ4.5mmとする。
- ・格子金網は、亜鉛めっきの上PVC樹脂静電粉体塗とする。
- ・U型金具は、亜鉛・アルミ・マグネシウム合金めっきの上防錆着色処理とする。
- ・ボルト、ナットは、溶融亜鉛めっきの上防錆着色処理とする。
- ・塗装色は係員の指示に依る。
- ・門扉は、片側180°開きとする。
- ・基礎コンクリート天端には、G.Lより上で水切り勾配をつけること。

# 金網柵 (ハガネ線)



## 仕様

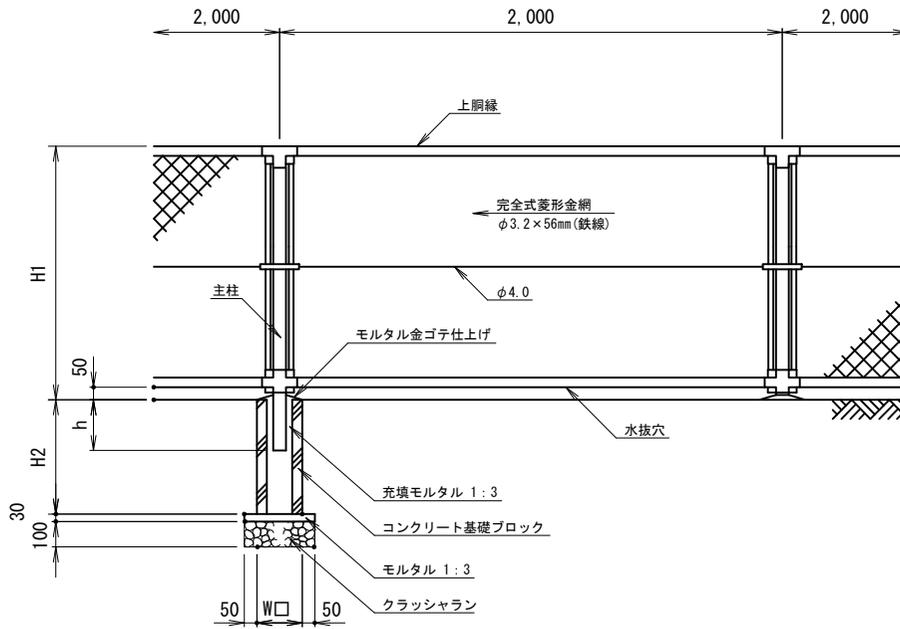
- ・鋼材類は、溶融亜鉛めっきとする。
- ・金網は、亜鉛めっきハガネ鉄線(亜鉛付着量400g/m<sup>2</sup>以上)とする。
- ・コンクリート基礎ブロックは、JIS表示許可工場で製造された製品とする。

寸法表

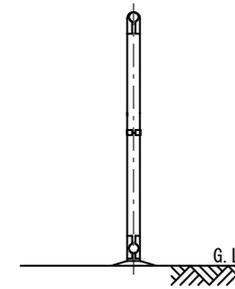
記号	地上高	埋込深	支柱規格	鉄線数	基礎ブロック		備考
	H1	h			H2	W	
NF-7	750	200	φ50.8×1.6	0	450	180	
NF-8	800	200	φ50.8×1.6	1	450	180	
NF-9	900	200	φ50.8×1.6	1	450	180	
NF-10	1,000	200	φ50.8×1.6	1	450	180	
NF-11	1,100	200	φ50.8×1.6	1	450	180	
NF-12	1,200	200	φ50.8×1.6	1	450	180	
NF-13	1,350	250	φ50.8×1.6	1	450	180	
NF-15	1,500	250	φ50.8×2.3	1	450	180	
NF-18	1,800	300	φ50.8×2.3	2	450	200	
NF-20	2,000	300	φ50.8×2.3	2	450	250	
NF-21	2,100	300	φ50.8×2.3	2	450	250	
NF-25	2,515	350	φ60.5×2.3	3	500	300	
NF-30	3,000	350	φ60.5×3.2	3	600	300	

# 金網柵（鉄線）

立面図



断面図



寸法表

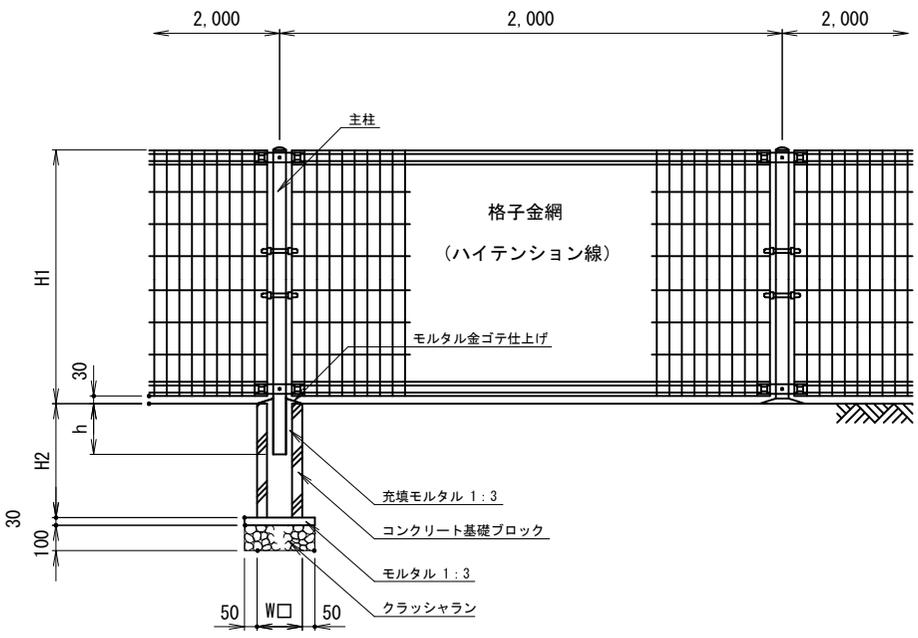
記号	地上高	埋込深	支柱規格	鉄線数	基礎ブロック		備考
	H1	h			H2	W	
NF-7	750	200	φ50.8×1.6	0	450	180	
NF-8	800	200	φ50.8×1.6	1	450	180	
NF-9	900	200	φ50.8×1.6	1	450	180	
NF-10	1,000	200	φ50.8×1.6	1	450	180	
NF-11	1,100	200	φ50.8×1.6	1	450	180	
NF-12	1,200	200	φ50.8×1.6	1	450	180	
NF-13	1,350	250	φ50.8×1.6	1	450	180	
NF-15	1,500	250	φ50.8×2.3	1	450	180	
NF-18	1,800	300	φ50.8×2.3	2	450	200	
NF-20	2,000	300	φ50.8×2.3	2	450	250	
NF-21	2,100	300	φ50.8×2.3	2	450	250	
NF-25	2,515	350	φ60.5×2.3	3	500	300	
NF-30	3,000	350	φ60.5×3.2	3	600	300	

仕様

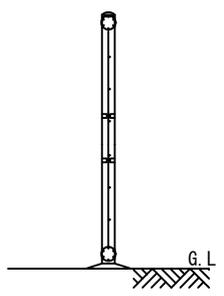
- ・鋼材類は、溶融亜鉛めっきとする。
- ・金網は、亜鉛めっき鉄線（亜鉛付着量400g/m<sup>2</sup>以上）とする。
- ・コンクリート基礎ブロックは、JIS表示許可工場で製造された製品とする。

# メッシュフェンス（平面パネル）

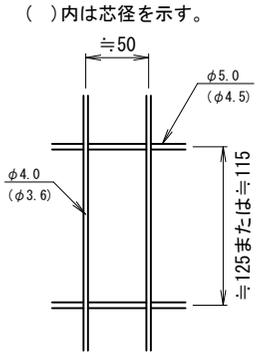
立面図 S=1/30



断面図 S=1/30



格子金網詳細図 S=1/6



## 仕様

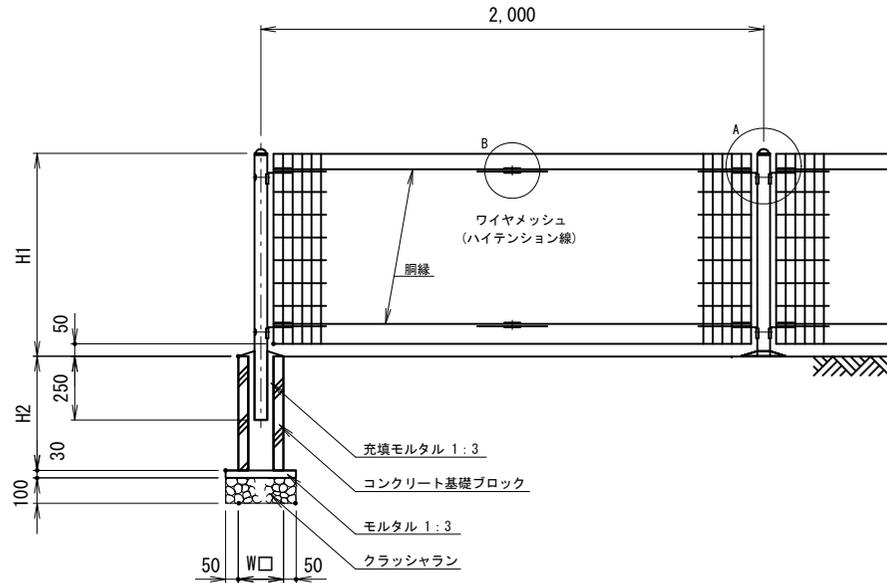
- ・サッカーやキャッチボールができる広場のフェンスとして使用できない。
- ・転落防止柵、横断防止柵として使用できない。
- ・主柱は、亜鉛・アルミ・マグネシウム合金めっきの上アクリル系樹脂静電粉体塗装とする。
- ・格子金網は、ハイテンション線 (SWG11-3) とし、芯径は縦線φ3.6mm、横線φ4.5mmとする。
- ・格子金網は、亜鉛めっきの上PVC樹脂静電粉体塗装とする。
- ・取付金具類は、亜鉛・アルミ・マグネシウム合金めっきの上アクリル系樹脂静電粉体塗装とする。
- ・U型金具は、亜鉛・アルミ・マグネシウム合金めっきの上防錆着色処理とする。
- ・ボルト、ナットは、溶融亜鉛めっきの上防錆着色処理とする。
- ・塗装色は監督員の指示に依る。
- ・コンクリート基礎ブロックは、JIS表示許可工場で製造された製品とする。

寸法表

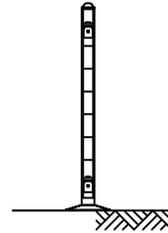
記号	地上高	埋込深	支柱規格	金網格子間隔	基礎ブロック		備考
	H1				h	H2	
MF-6	600	200	φ50.8×1.6	≒125	450	180	
MF-8	800	200	φ50.8×1.6	≒115	450	180	
MF-9	900	200	φ50.8×1.6	≒115	450	180	
MF-10	1,000	200	φ50.8×1.6	≒125	450	180	
MF-12	1,200	200	φ50.8×1.6	≒125	450	180	
MF-15	1,500	250	φ50.8×2.3	≒125	450	180	
MF-18	1,800	300	φ50.8×2.3	上段≒125 下段≒115	450	200	上下パネル接続
MF-20	2,000	300	φ50.8×2.3	≒125	600	300	上下パネル接続

# メッシュフェンス（波状パネル）

立面図 S=1/30

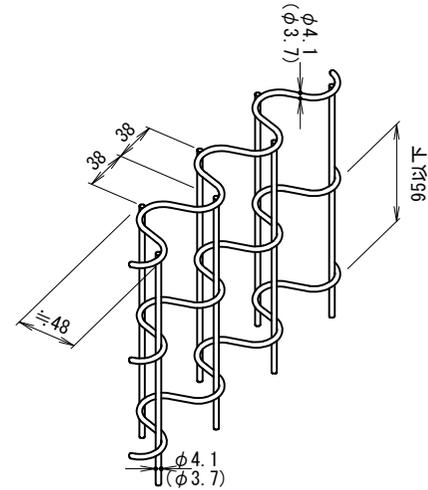


断面図 S=1/30

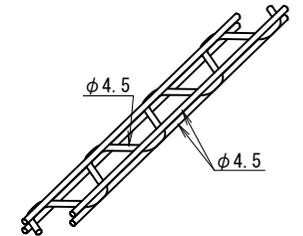


パネル斜視図

( )内は芯線径を示す。



胴縁斜視図



## 仕様

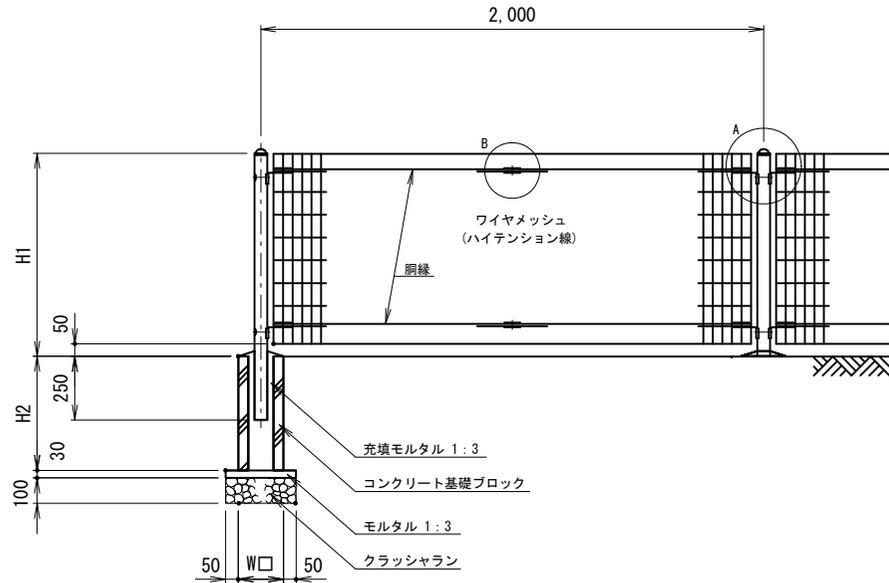
- ・サッカーやキャッチボールができる広場のフェンスとして使用できない。
- ・転落防止柵、横断防止柵として使用できない。
- ・支柱は、亜鉛・アルミ・マグネシウム合金めっきの上アクリル系樹脂静電粉体塗装とする。
- ・波状金網は、ハイテンション線 (SWMGH-3) とし、芯径は縦線  $\phi 3.7\text{mm}$ 、横線  $\phi 3.7\text{mm}$  とする。
- ・波状金網は、亜鉛めっきの上PVC樹脂静電粉体塗装とする。
- ・胴縁は、亜鉛めっきの上PVC樹脂静電粉体塗装とする。
- ・ボルト、ナットは、溶融亜鉛めっきの上防錆着色処理とする。
- ・塗装色は監督員の指示に依る。
- ・コンクリート基礎ブロックは、JIS表示許可工場で製造された製品とする。

寸法表

記号	地上高	埋込深	支柱規格	金網格子間隔	基礎ブロック		備考
	H1				h	H2	
MF-6	600	200	$\phi 50.8 \times 1.6$	$\approx 95$	450	180	
MF-8	800	200	$\phi 50.8 \times 1.6$	$\approx 95$	450	180	
MF-9	900	200	$\phi 50.8 \times 1.6$	$\approx 95$	450	180	
MF-10	1,000	200	$\phi 50.8 \times 1.6$	$\approx 95$	450	180	
MF-12	1,200	200	$\phi 50.8 \times 1.6$	$\approx 95$	450	180	
MF-15	1,500	250	$\phi 50.8 \times 1.6$ (STK500)	$\approx 95$	450	180	
MF-18	1,800	300	$\phi 50.8 \times 1.6$ (STK500)	$\approx 95$	450	200	上下パネル接続
MF-20	2,000	300	$\phi 50.8 \times 1.6$ (STK500)	$\approx 95$	600	300	上下パネル接続

# 緑化用フェンス

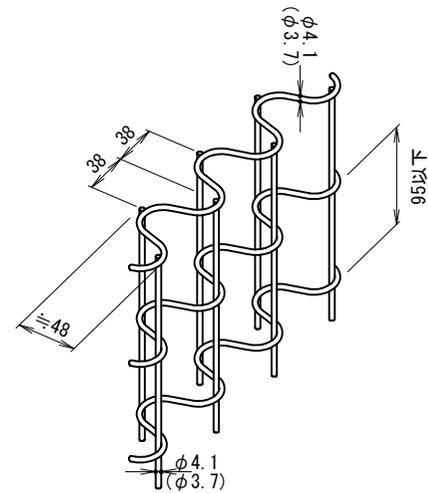
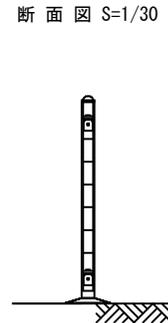
立面図 S=1/30



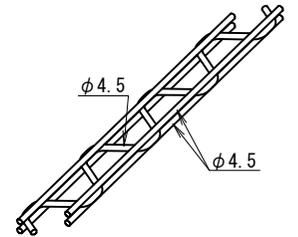
パネル斜視図

( )内は芯線径を示す。

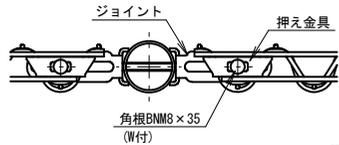
断面図 S=1/30



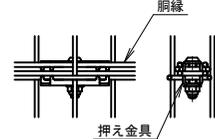
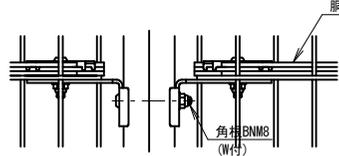
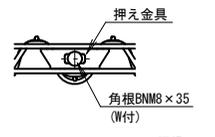
胴縁斜視図



A部取付図 S=1/6



B部取付図 S=1/6



寸法表

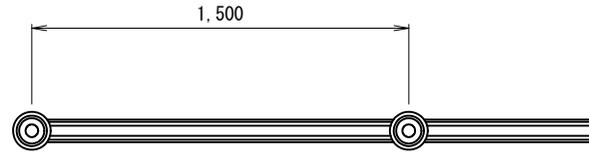
記号	地上高	埋込深	支柱規格	基礎ブロック		備考
	H1	h		H2	W	
RF-8	800	250	φ50.8×2.3	450	200	
RF-10	1,000	250	φ50.8×2.3	500	300	
RF-12	1,200	250	φ50.8×2.3	600	300	

## 仕様

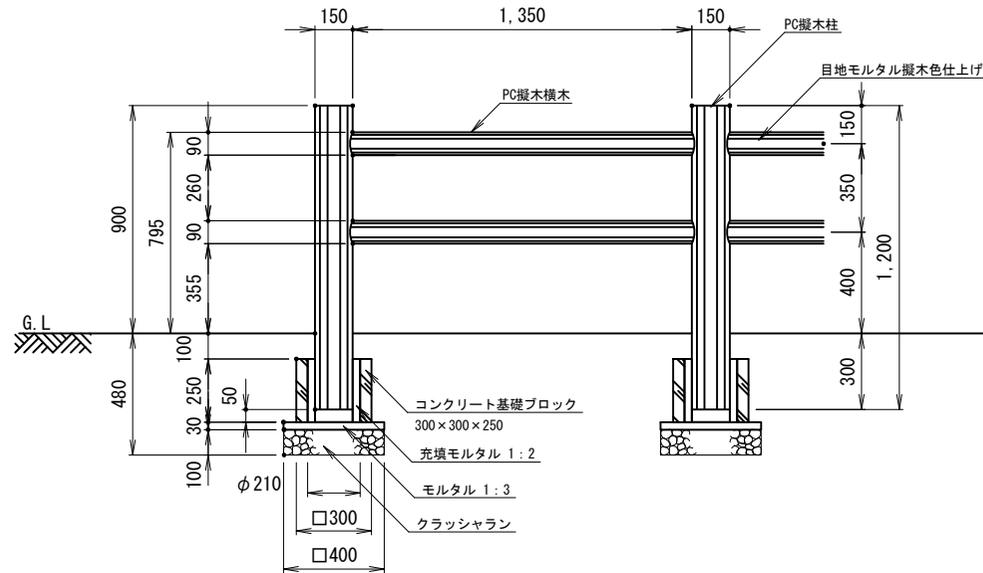
- ・蔓性植物が這い登り、緑化された場合の風圧を考慮している。
- ・支柱、取付金具類は、亜鉛・アルミ・マグネシウム合金めっきの上アクリル系樹脂静電粉体塗装とする。
- ・格子金網は、ハイテンション線(SWM-G3)とする。
- ・格子金網は、亜鉛めっきの上PVC樹脂静電粉体塗装とする。
- ・胴縁は、亜鉛めっきの上アクリル系樹脂静電粉体塗装とする。
- ・ボルト、ナットは、溶融亜鉛めっきの上防錆着色処理とし、ワッシャは溶融亜鉛めっきのみとする。
- ・塗装色は監督員の指示に依る。
- ・コンクリート基礎ブロックは、JIS表示許可工場で製造された製品とする。

擬木柵 (H=795) (参考図)

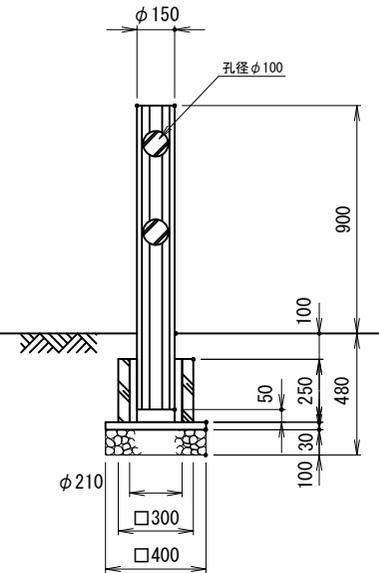
平面図



立面図



断面図



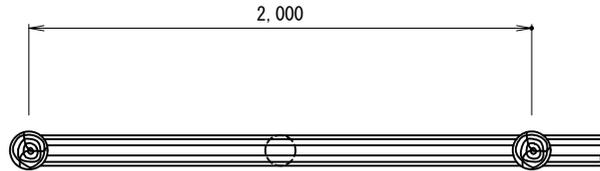
仕 様

- ・擬木柵とコンクリート基礎ブロックは、JIS表示許可工場で製造された製品とする。
- ・転落防止柵、横断防止柵として使用できない。
- ・寸法、形状等はメーカーにより多少相違があるため、「参考図」として掲載している。
- ・製品の使用にあたっては、参考図以外のものでも同等品以上であれば使用できる。
- ・設計図書に参考図を使用する場合には、特別な理由のない限り「参考図」と明記すること。

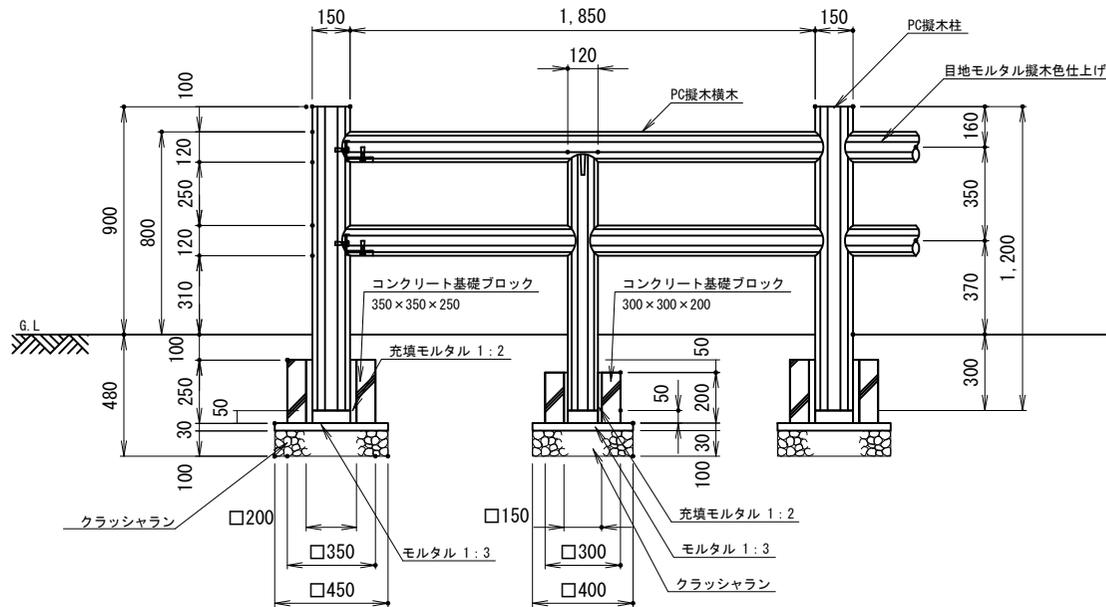
15m当り			
名称	算式	単位	数量
基礎	0.40×0.40×10	m <sup>2</sup>	1.6
モルタル(1:3)	0.40×0.40×0.03×10	m <sup>3</sup>	0.048
基礎ブロック	300×300×250	個	10

擬木柵 (H=800) (参考図)

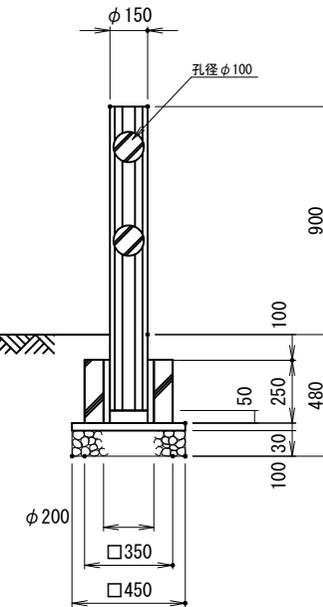
平面図



立面図



断面図



仕様

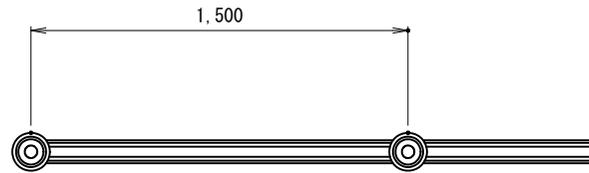
- ・擬木柵とコンクリート基礎ブロックは、JIS表示許可工場で製造された製品とする。
- ・転落防止柵、横断防止柵として使用できない。
- ・寸法、形状等はメーカーにより多少相違があるため、「参考図」として掲載している。
- ・製品の使用にあたっては、参考図以外のものでも同等品以上であれば使用できる。
- ・設計図書に参考図を使用する場合には、特別な理由のない限り「参考図」と明記すること。

10m当り

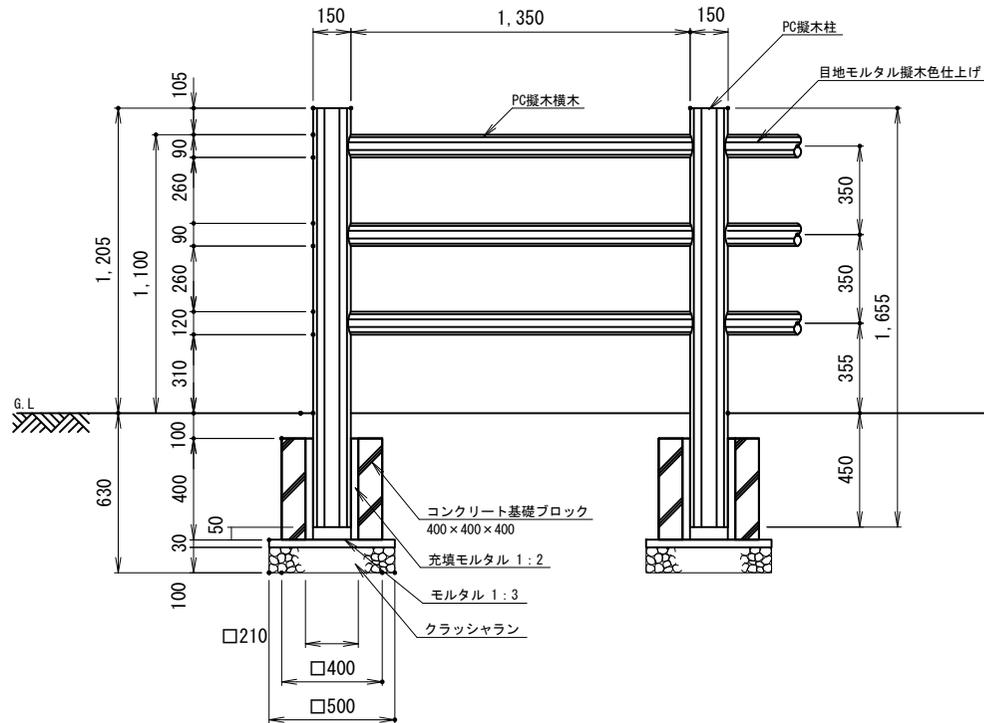
名称	算式	単位	数量
基礎	$(0.45 \times 0.45 + 0.40 \times 0.40) \times 5$	m <sup>2</sup>	1.8
モルタル(1:3)	$(0.45 \times 0.45 + 0.40 \times 0.40) \times 0.03 \times 5$	m <sup>3</sup>	0.054
基礎ブロック	300×300×250	個	5
	300×300×200	個	5

擬木柵 (H=1100) (参考図)

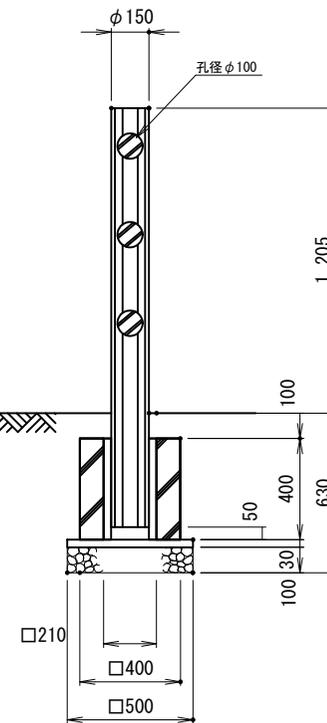
平面図



立面図



断面図



仕様

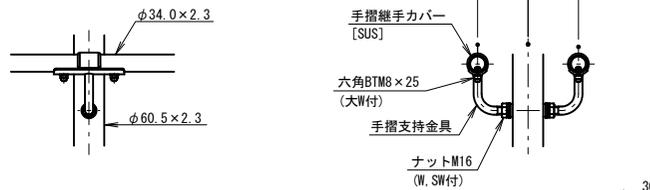
- ・擬木柵とコンクリート基礎ブロックは、JIS表示許可工場で製造された製品とする。
- ・転落防止柵、横断防止柵として使用できない。
- ・寸法、形状等はメーカーにより多少相違があるため、「参考図」として掲載している。
- ・製品の使用にあたっては、参考図以外のものでも同等品以上であれば使用できる。
- ・設計図書に参考図を使用する場合には、特別な理由のない限り「参考図」と明記すること。

15m当り

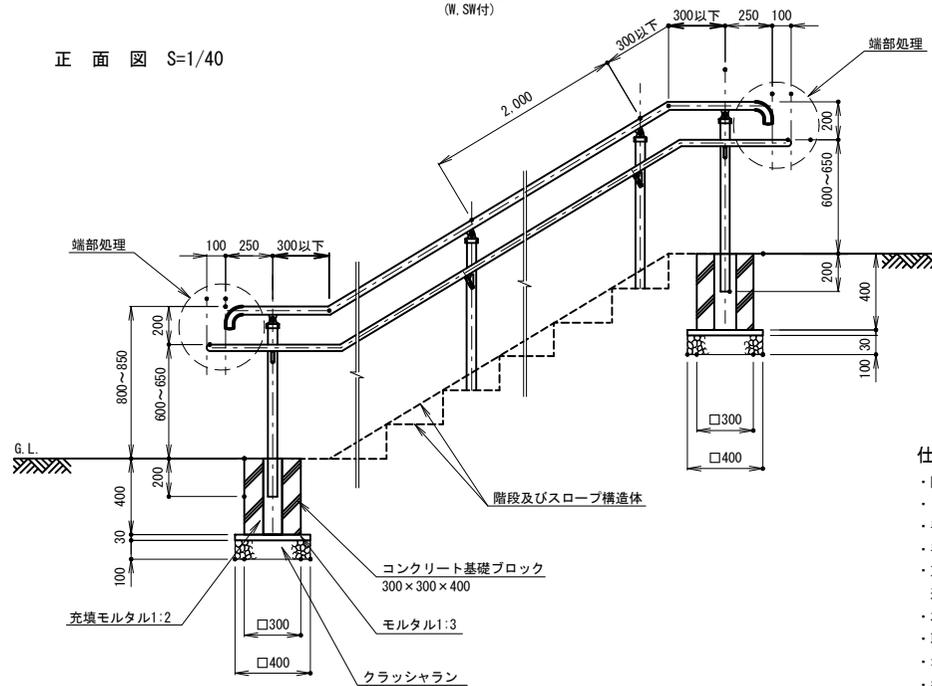
名称	算式	単位	数量
基礎	0.50×0.50×10	m <sup>2</sup>	2.5
モルタル(1:3)	0.50×0.50×0.03×10	m <sup>3</sup>	0.075
基礎ブロック	400×400×400	個	10

# 手すり (階段中央部) (参考図)

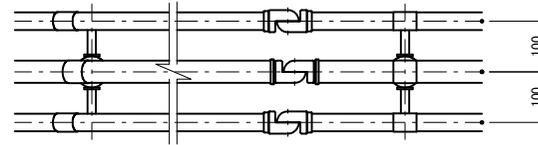
手摺取付詳細図 S=1/15



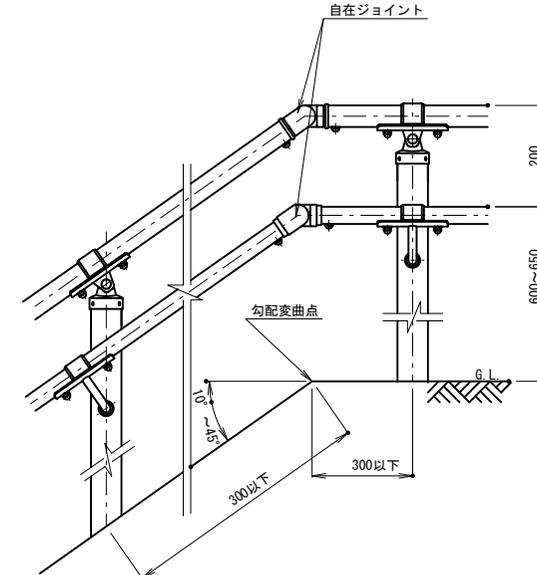
正面図 S=1/40



勾配変曲部平面図 S=1/15



勾配変曲部詳細図 S=1/15



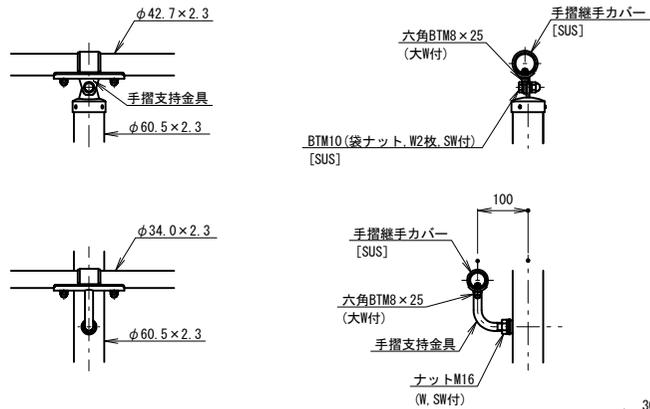
## 仕様

- ・階段、又はスロープ等の中央部に設置する場合に使用する。
- ・「移動等円滑化のために必要な特定公園施設の設置に関する基準を定める省令」で定める基準に十分配慮すること。
- ・手すりの端部は、手すりの下側に向かって巻き込むなど突出しない構造とすること。(端部処理)
- ・手すりの端部付近には、階段の通ずる場所を示す点字をはりつけること。
- ・支柱の基礎部は深さ250mm以上の連続した構造体が必要。
- ・連続構造体が得られない場合は、埋め込み深さ400mm以上の独立基礎を設けなければならない。
- ・本体は、亜鉛・アルミ・マグネシウム合金めっきの上アクリル系樹脂静電粉体塗装とする。
- ・取付金具類は、亜鉛・アルミ・マグネシウム合金めっきの上アクリル系樹脂静電粉体塗装とする。
- ・ボルト、ナットは、溶融亜鉛めっきの上防錆着色処理とする。
- ・塗装色は監督員の指示に依る。
- ・寸法、形状等はメーカーにより多少相違があるため、「参考図」として掲載している。
- ・製品の使用にあたっては、参考図以外のものでも同等品以上であれば使用できる。
- ・設計図書に参考図を使用する場合には、特別な理由のない限り「参考図」と明記すること。

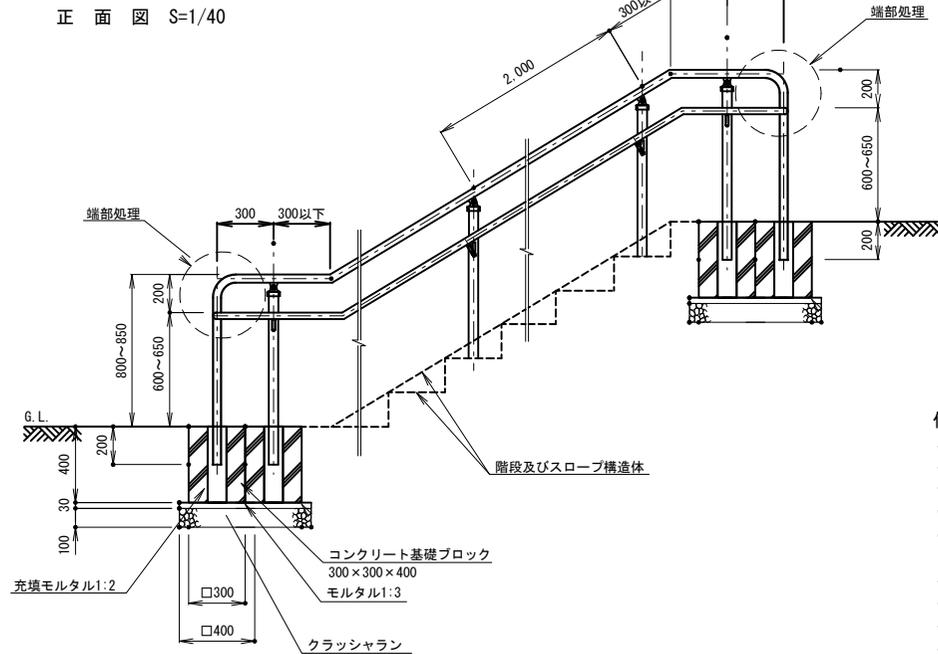
北九州市土木構造物標準図	図面名称	手すり (階段中央部)	縮尺	S=1/15, 1/40	備考	改定年月	前回 平成 23 年 10 月 最新 平成 28 年 11 月	9 11
--------------	------	-------------	----	--------------	----	------	------------------------------------	---------

### 手すり (階段袖部) (参考図)

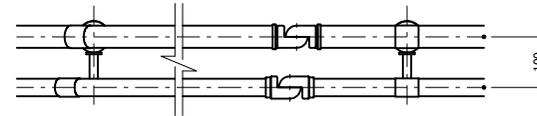
手摺取付詳細図 S=1/15



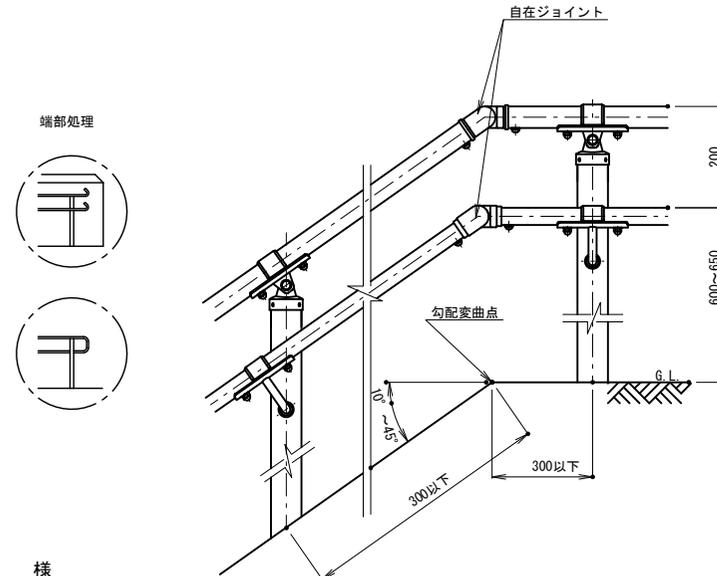
正面図 S=1/40



勾配変曲部平面図 S=1/15



勾配変曲部詳細図 S=1/15

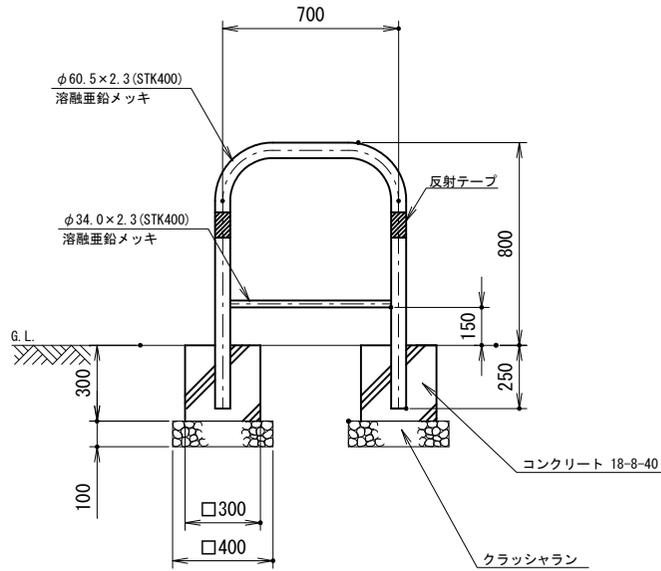


#### 仕様

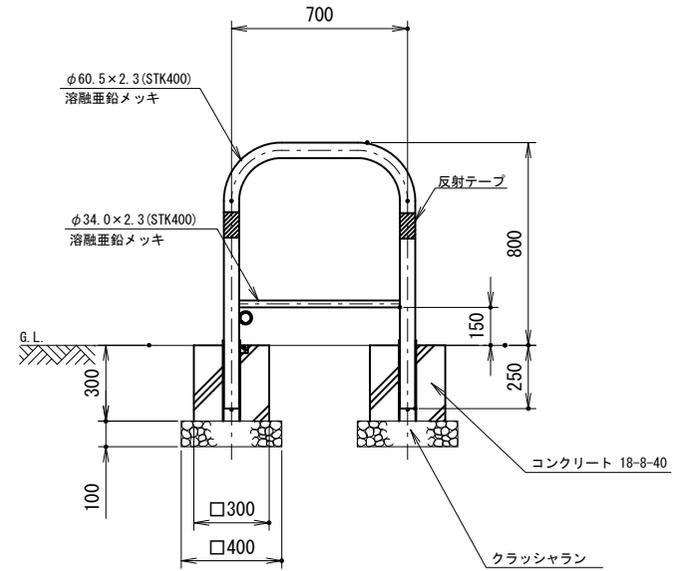
- ・階段、又はスロープ等の袖部に設置する場合に使用する。
- ・「移動等円滑化のために必要な特定公園施設の設置に関する基準を定める省令」で定める基準に十分配慮すること。
- ・手すりの端部は、手すりの下側に向かって巻き込むなど突出しない構造とすること。(端部処理)
- ・手すりの端部付近には、階段の通ずる場所を示す点字をはりつけること。
- ・支柱の基礎部は深さ250mm以上の連続した構造体が必要。
- ・連続構造体が得られない場合は、埋め込み深さ400mm以上の独立基礎を設けなければならない。
- ・本体は、亜鉛・アルミ・マグネシウム合金めっきの上アクリル系樹脂静電粉体塗装とする。
- ・取付金具類は、亜鉛・アルミ・マグネシウム合金めっきの上アクリル系樹脂静電粉体塗装とする。
- ・ボルト、ナットは、溶融亜鉛めっきの上防錆着色処理とする。
- ・塗装色は監督員の指示に依る。
- ・寸法、形状等はメーカーにより多少相違があるため、「参考図」として掲載している。
- ・製品の使用にあたっては、参考図以外のものでも同等品以上であれば使用できる。
- ・設計図書に参考図を使用する場合には、特別な理由のない限り「参考図」と明記すること。

### 車止め(スチール・逆U型)

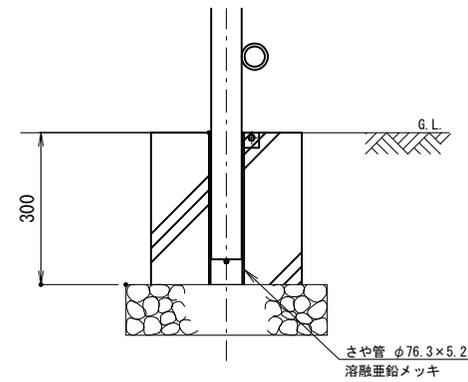
固定式 正面図 1/30



可動式 正面図 1/30



可動式 基礎詳細図 1/15



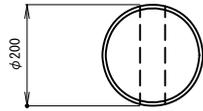
#### 仕様

- ・「移動等円滑化のために必要な特定公園施設の設置に関する基準を定める省令」で定める基準に十分配慮すること。
- ・可動式車止めのさや管寸法、形状等は、メーカーにより多少相違があるため「参考値」として掲載している。
- ・製品の使用にあたっては、参考値以外のものでも同等品以上であれば使用できる。

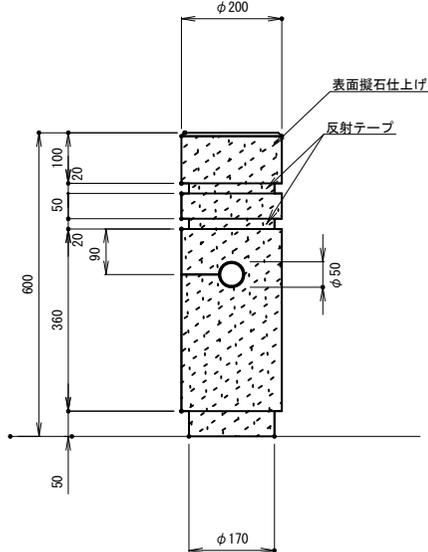
北九州市土木構造物標準図	図面名称	車止め(スチール・逆U型)	縮尺	S=1/15, 1/30	備考	改定年月	前回 平成 19 年 10 月 最新 平成 28 年 11 月	9 13
--------------	------	---------------	----	--------------	----	------	------------------------------------	---------

車止め（擬石）（参考図）

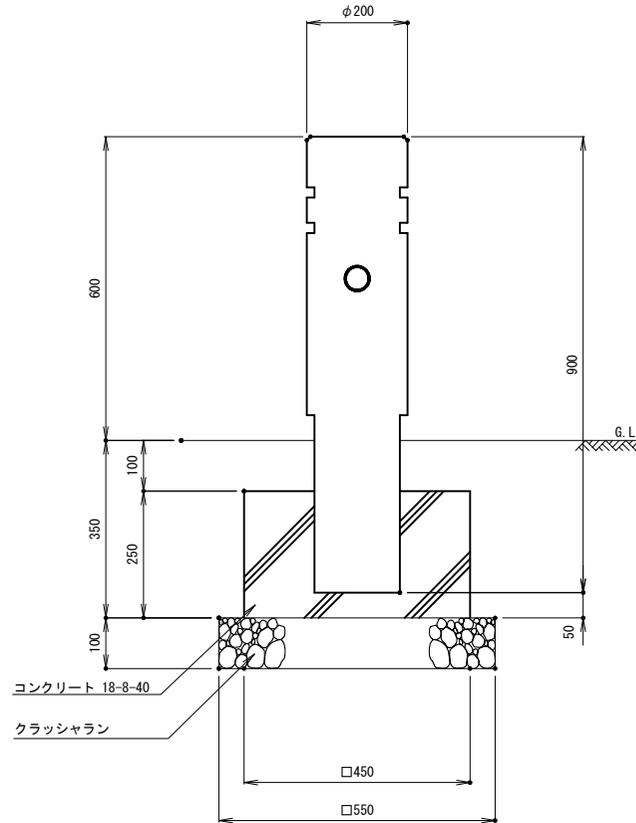
平面図



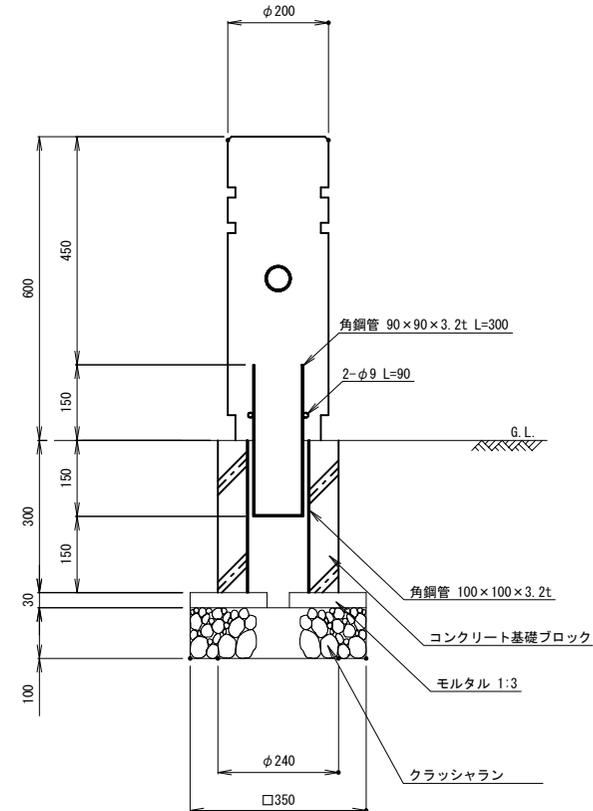
立面図



固定式 断面図



可動式 断面図



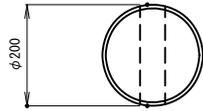
仕 様

- ・「移動等円滑化のために必要な特定公園施設の設置に関する基準を定める省令」で定める基準に十分配慮すること。
- ・寸法、形状等はメーカーにより多少相違があるため、「参考図」として掲載している。
- ・製品の使用にあたっては、参考図以外のものでも同等品以上であれば使用できる。
- ・設計図書に参考図を使用する場合には、特別な理由のない限り「参考図」と明記すること。

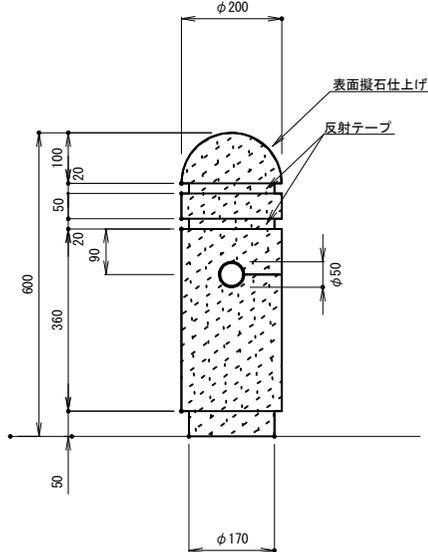
北九州市土木構造物標準図	図面名称	車止め（擬石）	縮 尺	S=1/15	備 考	改定年月	前回 平成 23 年 4 月	9
							最新 平成 28 年 11 月	14

車止め（擬石）（参考図）

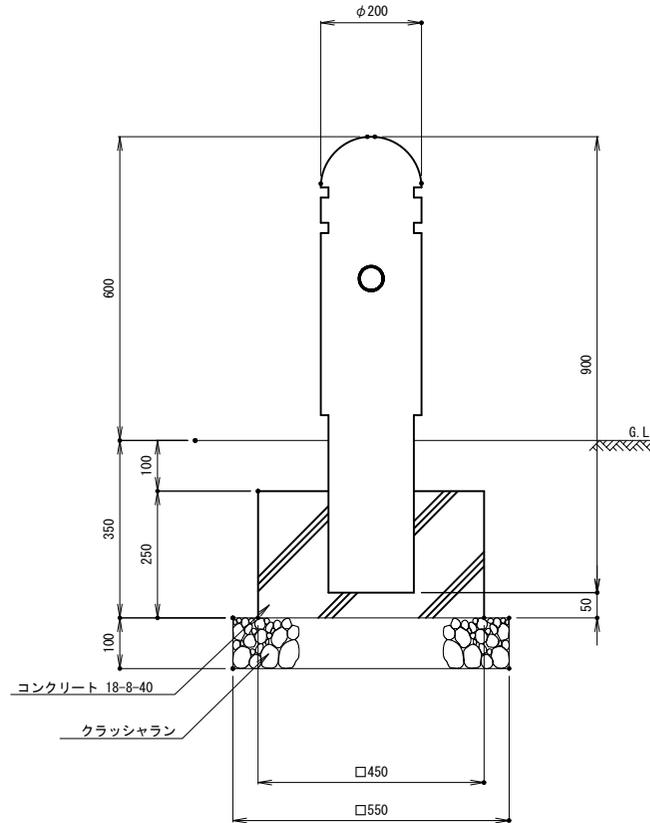
平面図



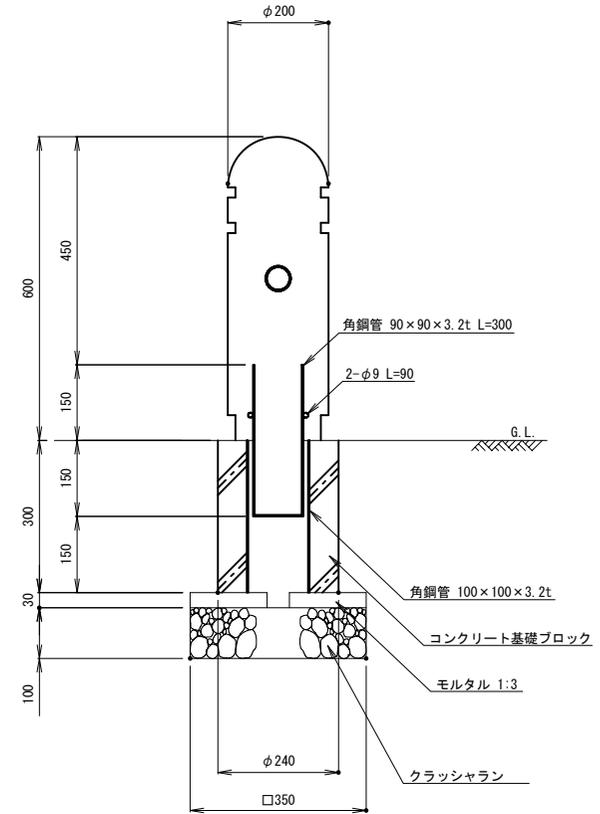
立面図



固定式 断面図



可動式 断面図



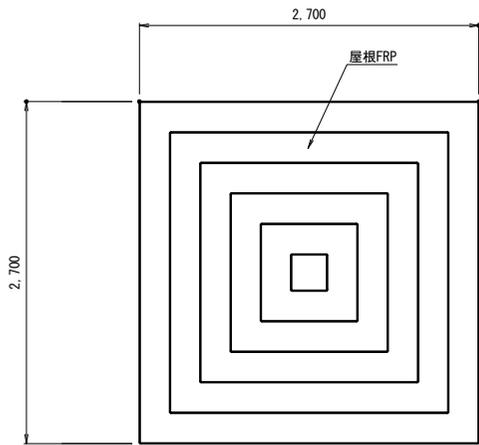
仕様

- ・「移動等円滑化のために必要な特定公園施設の設置に関する基準を定める省令」で定める基準に十分配慮すること。
- ・寸法、形状等はメーカーにより多少相違があるため、「参考図」として掲載している。
- ・製品の使用にあたっては、参考図以外のものでも同等品以上であれば使用できる。
- ・設計図書に参考図を使用する場合には、特別な理由のない限り「参考図」と明記すること。

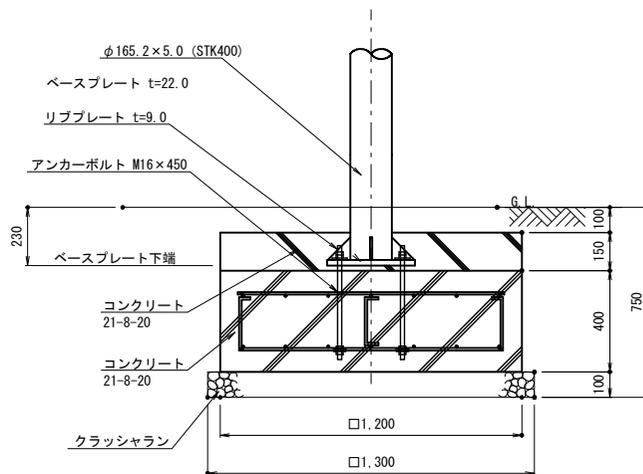
北九州市土木構造物標準図	図面名称	車止め（擬石）	縮尺	S=1/15	備考	改定年月	前回 平成 23 年 4 月 最新 平成 28 年 11 月	9 15
--------------	------	---------	----	--------	----	------	-----------------------------------	---------

和風シェルター (小) (参考図) 1/3  
(あずまや)

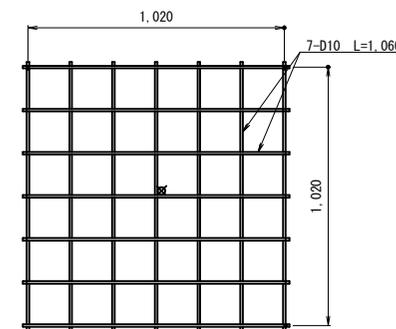
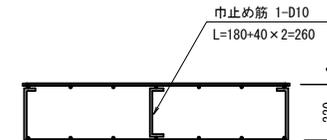
基準単価コード -



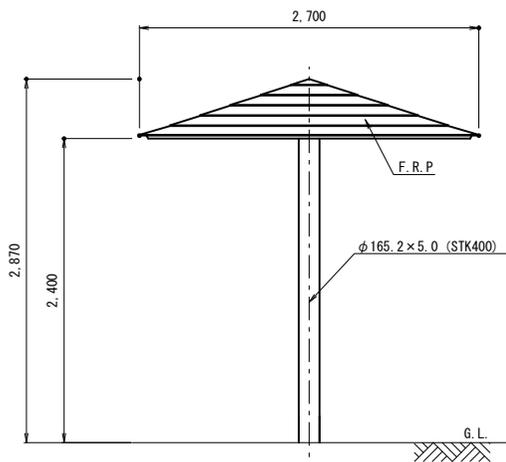
平面図 1:60



基礎詳細図 1:30



上端筋配筋図 1:30



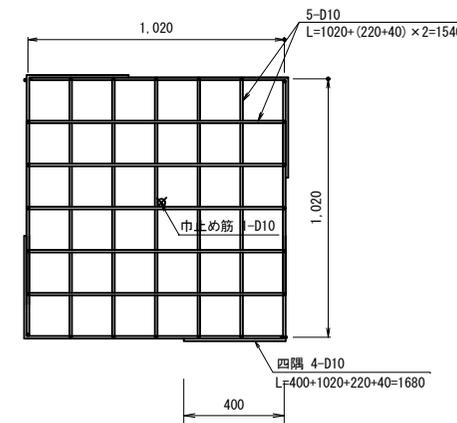
立面図 1:60

名称	算式	単位	数量	10基当り
基礎	1.30 x 1.30 x 10	m <sup>2</sup>	16.9	
コンクリート	1.20 x 1.20 x 0.55 x 10	m <sup>3</sup>	7.92	
型枠	1.20 x 4 x 0.55 x 10	m <sup>2</sup>	26.4	
鉄筋	(1.06 x 14本 + 1.54 x 10本 + 1.68 x 4本 + 0.26) x 0.56kg/m x 10	kg	208.43	

仕様

- ・使用鋼材は全てステール材(SS)とする。
- ・鉄部は溶融亜鉛メッキ処理とする。
- ・鉄部はアライナー塗布後、合成樹脂塗装仕上げとする。
- ・屋根はFRP一体成型品とする。
- ・特記なきボルト、ビス類は全てステンレス製とする。
- ・設置年月及び製造メーカーを記したシールを貼付すること。
- ・(一社)日本公園施設業協会「遊具の安全に関する規程」に適合し、生産物賠償責任保険加入製品とする。

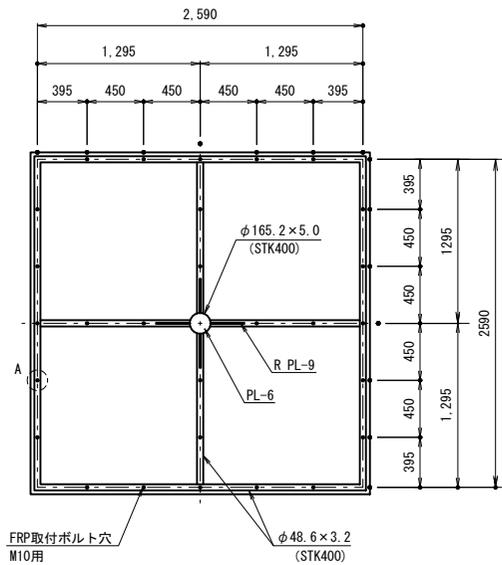
注) 建築基準法上、設置できる地域に制限があるため確認の上使用すること。



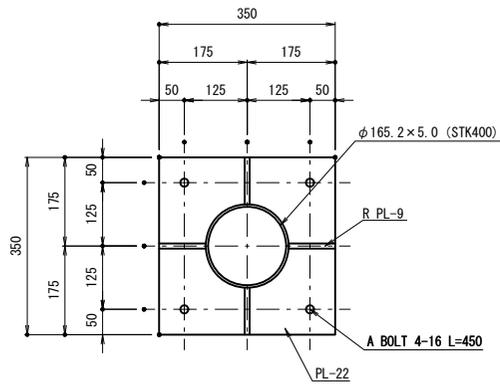
下端筋配筋図 1:30

和風シェルター (小) (参考図) 2/3  
(あずまや)

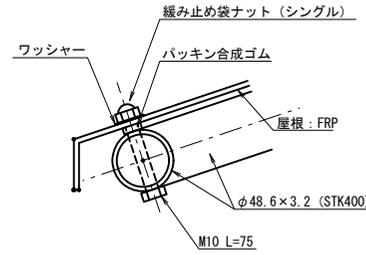
基準単価コード -



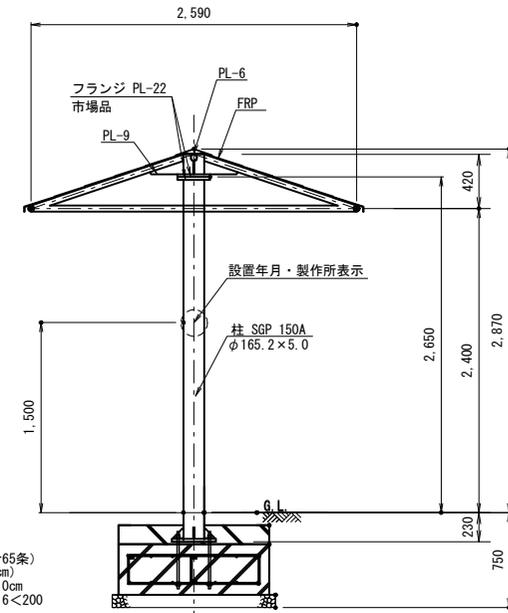
小屋伏図 1:60



ベースプレート詳細図 1:15

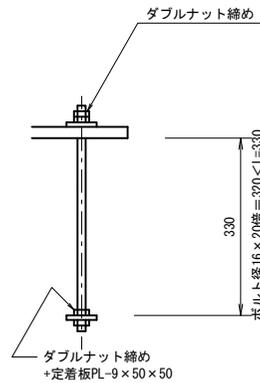


A部詳細図 1:6

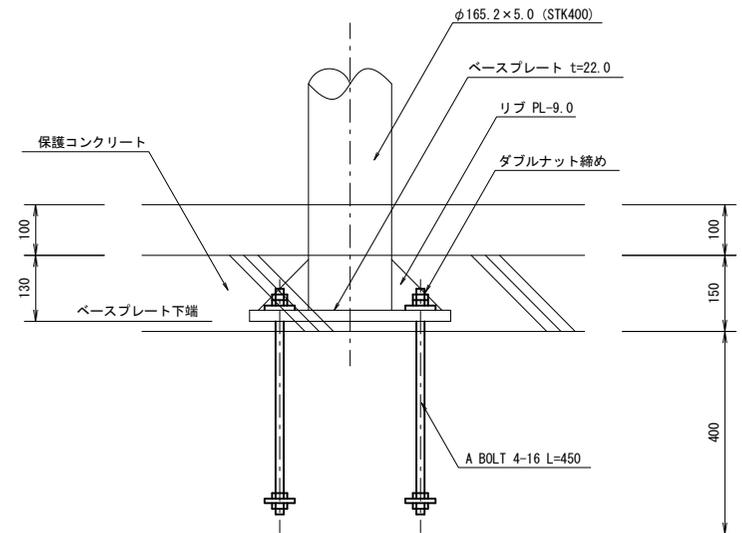


断面図 1:60

・圧縮材の有効細長比 (施行令65条)  
 $\phi 165.2 \times 5.0$  ( $i=5.67$ cm)  
 $L_c=2 \times (23+240+42)=610$ cm  
 $\lambda=(L_c/i)=610/5.67=107.6 < 200$



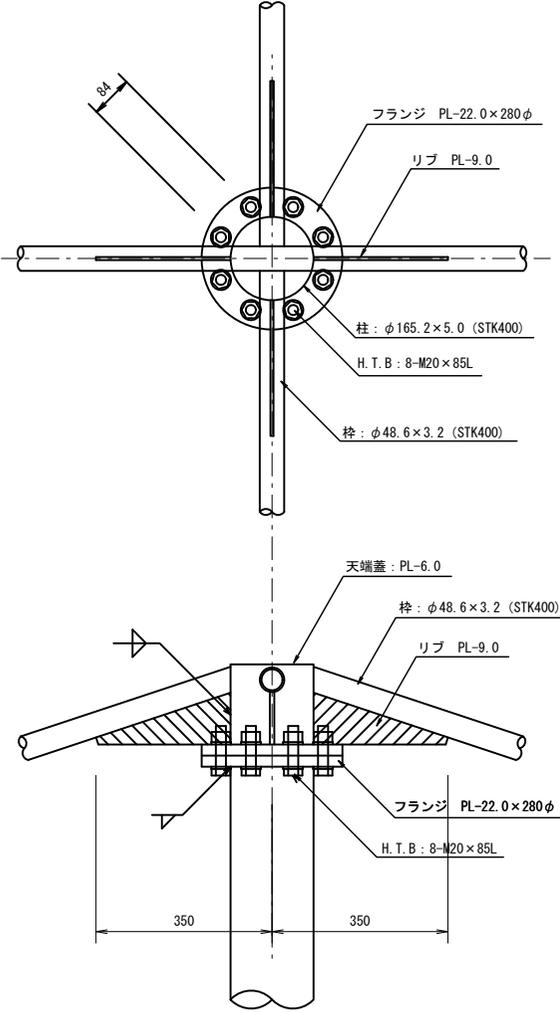
・根拠 (ベースプレート)  
 BPL-22 >  $\phi 16 \times 1.3$ 倍 = 20.8mm



・根拠 (アンカーボルト)  
 $\phi 165.2 \times 5.0$  (A=2516mm<sup>2</sup>)  $\times 20\%$  = 503.2mm<sup>2</sup> < アンカー-A= (0.75  $\times$  201)  $\times$  4本 = 606mm<sup>2</sup>

北九州市土木構造物標準図	図面名称	和風シェルター (あずまや) (小) (参考図) 2/3	縮尺	S=1/60, 1/15 1/30, 1/6	備考	改定年月	前回 平成 23 年 4 月 最新 平成 28 年 11 月	10 2
--------------	------	------------------------------	----	---------------------------	----	------	-----------------------------------	---------

和風シェルター (小) (参考図) 3/3  
(あずまや)

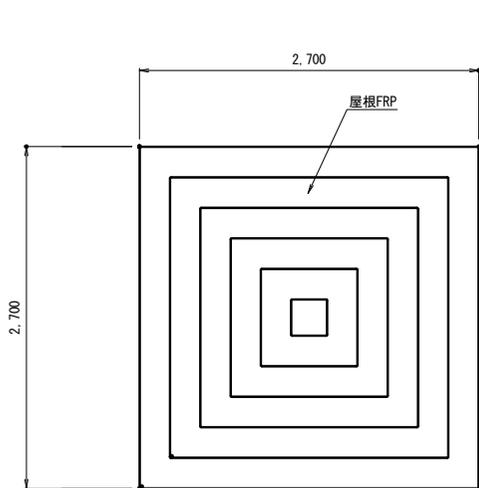


フランジ詳細図 1:15

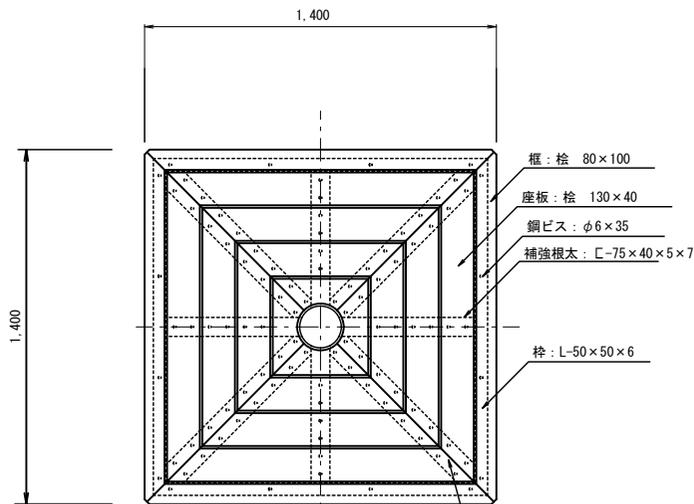
概要			
コンクリート	コンクリート	18-8-20 (JIS A 5308)	鋼材
	設計基準強度	21 N/m <sup>2</sup> スランプ: 8cm 骨材: 20cm 種類: 普通	
鉄筋	鉄筋	SD295A D10~D16 (JIS G 3112) 重ね継手	ボルト
	基礎	べた基礎 設計許容地耐力 (長期) 50KN/m <sup>2</sup> (短期) 100KN/m <sup>2</sup>	
柱脚堅結方法	柱露出式仕様規定 (平成12年1456号建築基準法関係告示より)	柱フランジ連結用高力ボルト (認定番号: MBLT-0064) 溶融亜鉛メッキ処理製 アンカーボルト: ABR400 (JIS B 12201: 炭素鋼)	注意事項
柱の有効細長比	柱: STK-165.2 φ x 5.0 (i=5.67cm)	1. 構造材料は告示第1446号により日本工業規格品に適合するものを使用する。 2. 鉄筋継手種別 (重ね継手) 3. 仕様書 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書」 (最新版) による。	
	L <sub>c</sub> =2×288=576cm λ=L <sub>c</sub> /i=576/5.67=101.6<200 OK		

和風シェルター (小) 縁台付 (参考図) 1/3  
(あずまや)

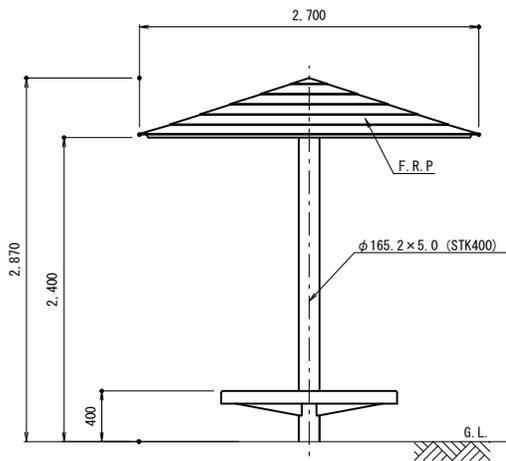
基準単価コード	-
---------	---



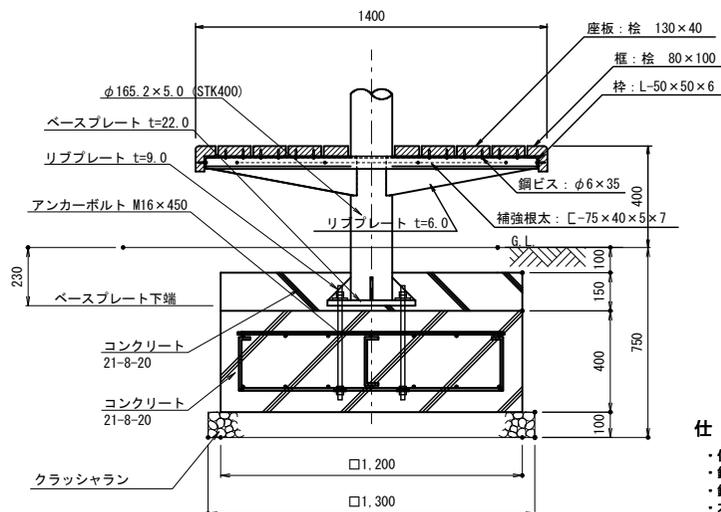
平面図 1:60



縁台詳細図 1:30



立面図 1:60



基礎詳細図 1:30

名称	算式	単位	数量
基礎	1.30×1.30×10	m <sup>2</sup>	16.9
コンクリート	1.20×1.20×0.55×10	m <sup>3</sup>	7.92
型枠	1.20×4×0.55×10	m <sup>2</sup>	26.4
鉄筋	(1.06×14本+1.54×10本+1.68×4本+0.26) ×0.56kg/m×10	kg	208.43

仕様

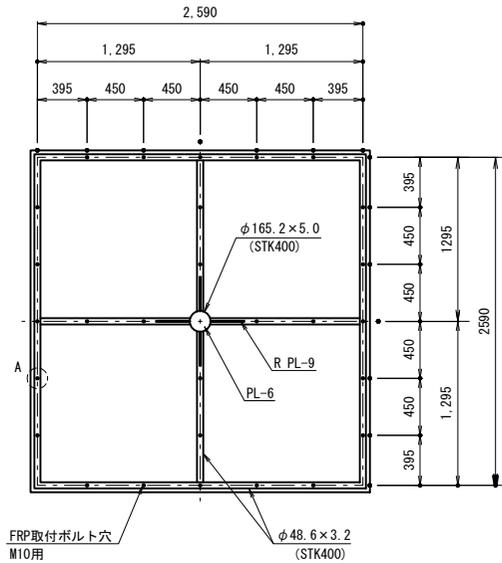
- ・使用鋼材は全てスチール材(SS)とする。
- ・鉄部は溶融亜鉛メッキ処理とする。
- ・鉄部はプライマ塗布後、合成樹脂塗装仕上げとする。
- ・木部は桧一等材とし、タナリス防虫防腐加圧注入処理とする。
- ・木部は表面保護塗装仕上げとする。
- ・屋根はFRP一体成型品とする。
- ・特記なきボルト、ビス類は全てステンレス製とする。
- ・設置年月及び製造メーカーを記したシールを貼付すること。
- ・(一社)日本公園施設業協会「遊具の安全に関する規程」に適合し、生産物賠償責任保険加入製品とする。

注) 建築基準法上、設置できる地域に制限があるため確認の上使用すること。

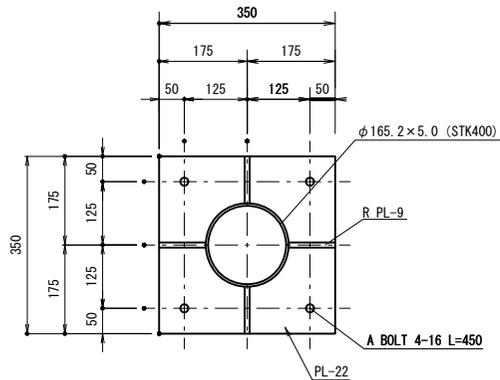
北九州市土木構造物標準図	図面名称	和風シェルター (あずまや) (小) 縁台付 (参考図) 1/3	縮尺	S=1/60, 1/30 1/15	備考	改定年月	前回 平成 23 年 4 月 最新 平成 28 年 11 月	10 4
--------------	------	----------------------------------	----	----------------------	----	------	-----------------------------------	---------

和風シェルター（小）縁台付（参考図）2/3  
（あずまや）

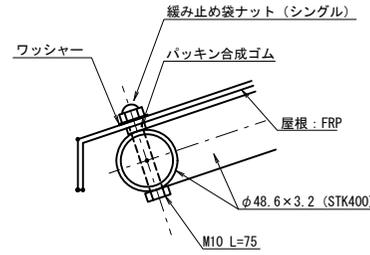
基準単価コード -



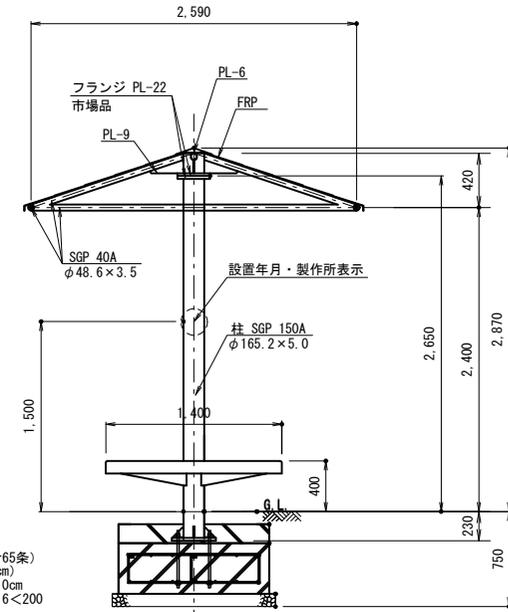
小屋伏図 1:60



ベースプレート詳細図 1:15

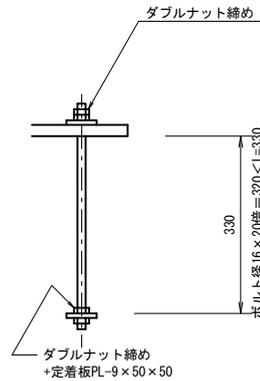


A部詳細図 1:6

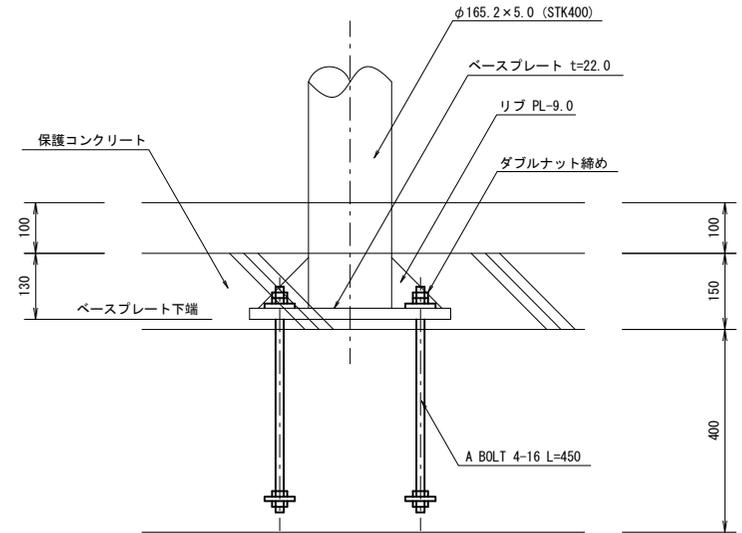


断面図 1:60

・圧縮材の有効細長比（施行令65条）  
 $\phi 165.2 \times 5.0$  ( $i=5.67\text{cm}$ )  
 $L_c=2 \times (23+240+42)=610\text{cm}$   
 $\lambda = (L_c/i)=610/5.67=107.6 < 200$

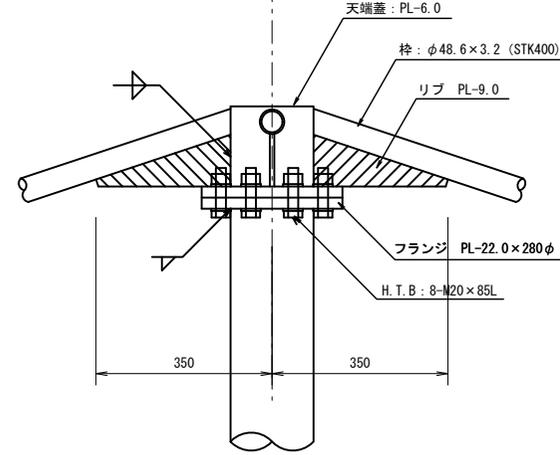
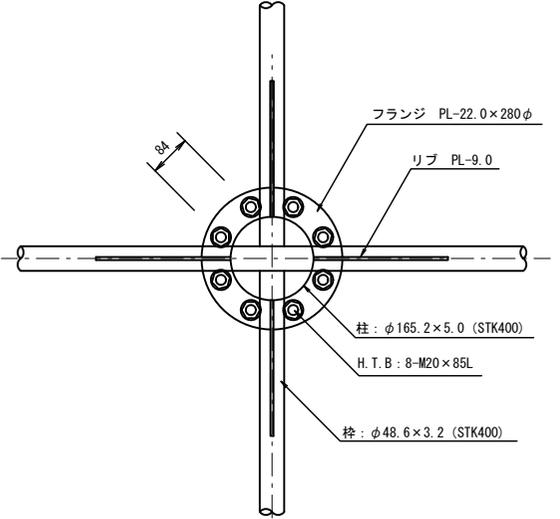


・根拠（ベースプレート）  
 BPL-22 >  $\phi 16 \times 1.3$  倍 = 20.8mm



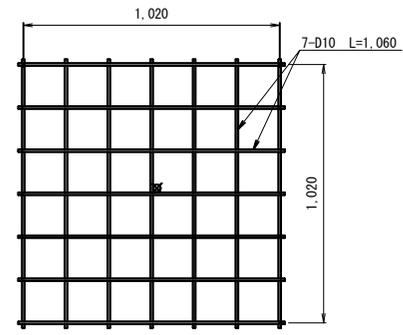
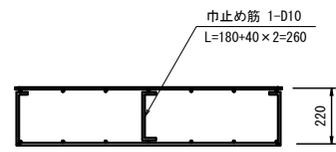
・根拠（アンカーボルト）  
 $\phi 165.2 \times 5.0$  ( $A=2516\text{mm}^2$ )  $\times 20\% = 503.2\text{mm}^2 < \text{アンカー-A} = (0.75 \times 201) \times 4 \text{本} = 606\text{mm}^2$

和風シェルター (小) 縁台付 (参考図) 3/3  
(あずまや)

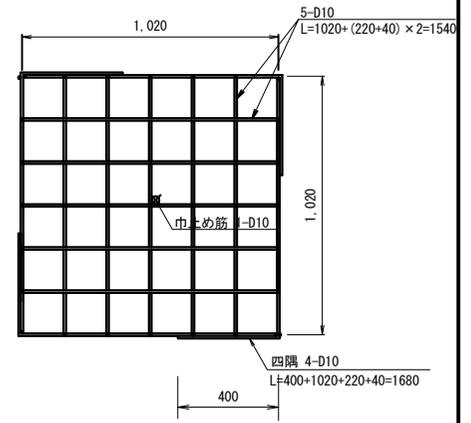


フランジ詳細図 1:15

概要				
コンクリート	コンクリート 21-8-20 (JIS A 5308)	鋼材	柱	STK400 (JIS G 3444: 一般構造用炭素鋼管)
	設計基準強度: 21N/m <sup>2</sup> スラブ: 8cm 骨材: 20cm 種類: 普通		屋根枠	STK400 (JIS G 3444: 一般構造用炭素鋼管)
			鋼板類	SS400 (JIS G 3101: 一般構造用圧延鋼材)
鉄筋	SD295A D10~D16 (JIS G 3112) 重ね継手			
基礎	べた基礎	ボルト	柱フランジ連結用高力ボルト (認定番号: MBLT-0064) 溶融亜鉛メッキ処理製	
	設計許容地耐力 (長期) 50KN/m <sup>2</sup> (短期) 100KN/m <sup>2</sup>		アンカーボルト: ABR400 (JIS B 12201: 炭素鋼)	
柱脚堅結方法	柱露出仕様規定 (平成12年1456号建築基準法関係告示より)			
柱の有効細長比	柱: STK-165.2φ x 5.0 (i=5.67cm)	注意事項	1. 構造材料は告示第1446号により日本工業規格品に適合するものを使用する。	
	L <sub>c</sub> =2 x 288=576cm		2. 鉄筋継手種別 (重ね継手)	
	λ=L <sub>c</sub> /i=576/5.67=101.6 < 200 OK		3. 仕様書 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書」(最新版)による。	



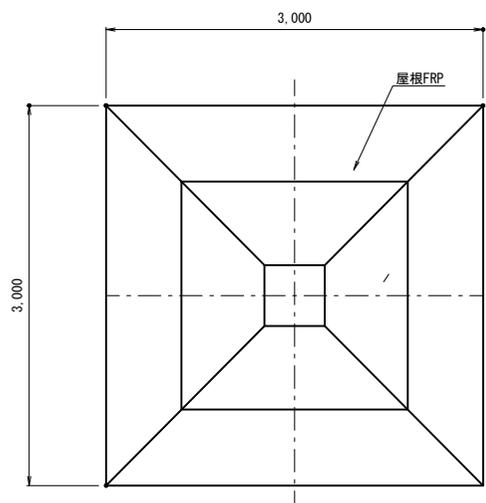
上端筋配筋図 1:30



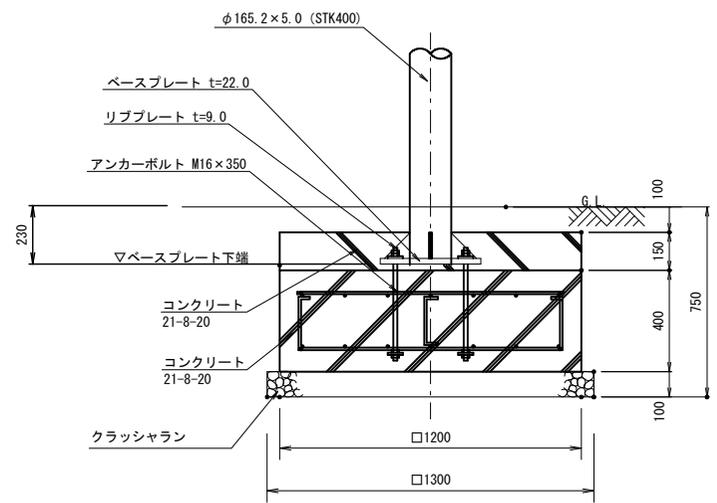
下端筋配筋図 1:30

和風シェルター (中) (参考図) 1/3  
(あずまや)

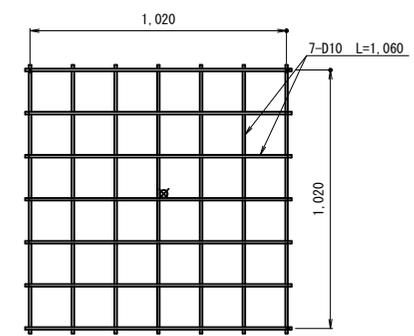
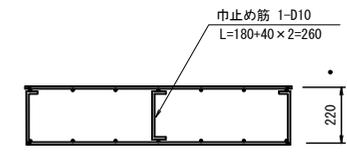
基準単価コード	-
---------	---



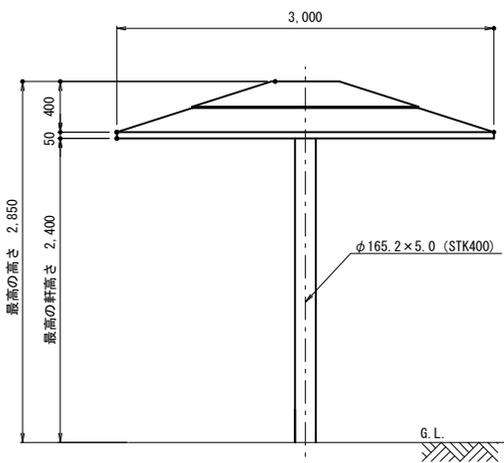
平面図 1:60



基礎詳細図 1:30



上端筋配筋図 1:30

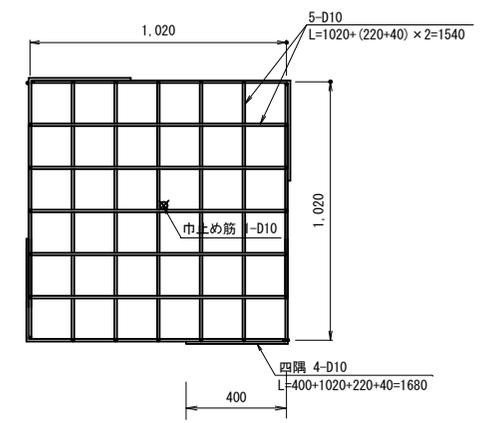


立面図 1:60

10基当り			
名称	算式	単位	数量
基礎	1.30 x 1.30 x 10	m <sup>2</sup>	16.9
コンクリート	1.20 x 1.20 x 0.55 x 10	m <sup>3</sup>	7.92
型枠	1.20 x 4 x 0.55 x 10	m <sup>2</sup>	26.4
鉄筋	(1.06 x 14本 + 1.54 x 10本 + 1.68 x 4本 + 0.26) x 0.56kg/m x 10	kg	208.43

仕様

- ・使用鋼材は全てスチール材 (SS) とする。
- ・鉄部は溶融亜鉛メッキ処理とする。
- ・鉄部はアライマー塗布後、合成樹脂塗装仕上げとする。
- ・屋根はFRP一体成型品とする。
- ・特記なきボルト、ビス類は全てステンレス製とする。
- ・設置年月及び製造メーカーを記したシールを貼付すること。
- ・(一社) 日本公園施設業協会「遊具の安全に関する規準」に適合し、生産物賠償責任保険加入製品とする。

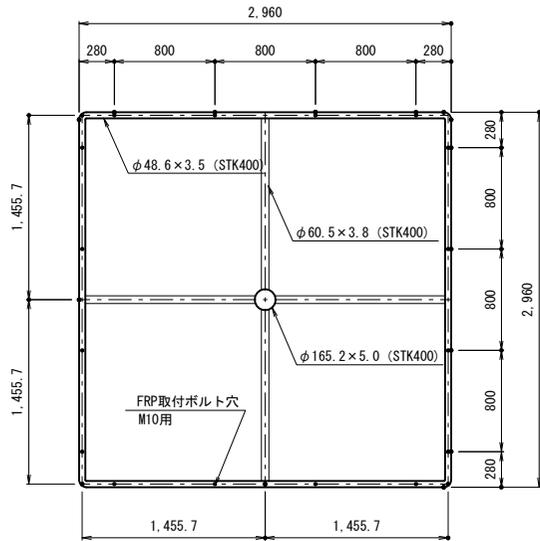


下端筋配筋図 1:30

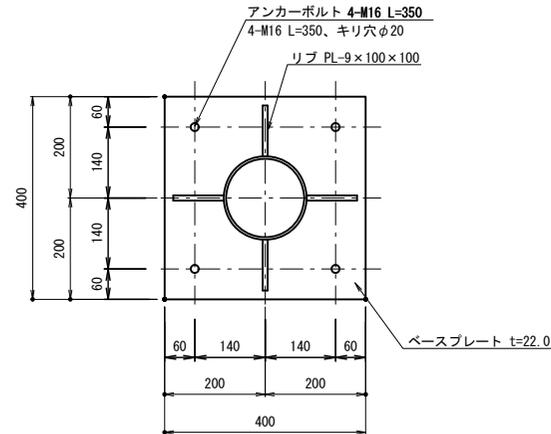
注) 建築基準法上、設置できる地域に制限があるため確認の上使用すること。

北九州市土木構造物標準図	図面名称	和風シェルター (あずまや) (中) (参考図) 1/3	縮尺	S=1/60, 1/30 1/15	備考	改定年月	前回 平成 23 年 4 月 最新 平成 28 年 11 月	10 7
--------------	------	------------------------------	----	----------------------	----	------	-----------------------------------	---------

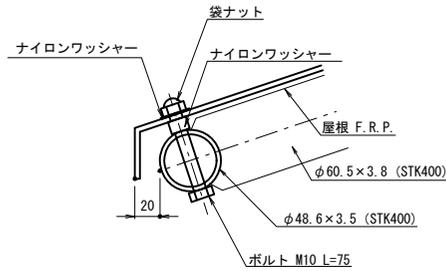
和風シェルター (中) (参考図) 2/3  
(あずまや)



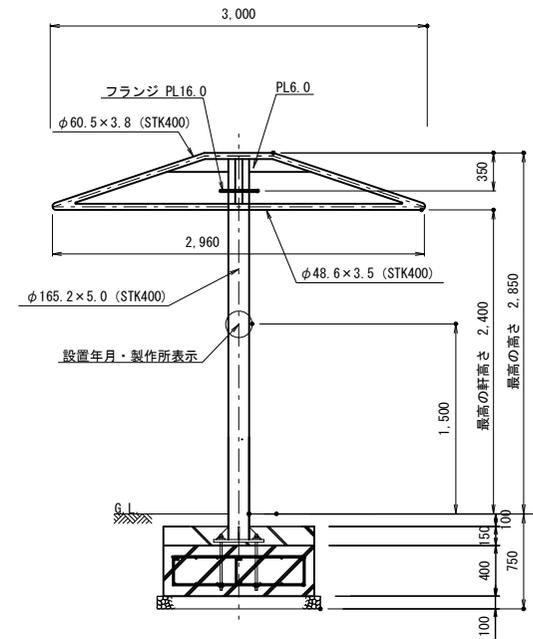
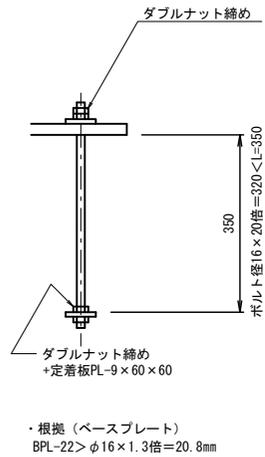
鉄骨伏せ図 1:60



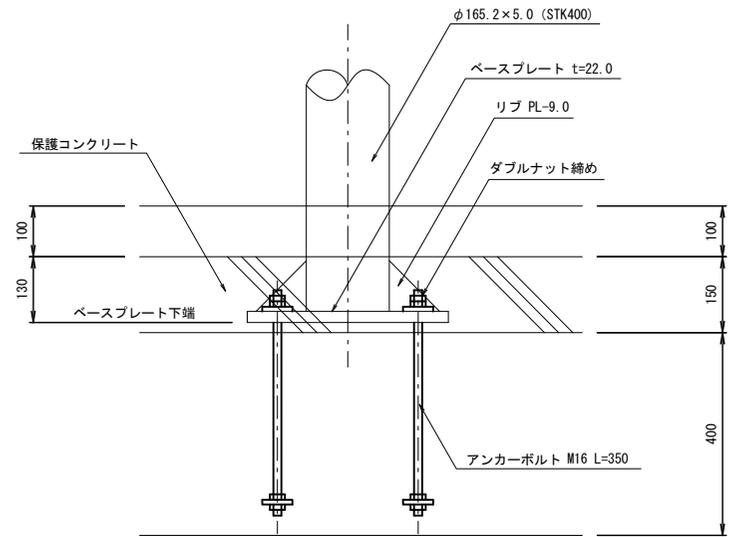
ベースプレート 1:15



F.R.P詳細図 1:6

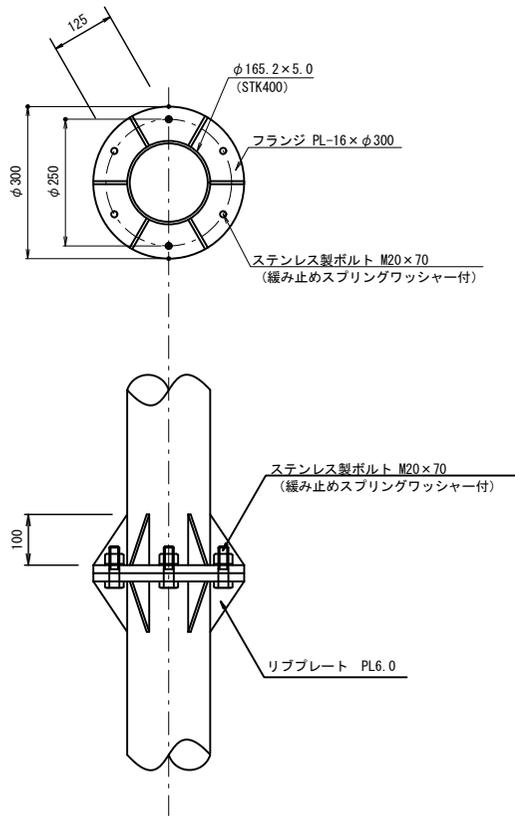


断面図 1:60



・根拠 (アンカーボルト)  
φ165.2 x 5.0 (A=2516mm<sup>2</sup>) × 20φ=503.2mm<sup>2</sup>  
<アンカーA=(0.75 × 201) × 4本=606mm<sup>2</sup>

和風シェルター (中) (参考図) 3/3  
(あずまや)

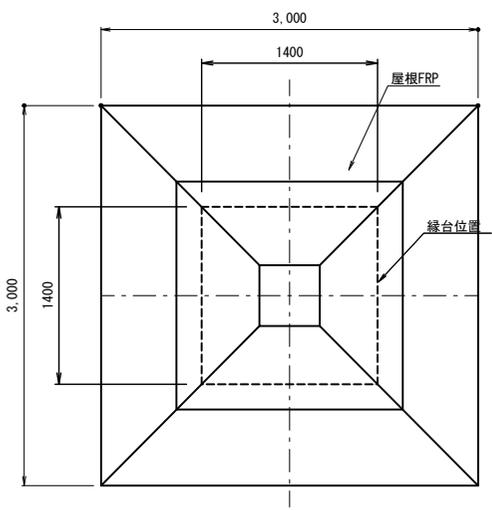


フランジ詳細図 1:15

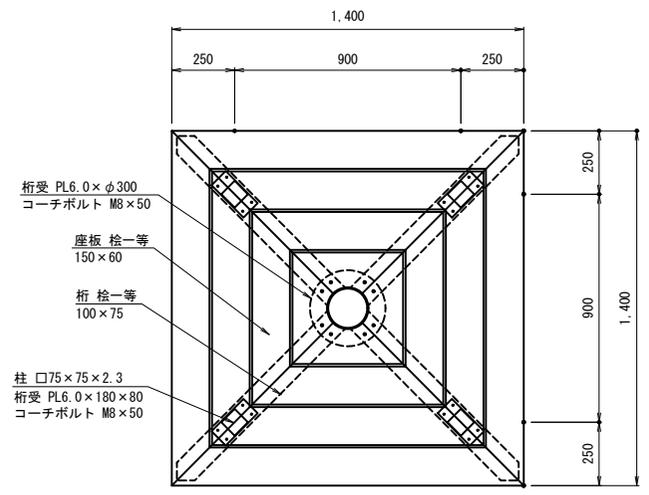
概要			
コンクリート	コンクリート	21-8-20 (JIS A 5308)	鋼材
	設計基準強度	21 N/m <sup>2</sup> スラブ: 8cm 骨材: 20cm 種類: 普通	
鉄筋	鉄筋	SD295A D10~D16 (JIS G 3112) 重ね継手	ボルト
	基礎	べた基礎 設計許容地耐力 (長期) 50KN/m <sup>2</sup> (短期) 100KN/m <sup>2</sup>	
柱脚	柱脚	柱露出式仕様規定 (平成12年1456号建築基準法関係告示より)	柱フランジ連結用ステンレスボルト (JIS G 5121) ステンレス鋼製品 アンカーボルト: ABR400 (JIS B 12201: 炭素鋼)
柱の有効細長比	柱の有効細長比	柱: STK-165.2φ×5.0 (i=5.67cm) Lc=2×(23+240+45)=616cm λ=Lc/i=616/5.67=108.6<200 OK	注意事項
	柱の有効細長比	1. 構造材料は告示第1446号により日本工業規格品に適合するものを使用する。 2. 鉄筋継手種別 (重ね継手) 3. 仕様書 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書」(最新版)による。	

和風シェルター（中）縁台付（参考図）1/3  
（あずまや）

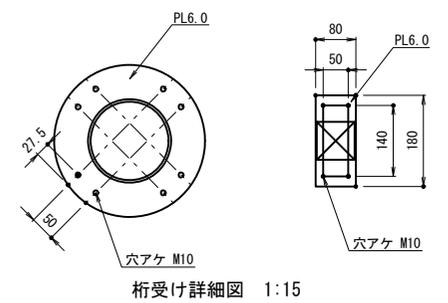
基準単価コード	-
---------	---



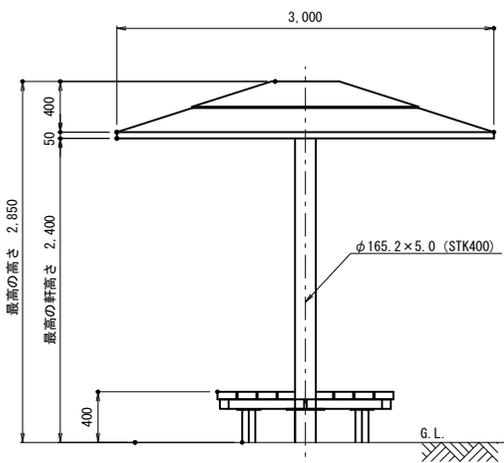
平面図 1:60



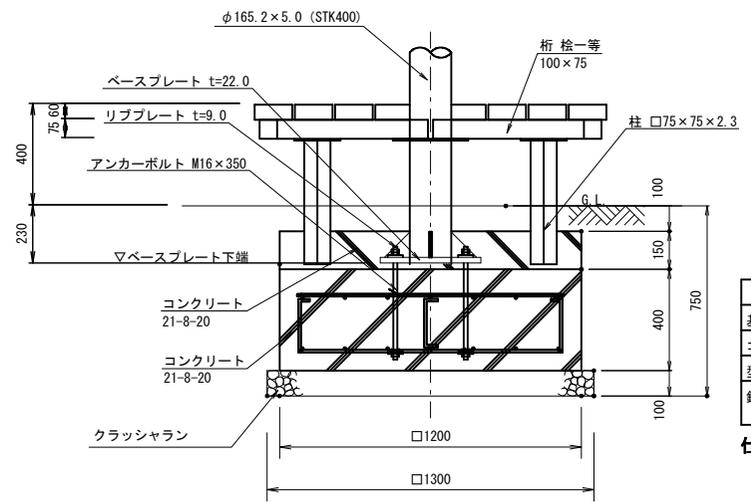
縁台詳細図 1:30



桁受け詳細図 1:15



立体図 1:60



基礎詳細図 1:30

名称	算式	単位	数量
基礎	1.30 x 1.30 x 10	m <sup>2</sup>	16.9
コンクリート	1.20 x 1.20 x 0.55 x 10	m <sup>3</sup>	7.92
型枠	1.20 x 4 x 0.55 x 10	m <sup>2</sup>	26.4
鉄筋	(1.06 x 14本 + 1.54 x 10本 + 1.68 x 4本 + 0.26) x 0.56kg/m x 10	kg	208.43

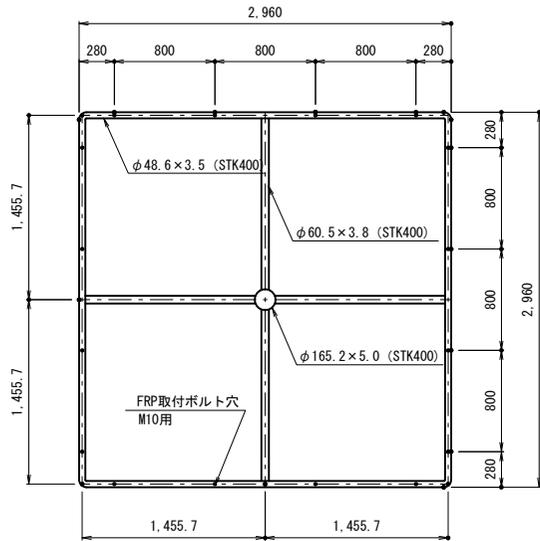
仕様

- ・使用鋼材は全てスチール材(SS)とする。
- ・鉄部は溶融亜鉛メッキ処理とする。
- ・鉄部はプライマー塗布後、合成樹脂塗装仕上げとする。
- ・木部は栓一等材とし、タナリス防虫防腐加圧注入処理とする。
- ・木部は表面保護塗装仕上げとする。
- ・屋根はFRP一体成型品とする。
- ・特記なきボルト、ビス類は全てステンレス製とする。
- ・設置年月及び製造メーカーを記したシールを貼付すること。
- ・(一社)日本公園施設業協会「遊具の安全に関する規準」に適合し、生産物賠償責任保険加入製品とする。

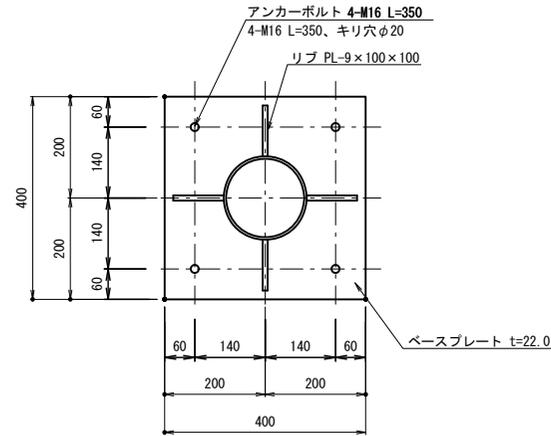
注) 建築基準法上、設置できる地域に制限があるため確認の上使用すること。

北九州市土木構造物標準図	図面名称	和風シェルター（あずまや）（中）縁台付（参考図）1/3	縮尺	S=1/60, 1/30 1/15	備考	改定年月	前回 平成 23 年 4 月 最新 平成 28 年 11 月	10 10
--------------	------	-----------------------------	----	----------------------	----	------	-----------------------------------	----------

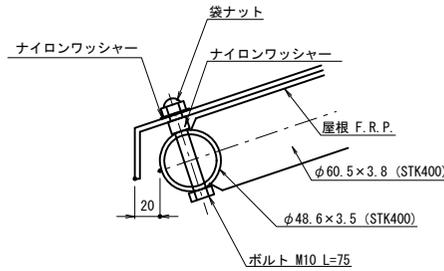
和風シェルター（中）縁台付（参考図）2/3  
（あずまや）



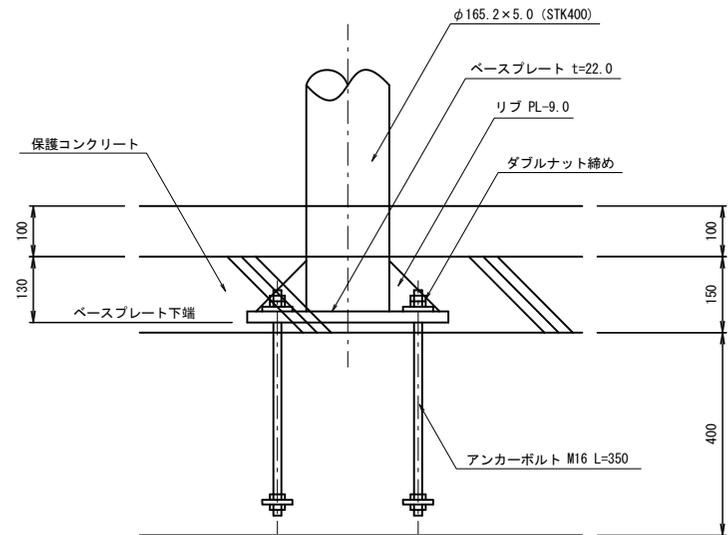
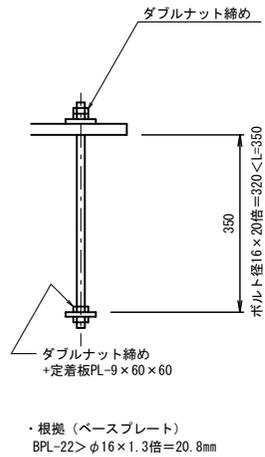
鉄骨伏せ図 1:60



ベースプレート 1:15



F.R.P詳細図 1:6

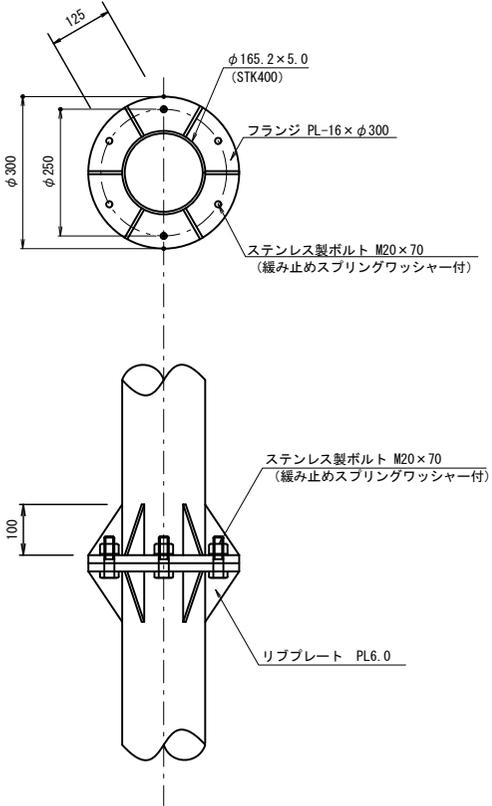


断面図 1:60

・根拠 (アンカーボルト)  
φ165.2×5.0 (A=2516mm<sup>2</sup>) × 20ヶ=503.2mm<sup>2</sup>  
<アンカーA=(0.75×201) × 4本=606mm<sup>2</sup>

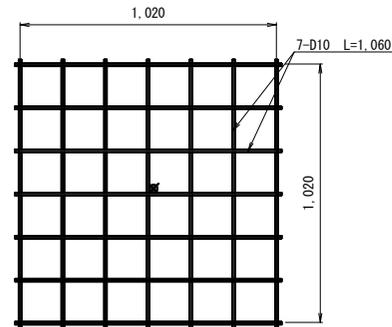
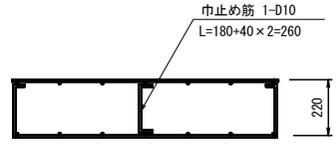
北九州市土木構造物標準図	図面名称	和風シェルター（あずまや）（中）縁台付（参考図）2/3	縮尺	S=1/60, 1/15 1/6	備考	改定年月	前回 平成 23年 4月 最新 平成28年 11月	10 11
--------------	------	-----------------------------	----	---------------------	----	------	------------------------------	----------

和風シェルター（中）縁台付（参考図）3/3  
（あずまや）

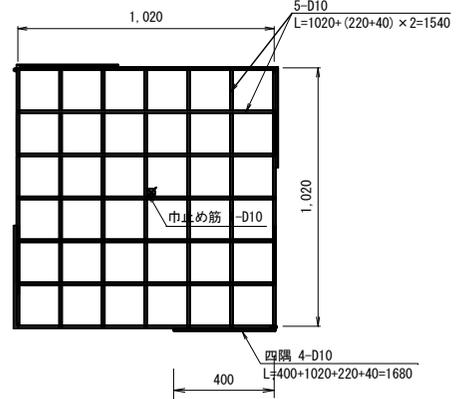


フランジ詳細図 1:15

概要				
コンクリート	コンクリート 21-8-20 (JIS A 5308)	鋼材	柱	STK400 (JIS G 3444 : 一般構造用炭素鋼管)
	設計基準強度 : 21 N/m <sup>2</sup> スラブ : 8cm 骨材 : 20cm 種類 : 普通		屋根枠	STK400 (JIS G 3444 : 一般構造用炭素鋼管)
			鋼板類	SS400 (JIS G 3101 : 一般構造用圧延鋼材)
鉄筋	SD295A D10~D16 (JIS G 3112) 重ね継手			
基礎	べた基礎	ボルト	柱フランジ連結用ステンレスボルト (JIS G 5121) ステンレス鋼鋳鋼品	
	設計許容地耐力 (長期) 50KN/m <sup>2</sup> (短期) 100KN/m <sup>2</sup>		アンカーボルト : ABR400 (JIS B 12201 : 炭素鋼)	
柱脚堅結方法	柱露出仕様規定 (平成12年1456号建築基準法関係告示より)			
柱の有効細長比	柱 : STK-165.2φ x 5.0 (i=5.67cm)	注意事項	1. 構造材料は告示第1446号により日本工業規格品に適合するものを使用する。	
	Lc=2 x (23+240+45)=616cm		2. 鉄筋継手種別 (重ね継手)	
	λ=Lc/i=616/5.67=108.6<200 OK		3. 仕様書 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書」 (最新版)による。	



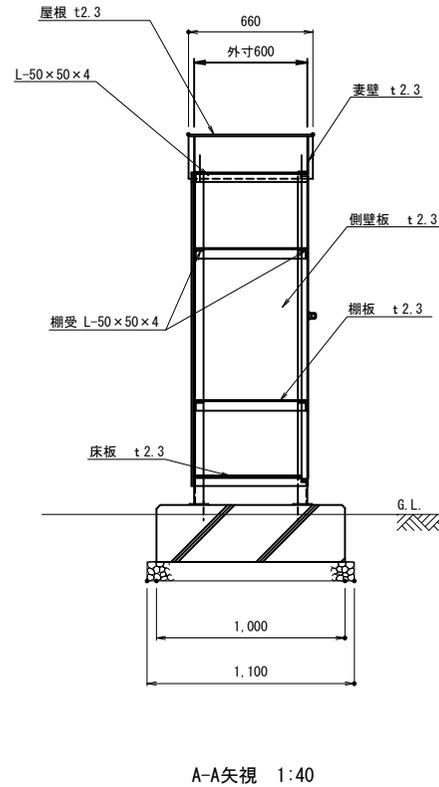
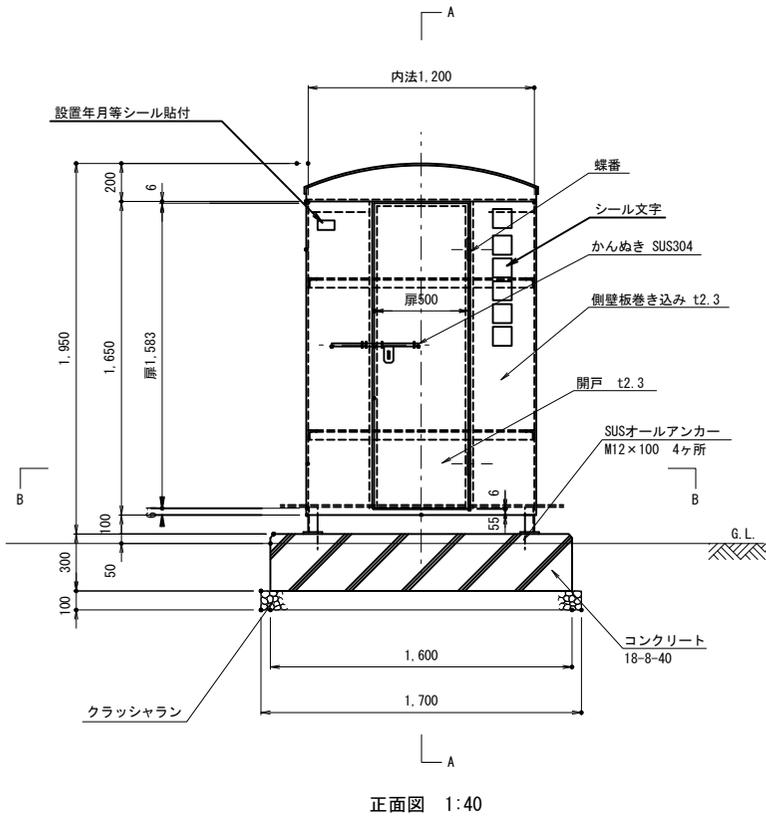
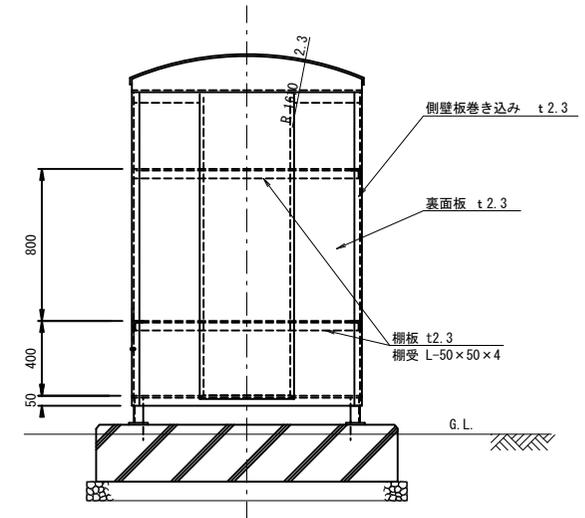
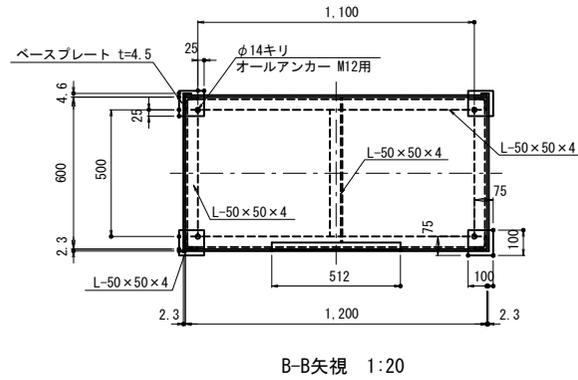
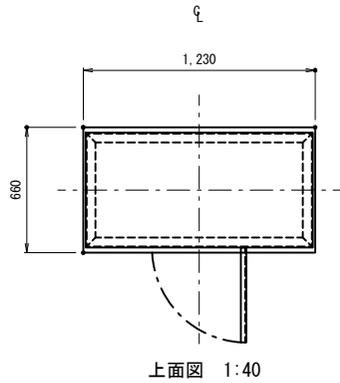
上端筋配筋図 1:30



下端筋配筋図 1:30

公園用具入れ (小) (参考図)

基準単価コード	-
---------	---



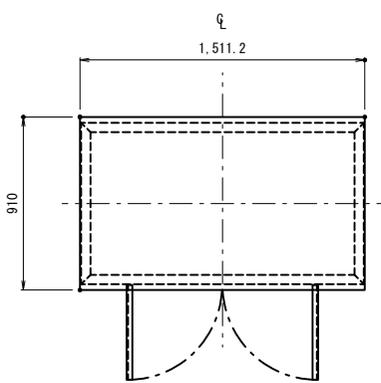
10基当たり			
名称	算式	単位	数量
基礎	1.70×1.10×10	m <sup>2</sup>	18.7
コンクリート	1.60×1.00×0.30×10	m <sup>3</sup>	4.8
型枠	(1.60+1.00)×2×0.30×10	m <sup>2</sup>	15.6

仕様

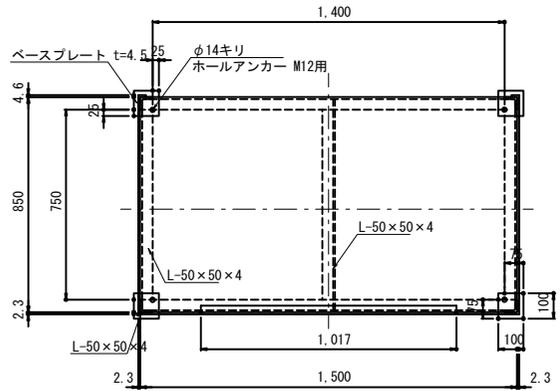
- ・塗装は合成樹脂塗装(錆止・中塗・上塗)とする。
- ・外装塗色は、胴回り:ベージュ、屋根:紺を標準とする。
- ・[公園用具入れ]の文字を、一文字10×10cm程度で正面にシール表示する。
- ・かんぬきはSUS304とする。
- ・棚板と棚受は、ビス止めとする。
- ・ボンデ処理鋼板を使用する。
- ・指定場所に設置年月、製作所の商標を、シールで表示する。
- ・(一社)日本公園施設業協会の、生産物賠償責任保険加入製品とする。
- ・寸法、形状等はメーカーにより多少相違があるため、「参考図」として掲載している。
- ・製品の使用にあたっては、参考図以外のものでも同等品以上であれば使用できる。
- ・設計図書に参考図を使用する場合には、特別な理由のない限り「参考図」と明記すること。

公園用具入れ (中) (参考図)

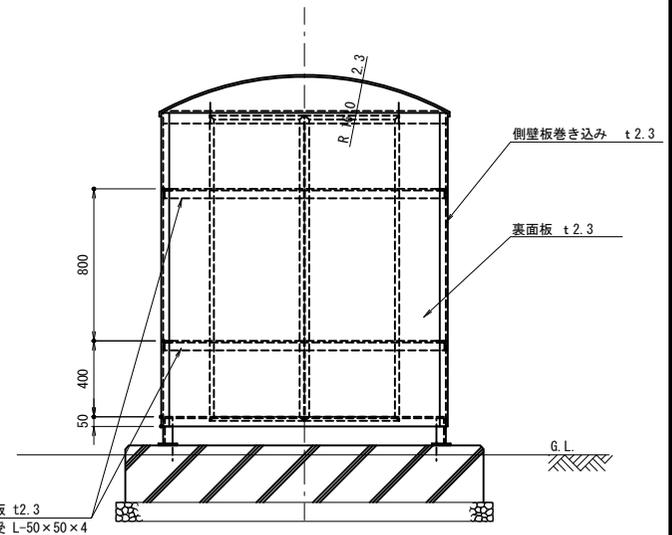
基準単価コード	-
---------	---



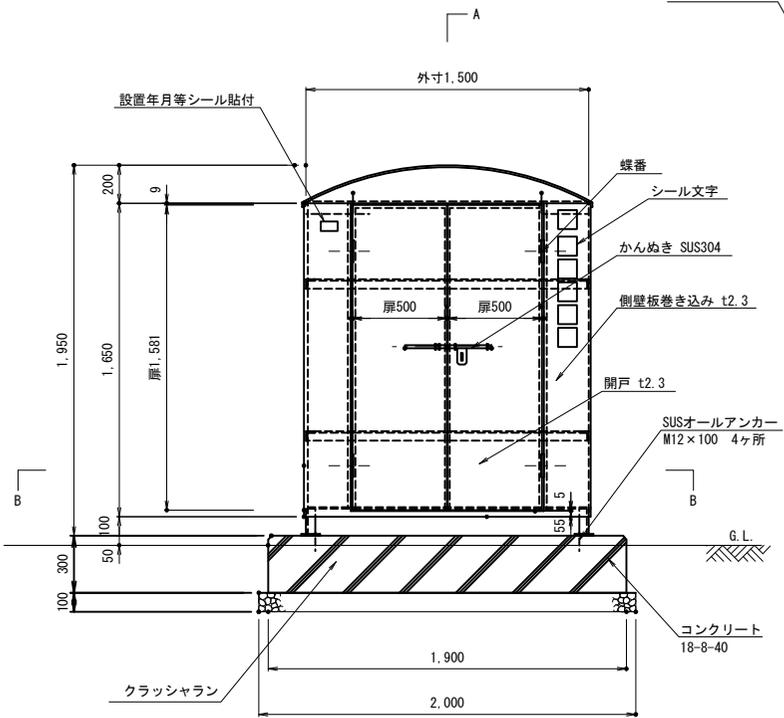
上面図 1:40



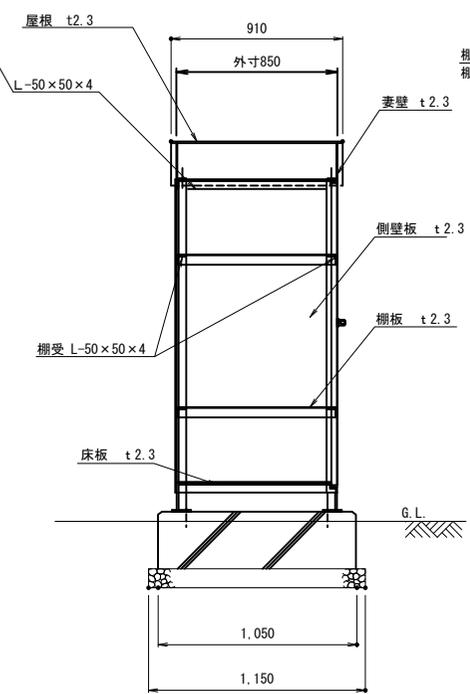
B-B矢視 1:30



背面図 1:40



正面図 1:40



A-A矢視 1:40

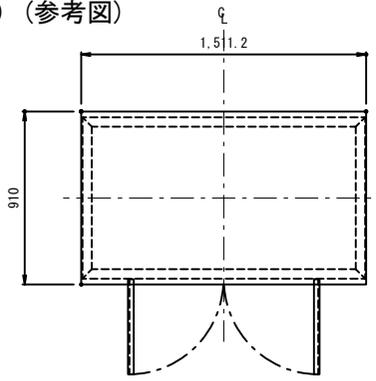
10基当たり			
名称	算式	単位	数量
基礎	2.00×1.15×10	m <sup>2</sup>	23.0
コンクリート	1.90×1.05×0.30×10	m <sup>3</sup>	5.99
型枠	(1.90+1.05)×2×0.30×10	m <sup>2</sup>	17.7

仕様

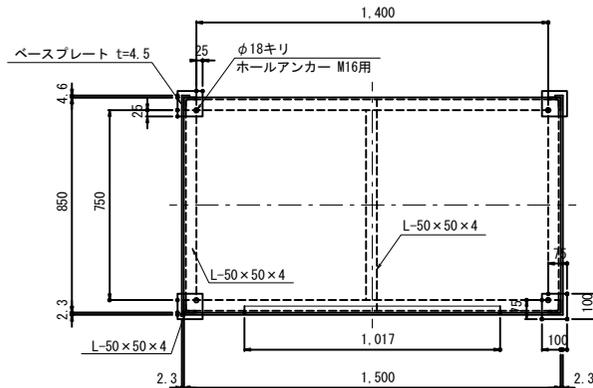
- ・塗装は合成樹脂塗装(錆止・中塗・上塗)とする。
- ・外装塗色は、胴回り:ベージュ、屋根:紺を標準とする。
- ・[公園用具入れ]の文字を、一文字10×10cm程度で正面にシール表示する。
- ・かんぬきはSUS304とする。
- ・柵板と柵受は、ビス止めとする。
- ・ボンデ処理鋼板を使用する。
- ・指定場所に設置年月、製作所の商標を、シールで表示する。
- ・(一社)日本公園施設業協会の、生産物賠償責任保険加入製品とする。
- ・寸法、形状等はメーカーにより多少相違があるため、「参考図」として掲載している。
- ・製品の使用にあたっては、参考図以外のものでも同等品以上であれば使用できる。
- ・設計図書に参考図を使用する場合には、特別な理由のない限り「参考図」と明記すること。

北九州市土木構造物標準図	図面名称	公園用具入れ (中) (参考図)	縮尺	S=1/40、1/30	備考	改定年月	前回 平成19年 10 月	10
						最新 平成28年 11 月		14

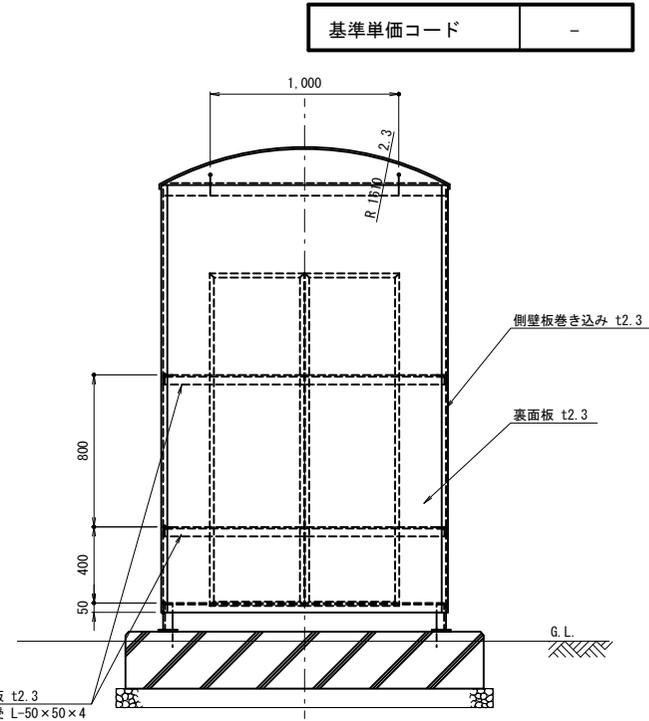
公園用具入れ (大) (参考図)



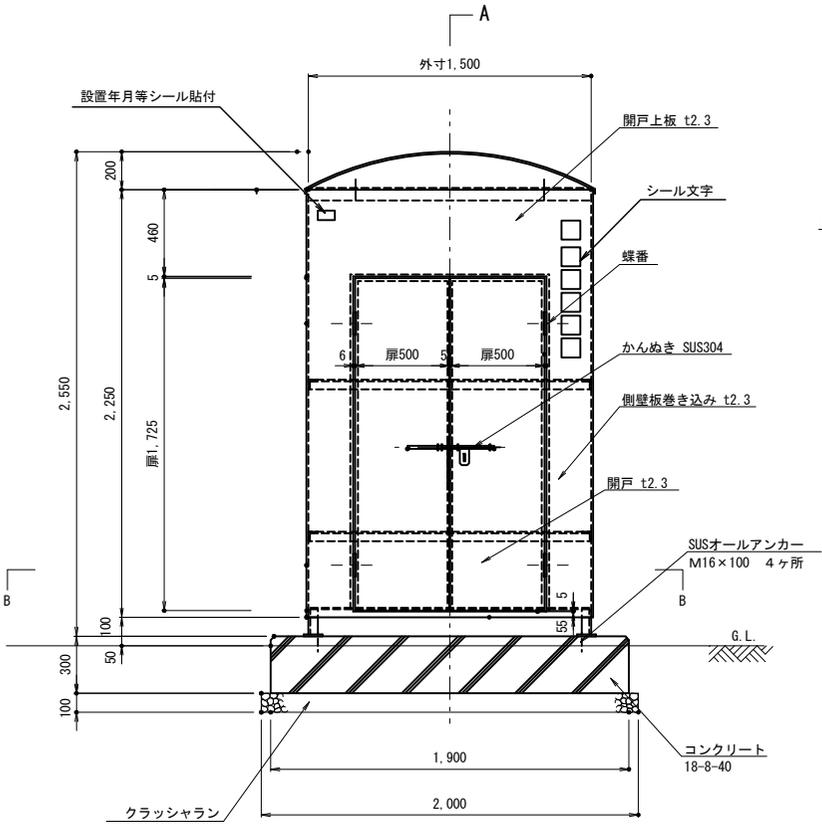
上面図 1:40



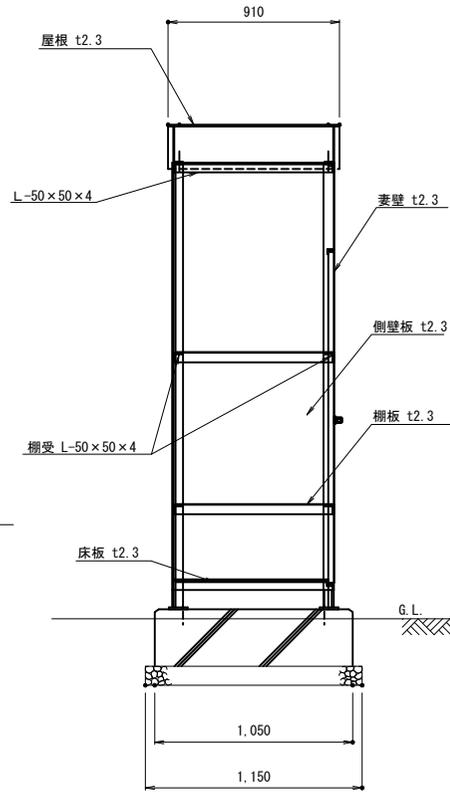
B-B矢視 1:30



背面図 1:40



正面図 1:40



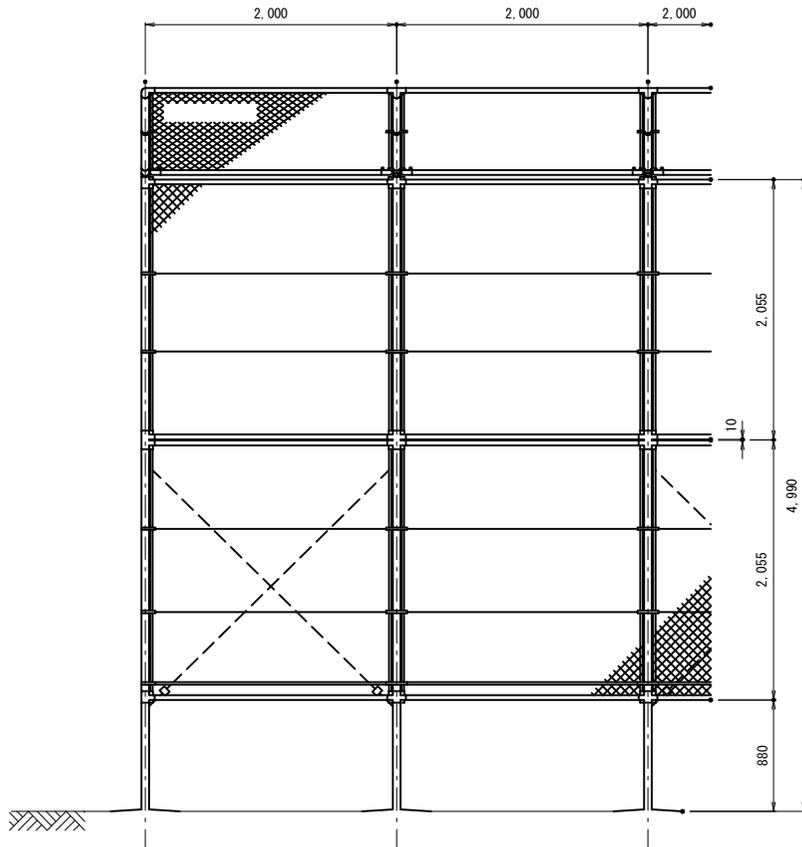
A-A矢視 1:40

10基当り			
名称	算式	単位	数量
基礎	$2.00 \times 1.15 \times 10$	m <sup>2</sup>	23.0
コンクリート	$1.90 \times 1.05 \times 0.30 \times 10$	m <sup>3</sup>	5.99
型枠	$(1.90 + 1.05) \times 2 \times 0.30 \times 10$	m <sup>2</sup>	17.7

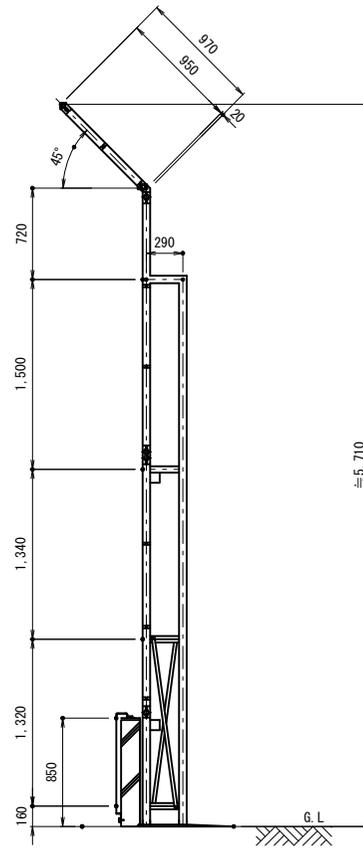
仕様

- ・塗装は合成樹脂塗装(錆止・中塗・上塗)とする。
- ・外装塗色は、胴回り:ベージュ、屋根:紺を標準とする。
- ・[公園用具入れ]の文字を、一文字10×10cm程度で正面にシール表示する。
- ・かんぬきはSUS304とする。
- ・棚板と棚受は、ビス止めとする。
- ・ボンデ処理鋼板を使用する。
- ・指定場所に設置年月、製作所の商標を、シールで表示する。
- ・(一社)日本公園施設業協会の、生産物賠償責任保険加入製品とする。
- ・寸法、形状等はメーカーにより多少相違があるため、「参考図」として掲載している。
- ・製品の使用にあたっては、参考図以外のものでも同等品以上であれば使用できる。
- ・設計図書に参考図を使用する場合には、特別な理由のない限り「参考図」と明記すること。

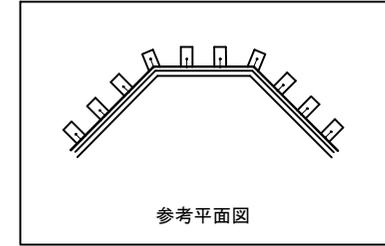
バックネット (H=5700) (参考図) 1/2



立面図



断面図



参考平面図

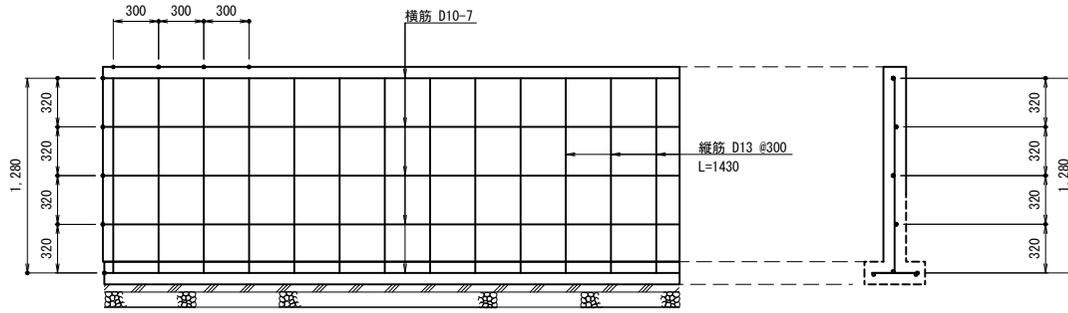
仕様

- ・外装は金網類を除く他は溶融亜鉛めっきとする。
- ・金網は、亜鉛めっきハガネ鉄線(亜鉛付着量400g/m<sup>2</sup>以上)とする。
- ・設計荷重は、建築基準法(平成13年改正)・同施行令に基づくこと。
- ・基礎の設計条件は、建築基準法(平成13年改正)・同施行令に基づき構造計算を行うこと。
- ・基礎コンクリート天端には、GLより上で水切り勾配をつけること。
- ・寸法、形状等はメーカーにより多少相違があるため、「参考図」として掲載している。
- ・製品の使用にあたっては、参考図以外のものでも同等品以上であれば使用できる。
- ・設計図書に参考図を使用する場合には、特別な理由のない限り「参考図」と明記すること。

北九州市土木構造物標準図	図面名称	バックネット (H=5700) (参考図) 1/2	縮尺	S=1/60	備考	改定年月	前回 平成17年 5月	11
							最新 平成19年 10月	1

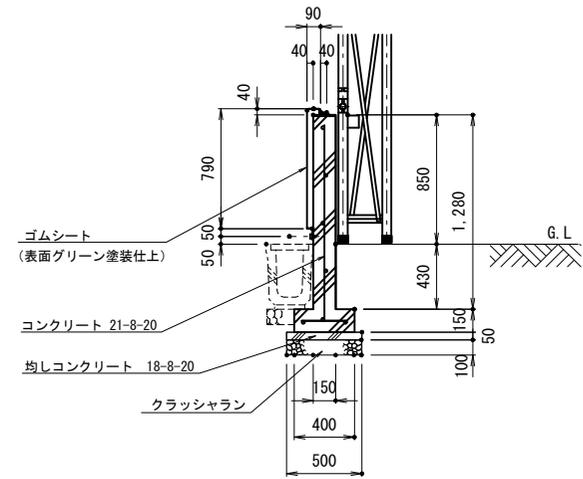
バックネット (H=5700) (参考図) 2/2

コンクリート擁壁配筋図



正面

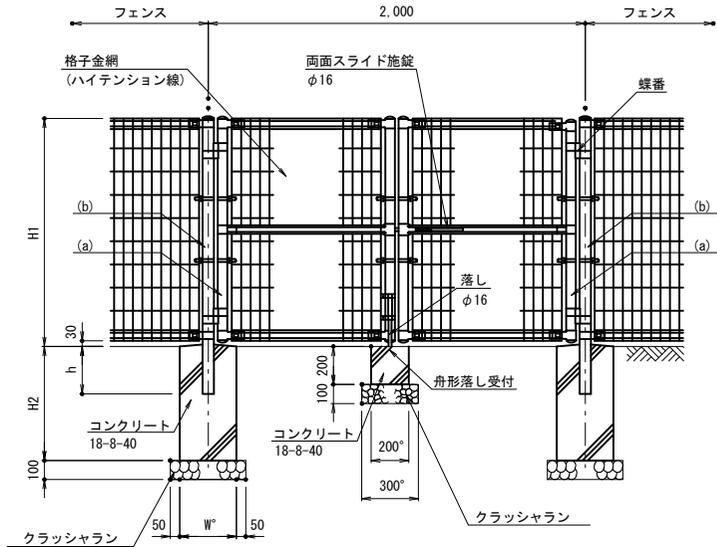
側面



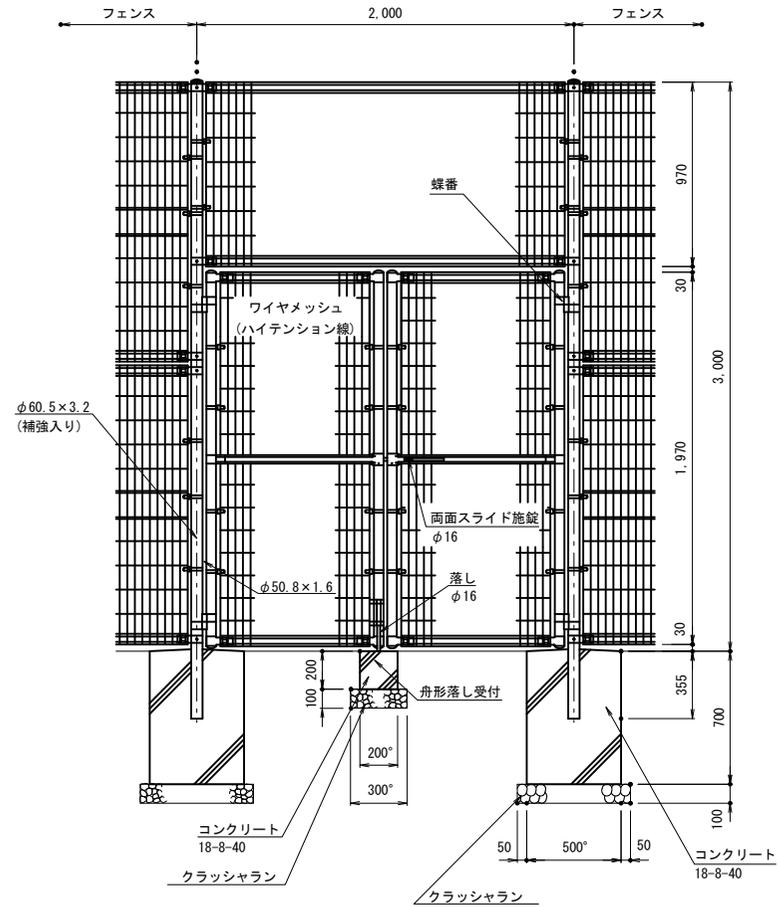
コンクリート擁壁布基礎部

北九州市土木構造物標準図	図面名称	バックネット (H=5700) (参考図) 2/2	縮尺	S=1/50	備考	改定年月	前回 平成19年 10 月 最新 平成28年 11 月	11 2
--------------	------	---------------------------	----	--------	----	------	--------------------------------	---------

### メッシュフェンス門扉 (テニスコート用・両開) (参考図)



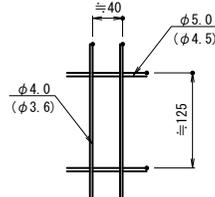
MFМ-T12R, T15R, T18R, T20R



MFМ-T30R

MFМ-T12R~T20R寸法表

記号	地上高	埋込深	扉縦枠規格 (a)	門柱規格 (b)	基礎寸法		備考
	H1	h			H2	W	
MFМ-T12R	1200	250	φ50.8×1.6	φ60.5×2.3	500	300	
MFМ-T15R	1500	300	φ50.8×1.6	φ60.5×3.2	600	300	
MFМ-T18R	1800	350	φ50.8×1.6	φ60.5×3.2	600	350	
MFМ-T20R	2000	350	φ50.8×1.6	φ60.5×3.2	600	350	

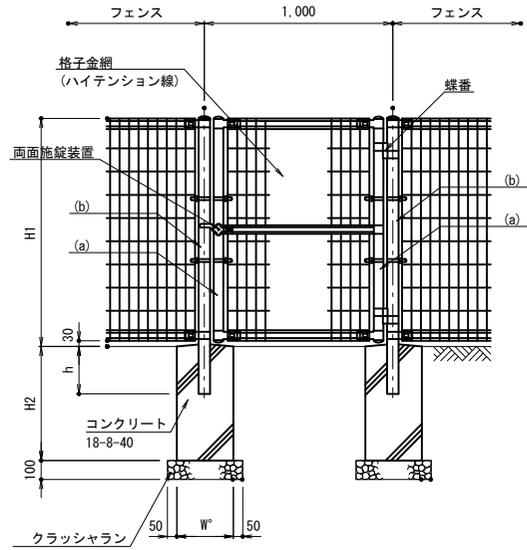


格子金網詳細図 1:10  
( )内は芯径を示す。

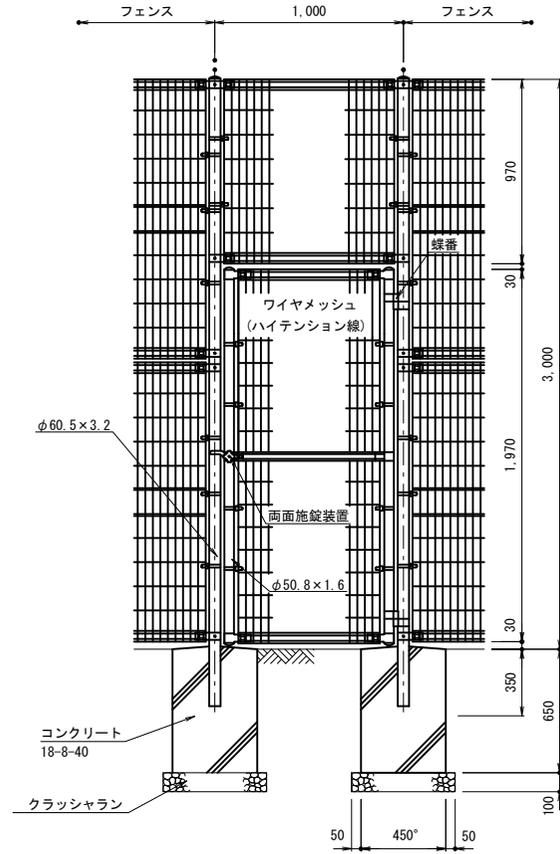
#### 仕様

- ・門柱・枠体・取付金具類は、亜鉛・アルミ・マグネシウム合金めっきの上アクリル系樹脂粉末塗装とする。
- ・格子金網は、ハイテンション線(SWINGH-3)とし、芯径は縦線φ3.6mm、横線φ4.5mmとする。
- ・格子金網は、亜鉛めっきの上PVC樹脂粉末塗装とする。
- ・U型金具は、亜鉛・アルミ・マグネシウム合金めっきの上防錆着色処理とする。
- ・ボルト、ナットは、溶融亜鉛めっきの上防錆着色処理とする。
- ・塗装色は深緑色とする。
- ・門扉は、片側180°開きとする。
- ・基礎コンクリート天端には、GLより上で水切り勾配をつけること。
- ・寸法、形状等はメーカーにより多少相違があるため、「参考図」として掲載している。
- ・製品の使用にあたっては、参考図以外のもので同等品以上であれば使用できる。
- ・設計図書に参考図を使用する場合には、特別な理由のない限り「参考図」と明記すること。

### メッシュフェンス門扉 (テニスコート用・片開) (参考図)



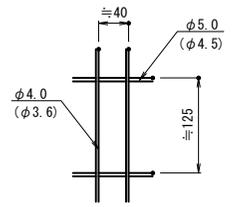
MFM-T12K, T15K, T18K, T20K



MFM-T30K

MFM-T12K~T20K寸法表

記号	地上高	埋込深	扉縦枠規格 (a)	門柱規格 (b)	基礎寸法		備考
	H1	h			H2	W	
MFM-T12K	1200	250	φ50.8×1.6	φ60.5×2.3	500	300	
MFM-T15K	1500	300	φ50.8×1.6	φ60.5×3.2	500	300	
MFM-T18K	1800	350	φ50.8×1.6	φ60.5×3.2	600	300	
MFM-T20K	2000	350	φ50.8×1.6	φ60.5×3.2	600	300	



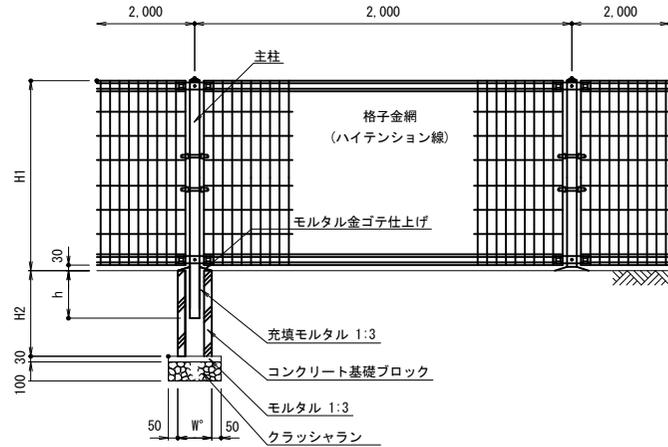
格子金網詳細図 1:10  
( )内は芯径を示す。

#### 仕様

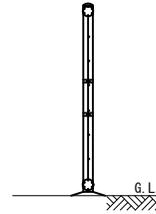
- ・門柱・枠体・取付金具類は、亜鉛・アルミ・マグネシウム合金めっきの上アクリル系樹脂静電粉体塗装とする。
- ・格子金網は、ハイテンション線(SWGH-3)とし、芯径は縦線φ3.6mm、横線φ4.5mmとする。
- ・格子金網は、亜鉛めっきの上PVC樹脂静電粉体塗装とする。
- ・U型金具は、亜鉛・アルミ・マグネシウム合金めっきの上防錆着色処理とする。
- ・ボルト、ナットは、溶融亜鉛めっきの上防錆着色処理とする。
- ・塗装色は深緑色とする。
- ・門扉は、片側180°開きとする。
- ・基礎コンクリート天端には、GLより上で水切り勾配をつけること。
- ・寸法、形状等はメーカーにより多少相違があるため、「参考図」として掲載している。
- ・製品の使用にあたっては、参考図以外のものでも同等品以上であれば使用できる。
- ・設計図書に参考図を使用する場合には、特別な理由のない限り「参考図」と明記すること。

北九州市土木構造物標準図	図面名称	メッシュフェンス門扉 (テニスコート用・片開) (参考図)	縮尺	S=1/40, 1/10	備考	改定年月	前回 平成23年 10 月 最新 平成28年 11 月	11 4
--------------	------	----------------------------------	----	--------------	----	------	--------------------------------	---------

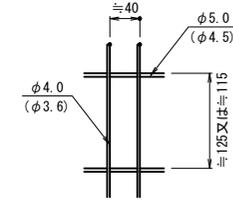
### メッシュフェンス（テニスコート用）（参考図）



立面図



断面図



格子金網詳細図 1:10  
( )内は芯径を示す。

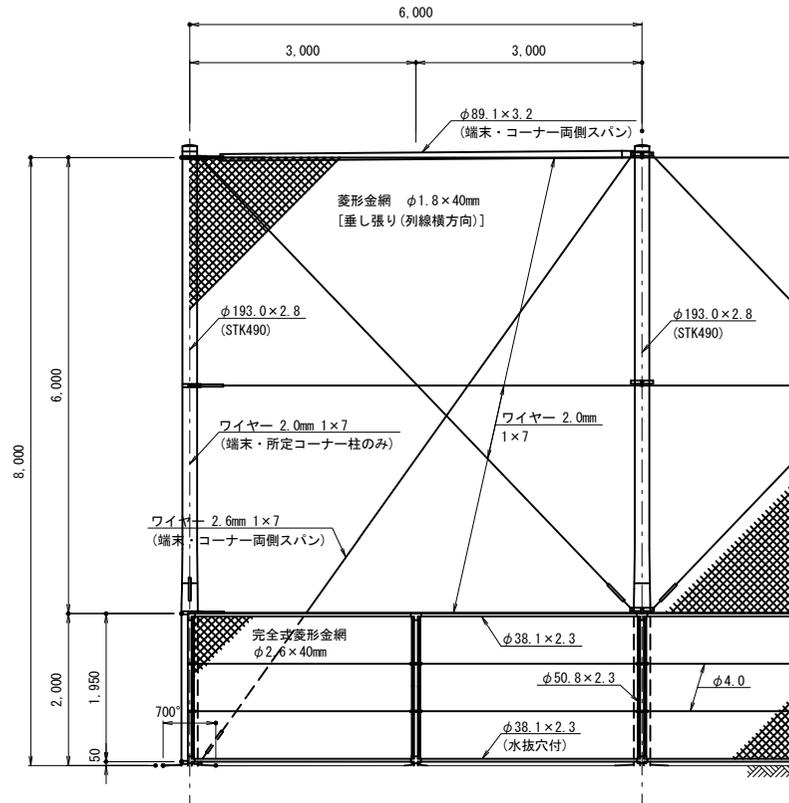
寸法表

記号	地上高	埋込深	支柱規格	金網横格子間隔	基礎ブロック		備考
	H1				h	H2	
MF-T6	600	200	φ50.8×1.6	≒125	450	180	
MF-T8	800	200	φ50.8×1.6	≒115	450	180	
MF-T9	900	200	φ50.8×1.6	≒115	450	180	
MF-T10	1000	200	φ50.8×1.6	≒125	450	180	
MF-T12	1200	200	φ50.8×1.6	≒125	450	180	
MF-T15	1500	250	φ50.8×2.3	≒125	450	180	
MF-T18	1800	300	φ50.8×2.3	上段≒125, 下段≒115	450	200	上下パネル接続
MF-T20	2000	300	φ50.8×2.3	≒125	600	300	上下パネル接続
MF-T24	2400	300	φ50.8×2.3	≒125	600	300	パネル二段張り
MF-T30	3000	300	φ50.8×2.3	≒125	700	300	パネル二段張り

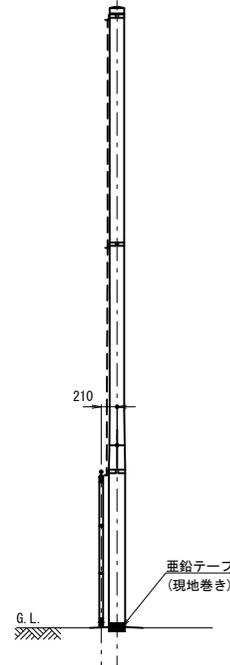
#### 仕様

- ・支柱は、亜鉛・アルミ・マグネシウム合金めっきの上アクリル系樹脂静電粉体塗装とする。
- ・格子金網は、ハイテンション線(SMMGH-3)とし、芯径は縦線φ3.6mm、横線φ4.5mmとする。
- ・格子金網は、亜鉛めっきの上PVC樹脂静電粉体塗装とする。
- ・取付金具類は、亜鉛・アルミ・マグネシウム合金めっきの上アクリル系樹脂静電粉体塗装とする。
- ・U型金具は、亜鉛・アルミ・マグネシウム合金めっきの上防錆着色処理とする。
- ・ボルト、ナットは、溶融亜鉛めっきの上防錆着色処理とする。
- ・塗装色は深緑色とする。
- ・基礎コンクリート天端には、GLより上で水切り勾配をつけること。
- ・コンクリート基礎ブロックは、JIS表示許可工場で製造された製品とする。
- ・寸法、形状等はメーカーにより多少相違があるため、「参考図」として掲載している。
- ・製品の使用にあたっては、参考図以外のものでも同等品以上であれば使用できる。
- ・設計図書に参考図を使用する場合には、特別な理由のない限り「参考図」と明記すること。

### 防球フェンス（ソフトボール用）（参考図）



立面図



側面図

#### 仕様

- ・設計荷重は、建築基準法（平成13年改正）・同施行令に基づくこと。
- ・基礎の設計条件は、建築基準法（平成13年改正）・同施行令に基づき構造計算を行うこと。
- ・基礎コンクリート天端には、GLより上で水切り勾配をつけること。
- 防球柵
  - ・主柱、横材は、溶融亜鉛めっき仕上とする。
  - ・金網は、合金めっきハガネ鉄線（亜鉛アルミ合金めっき250g/m<sup>2</sup>）とする。
  - ・ワイヤーは、亜鉛・アルミ合金めっき仕上げとする。
  - ・取付金具、ボルト・ナット類は、溶融亜鉛めっき仕上とする。
- 下部金網柵
  - ・主柱、胴縁、網張りバーは、溶融亜鉛めっき仕上とする。
  - ・金網は、亜鉛めっきハガネ鉄線（亜鉛付着量400g/m<sup>2</sup>以上）とする。
  - ・取付金具、ボルト・ナット類は、溶融亜鉛めっき仕上とする。
- ・寸法、形状等はメーカーにより多少相違があるため、「参考図」として掲載している。
- ・製品の使用にあたっては、参考図以外のものでも同等品以上であれば使用できる。
- ・設計図書に参考図を使用する場合には、特別な理由のない限り「参考図」と明記すること。

北九州市土木構造物標準図	図面名称	防球フェンス（ソフトボール用）（参考図）	縮尺	S=1/100	備考	改定年月	前回 平成17年 5月 最新 平成19年 10月	11 6
--------------	------	----------------------	----	---------	----	------	-----------------------------	---------